1　山田寺式A
（接合片枘形）

2　山田寺式A
（接合楔形）

4　山田寺式D

3　山田寺式A
（接合未加工）

5　山田寺式E

6　山田寺式B

1：3

軒丸瓦細部写真 1（山田寺式A）

1　A種：糸切り痕、笵端を示す段。

2　瓦当粘土の重なり。

3　瓦当側面を指押さえ。

4　瓦当側面を指押さえ。

5　瓦当裏面上端に片枘形加工Ⅰ型の丸瓦を立て、支持ナデツケする。

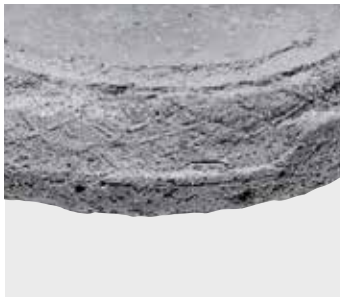
6　片枘形加工Ⅰ型の丸瓦を接合。

7　丸瓦広端面の縦キザミ。

8　丸瓦接合面縦キザミの転写。

9　丸瓦接合面横キザミの転写。

10　丸瓦接合面斜めキザミの転写。



11　丸瓦接合面斜格子キザミの転写。

12　釘穴をあけた玉縁丸瓦。

13　同左凹面。

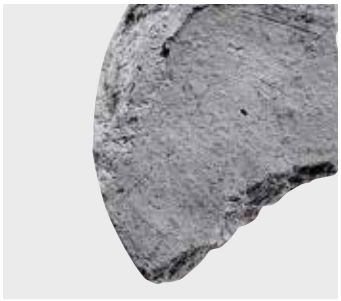
14　丸瓦部凸面を平行叩き。

15　丸瓦部凸面を斜格子叩き。

16　笵傷1A段階。

17　丸瓦広端は片枘形Ⅱ型に加工。

18　笵傷1B段階。



19　丸瓦広端は楔形に加工。

1　A種：笵傷2段階。

2　丸瓦広端は楔形に加工。

3　丸瓦接合面の斜格子キザミ。

4　瓦当側面を斜格子叩き。

5　笵傷3段階。

6　丸瓦未加工、凹凸面斜格子キザミ。

7　丸瓦部凸面縦位縄叩きとキザミ。

8　丸瓦部凸面を縦位縄叩き。

9　D種：笵傷発生前。

10　笵傷1A段階。

11　笵傷1B段階。

12　糸切り痕、笵端を示す段。

13　瓦当側面を指押さえ。

14　瓦当裏面は回転ナデ。

15　瓦当裏面は回転ナデ。

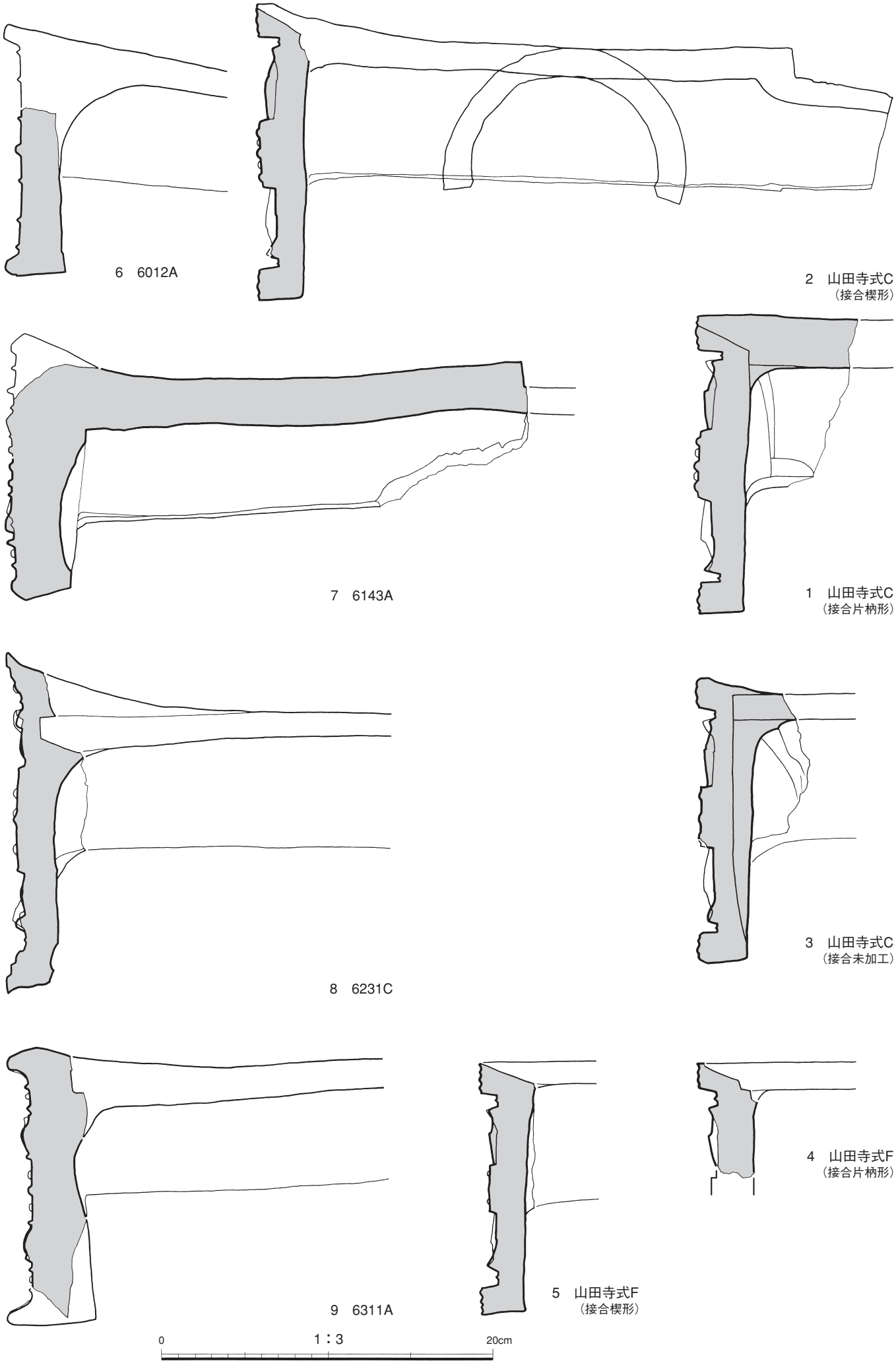
16　瓦当裏面は回転ナデ。

17　釘穴をあけた玉縁丸瓦。

18　同左凹面、粘土板合わせ目。

19　釘穴をあけた行基丸瓦。

20　同左凹面、布綴じ痕。


6　6012A
2　山田寺式C
（接合楔形）
7　6143A
1　山田寺式C
（接合片枘形）
8　6231C
3　山田寺式C
（接合未加工）
9　6311A
5　山田寺式F
（接合楔形）
4　山田寺式F
（接合片枘形）
0
1：3
20cm

1　山田寺式C
（接合片枘形）

6　6012A

2　山田寺式C
（接合楔形）

7　6143A

3　山田寺式C
（接合未加工）

8　6231C

4　山田寺式F
（接合片枘形）

5　山田寺式F
（接合楔形）

9　6311A

1：3

軒丸瓦細部写真 3（山田寺式D：1～6，E：7・8，B：9～14，C：15～18）

1　D種：片枘形Ⅰ型の丸瓦を接合。

2　丸瓦を立て、支持ナデツケ。

3　丸瓦接合面の縦キザミ。

4　丸瓦先端は瓦当裏面にくい込む。

5　丸瓦凹面にもキザミをつける。

6　瓦当裏面を平坦に乱ナデする。

7　E種：笵端痕を示す段。

8　片枘形Ⅱ型の丸瓦を接合。

9　B種：片枘形Ⅱ型の丸瓦先端は外縁に達する。接合面には縦キザミ。

11　糸切り痕、笵端痕を示す段。

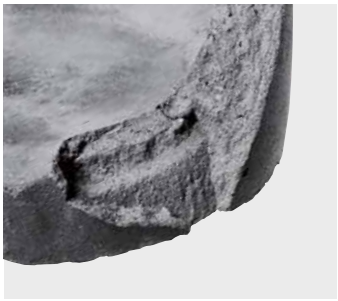
12　丸瓦部凸面を斜格子叩き。

10　片枘形加工Ⅱ型のb面が幅広いのが特徴。瓦当裏面は平坦に乱ナデする。

13　釘穴をあけた玉縁丸瓦。

14　同左凹面。

15　C種：瓦当面糸切り痕。



16　笵傷なし段階に片枘形Ⅱ型あり。

17　片枘形の丸瓦先端は外縁に達する。

18　片枘形Ⅱ型のb面が幅広い。

1　C種：笵傷発生前。

2　広端楔形、凹凸両面に接合粘土。

3　丸瓦広端面にキザミ。

4　同左(瓦当裏面側から)。

5　笵傷発生。

7　丸瓦部凸面全体を斜格子叩き。

8　同左凹面。

9　丸瓦部凸面を斜格子叩き。

6　丸瓦を立て、支持指押さえ。

10　瓦当側面を斜格子叩き。

11　先端未加工、凹凸両面に接合粘土。

12　丸瓦部凸面をタテ縄叩き。

13　F種：丸瓦広端は片枘形Ⅱ型。

14　丸瓦接合面に斜格子キザミ。

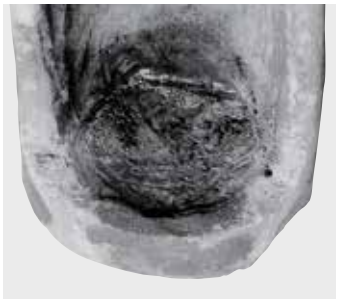
15　丸瓦接合部斜格子キザミの転写。

16　丸瓦を立て、支持指押さえ。

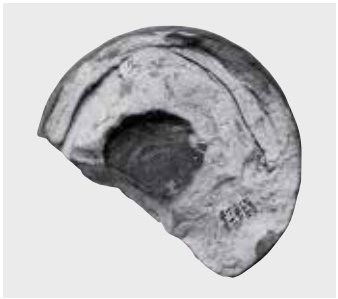
17　瓦当裏面・側面を斜格子叩き。

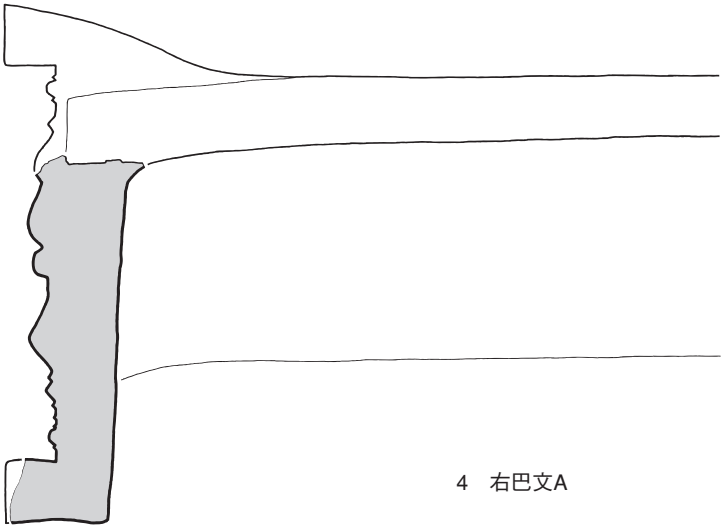
18　瓦当側面を斜格子叩き。

19　6012A：瓦当裏面の布目押圧痕。

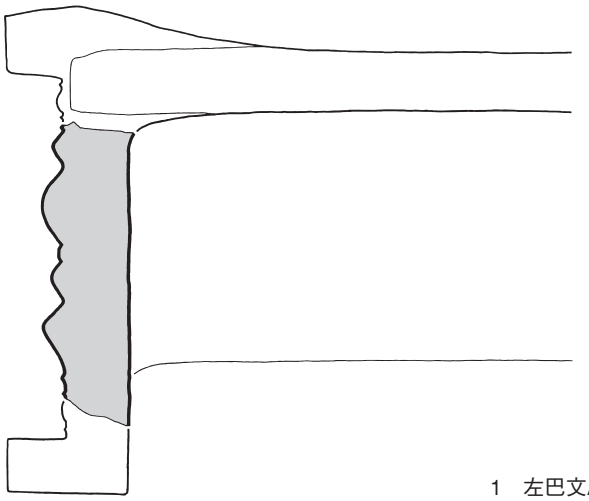

20　6143A：瓦当裏面中央がくぼむ。

21　6231C：瓦当裏面下半周縁をナデ。


22　6311A：瓦当裏面には丸瓦接合溝。

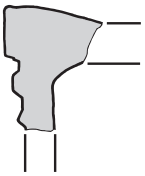


4　右巴文A



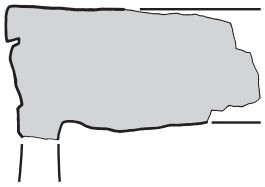
1　左巴文A

8　菊花文A



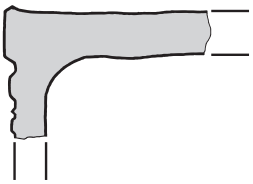
6　右巴文B

2　左巴文B

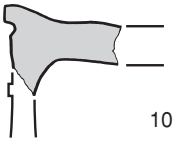


9　菊花文B
（軒桟瓦）

7　右巴文C



3　左巴文C

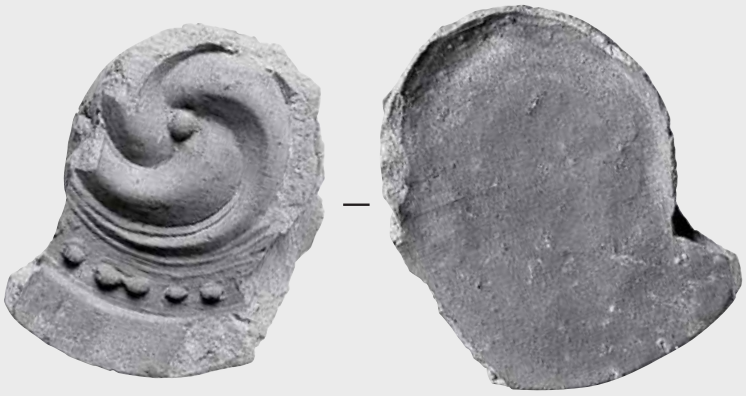


10　菊花文C
（棟飾瓦）

11　文字文

0　1：3　20cm

1　左巴文A

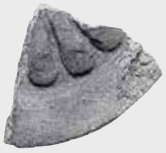


4　右巴文A

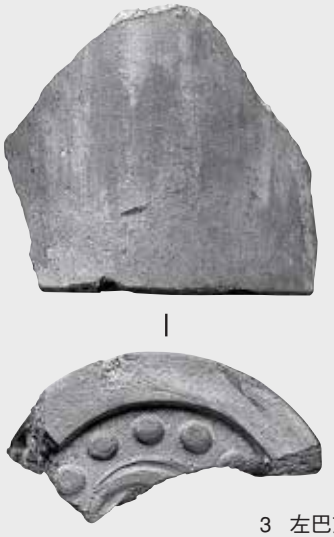
5　右巴文A

2　左巴文B

6　右巴文B



8　菊花文A



3　左巴文C

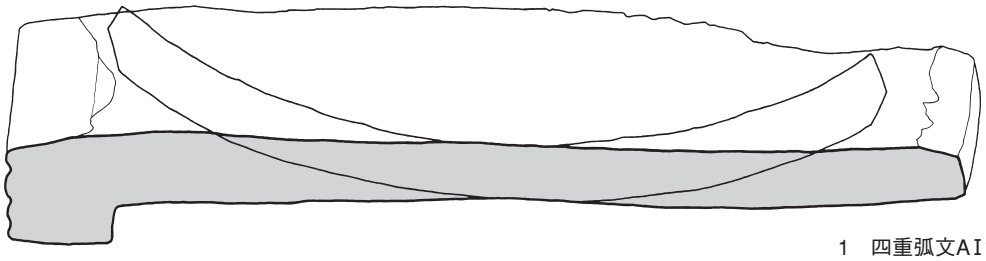
7　右巴文C

9　菊花文B
（軒桟瓦）

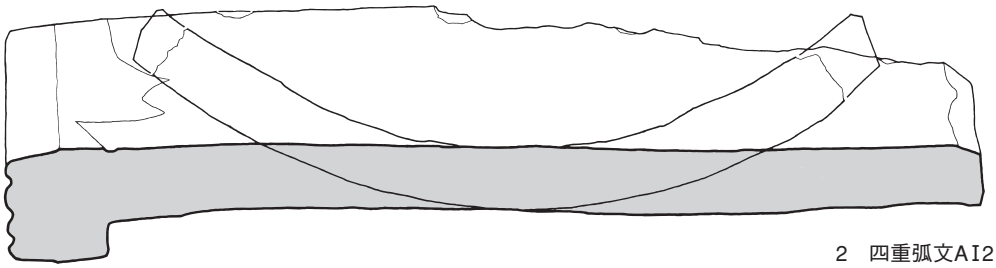
11　文字文

10　菊花文C
（棟飾瓦）

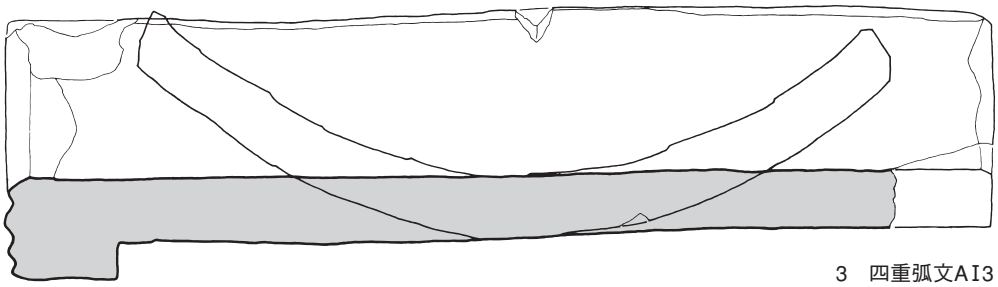
1：3



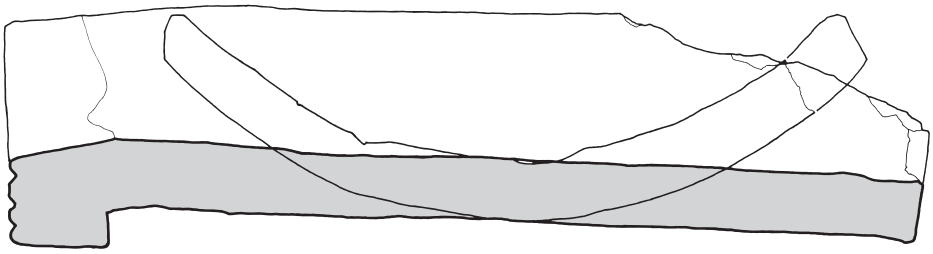
1　四重弧文AI1



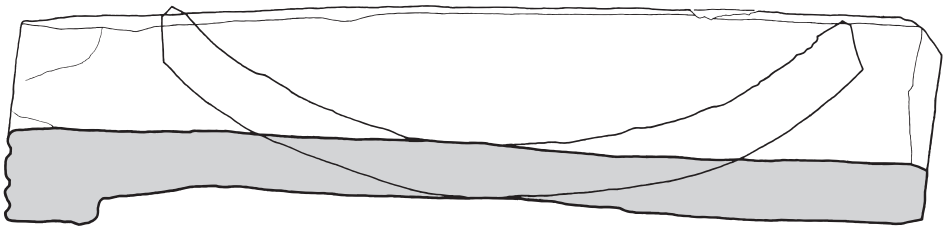
2　四重弧文AI2



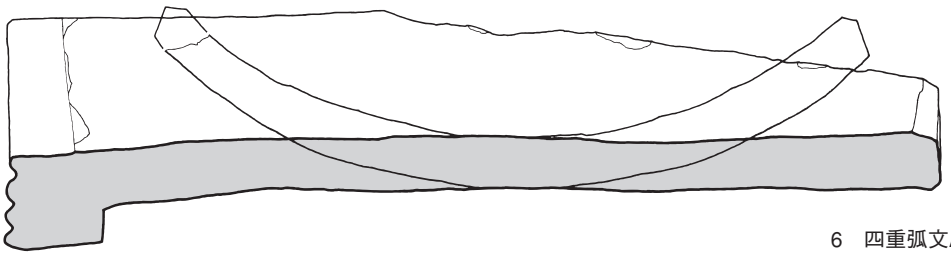
3　四重弧文AI3



4　四重弧文AI4



5　四重弧文AI5



6　四重弧文AI6

0　1：3　20cm

1　四重弧文AI1

2　四重弧文AI2

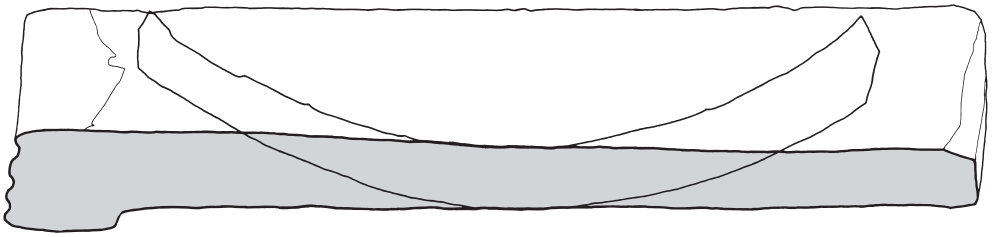
3　四重弧文AI3

4　四重弧文AI4

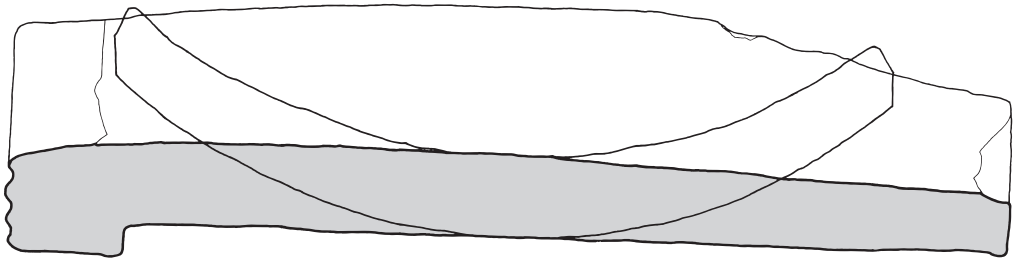
5　四重弧文AI5

6　四重弧文AI6

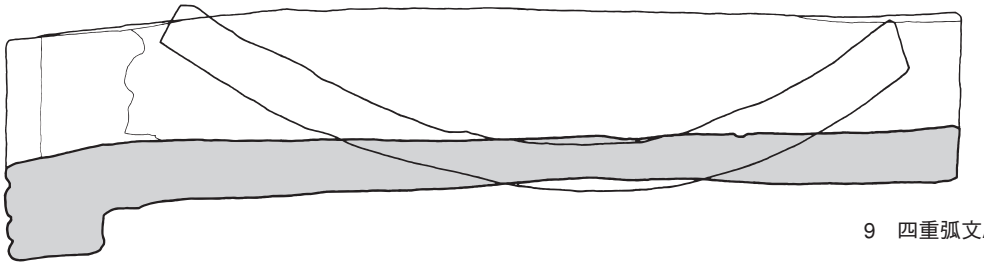
1：3



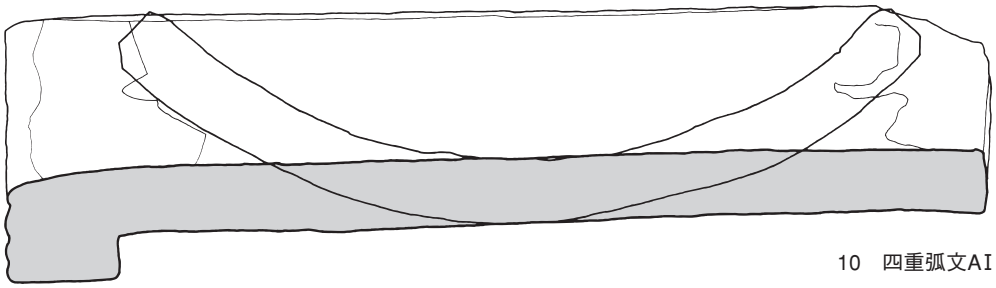
7　四重弧文AI7



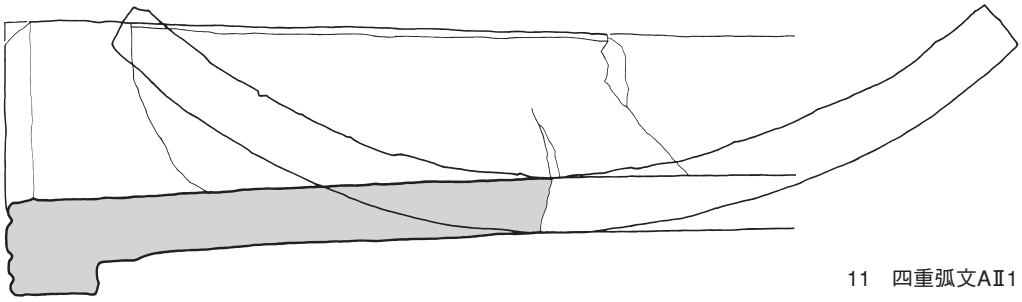
8　四重弧文AI8



9　四重弧文AI9



10　四重弧文AI10



11　四重弧文AⅡ1

12　四重弧文AⅡ2

0　1：3　20cm

7　四重弧文AⅠ7

8　四重弧文AⅠ8

9　四重弧文AⅠ9

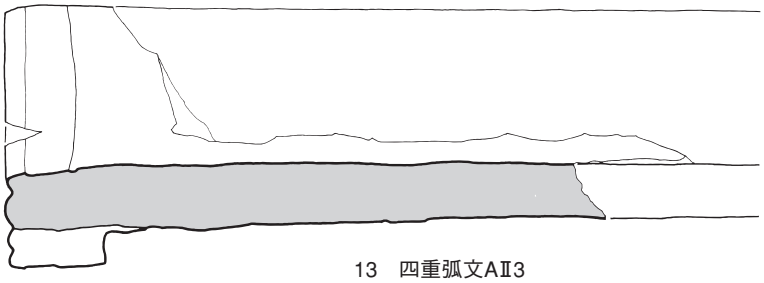
10　四重弧文AⅠ10

11　四重弧文AⅡ1

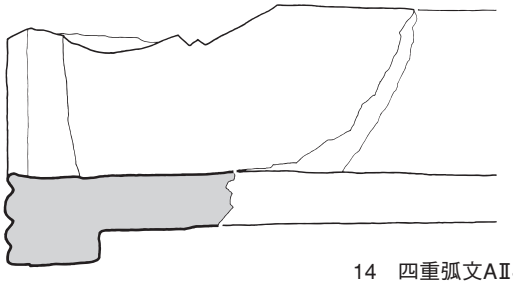
12　四重弧文AⅡ2

1：3

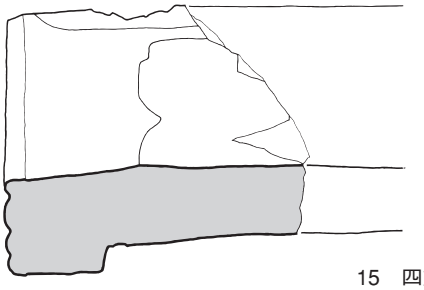
軒平瓦細部写真 1（四重弧文AⅡ）



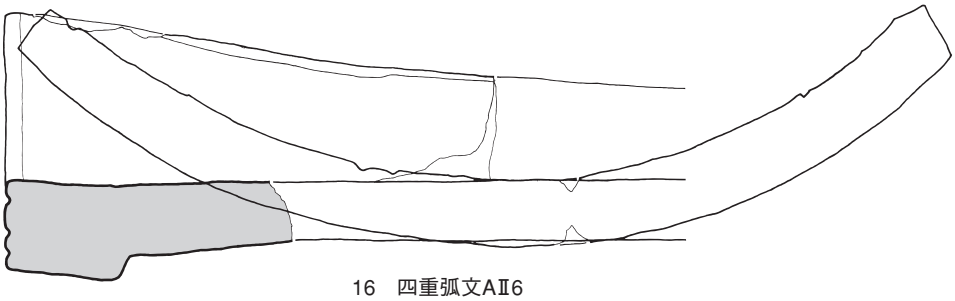
13　四重弧文AⅡ3



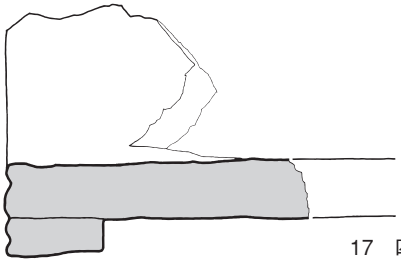
14　四重弧文AⅡ4



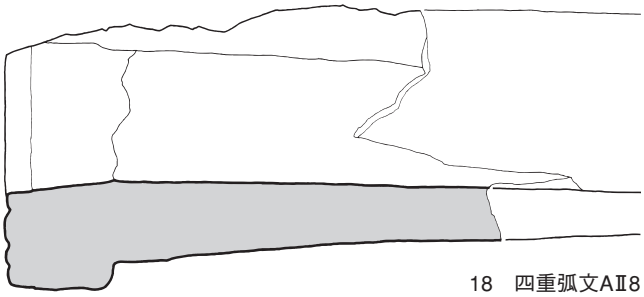
15　四重弧文AⅡ5



16　四重弧文AⅡ6

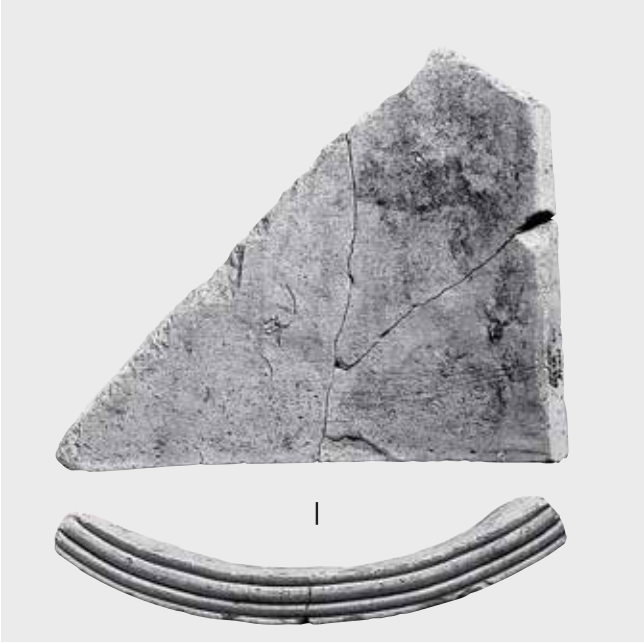


17　四重弧文AⅡ7

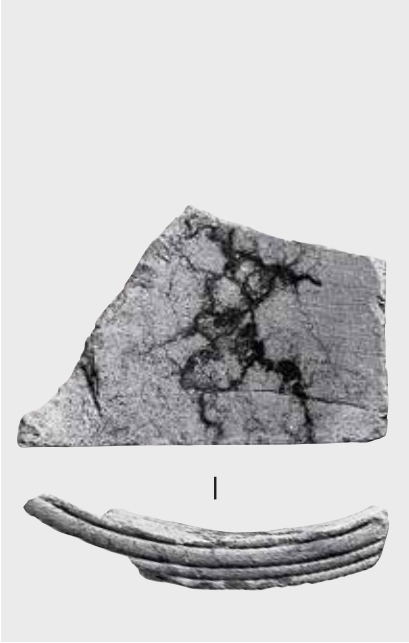


18　四重弧文AⅡ8

0　1：3　20cm



1　平瓦部を打ち欠いて作った隅軒平瓦（AⅡ4）。
1：3（1・2は1：6）



2　同左（AⅡ3）。

13　四重弧文AⅡ3

14　四重弧文AⅡ4

15　四重弧文AⅡ5

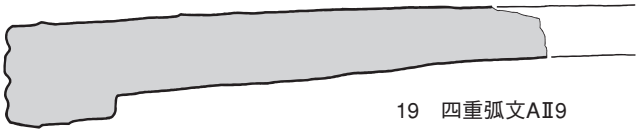
16　四重弧文AⅡ6

17　四重弧文AⅡ7

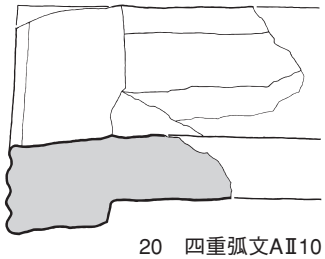
18　四重弧文AⅡ8

1：3

軒平瓦細部写真 2（四重弧文AⅡ）



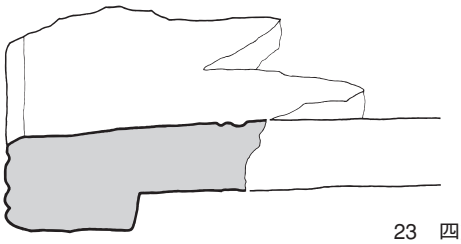
19　四重弧文AⅡ9



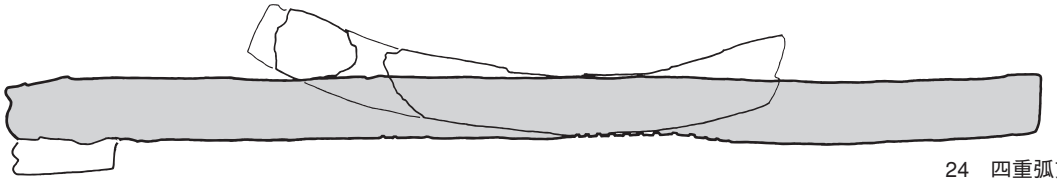
20　四重弧文AⅡ10

22　四重弧文AⅡ12

21　四重弧文AⅡ11



23　四重弧文AⅡ13



24　四重弧文AⅡ

0　1：3　20cm

1　左側辺の中央を削り欠き、その脇を穿孔した特殊品。使用法不明（AⅡ）。

2　側辺に抉り（AⅡ12）。

1：3（1・2は1：6）

19　四重弧文AⅡ9

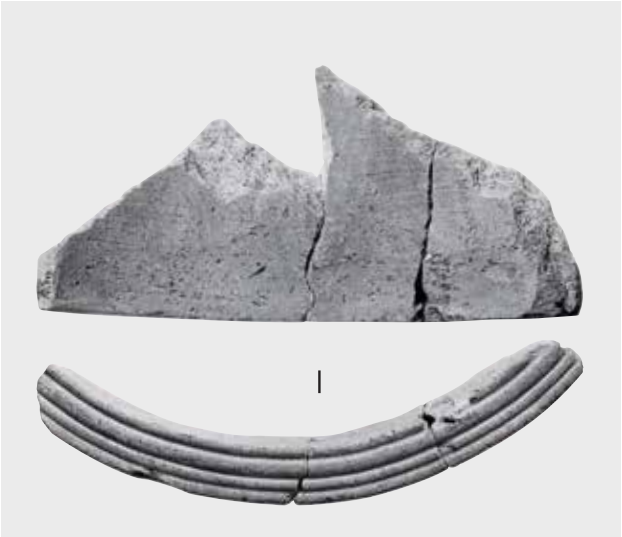
20　四重弧文AⅡ10

21　四重弧文AⅡ11

22　四重弧文AⅡ12

23　四重弧文AⅡ13

1　平瓦部を打ち欠いた隅軒平瓦（AⅡ5）。



2　同左（AⅡ6）。

1：3（1・2は1：6）

軒平瓦細部写真 3（四重弧文AⅠ）

1　布a1の布綴じ合わせ目（左）と縫い目（右）。側板痕1（AI1）。

2　布a1の縫い目。綴じ合わせ目がみえない。側板痕1（AI2）。

3　布a2の綴じ合わせ目と縫い目。側板痕1（AI2）。

4　布cの布綴じ合わせ目（左）と縫い目（右）。側板痕3（AI10）。

5　布bの綴じ合わせ目（右）と縫い目（左）。側板痕1（AI4）。

6　右側辺に現れた布bの布綴じ痕跡。側板痕2（AI5）。

1：6

1　布a1は縫い目1条。

2　布a2は縫い目2条。右の縫い目一致。

3　布b（AI4）。

4　顎剥離面。キザミ目や叩き目はない（AI10）。

5　顎接合粘土に残る布圧痕（AI1）。

6　叩き締めの円弧を描く平行叩き目（AI1）。

7　平行叩き目と斜格子叩き目の共存（AI7）。

6・7　1：6

軒平瓦細部写真 5（四重弧文ＡⅠ）

1　側板痕1（AI7）。

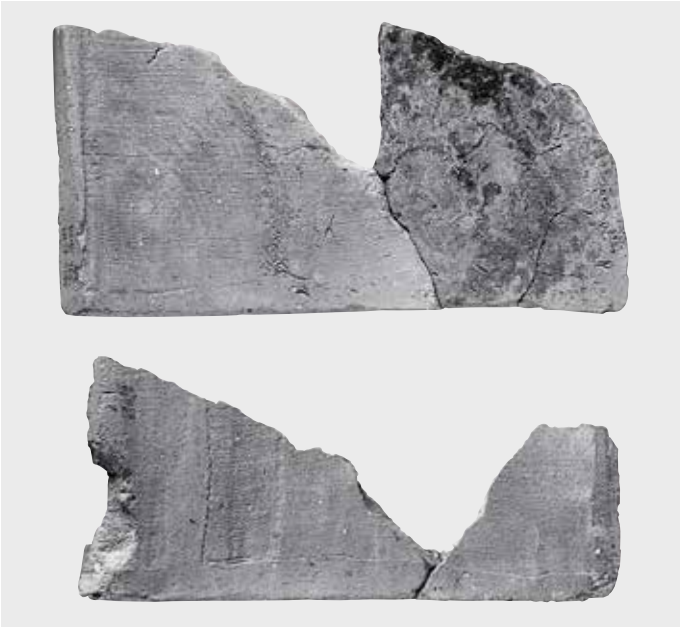
2　側板痕2（AI7）。

3　側板痕3（AI5）。

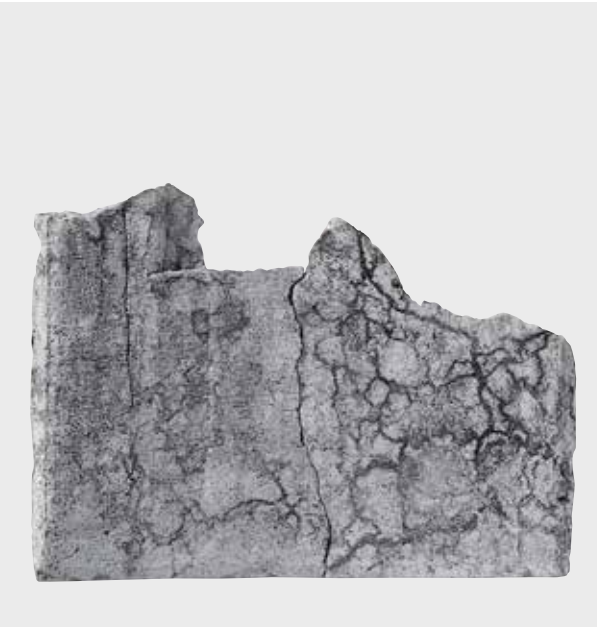
4　側板痕4（AI2）。

5　平瓦に転用され、広・狭端両側に風蝕をもつ例（AI5）。
1：6

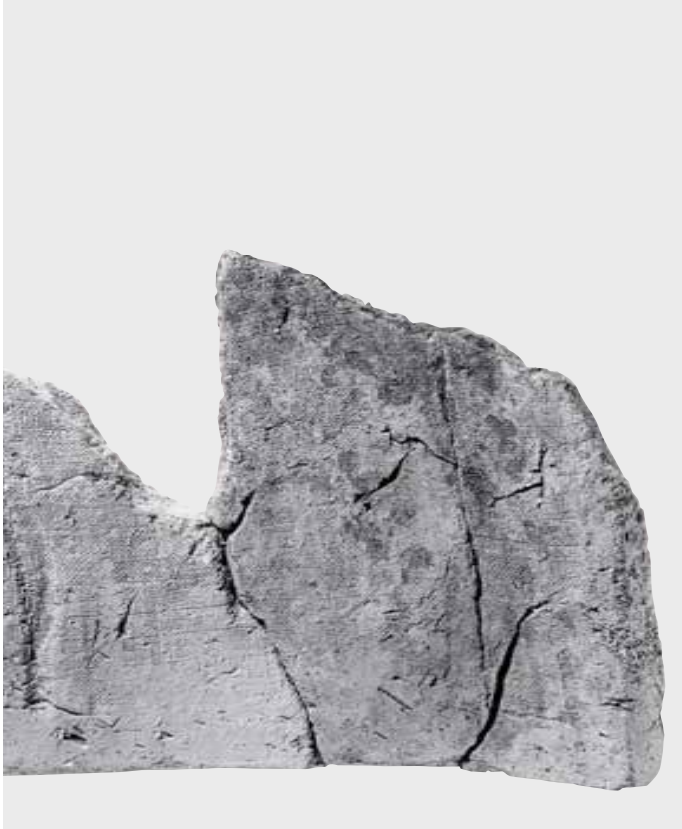
6　焼成後に打ち欠いて作られた隅軒平瓦（AI2）。

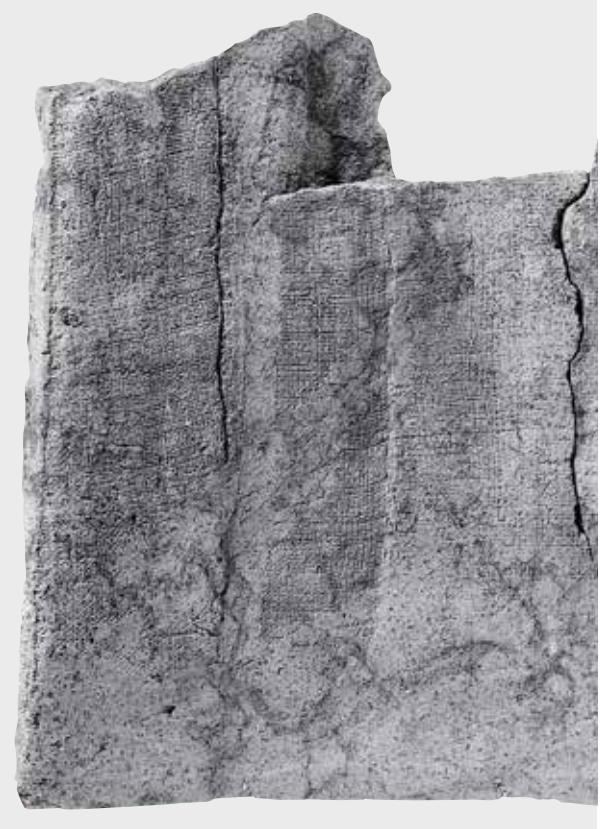


1　AⅡの布綴じ痕跡2種（上AⅡ6、下AⅡ4）。



2　1下と同じ布綴じ。粘土合わせ目の位置ほぼ一致（AⅡ1）。





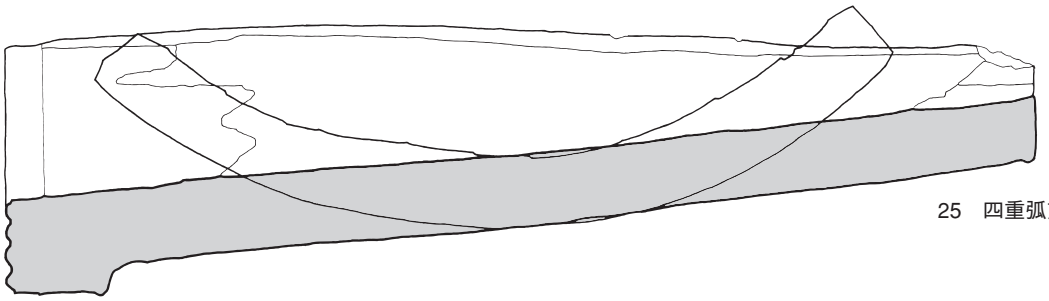
3　2種の布綴じ痕跡の比較。

4　顎剥離面の平行叩き目（AⅡ8）。

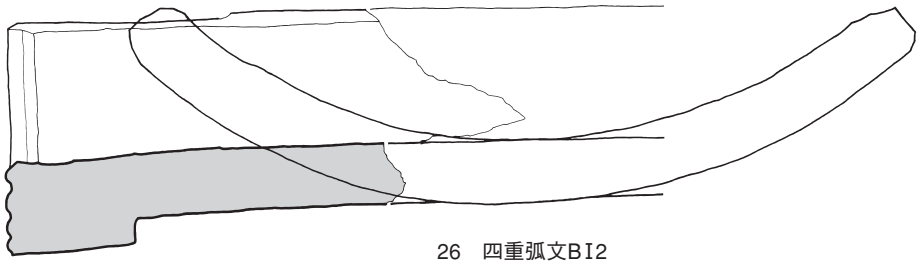
5　平行叩き目（AⅡ6）。

6　凸面格子叩き目（AⅡ1）。

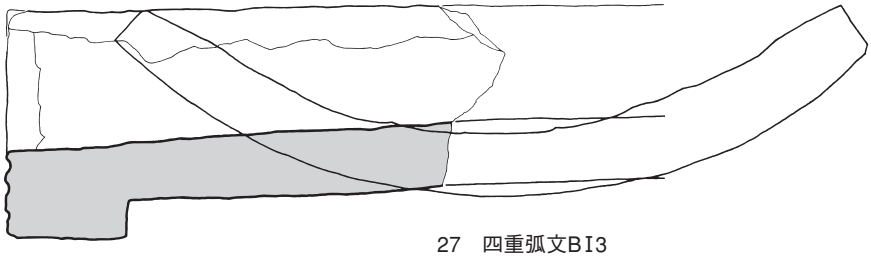
1・2・5・6　1：6



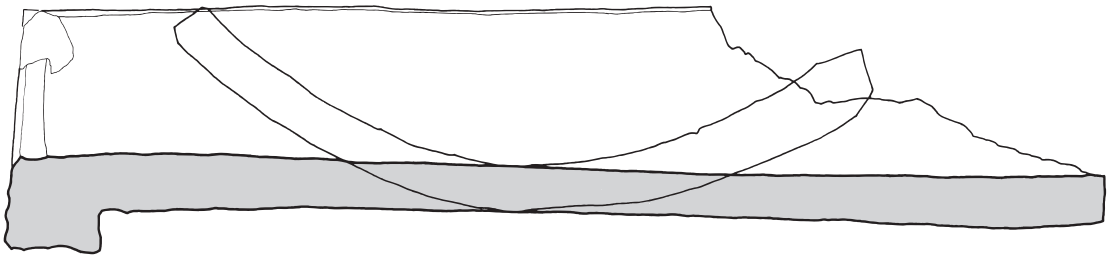
25　四重弧文BI1



26　四重弧文BI2

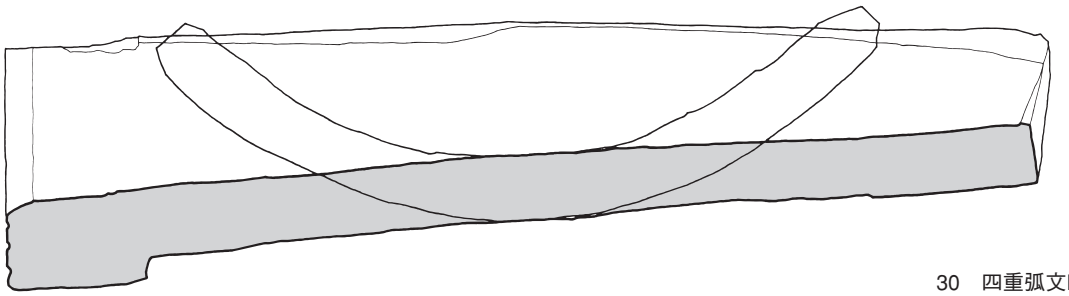


27　四重弧文BI3



28　四重弧文BI4

29　四重弧文BI5



30　四重弧文BI6

0　1：3　20cm

25　四重弧文ＢⅠ1

26　四重弧文ＢⅠ2

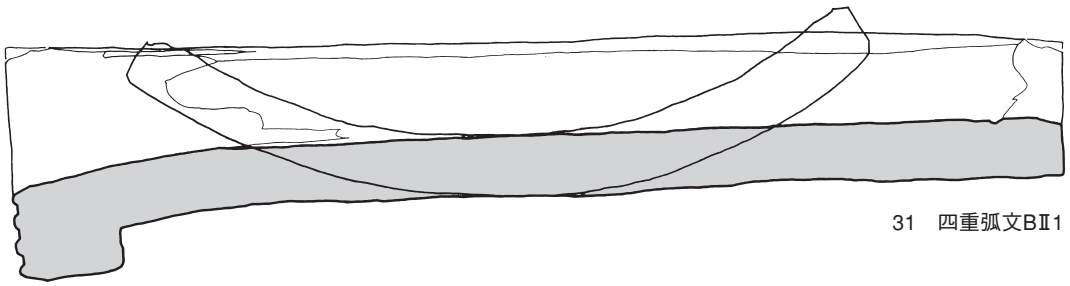
27　四重弧文ＢⅠ3

28　四重弧文ＢⅠ4

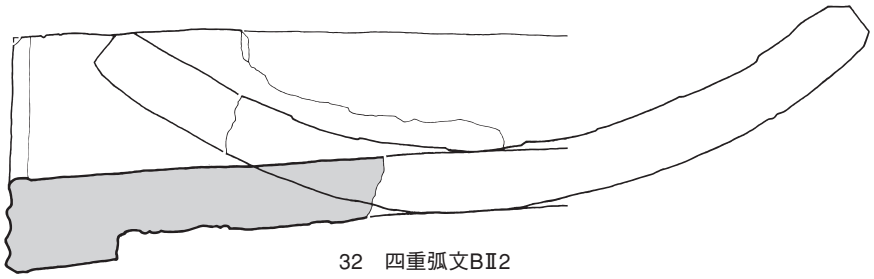
29　四重弧文ＢⅠ5

30　四重弧文ＢⅠ6

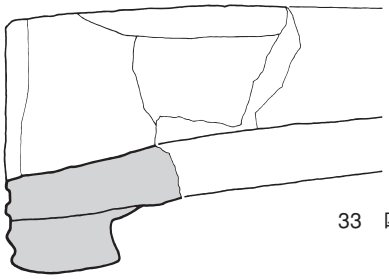
1：3



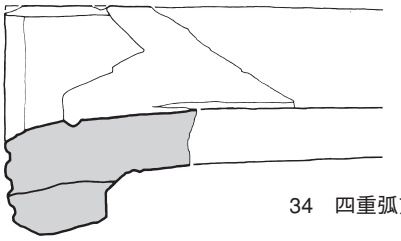
31　四重弧文BⅡ1



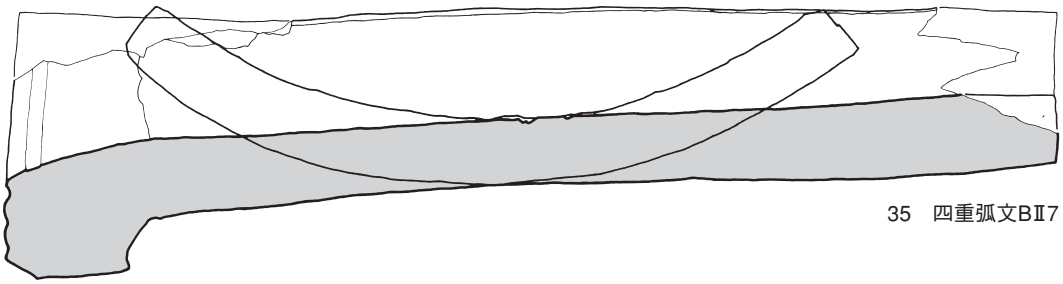
32　四重弧文BⅡ2



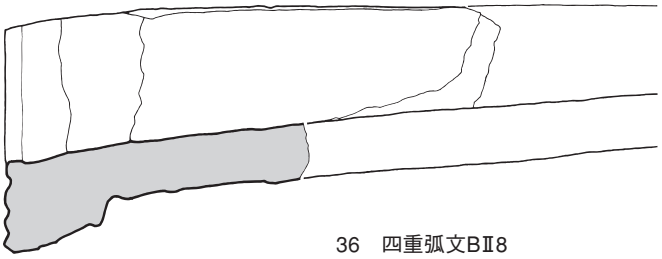
33　四重弧文BⅡ3



34　四重弧文BⅡ4



35　四重弧文BⅡ7



36　四重弧文BⅡ8

0　1：3　20cm

31　四重弧文BⅡ1

32　四重弧文BⅡ2

33　四重弧文BⅡ3

34　四重弧文BⅡ4

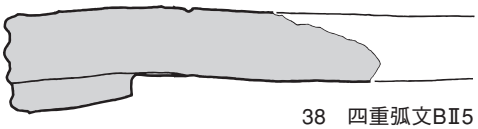
35　四重弧文BⅡ7

36　四重弧文BⅡ8

1：3

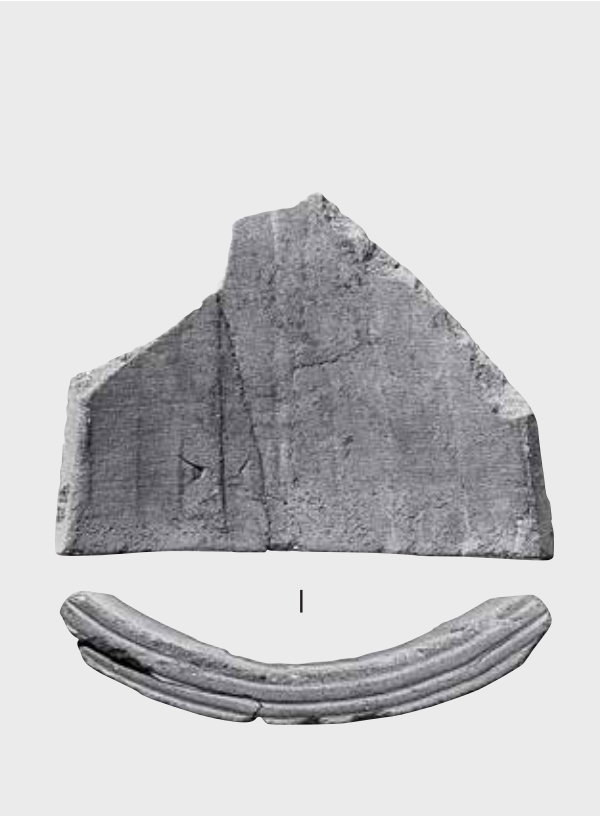
軒平瓦細部写真 7（四重弧文BⅡ）

37　四重弧文BⅡ6



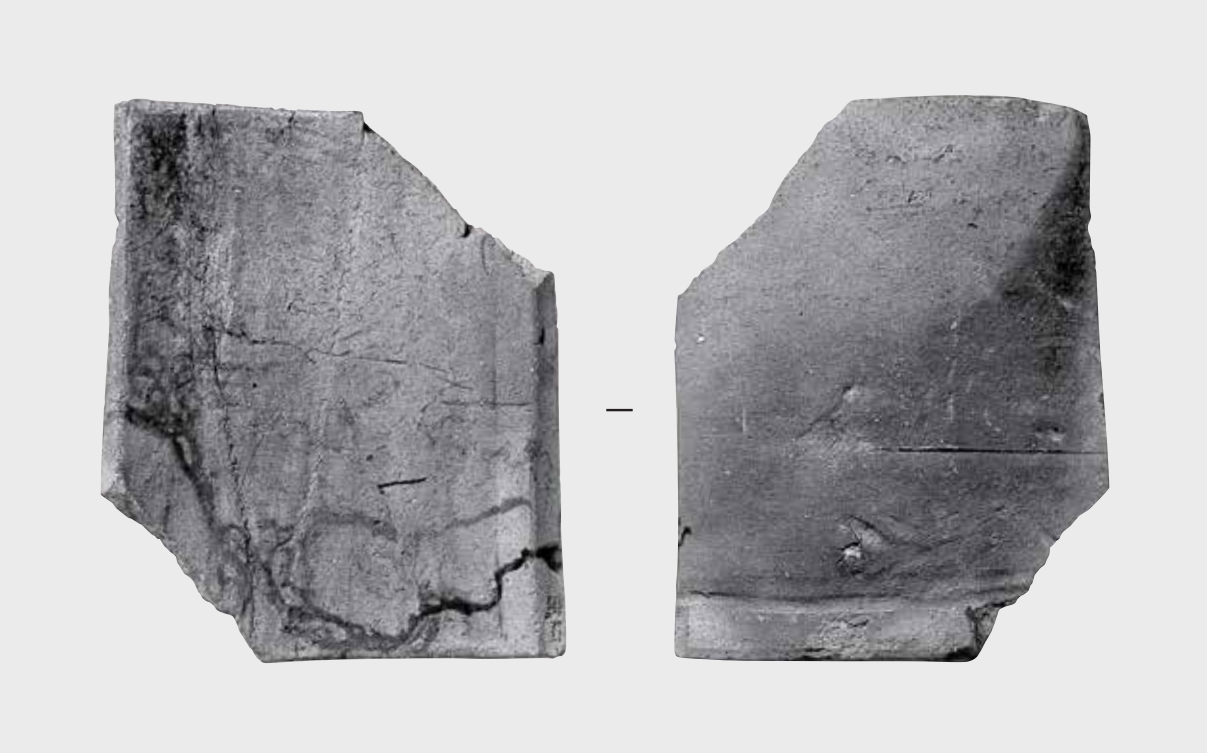
38　四重弧文BⅡ5

0　1：3　20cm



1　隅軒平瓦。布jの綴じ合わせ目（左）と縫い目（右）（BⅡ8）。

2　側板痕と粘土板合わせ目Z（BⅡ4）。



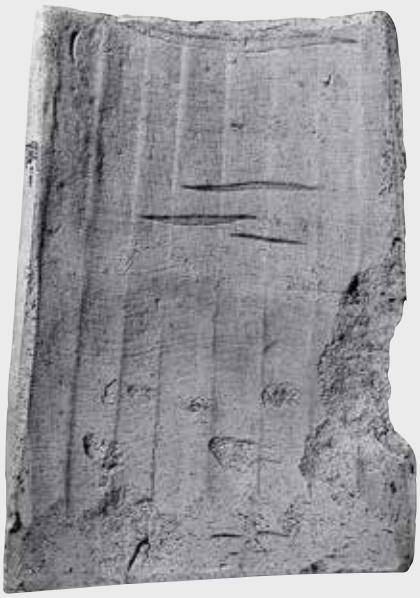
3　凹凸面の調整。凹面に布jの布綴じ痕跡（BⅡ1）。

1：3（1〜3は1：6）

37　四重弧文BⅡ6

38　四重弧文BⅡ5

1　凹面は両端部以外、調整しない。凸面ナデ調整だが、斜格子叩き目あり（BⅡ1）。



2　桶側板痕は上下で段差が逆転。桶中段に綴じ紐（BⅡ1）。

3　顎剥離面の叩き目（BⅡ7）。

4　瓦当面のキザミ。施文後の分割を示す（BⅡ1）。

1：3（1・2は1：6）

軒平瓦細部写真 8（四重弧文BⅠ）

1　平瓦部を打ち欠いて作った隅軒平瓦（BI2）。

2　同左（BI3）。

3　布eの縫い目（左）と綴じ合わせ目（右、BI1）。

4　布ｆの互いに平行する縫い目と綴じ合わせ目（BI1）。

5　布eの綴じ合わせ目（中央右寄り、BI1）。

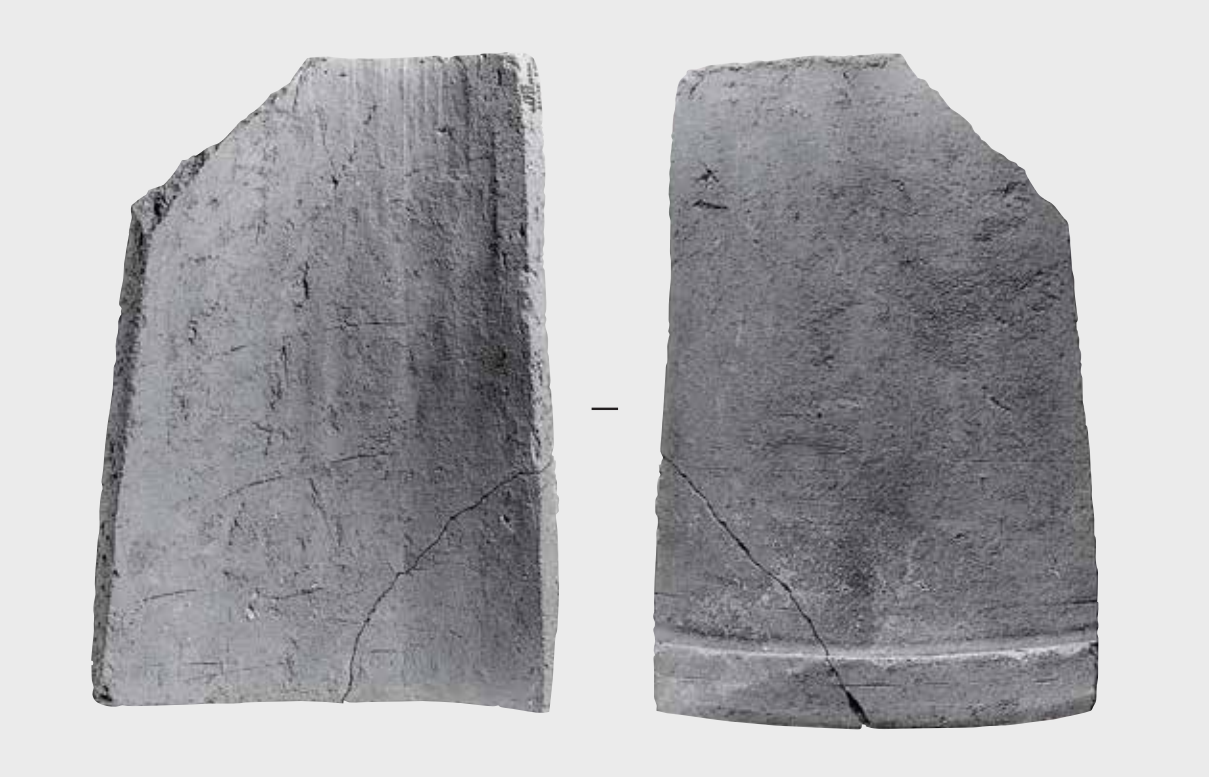
6　布gの綴じ合わせ目（BI2）。

1：6

1　粘土板合わせ目Zと布袋のダーツ。布hか（BI4）。

2　布ｈの綴じ合わせ目と縫い目（BI4）。

3　２とは表裏逆転した布ｈの綴じ合わせ目（BI4）。



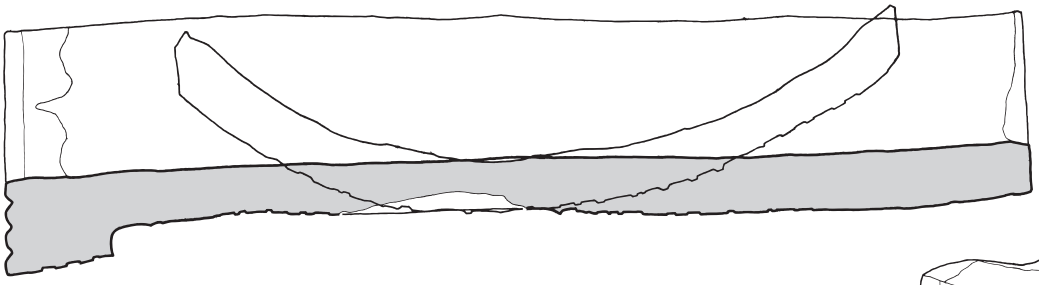
4　BI2の凹凸面。凹面ナデ調整。狭端部に内叩き痕跡。凸面全面ヨコナデ調整。

5　瓦当部に残る分割線（BI2）。

6　施文具がずれて重複（BI4）。

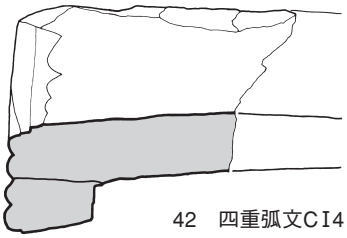
1：6（5・6は除く）

軒平瓦細部写真 10（四重弧文CⅠ）

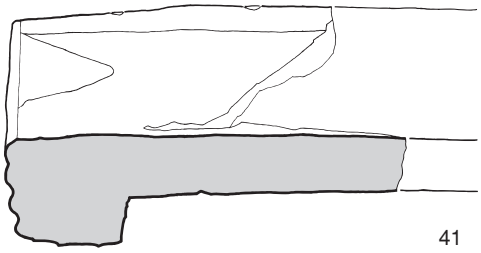


39　四重弧文CI1

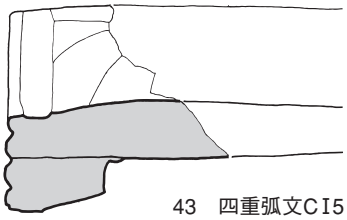
40　四重弧文CI2



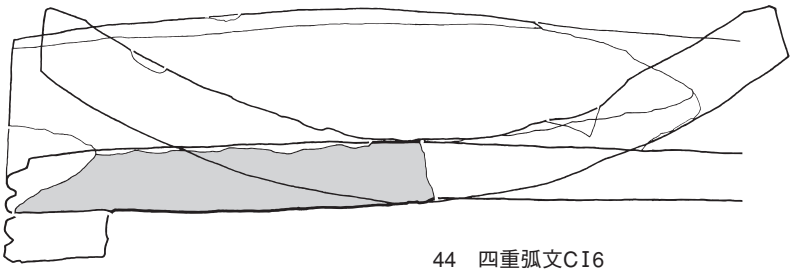
42　四重弧文CI4



41　四重弧文CI3

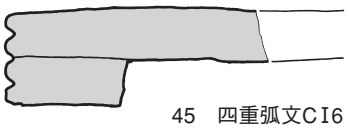


43　四重弧文CI5

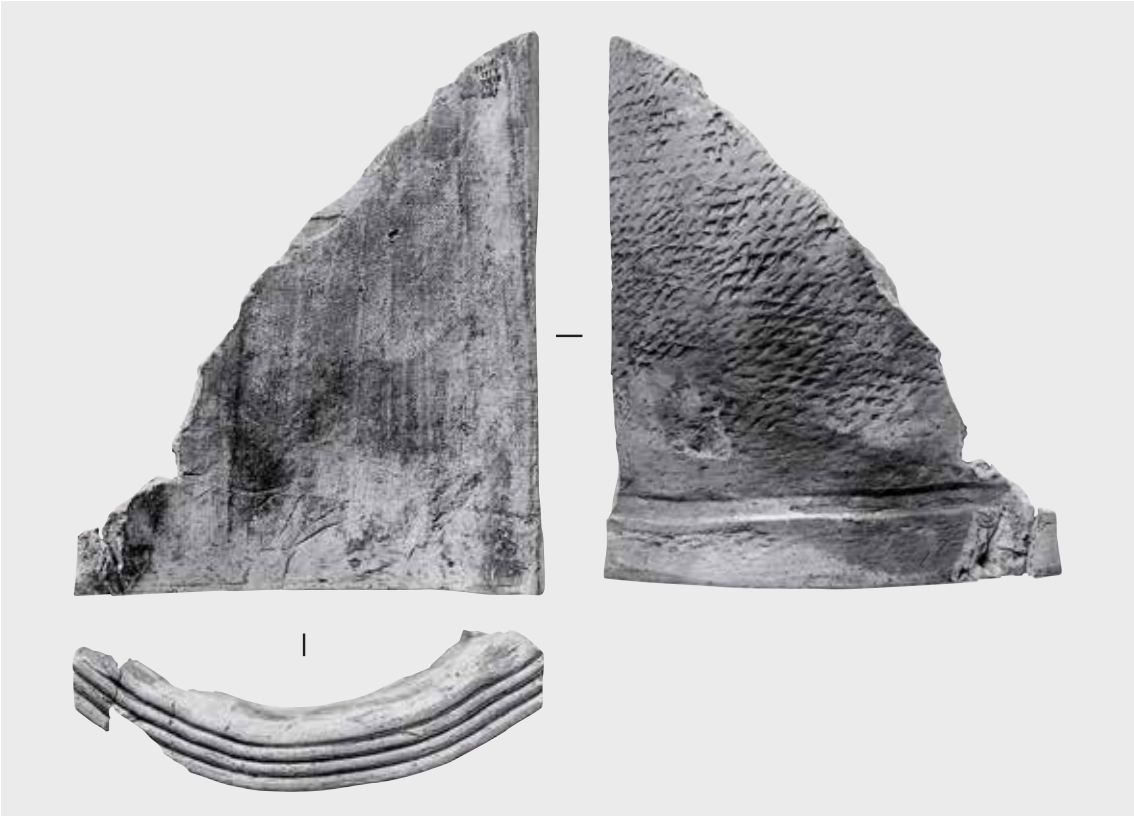


44　四重弧文CI6

0　1：3　10cm



45　四重弧文CI6



1　平瓦部を打ち欠いて作った隅軒平瓦（CI1）。

1：3（1は1：6）

39　四重弧文CⅠ1

40　四重弧文CⅠ2

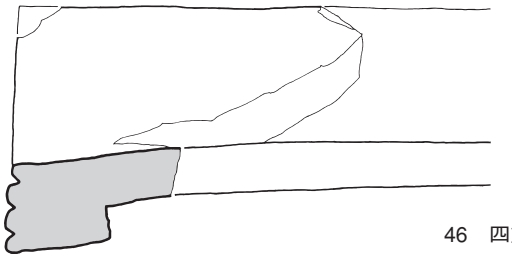
41　四重弧文CⅠ3

42　四重弧文CⅠ4

43　四重弧文CⅠ5

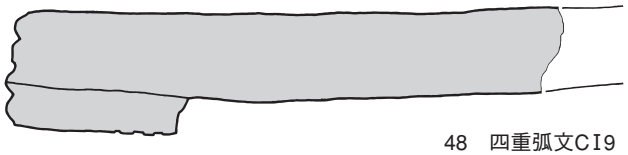
44　四重弧文CⅠ6

1：3

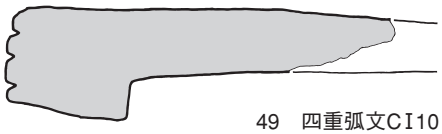


46　四重弧文CⅠ7

47　四重弧文CⅠ8

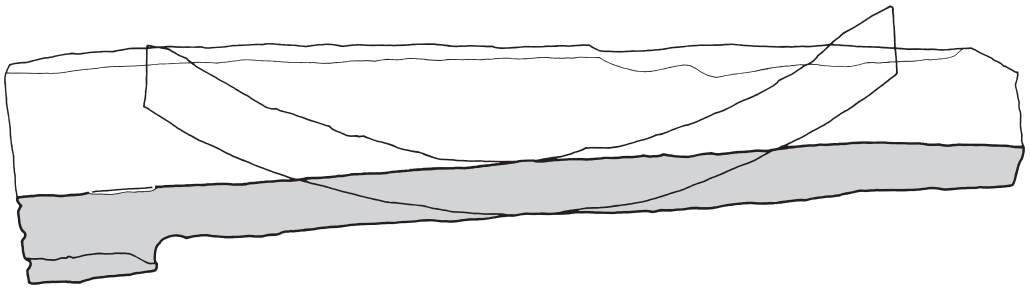


48　四重弧文CⅠ9

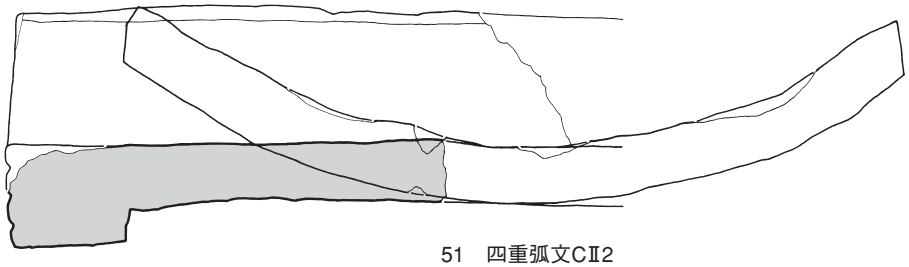


49　四重弧文CⅠ10

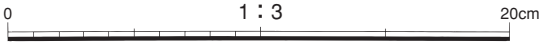
50　四重弧文CⅡ1



52　四重弧文CⅡ1



51　四重弧文CⅡ2



46　四重弧文CⅠ7

47　四重弧文CⅠ8

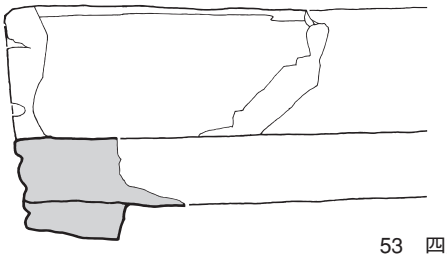
48　四重弧文CⅠ9

49　四重弧文CⅠ10

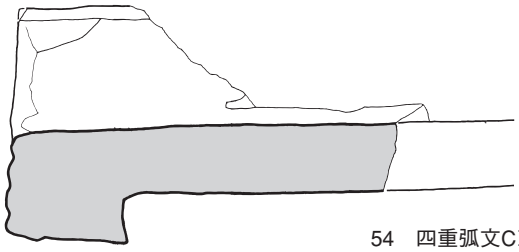
50　四重弧文CⅡ1

50　四重弧文CⅡ2

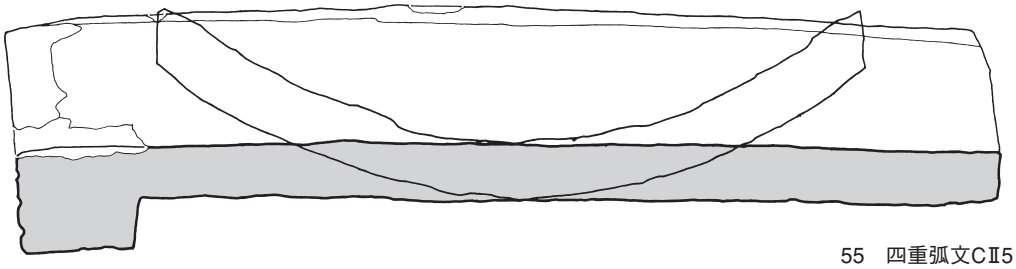
1：3



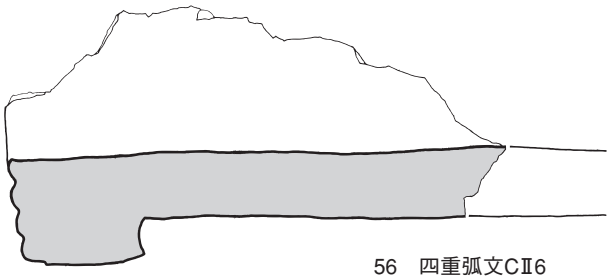
53　四重弧文CⅡ3



54　四重弧文CⅡ4



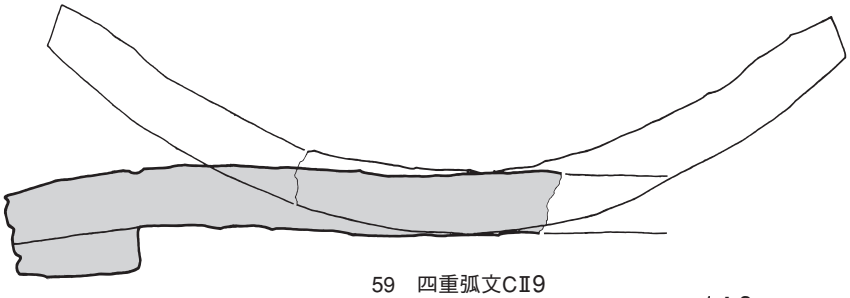
55　四重弧文CⅡ5



56　四重弧文CⅡ6

57　四重弧文CⅡ7

58　四重弧文CⅡ8



59　四重弧文CⅡ9

0　1：3　20cm

53　四重弧文CⅡ3

54　四重弧文CⅡ4

55　四重弧文CⅡ5

56　四重弧文CⅡ6

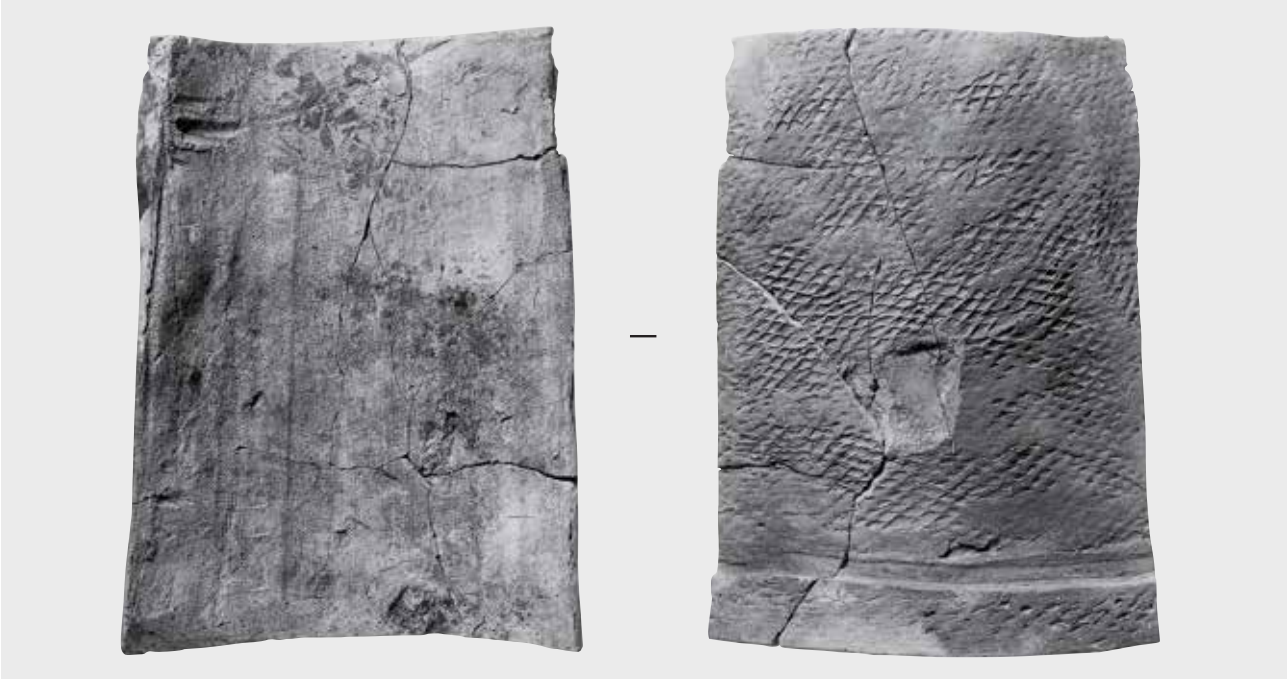
57　四重弧文CⅡ7

58　四重弧文CⅡ8

59　四重弧文CⅡ9

1：3

軒平瓦細部写真 11（四重弧文CⅠ）



1　凹面左側に布kの綴じ合わせ目と縫い目。凸面斜格子叩き目。叩き締めの円弧を描く（CI1）。

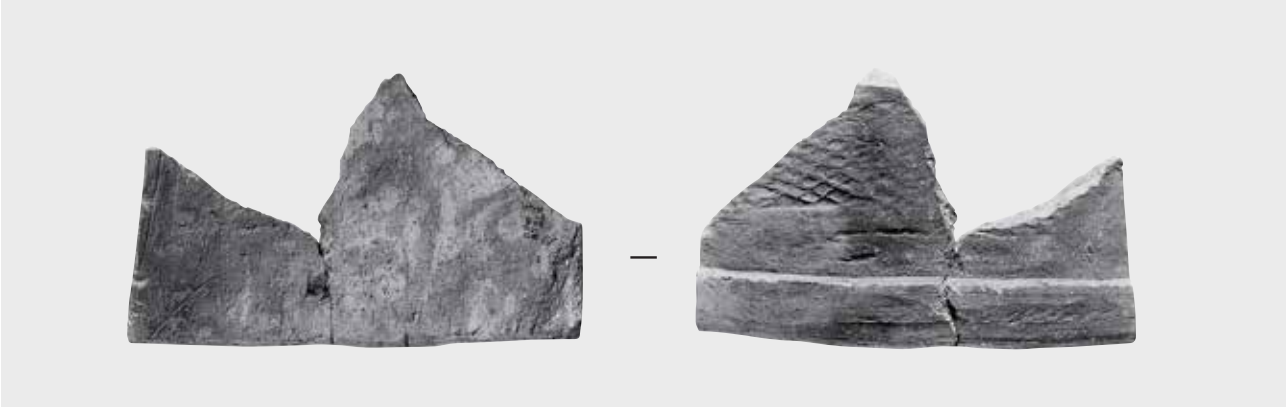
2　布mの綴じ合わせ目（CI1）。

3　顎剥離面のキザミ目（CI1）。

4　CI2の凹凸面。凹面不調整。分割凸帯の紐は中途で桶にくぐる。顎面ナデ調整だが叩き目あり。

5　CI4の凹凸面。凹面中央に粘土板合わせ目Z、右側に布oの綴じ合わせ目と縫い目。顎剥離面にはキザミ目。

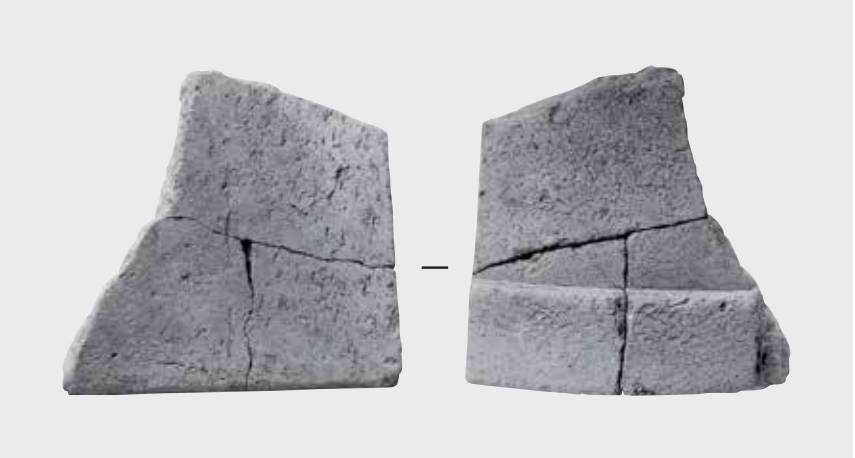
1：6



1　ＣＩ3の凹凸面。凹面はヘラケズリ調整。内叩き痕跡あり。凸面と顎面に叩き目。

2　ＣＩ5も凹面はヘラケズリ調整。施文具のあたりは深い。凸面顎剥離面にはキザミ目なし。

3　ＣＩ2凹面の斜格子叩き目。



4　ＣＩ9の凹凸面。凹面全面ヘラケズリ調整。顎面に叩き目。

5　ＣＩ1顎剥離面のキザミ目と布圧痕。

6　ＣＩ5顎剥離面と凹型台圧痕。

7　ＣＩ2顎剥離面の叩き目。

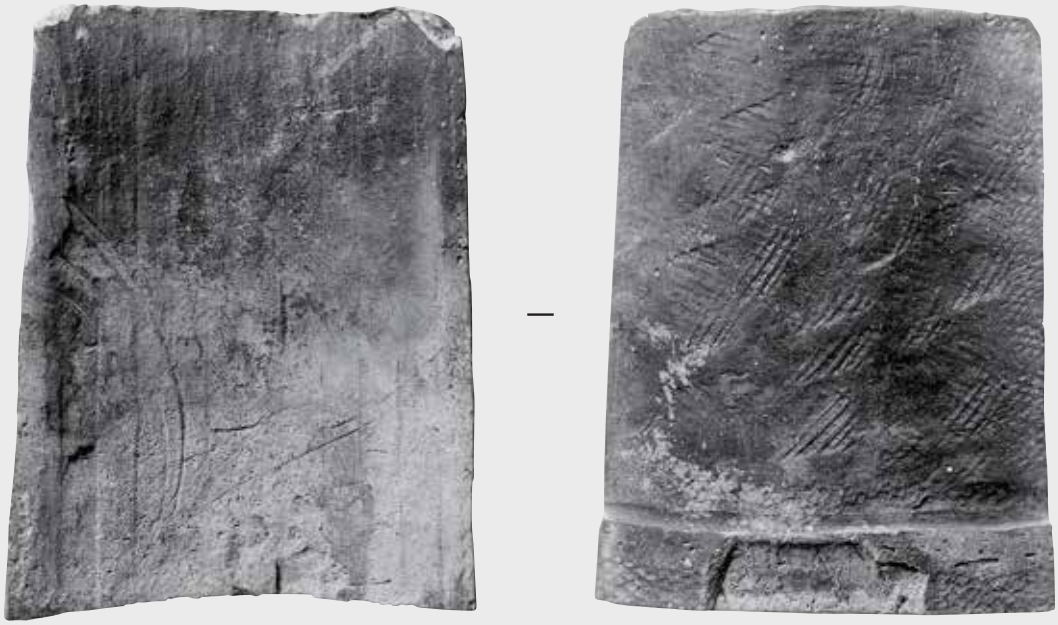
8　顎接合粘土板の合わせ目（ＣＩ1）。

9　同前（ＣＩ2）。

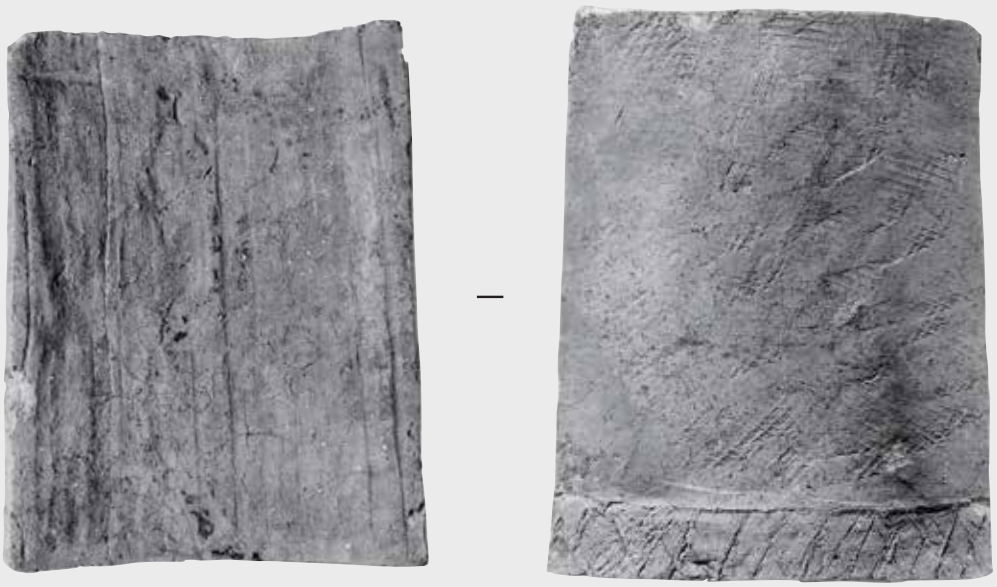
10　ＣＩ5凹面の内叩き痕跡。

1：6（5～10は除く）

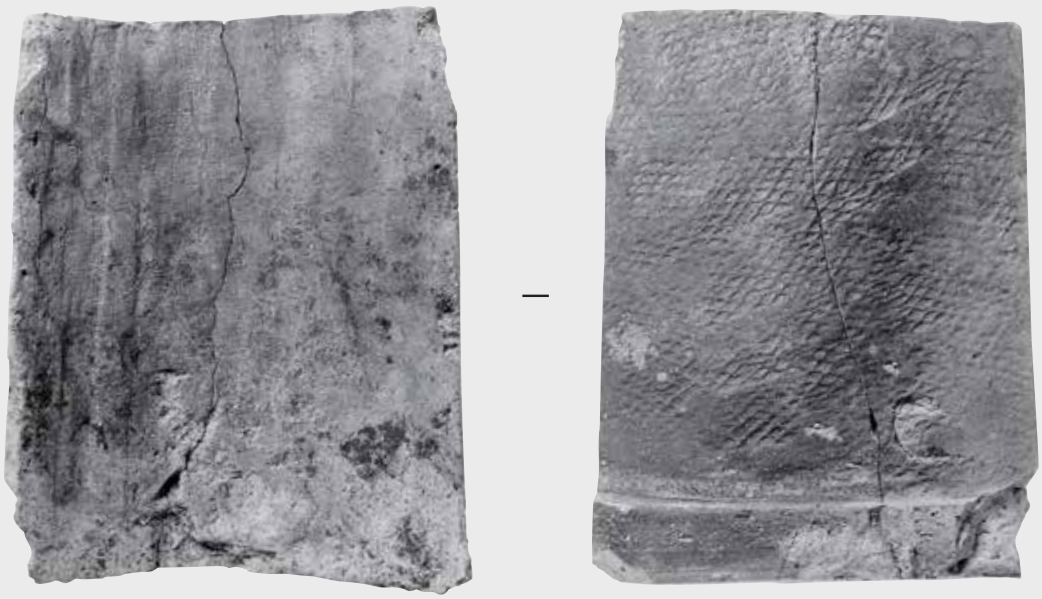
軒平瓦細部写真 13（四重弧文CⅡ）



1　CⅡ1の凹凸面。凹面不調整。桶側板痕と糸切り痕明瞭。凸面叩き目は叩き締めの円弧。斜格子叩き目2種。

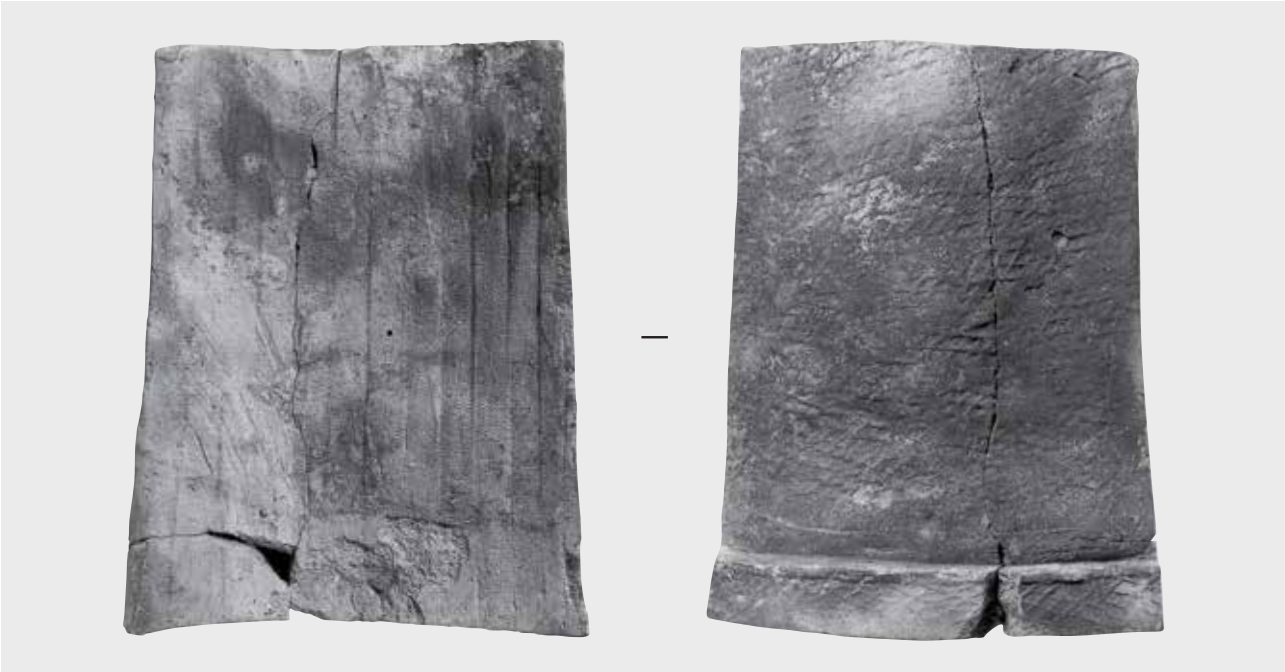


2　凹面左半中央に布綴じr。分割凸帯は紐。凸面斜格子叩き2種。顎剥離面に叩き目とキザミ目（CⅡ1）。

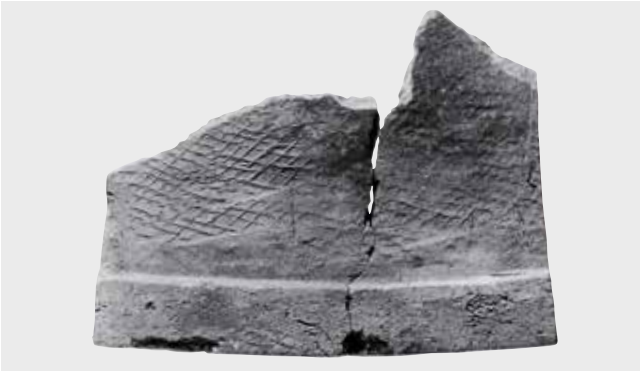


3　凹面左側辺に粘土板合わせ目S。顎面は全面ヘラケズリ調整。段部に凹型台の圧痕（CⅡ1）。

1：6



1　CⅡ5の凹凸面。凹面側板痕、糸切り痕、内叩き痕。凸面と顎面に斜格子叩き目。



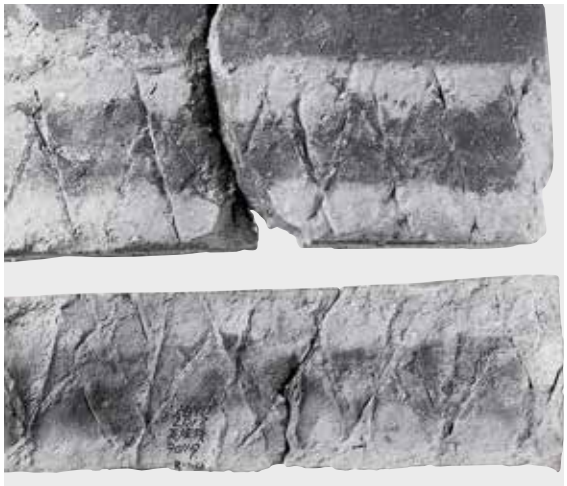
2　CⅡ2の凸面。顎面はヘラケズリ。

3　CⅡ6の凸面。顎面のヘラケズリと型のあたり。

4　布綴じs（CⅡ1）。

5　布綴じt（CⅡ2）。

6　布綴じu（CⅡ4）。

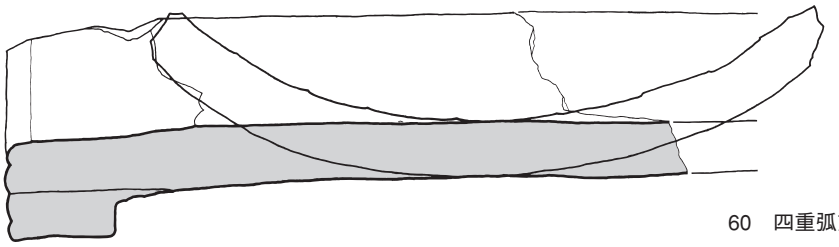


7　顎剥離面のキザミ目とそのネガ（CⅡ1）。

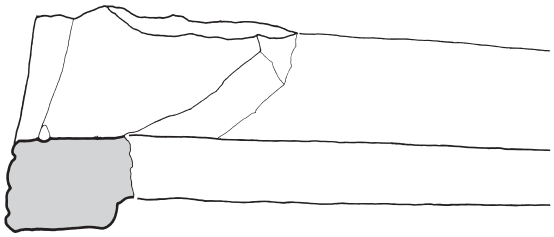
8　分割凸帯の紐（CⅡ2）。

9　焼成後ヘラ書「南十二」（CⅡ2）。

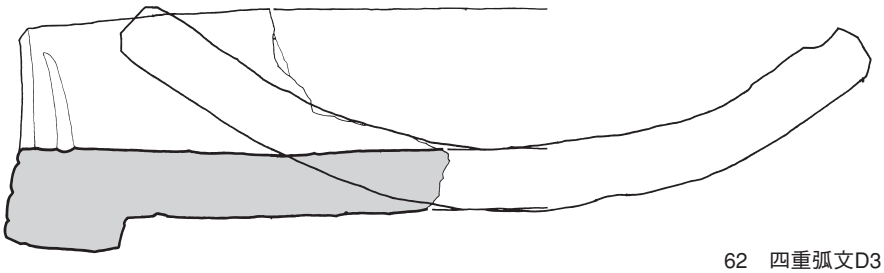
1：6（4～8は除く）



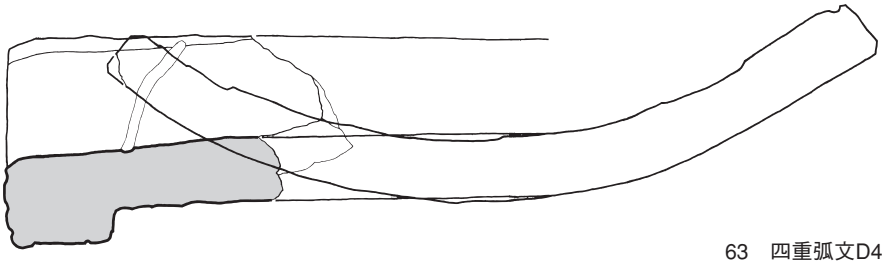
60　四重弧文D1



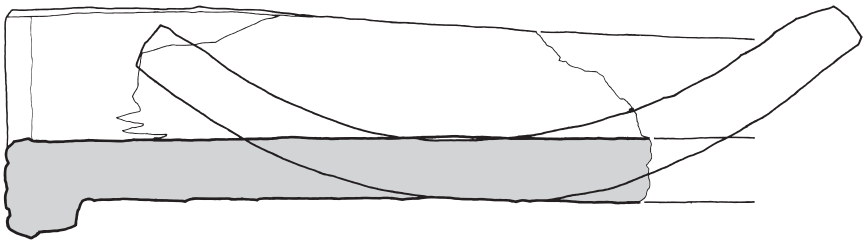
61　四重弧文D2



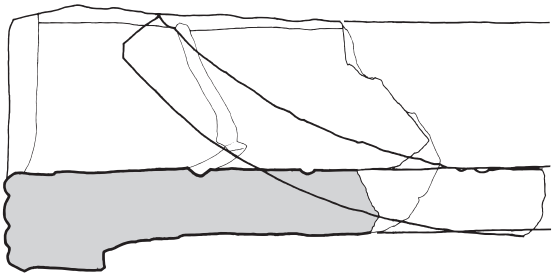
62　四重弧文D3



63　四重弧文D4



66　四重弧文D4



64　四重弧文D5

65　四重弧文D6

0　1：3　20cm

60 四重弧文D1

61 四重弧文D2

62 四重弧文D3

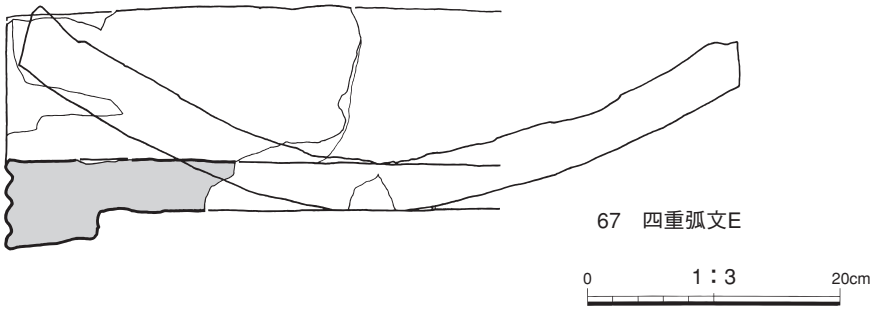
63 四重弧文D4

64 四重弧文D5

65 四重弧文D6

1：3

軒平瓦細部写真 15（四重弧文D）



67　四重弧文E

1　D2の凹面。桶側板痕と布綴じjの綴じ合わせ目。

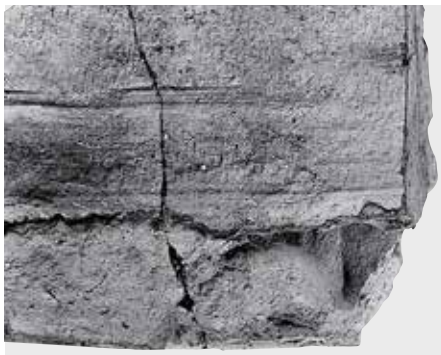
2　Dの凹面。桶側板痕明瞭。

3　布j。D2（左）とBⅡ8（右）は同じ布jを使う。綴じ合わせ目の比較。針目と布の糸目が一致。

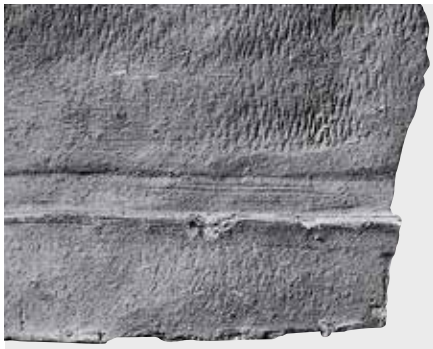
1：6（1〜3を除く。1・2は1：6）

67　四重弧文E

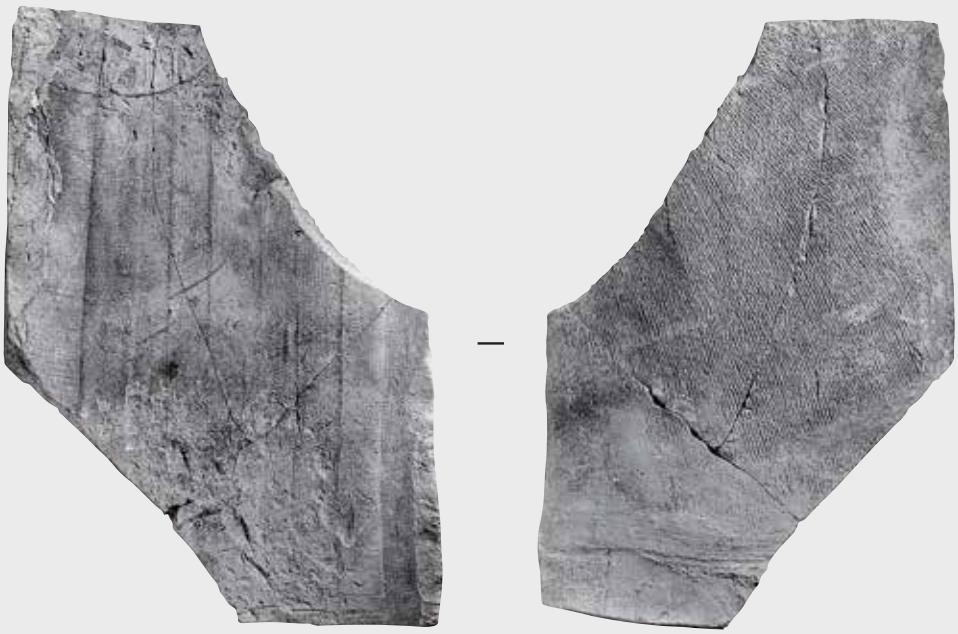
1　Eの凹面。布綴じw。側板痕は4と同じ。



2　Eの顎剥離面キザミ目なし。

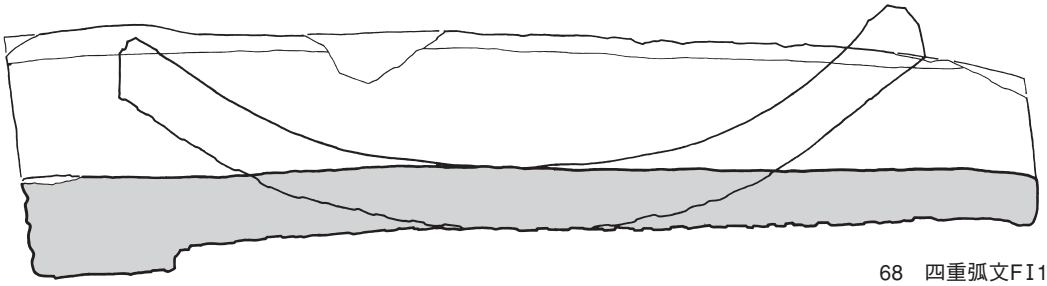


3　Eの顎面の叩き目。



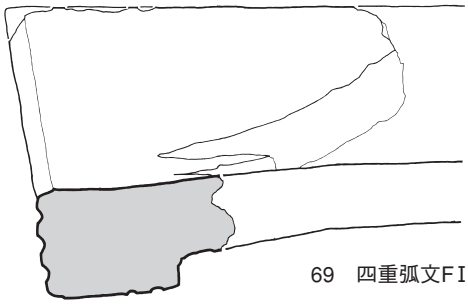
4　E凹面の側板痕跡。右の側板に短い凸帯2箇所。桶の連結に関係するか。凸面叩き締めの円弧。

1：3（1〜4を除く。4は1：6）

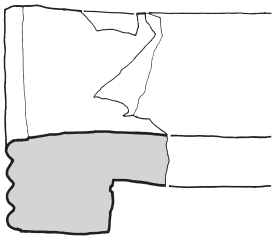


68　四重弧文FI1

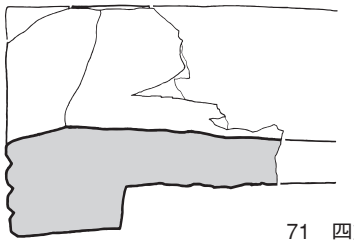
74　四重弧文FI1



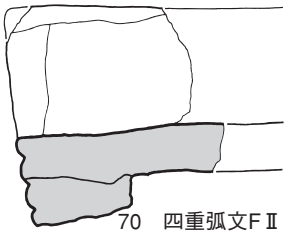
69　四重弧文FI2



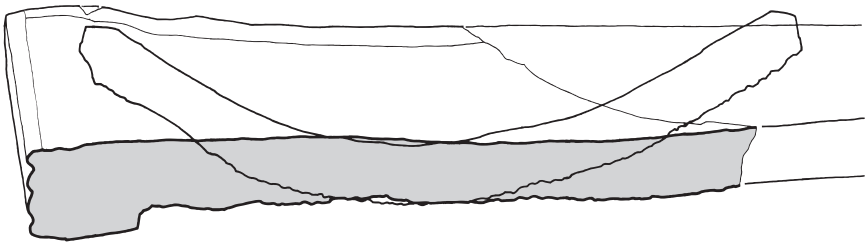
73　四重弧文GI2



71　四重弧文FⅡ



70　四重弧文FⅡ



72　四重弧文GI1

0　1：3　20cm

68 四重弧文FⅠ1

69 四重弧文FⅠ2

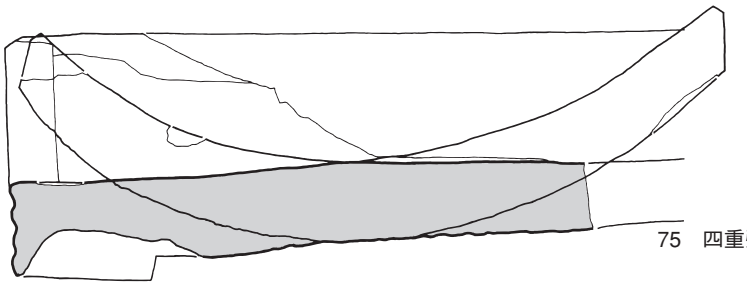
70 四重弧文FⅡ

71 四重弧文FⅡ

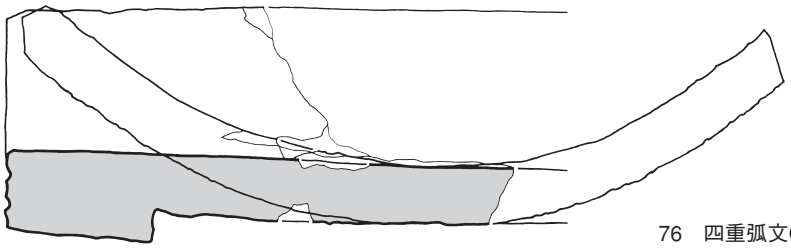
72 四重弧文GⅠ1

73 四重弧文GⅠ2

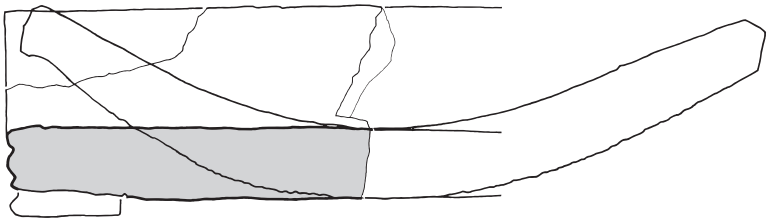
1：3



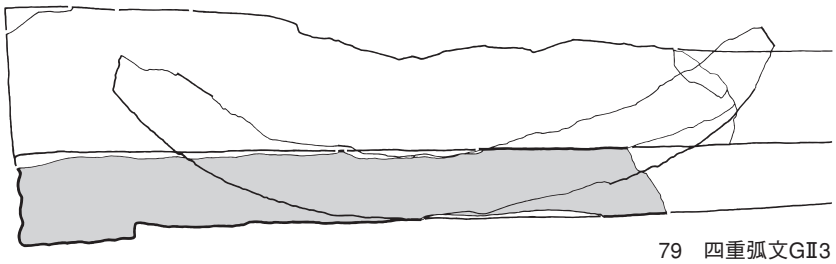
75　四重弧文GⅠ3



76　四重弧文GⅡ1



78　四重弧文GⅡ2



79　四重弧文GⅡ3

80　四重弧文GⅡ4

77　四重弧文GⅡ1

0　1：3　20cm

75 四重弧文GⅠ3

76 四重弧文GⅡ1

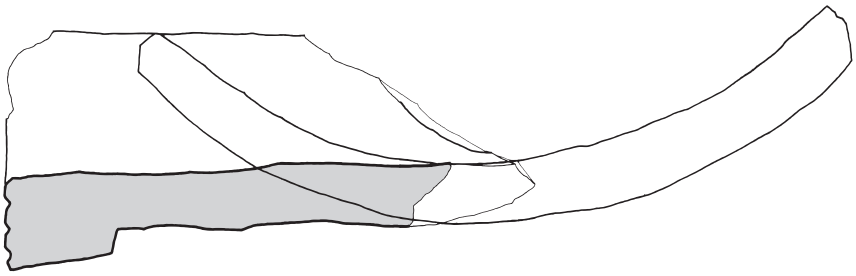
77 四重弧文GⅡ1

78 四重弧文GⅡ2

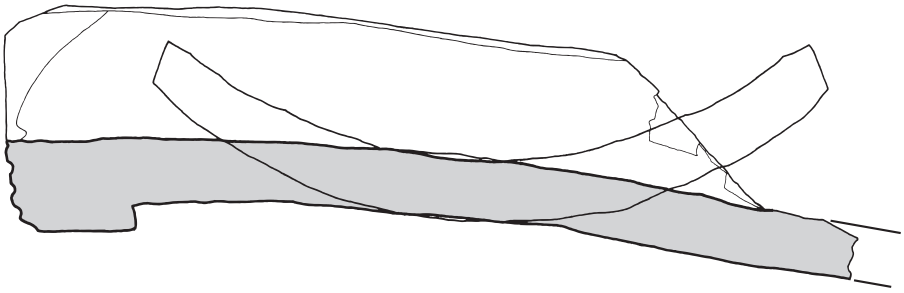
79 四重弧文GⅡ3

80 四重弧文GⅡ4

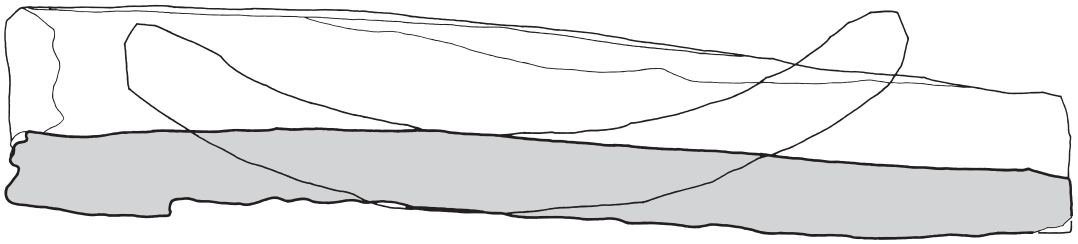
1：3



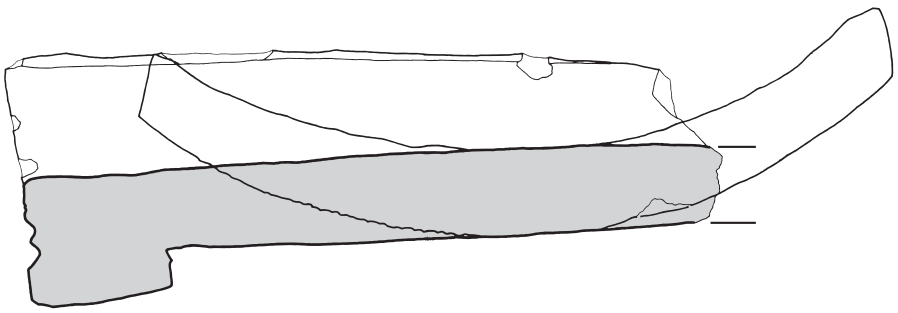
81　四重弧文HⅠ1



82　四重弧文HⅡ



83　四重弧文HⅢ1



84　四重弧文HⅢ2

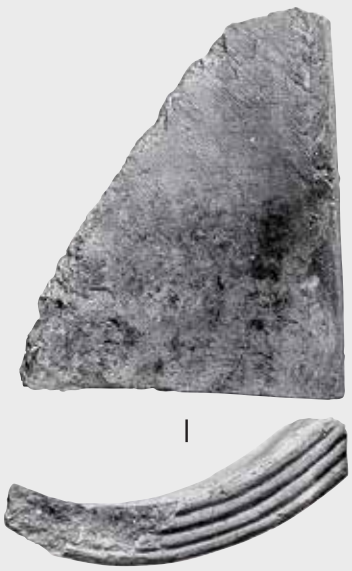
0　1：3　20cm

81　四重弧文HⅠ1

82　四重弧文HⅡ

83　四重弧文HⅢ1

84　四重弧文HⅢ2

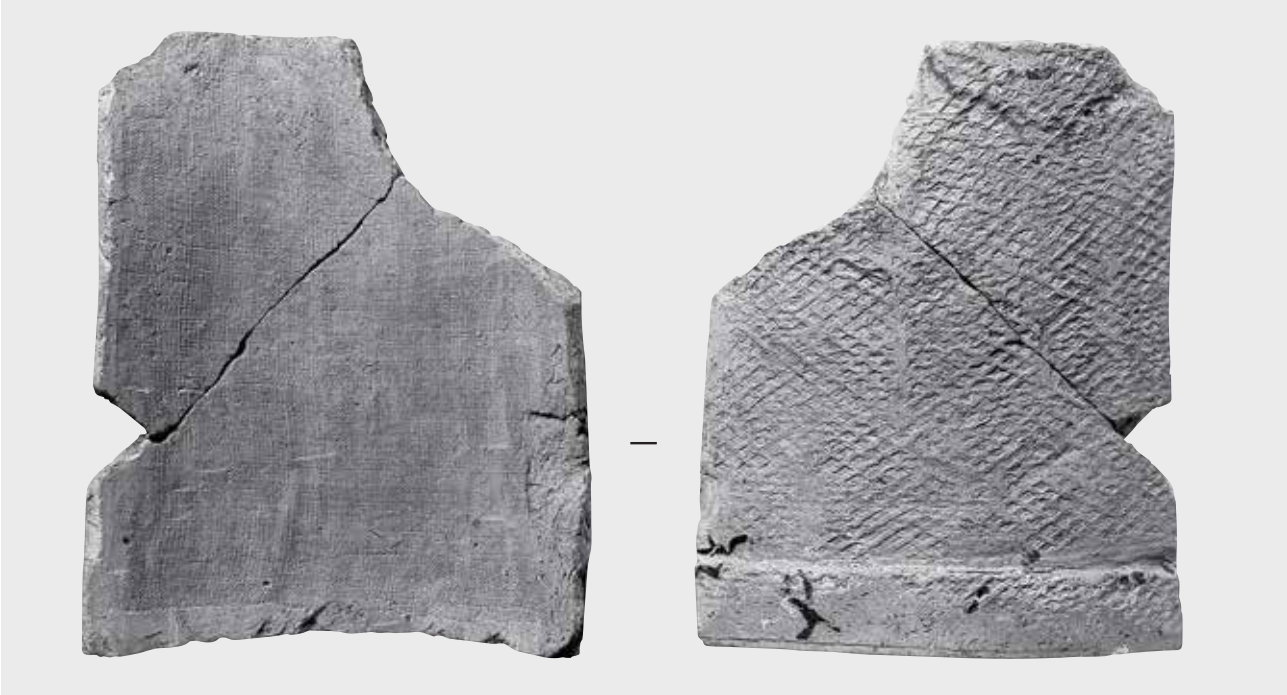


1　HⅠ1の隅軒平瓦。

2　GⅠ1の隅軒平瓦。

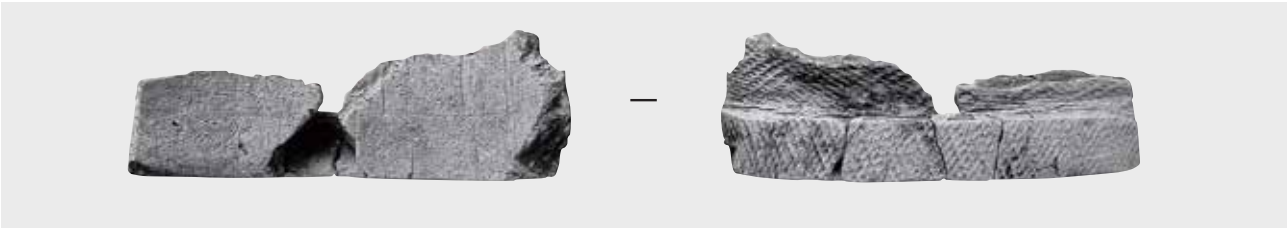
1：3（1・2を除く。1は1：6）

軒平瓦細部写真 16（四重弧文F・G）

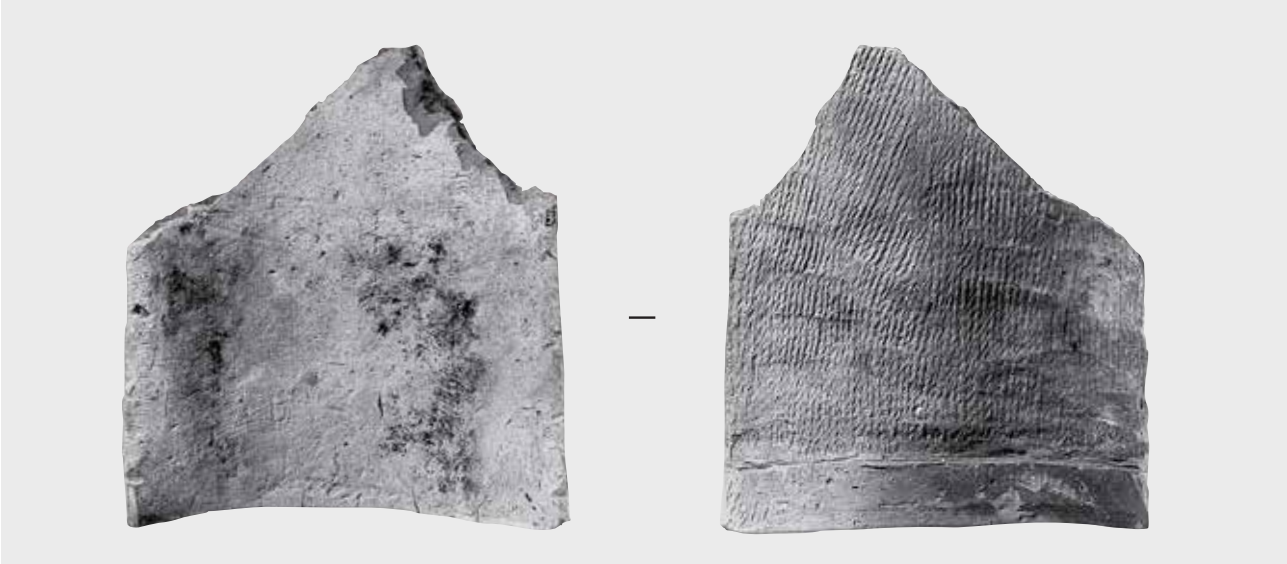


1　FⅠは金堂修理用で大型。凹面側板痕なし、内叩き痕あり。凸面粗い斜格子叩き目。顎面ヘラケズリ調整。

2　FⅡの凹凸面。FⅠより小型。凸面叩き目は細かい斜格子。顎面ヘラケズリ調整（aタイプ）。

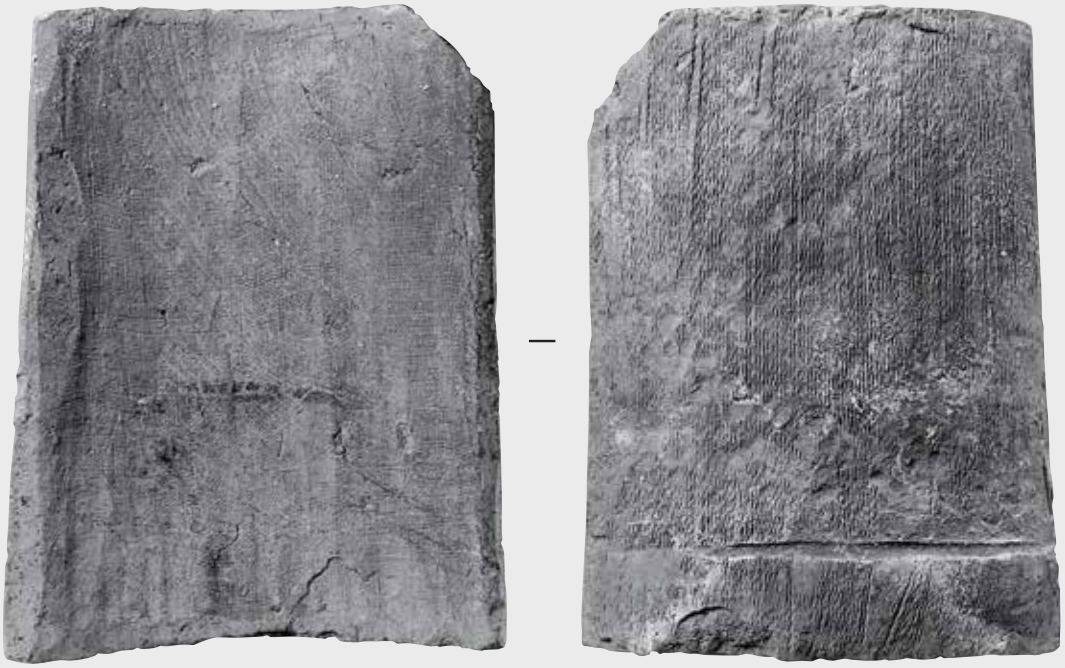


3　FⅡの凹凸面。顎面の叩き目と凸面のそれとは軸が直交。顎面不調整（bタイプ）。



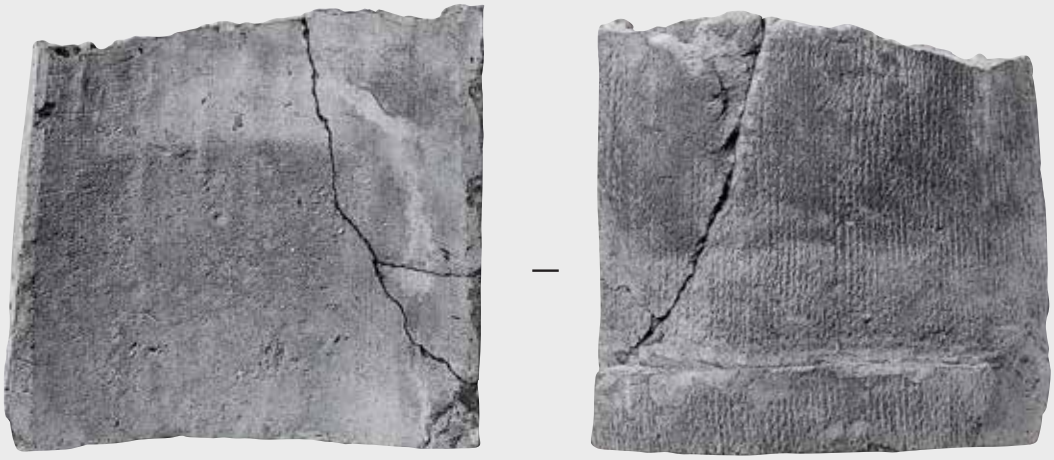
4　GⅠ1の凹凸面。凸面の縄叩き目は左右で方向が違う。顎面ヘラケズリ調整。

1：6



1　HⅢ1の凹凸面。ＦＩと同規格で大型。凹面に内叩き痕。凸面と顎面にタテ縄叩き目。

2　HⅡ凹凸面。HⅢ1より一回り小型。凸面と顎面にタテ縄叩き目。顎剥離面にキザミ目なし。



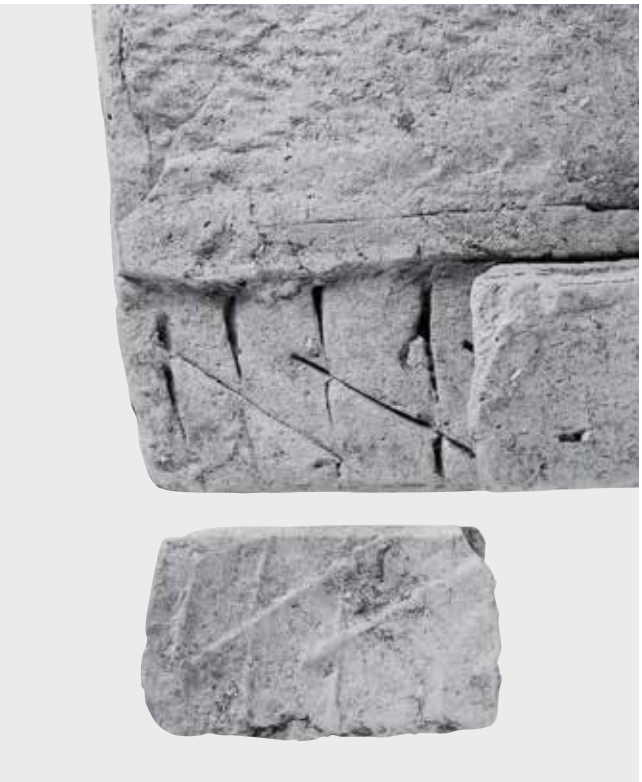
3　HⅢ2の凹凸面。凹面に内叩き痕。凸面と顎面にタテ縄叩き目。段部に凹型台の圧痕。

1：6

軒平瓦細部写真 18（四重弧文F・G・H）

1　FⅠ顎接合粘土の剥離面。キザミ目とそのネガ。

2　FⅠの顎剥離面。キザミ目のネガ。

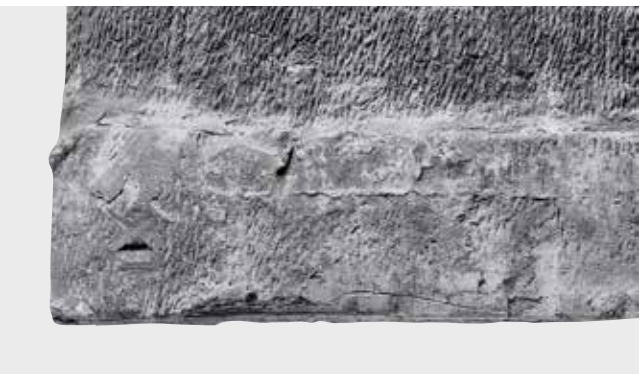


3　FⅡの顎剥離面。キザミ目とそのネガ。

4　GⅠ1の凸面。顎面の叩き目と段部の凸型台圧痕。

5　GⅠ4の顎面。叩き目とヘラケズリ調整。

6　GⅡ4の顎剥離面キザミ目。



7　HⅡの顎面。叩き目と凹型台圧痕。

8　HⅢ1の顎剥離面。縄叩き目あり。

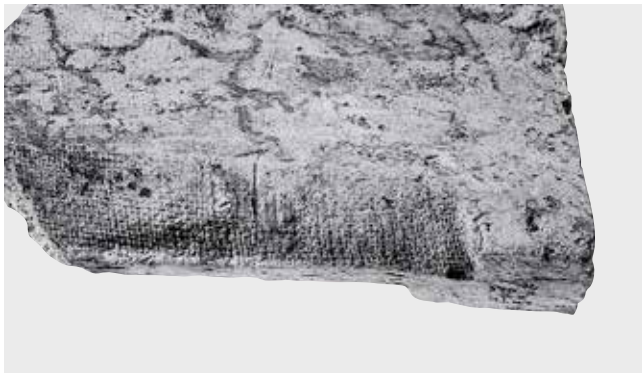
1　FⅠの瓦当面。施文前のヘラケズリと施文具の動き。

2　HⅠ1の瓦当面。瓦笵の木目。

3　HⅡの瓦当面。瓦笵の木目。

4　HⅢ1瓦当面の布圧痕。

5　FⅡ側面の布圧痕。



6　GⅠ1側面の布圧痕。

7　GⅡ3側面にある凸型台の圧痕。

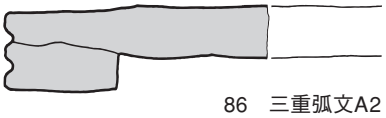
8　HⅢ1側面の布圧痕。

9　FⅠ狭端面の布圧痕。

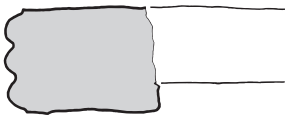
10　GⅠ1狭端面の布圧痕。

軒平瓦細部写真 20（三重弧文）

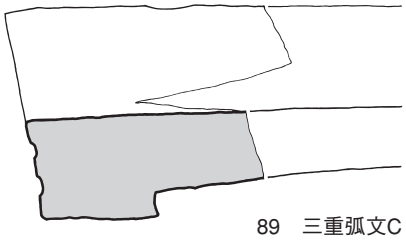
85　三重弧文A1



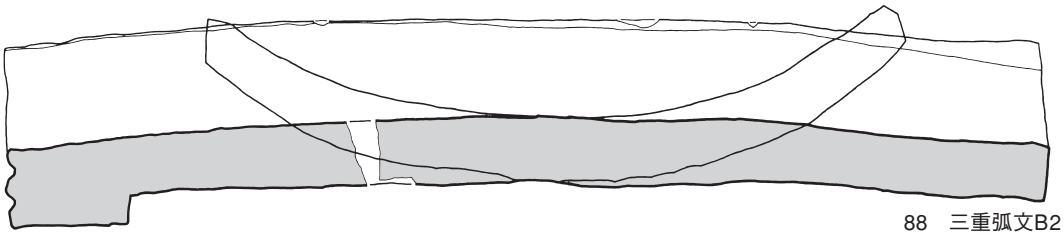
86　三重弧文A2



87　三重弧文B1

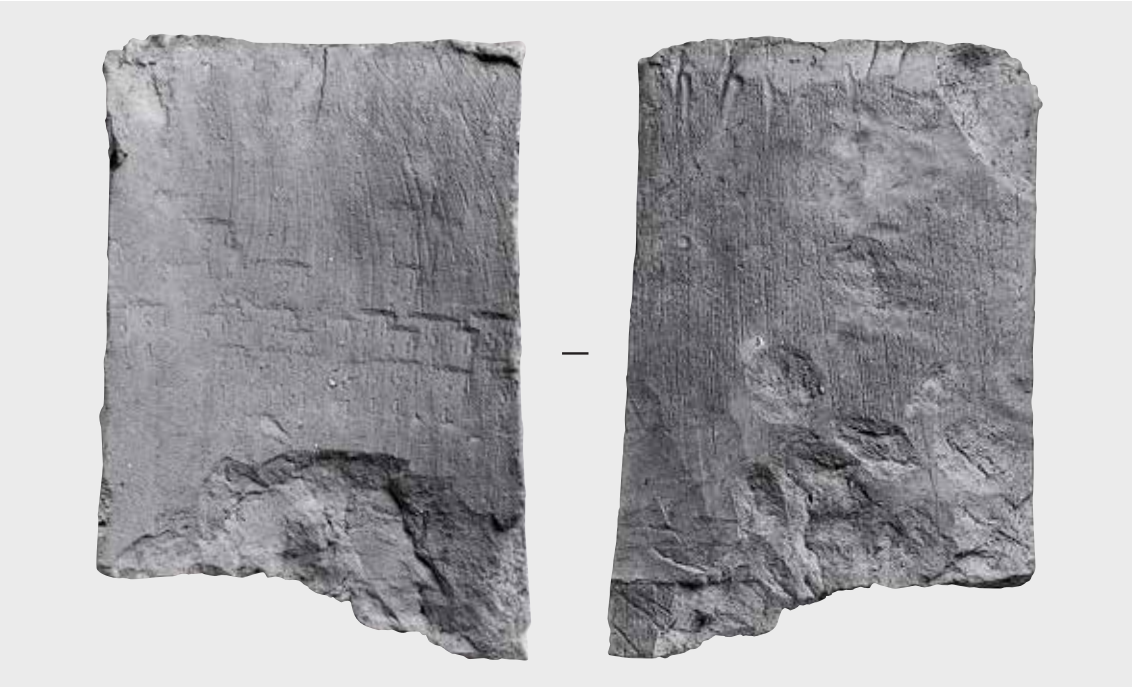


89　三重弧文C



88　三重弧文B2

0　1：3　20cm



1　三重弧Cの凹凸面。凹面に内叩き痕。凸面の顎剥離面に縄叩き目とキザミ目。

2　三重弧B2瓦当面の施文具の動き。

3　三重弧Cの瓦当面。瓦笵の木目。

1：3（1は1：6）

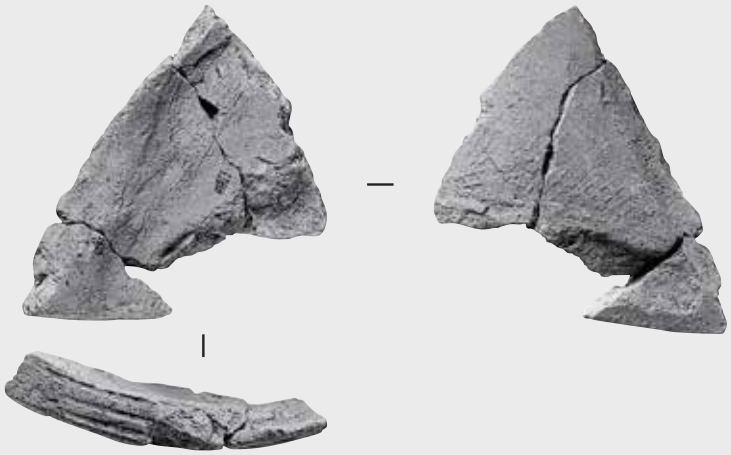
85　三重弧文A 1

86　三重弧文A 2

87　三重弧文B 1

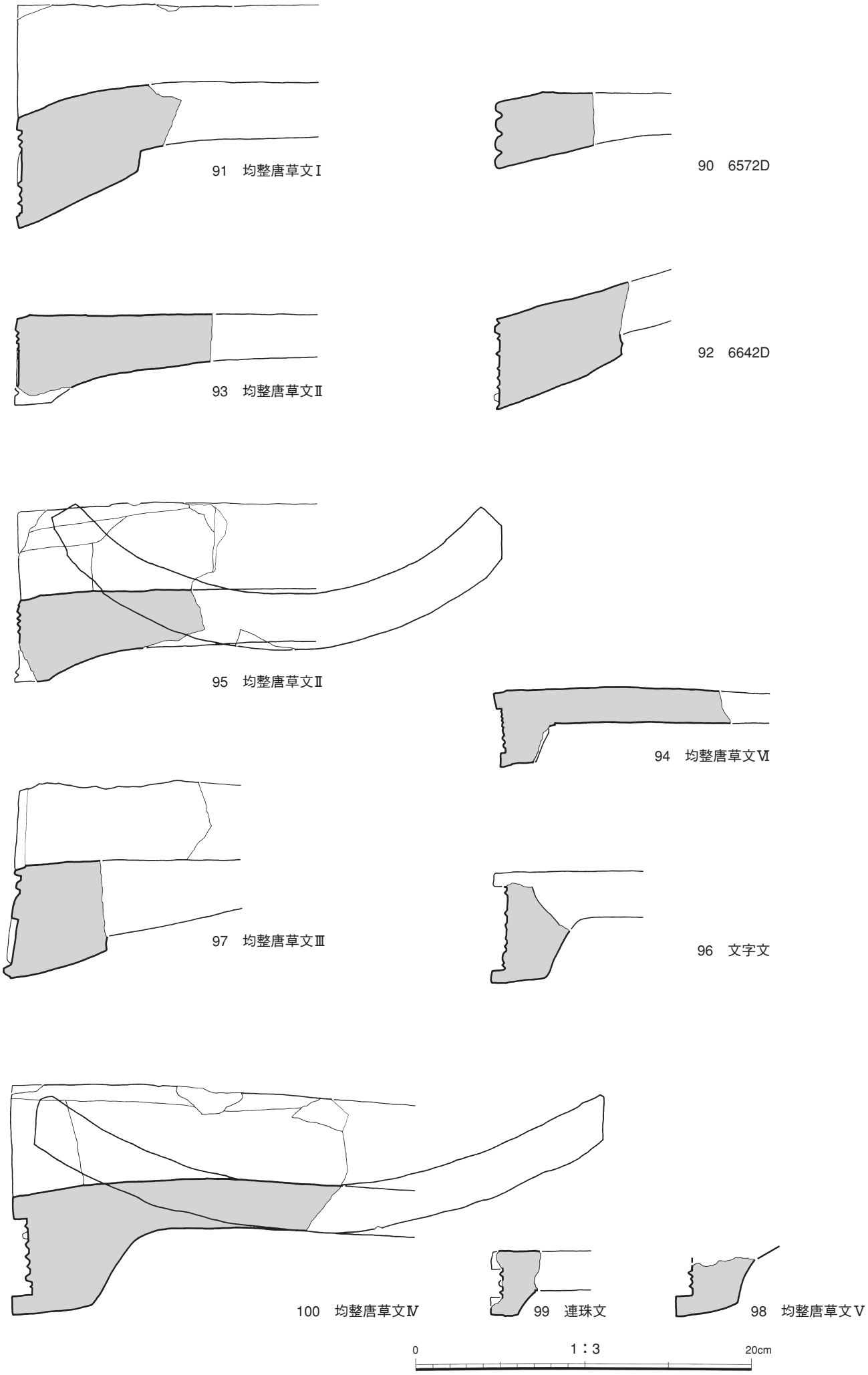
88　三重弧文B 2

89　三重弧文C



1　四重弧文隅軒平瓦。斜めの側辺をゆるく立ち上げる。凹面全面ナデ調整。凸面に斜格子叩き目。

1：3（1は1：6）


91　均整唐草文Ⅰ
90　6572D
93　均整唐草文Ⅱ
92　6642D
95　均整唐草文Ⅱ
94　均整唐草文Ⅵ
97　均整唐草文Ⅲ
96　文字文
100　均整唐草文Ⅳ
99　連珠文
98　均整唐草文Ⅴ
0
1：3
20cm

90 重郭文
（6572D）

91 均整唐草文Ⅰ
（6661B）

92 偏行唐草文
（6642D）

93 均整唐草文Ⅱ
（6703A）

94 均整唐草文Ⅳ

95 均整唐草文Ⅱ
（6703A）

96 文字文「興福寺」

97 均整唐草文Ⅲ

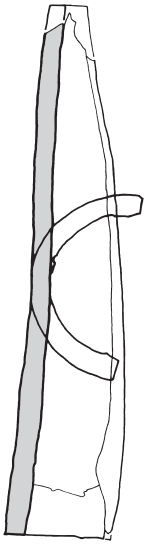
98 均整唐草文Ⅴ

99 連珠文

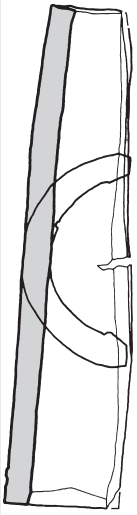
100 均整唐草文Ⅳ

1：3

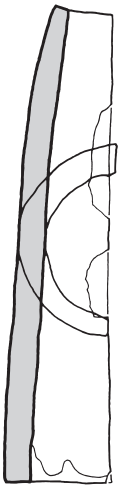
丸 瓦 1



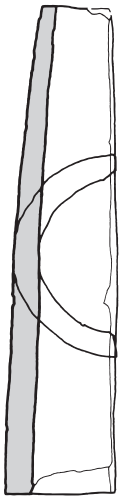
1 AⅠa



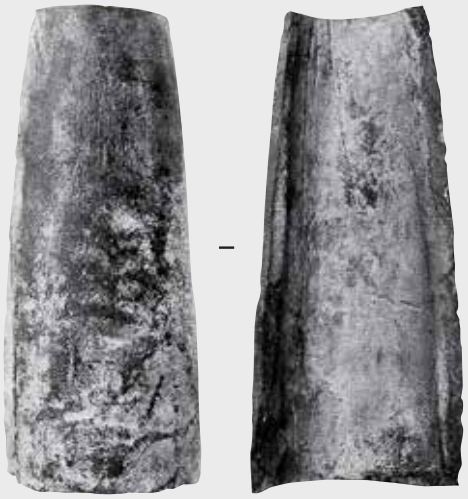
2 AⅡa1



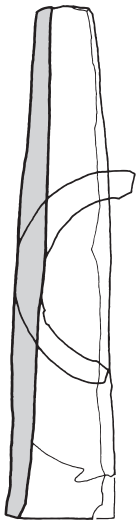
3 AⅡb1



4 AⅡd1



5 AⅢc

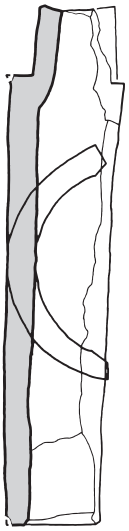


6 AⅣa

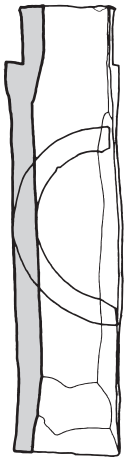
1：6

1 BⅠa

2 BⅡa



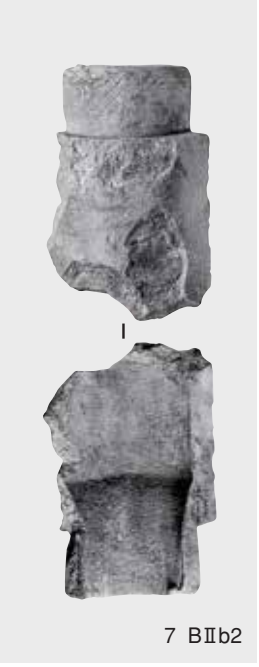
3 BⅡa



4 BⅡb1①

5 BⅡb1②

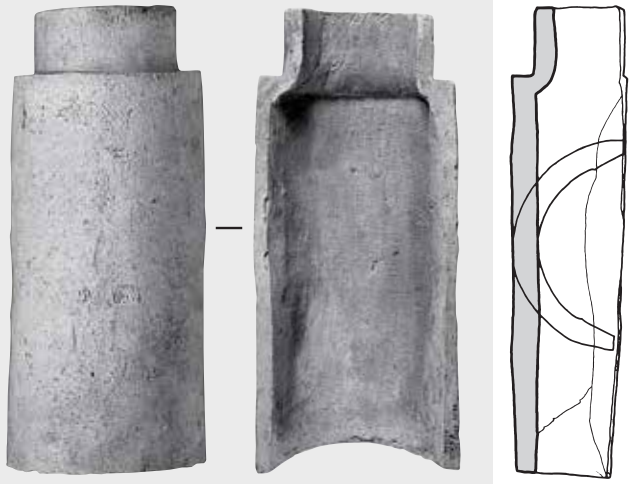
6 BⅡb1③



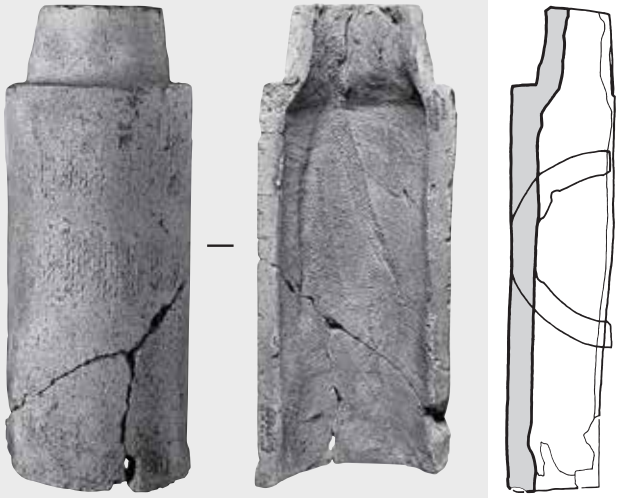
7 BⅡb2

1：6

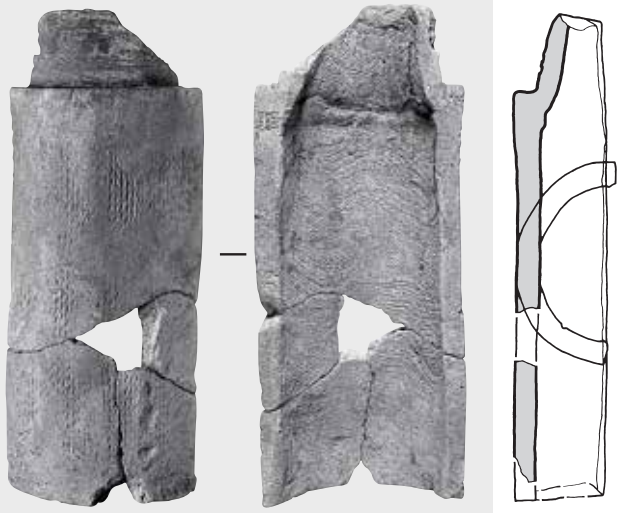
丸　瓦 3



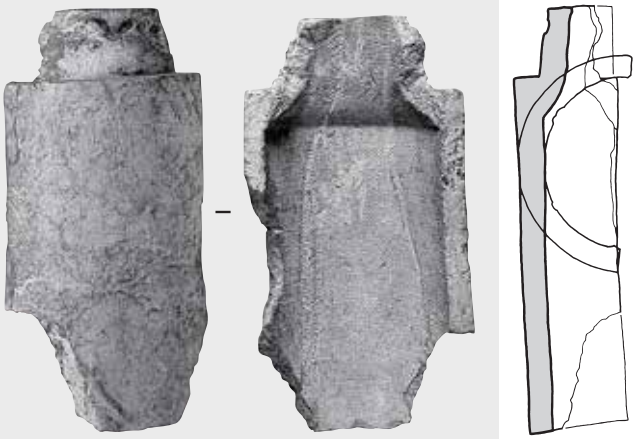
1　BⅢb1



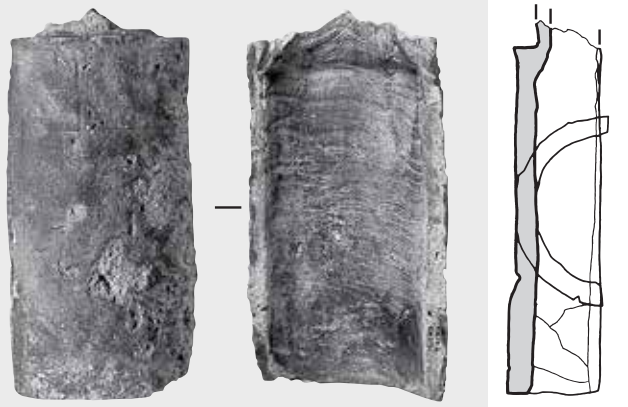
2　BⅢb2①



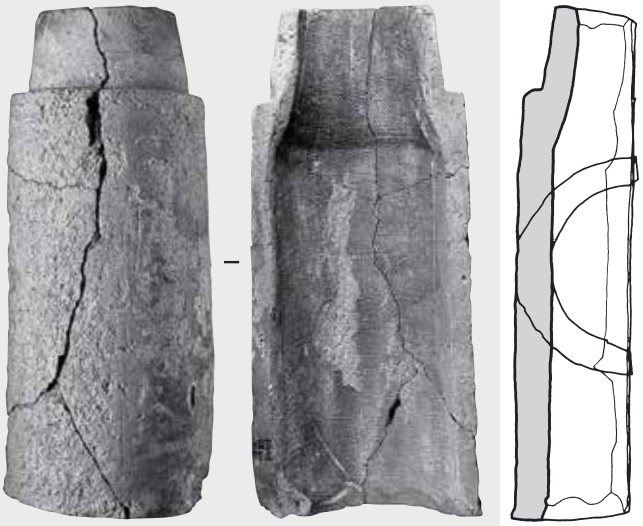
3　BⅢb2②



4　BⅢb2③

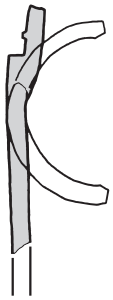


5　BⅢb2④

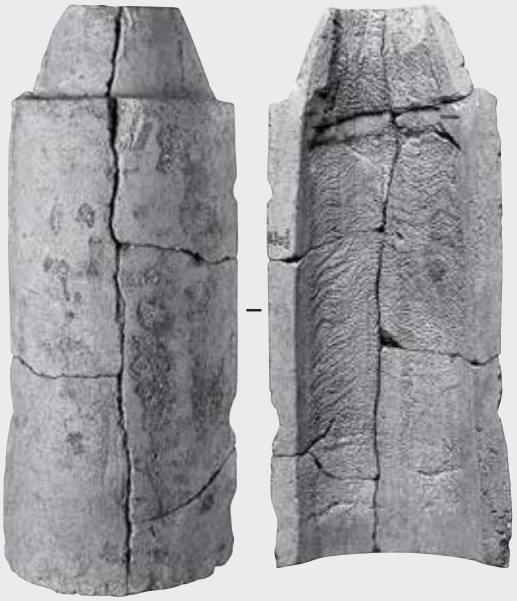


6　BⅢb3

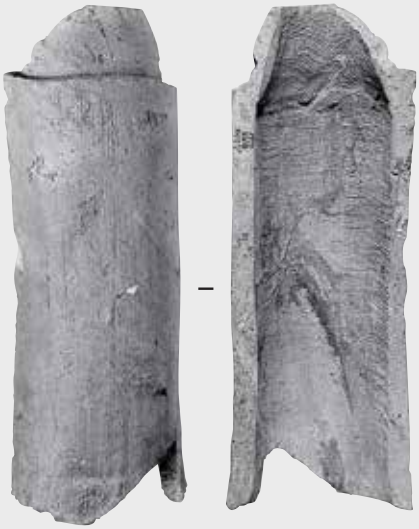
1：6（4のみ1：7）

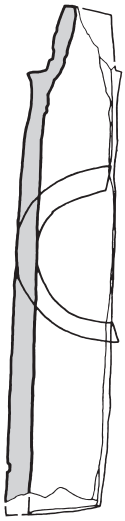


1 BⅢb4

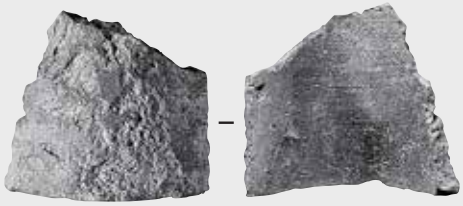


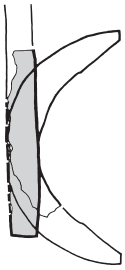
2 BⅢb5①



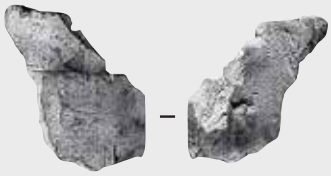


3 BⅢb5②

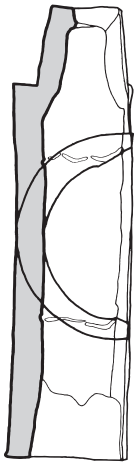




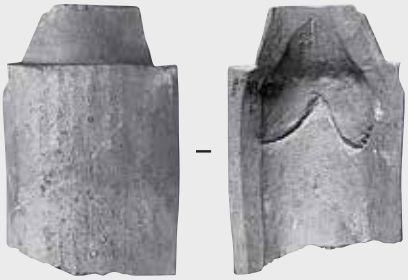
4 BⅢb6①



5 BⅢb6②



6 BⅢb7①



7 BⅢb7②

1：6（1と6は1：7）

丸　瓦 5

1　BⅢb7③

2　BⅢb7④

3　BⅢb8

4　BⅣa1

5　BⅣa2

6　CⅢb

1：6（1は1：7）

1　BⅠa：凸面を平行叩き。

2　BⅡa：凸面を斜格子叩き。

3　BⅡa：凹面に残る斜格子叩き。

4　BⅡa：凹面粘土板合わせ目。

5　BⅡa：玉縁端部の粘土紐が剥落。

6　BⅡb1：凸面を斜格子叩き。

7　BⅡb1③：凹面広端縁のケズリ。

8　BⅡb2：玉縁部の凸帯。

9　BⅢb1：凸面を縄叩き。

10　BⅢb1：凹面の屈曲強い。

11　BⅢb1：凸面成形粘土の剥落。

12　BⅢb2：凸面をタテ縄叩き。

13　BⅢb2②：玉縁部凸面に平行沈線。

14　BⅢb3：玉縁部凸面をヨコ縄叩き。

15　BⅢb3：凸面をタテ縄叩き。

16　BⅢb8：玉縁凸面側縁のケズリ。

17　BⅢb5①：凹面を内叩き。

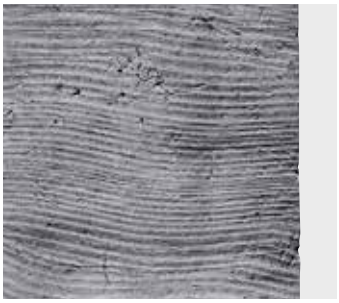
18　BⅢb5：玉縁部凸面をタテ縄叩き。

19　BⅢb5①：玉縁凹面の刺し縫い。

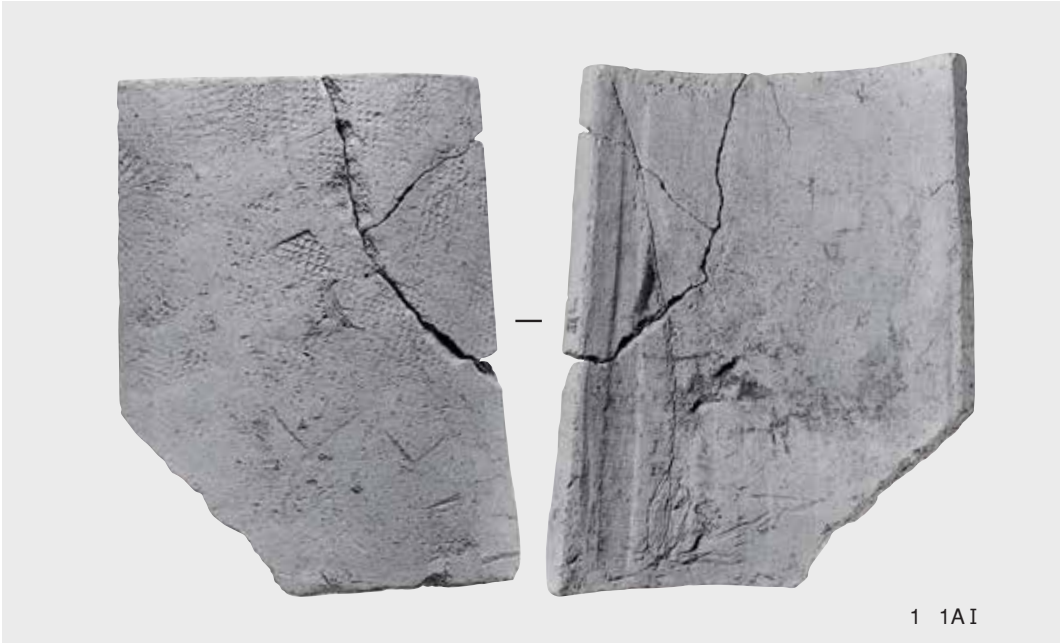
20　BⅣa：側面に残る分割截面。

21　BⅣa：凸面側縁のケズリ。

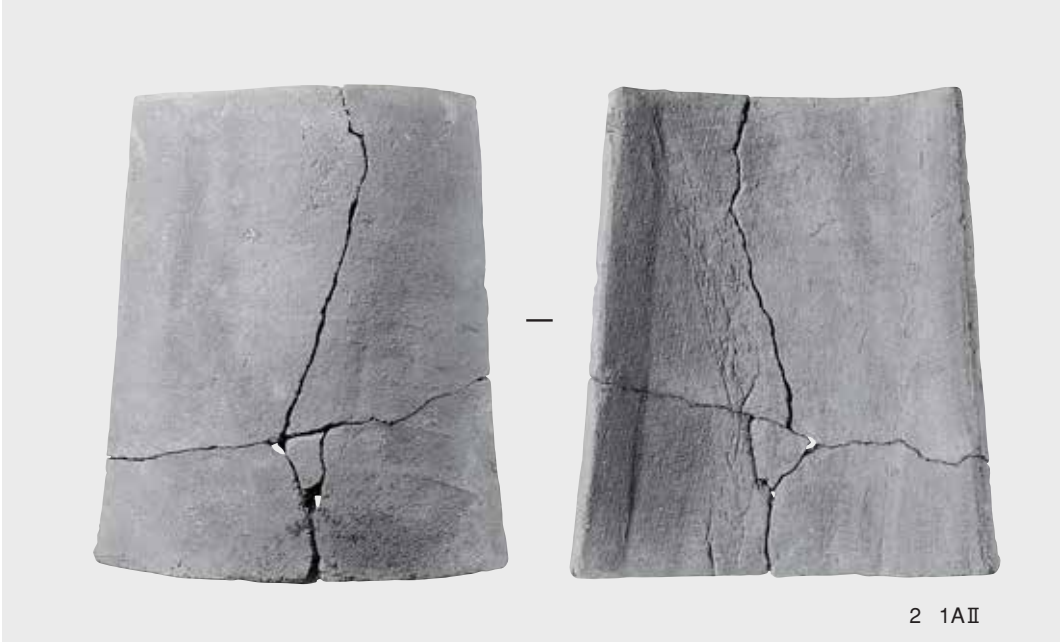
22　CⅢb：凹面粘土紐の単位。


23　CⅢb：凸面に残る横位ハケ目痕。

平　瓦 1



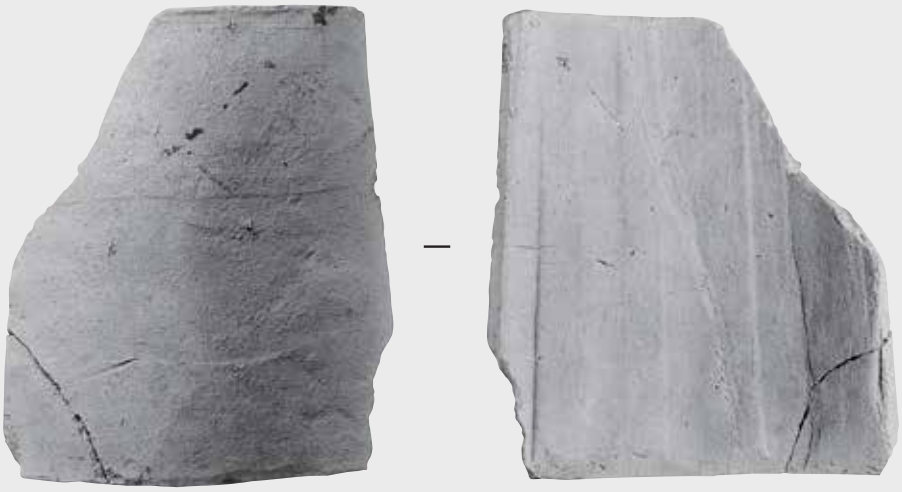
1　平瓦1類AⅠ。凸面、格子叩き目をヨコナデ調整。その上をキザミのない叩き板で叩く。凹面は調整なし。布綴じ1a。



2　平瓦1類AⅡ。AⅠより小ぶり。凸面は全面ヨコナデ調整。凹面に布綴じ1c。綴じ目と縫い目の痕跡をヘラケズリする。

3　平瓦1類AⅢ。AⅡよりさらに小ぶり。凸面は全面ヨコナデ調整。凹面に布綴じ1j。綴じ目痕をヘラケズリ。

1：6



4　1AⅡ

4　平瓦1類AⅡ。凸面は全面ヨコナデ調整。凹面に布綴じ1b。綴じ目痕と縫い目痕をユビナデ。

5　1AⅡ

5　平瓦1類AⅡ。凸面斜格子叩き目をヨコナデ調整。凹面に布綴じ1d。綴じ目痕をユビナデ。

6　1AⅡ

7　1AⅡ

6・7　平瓦1類AⅡ。布綴じ1cにともなう襞縫いの痕跡。2例とも同位置に粘土板合わせ目S。

1　布綴じ1b細部。

1：6

8・9　平瓦1類AⅡ。布綴じ1e。折り山をとらず、布を巻き付けて縫う。

10　布綴じ1f。綴じ目が開き加減。

11　布綴じ1g。紐の分割凸帯痕あり。

12　平瓦1類AⅢ布綴じ1h。折り山は幅狭い。

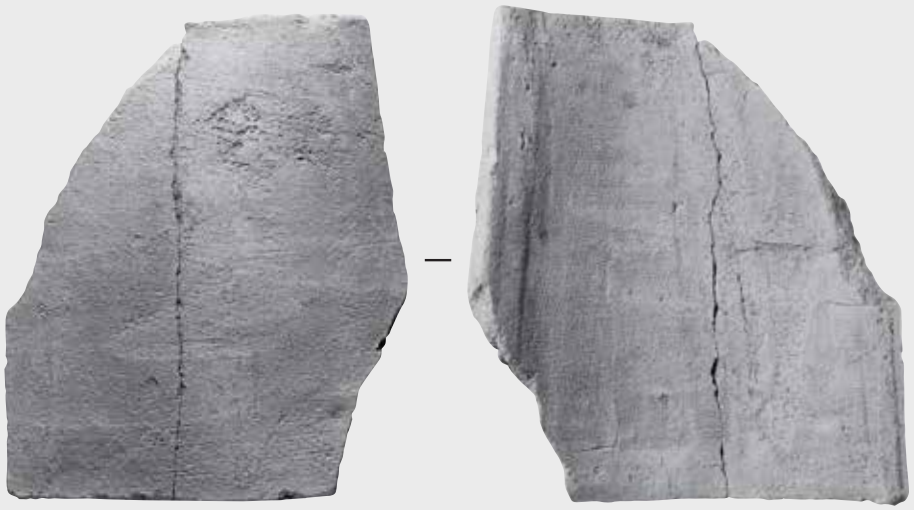
1　布綴じ1k。

13　平瓦1類AⅢ。布綴じ1m。

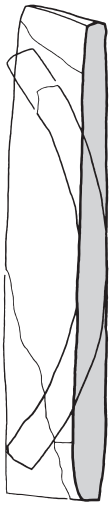
14　布綴じ1n。綴じ目で襞縫いする。

2　布綴じ1mの襞縫い？

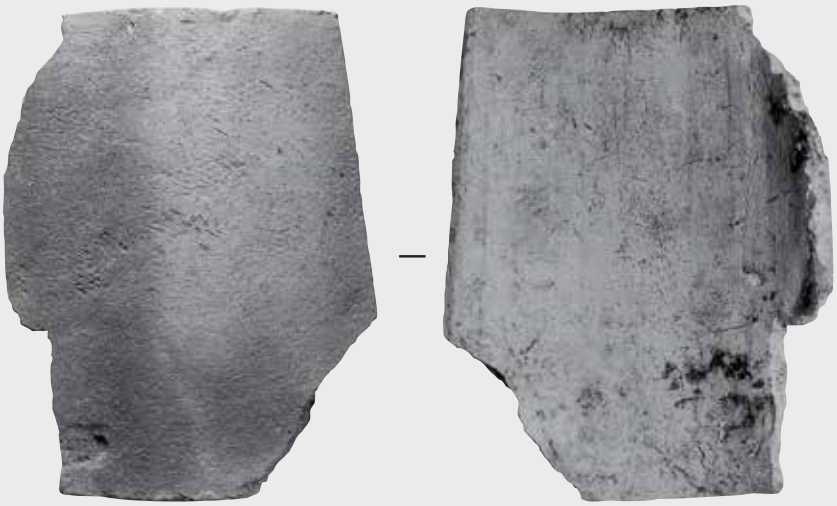
1：6



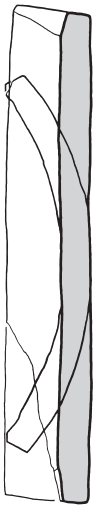
15　1BⅠ



15　平瓦1類BⅠ。凸面両側縁に面取りのヘラケズリがない。凹面は大半調整しないが、布綴じ（1p）だけをユビナデ調整。



16　1BⅡ



16　平瓦1類BⅡ。BⅠより一回り小型。粘土板合わせ目Zをヘラケズリ。それ以外は調整しない。布綴じ1q。

17　1BⅢ

17　平瓦1類BⅢ。BⅡよりさらに広端幅が小さい。凹面は調整しない。布綴じ1yの縫い目痕。

1：6

18　1BⅣ

18　平瓦1類BⅣ。規格はBⅡにほぼ同じ。凹面側縁の面取りが幅広い。凹面調整なし。布綴じ1rは折り山の幅が狭い。

19　1BⅡ

19　平瓦1類BⅡ布綴じ1t。綴じ目開き気味。

20　1BⅡ

20　平瓦1類BⅡ布綴じ1u。

21　1BⅡ

21　平瓦1類BⅡ布綴じ1s。綴じ目蛇行。

22　1BⅡ

22　平瓦1類BⅡ布綴じ1wの綴じ目痕。

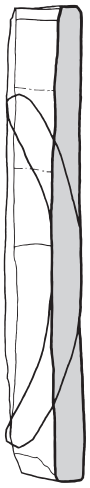
1　布綴じ1wの縫い目痕。

1：6

23　平瓦１類CⅠ。凹面にヘラケズリ調整。凹面右縁に布綴じ１α と粘土板合わせ目S。

24　平瓦１類CⅡ。狭端幅が小さい。凸面に格子叩き目。凹面全面をナデとヘラケズリで調整。かすかに布綴じ１β の綴じ目痕。

25　平瓦１類CⅢ。広端幅が小さい。凹面の半分ほどをヘラケズリ調整。



26　1CⅣ

26　平瓦１類CⅣ。凹面縁の面取りを数回幅広く行うため、側辺の断面が丸い。凹面に布綴じ１γ。凸面に斜格子叩き目。

27　1BⅣ

27　平瓦１類BⅣ。布綴じ１z。

28　1BⅡ

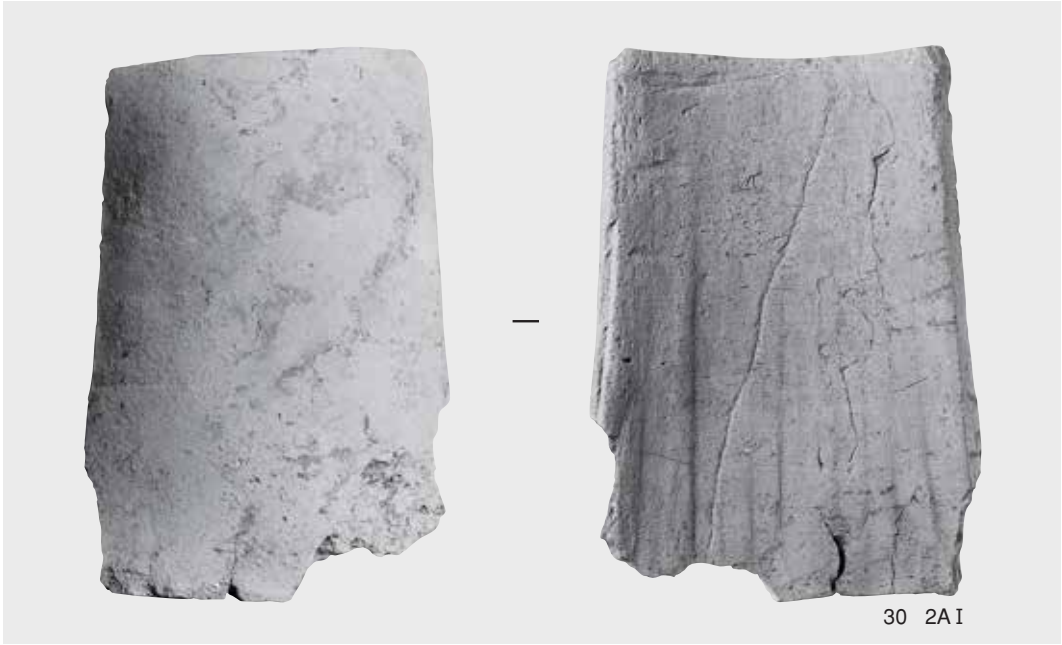
28　平瓦１類BⅡの襞縫い痕。両側縁は打ち欠く。

29　1BⅢ

29　平瓦１類BⅢ布綴じ１yの綴じ目痕。

1　屋根葺き時に側面を削るように打ち欠いた痕跡。28の打ち欠きと比較。

１：６（1を除く）

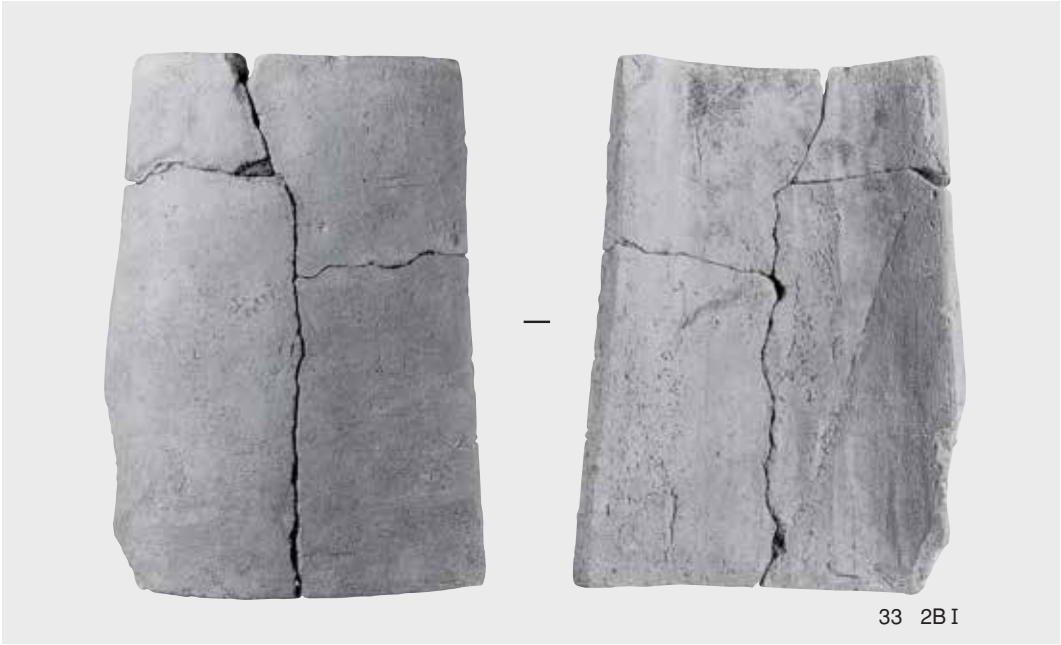


30　平瓦２類AⅠ。凸面格子叩き目をヨコナデ調整。凹面に布綴じ2aと粘土板合わせ目S型。側面に分割截面が残る。

31　平瓦２類AⅡ。広端に斜格子刻線叩き板側縁の痕跡。広端隅を焼成前に切り欠き。凹面中央やや下に布の破れあり。

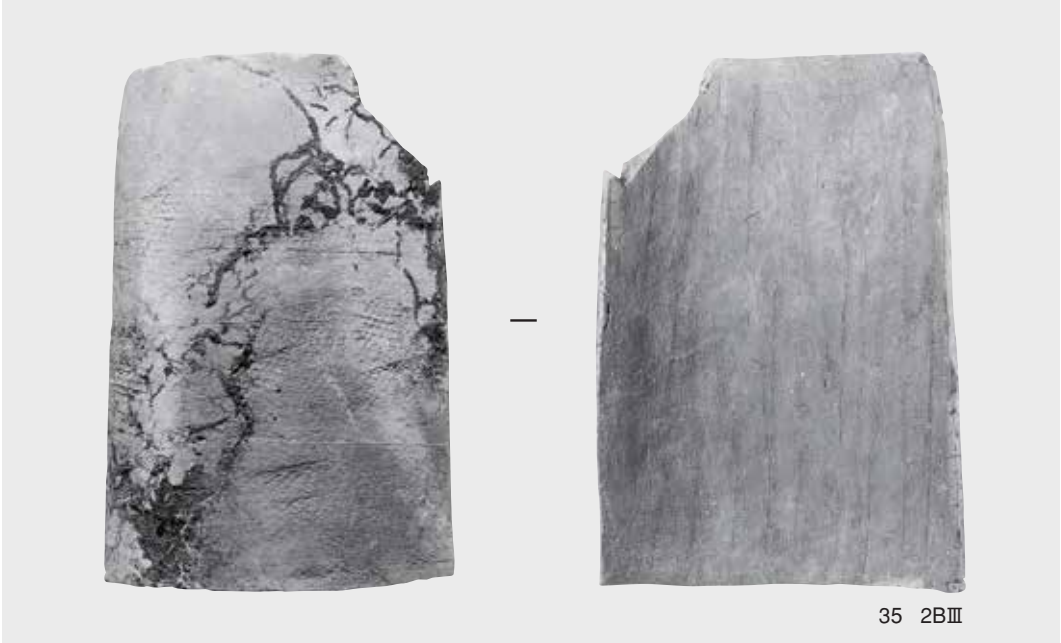
32　平瓦２類AⅢ。広端幅小。凸面は格子叩き目をヨコナデ調整。凹面に粘土板合わせ目Z型。

1：6



33　平瓦2類BⅠ。凸面格子叩き目を丁寧にヨコナデ調整。凹面はナデとケズリで調整。布綴じ2eと粘土板合わせ目S型。

34　平瓦2類BⅡ。凸面ヨコナデ調整。斜格子叩き目がかすかにある。凹面は全面タテにヘラケズリ調整。撚り紐の分割凸帯痕。



35　平瓦2類BⅢ。広端幅小。凸面は格子叩き目をヨコナデ調整。凹面ほぼ全面をタテナデ調整。

1：6

36　平瓦2類BⅠ。凸面にかすかに格子叩き目。凹面は全面ナデ調整。布綴じ2h。

37　平瓦2類BⅠ。凸面は斜格子叩き目をヨコナデ調整。凹面左側に布綴じ2jの縫い目痕。

38　平瓦2類AⅠ。布綴じ2b。

39　平瓦2類AⅠ。布綴じ2c。綴じ目・縫い目痕とも蛇行する。

1：6

40　平瓦2類AⅠ。凹面右側に布綴じ2dの布綴じ。

41　平瓦2類AⅡ。布の破れがPh.141ー31と一致。

42　平瓦2類BⅠ。布綴じ2f。

43　平瓦2類BⅠ。布綴じ2g。

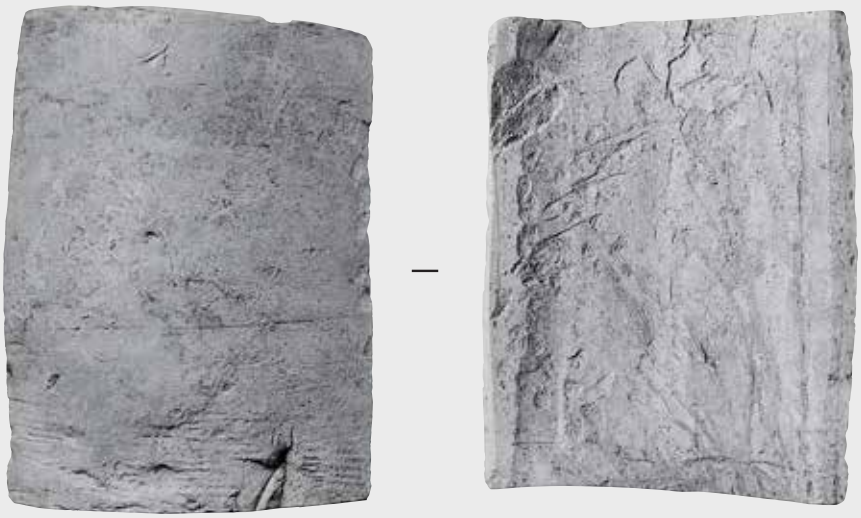
44　平瓦2類BⅠ。布綴じ2k。

45　平瓦2類AⅡ。布綴じ2m。

1：6

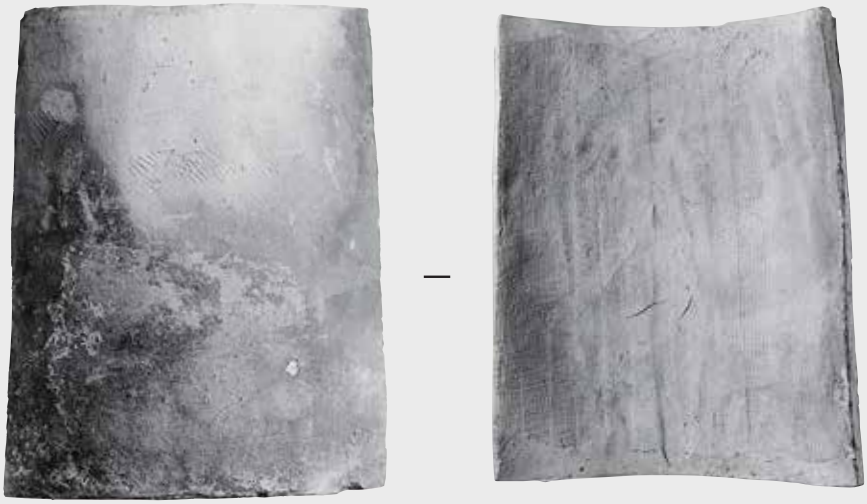
46　3AⅠ

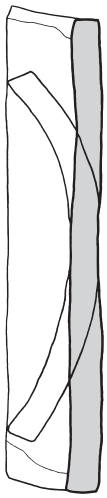
46　平瓦3類AⅠ。凸面に木目斜交の平行叩き目。布綴じ3a1。左に縫い目痕、右に綴じ目痕。



47　3AⅡ

47　平瓦3類AⅡ。凸面に木目平行・直交の格子叩き目。凹面側縁の面取り幅が大きい。





48　3B

48　平瓦3類B。凹面を全体にナデ調整。凸面に木目斜交の平行叩き目。織りの粗さからみて布綴じ3aの布か。

1：6

49　3AⅠ

49　平瓦3類ＡⅠ。布綴じ3a1。2条のハ字形綴じ目痕。

50　3AⅠ

50　布綴じ3a1。右側の綴じ目痕と縫い目痕。

51　3AⅠ

51　布綴じ3a2。2条の綴じ目痕の間隔狭い。

52　3AⅠ

52　布綴じ3a2。綴じ目痕の左に縫い目痕なし。

53　3AⅠ

53　平瓦3類ＡⅠ。布綴じ3b。

54　3AⅠ

54　布綴じ3c。折り山が綴じ目の裏で蛇行する。

1：6

55　3AⅠ

55　平瓦3類ＡⅠ布綴じ3d。綴じ目まつり縫い。

56　3AⅠ

56　布綴じ3f。右端にまつり縫いの綴じ目痕。

57　3AⅠ

57　布綴じ3g。左傾するぐし縫いの綴じ目痕。

58　3AⅠ

58　布綴じ3h。綴じ目と縫い目が平行する。

59　3AⅠ

59　木目斜交の細粗2種の斜格子叩き目。

60　3AⅠ

60　左右で2種の叩き目。叩き板の幅7㎝ほど。

1：6

1　平瓦3類AⅠ。分割截線は凹面側から。

61　広端右隅に三角形の突起のある側板痕。

62　平瓦3類AⅡ。凸面平行叩き目の例。凹面に布綴じ3j。

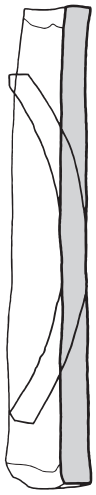
63　平瓦3類AⅡ。布綴じ3j。

64　平瓦3類AⅡ。布綴じ3k。

1：6（1を除く）

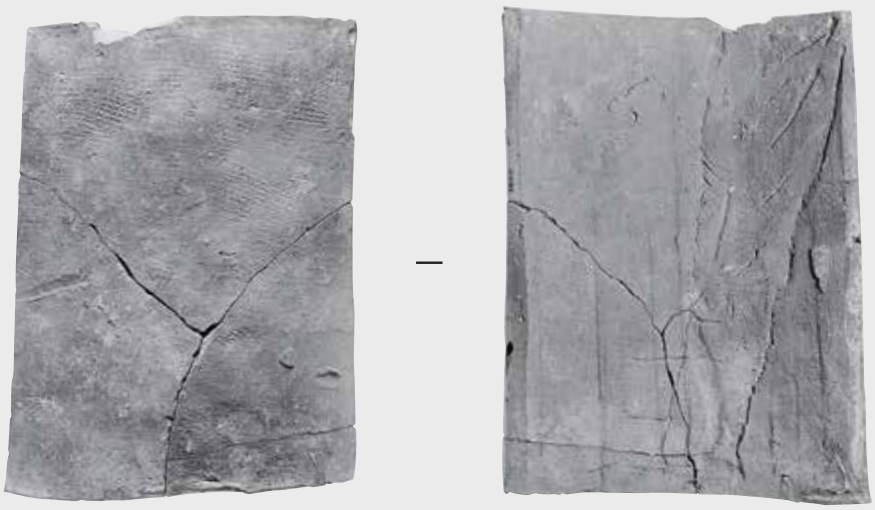
65　4A

65　平瓦4類A。凸面に木目斜交の粗い斜格子叩き目。凹面に布綴じ4a。綴じ目と縫い目がほぼ平行する。



66　4A

66　平瓦4類A。凸面に木目斜交の平行叩き目。凹面に布綴じ4j2。Ph.152-80と綴じ目痕は同一だが、ほどける。



67　4A

67　平瓦4類A。凸面に木目斜交の細かな斜格子叩き目。凹面に布綴じ4q。折り山の幅広い。

1：6

68　4A

68　平瓦4類A。木目に直交する平行叩き目。

69　4A

69　木目に斜交する平行四辺形の斜格子叩き目。

70　4A

70　木目に斜交する粗い格子叩き目。

71　4A

71　木目に斜交する平行叩き目と粗い斜格子叩き目。

—

72　4A

72　平瓦4類A。木目に平行・斜交する斜格子叩き目。凹面に布綴じ4b。

1：6

73　4A

73　平瓦4類A。綴じ目がはずれた布綴じ4b。

74　4A

74　布綴じ4c。狭端側で折り山の幅狭い。

75　4A

75　布綴じ4d。

76　4A

76　布綴じ4e。折り山の幅最も狭い。

77　4A

77　布綴じ4f。折り山の幅が広い。

78　4A

78　布綴じ4g。4fとは綴じ目の傾斜逆転。

1：6

79　4A

79　布綴じ4h。綴じ目と縫い目がほぼ平行。

80　4A

80　布綴じ4j1。ph.149-66と同一だがほどけなし。

81　4A

81　布綴じ4k。布綴じ4dに似るが縫い方違う。

82　4A

82　布綴じ4m。縫い目は広端に届かず。

83　4A

83　布綴じ4n。4dに似るが、折り山なし。

84　4A

84　布綴じ4p。綴じ目、縫い目ともぐし縫い。

1：6

85　4A

85　布綴じ4r。4cに似るが布の重ねが逆。

86　4A

86　平瓦4類A。側板の隙間に三角の突起の例。

87　4A

87　凹凸面に平行刻線叩き板で補足の叩き。

88　4A

88　2本の紐を掛けた分割凸帯。

89　4A

89　凸面に藁座圧痕の残る例。

1：6

1　広端面藁座圧痕。X型に二重に縛る。

2　広端面藁座圧痕。一重に縛る。

3　粘土板合わせ目に布圧痕の例。

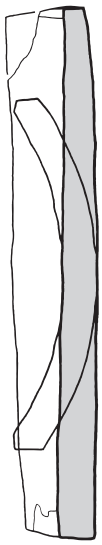
4　平瓦4類A。焼けた梅の種。季節は夏？。

86　葺足の短い風蝕痕（4類A）。

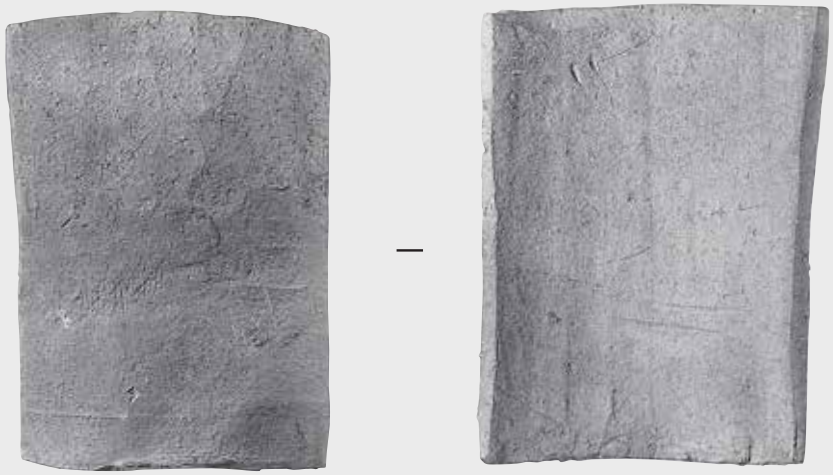
87　上下を逆転して2度使用した平瓦4類A。

1：6（1～4を除く）

88　4BⅠ

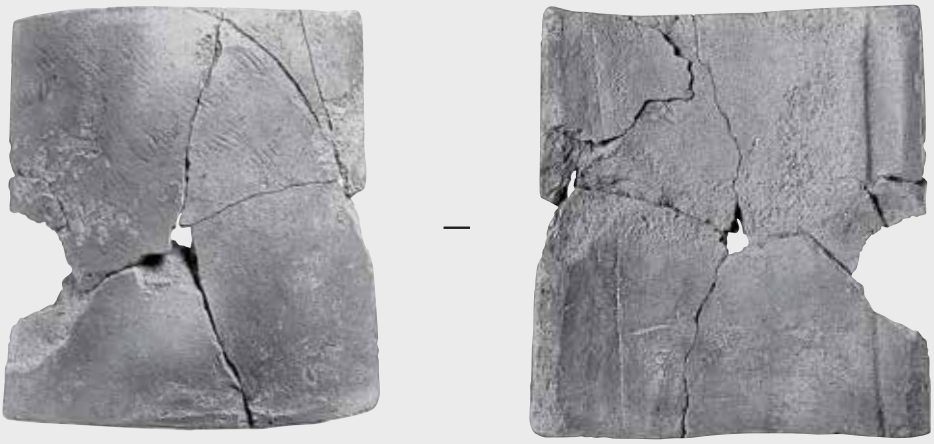


88　平瓦4類BⅠ。4類Aより全長が長い。



89　4BⅡ

89　平瓦4類BⅡ。4類Aより幅が短い。



90　4C

90　平瓦4類C。ほぼ正方形の平瓦。

1：6

91　5A

91　平瓦5類A。凸面は叩き目を軽くナデ消す。凹面は全面タテにヘラケズリ。

92　5B

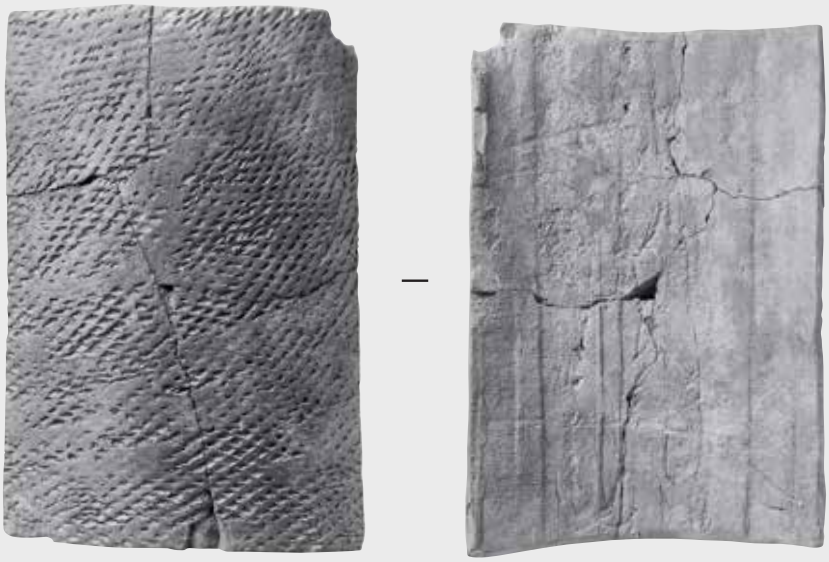
92　平瓦5類B。凸面は叩き目を軽くナデ消す。凹面調整しない。左上に縫い目、右下に布綴じあり（布綴じ5b）。

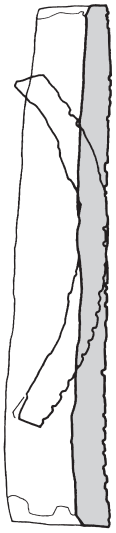
93　5A

93　平瓦5類A。凸面中央に凹型台の方形痕跡。凹面に布綴じ5a。

1：6（1を除く）

1　5類Aの分割凸帯。





94　6A

94　平瓦6類A。凸面に粗い斜格子叩き目。凹面は調整せず。凹面中央に布綴じ6a。

1　6類Aの布綴じ6a。

2　ほつれた布綴じ6a。

3　綴じ目の開く布綴じ6b。

4　6類A布綴じ6d。

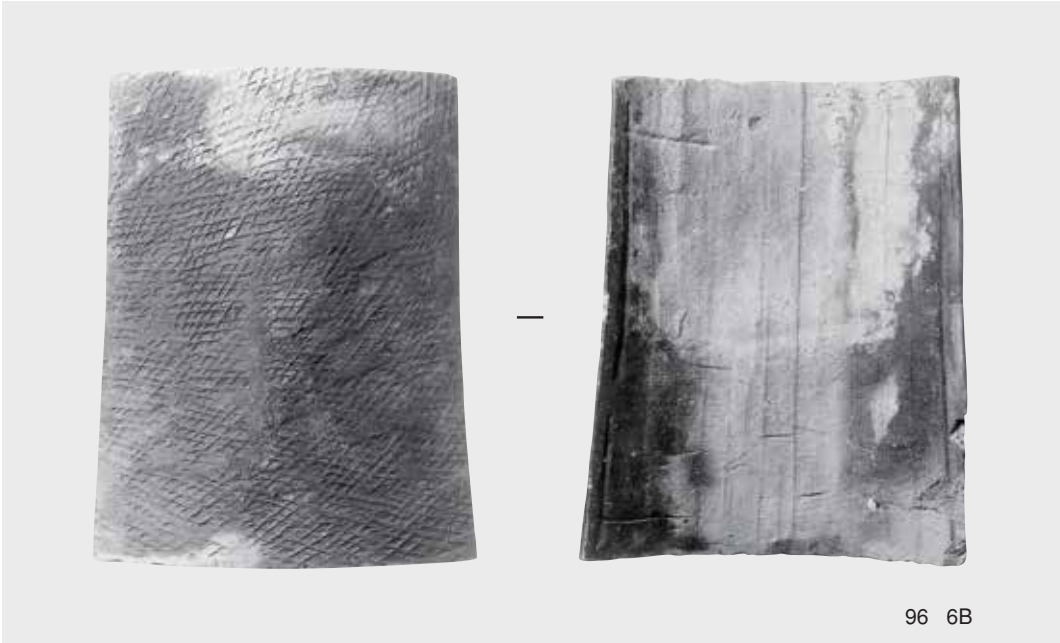
5　6類A布綴じ6c。

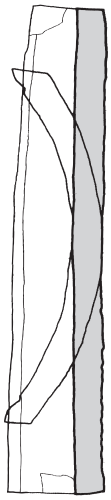
6　隅平瓦に加工された例。

95　7A

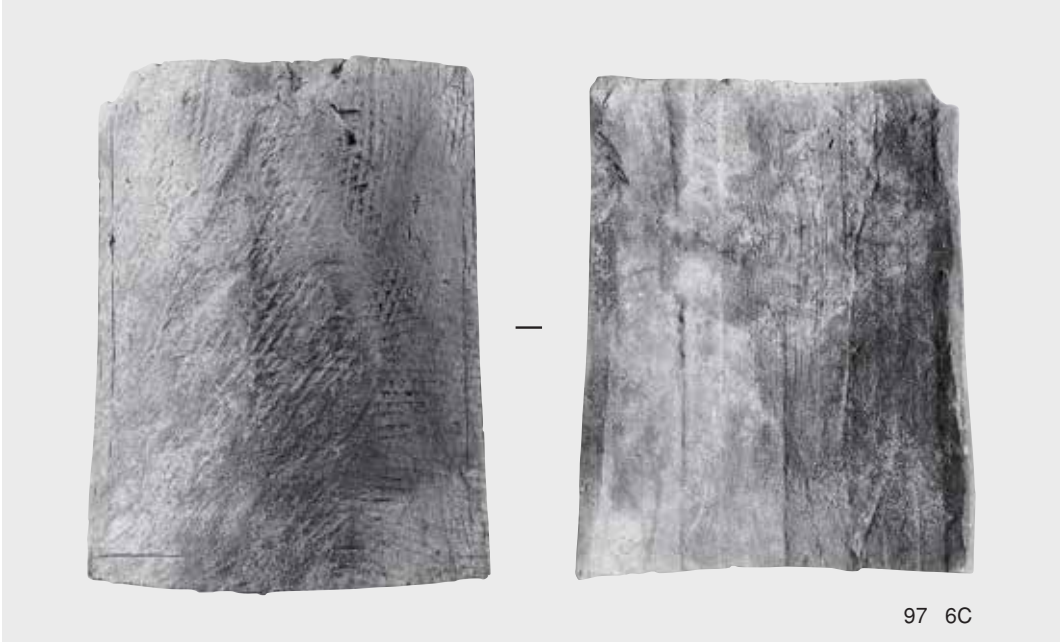
95　平瓦7類Aの縄叩き目との共存。

1：6（1～6を除く）





96　平瓦6類B。凸面に明瞭な斜格子叩き目。凹面も調整しない。



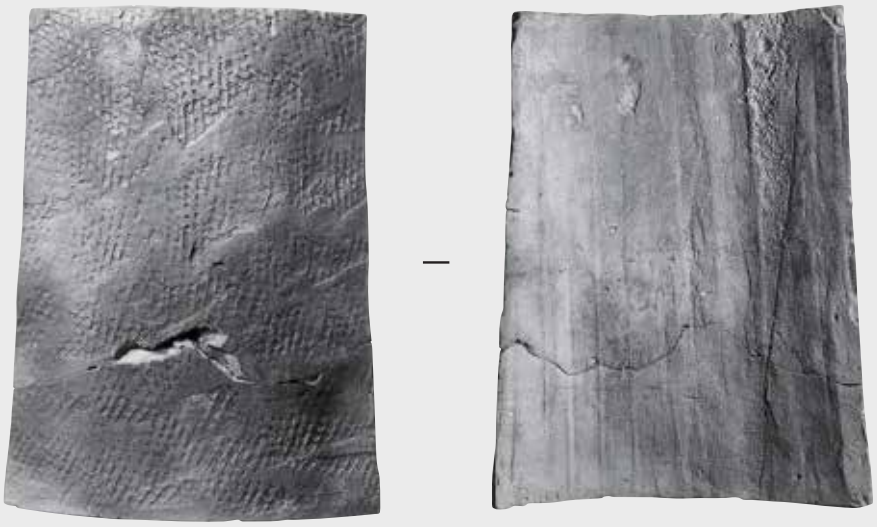
97　平瓦6類C。凸面に粗い斜格子叩き目。側辺近くに凹型台の痕跡あり。凹面は調整しない。

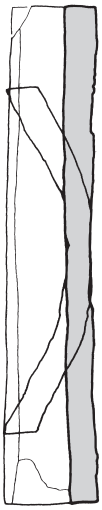
1　布綴じ6e。

2　平瓦6類B。布綴じ6fと分割凸帯。

3　平瓦6類Cの布綴じ6g。

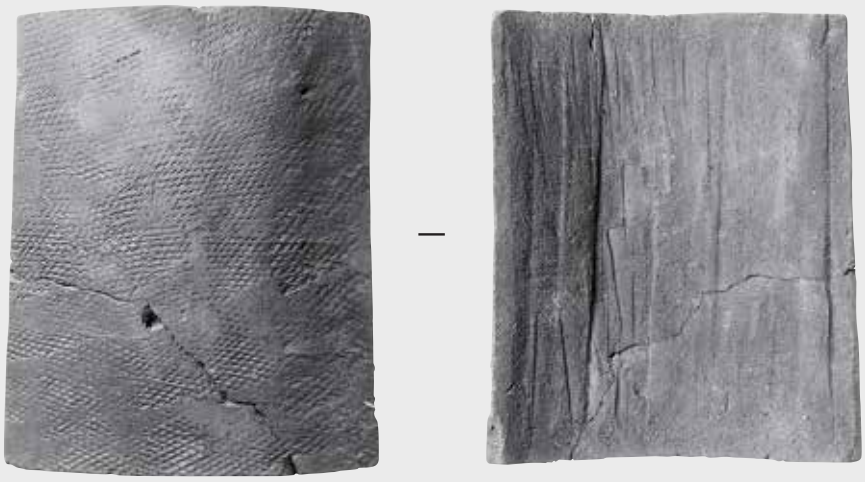
1：6（1〜3を除く）

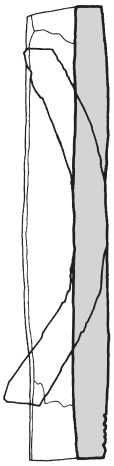




98　6C

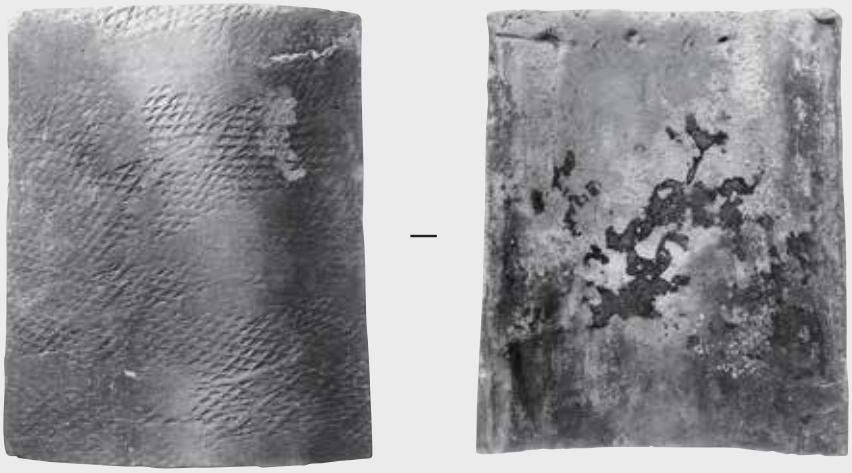
98　平瓦6類C。凸面の斜格子叩き目は縦方向に長い。凹面右側に布綴じ6gあり。





99　6D

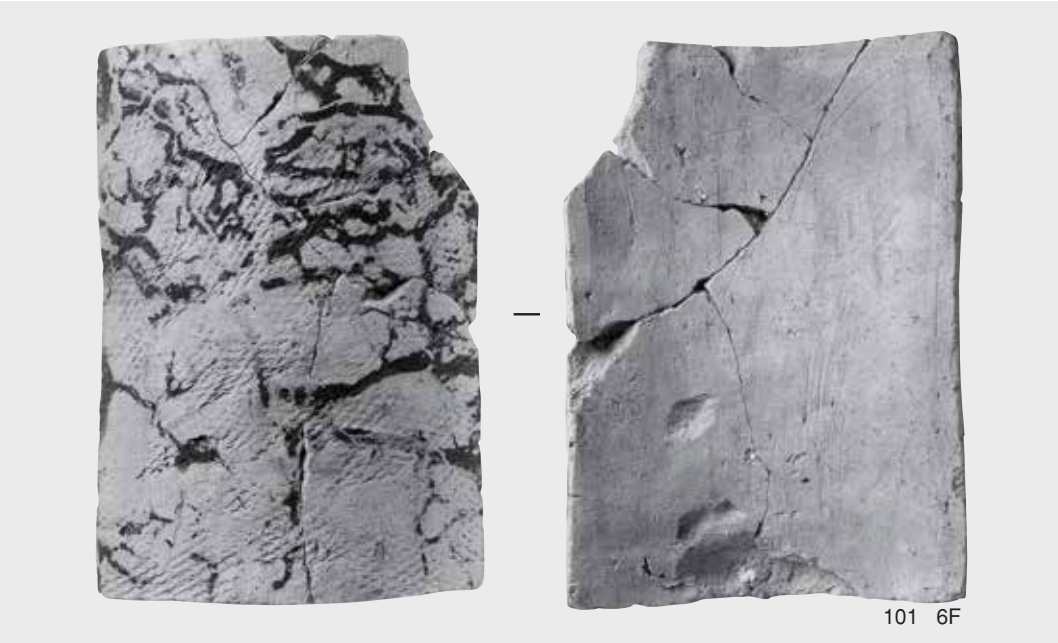
99　平瓦6類D。やや小ぶりの平瓦。凸面の叩き目2種。凹面調整せず。内叩きの痕跡あり。



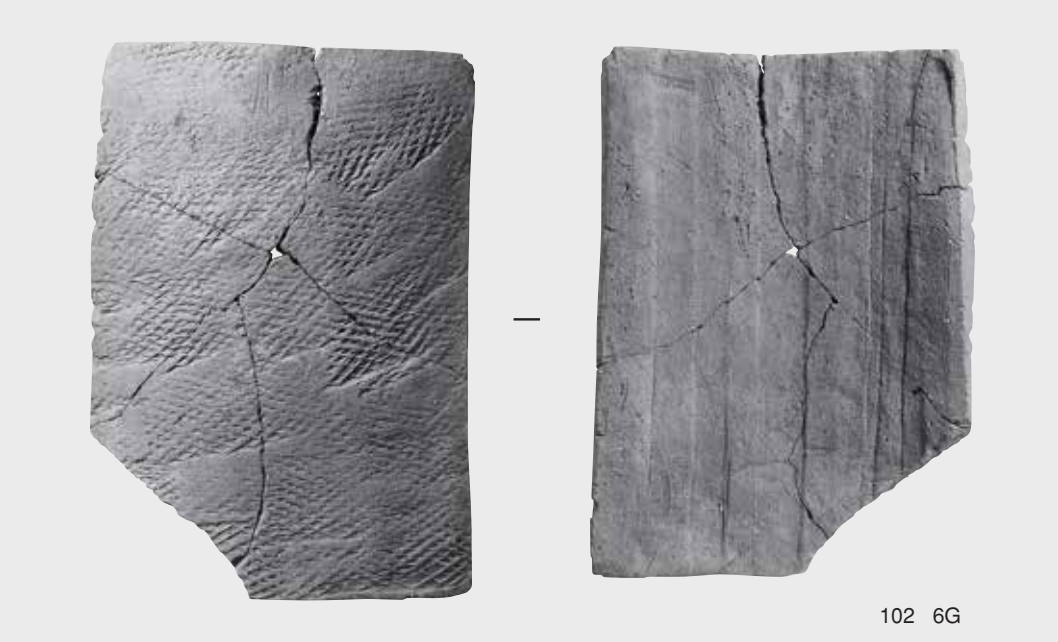
100　6E

100　平瓦6類E。凹面全面を調整する。

1：6



101　平瓦6類F。凹面のほぼ全面をタテナデ調整する。



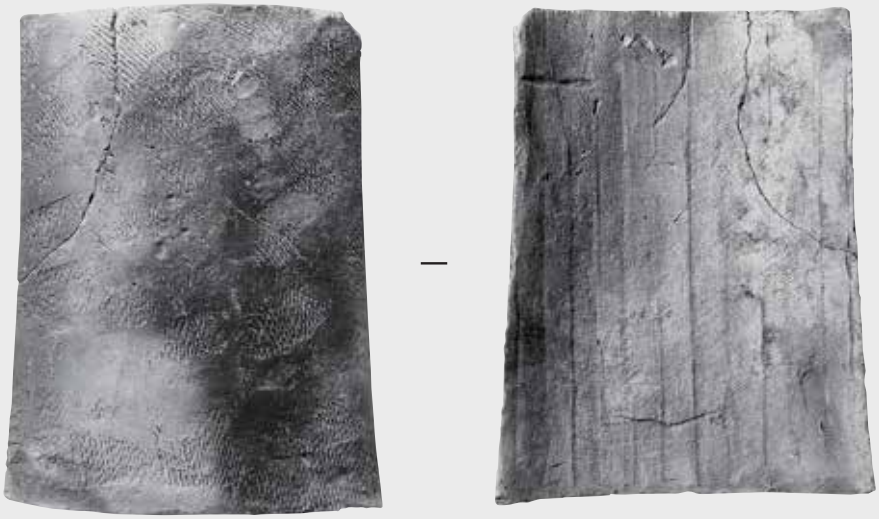
102　平瓦6類G。6類F同様全長が長い。凹面は調整しない。凹面右側に布綴じ6jあり。

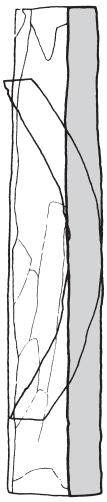
1　平瓦6類Cの叩き板の痕跡。

2　平瓦6類G布綴じ6jの細部。

3　6類F広端面の藁座圧痕。

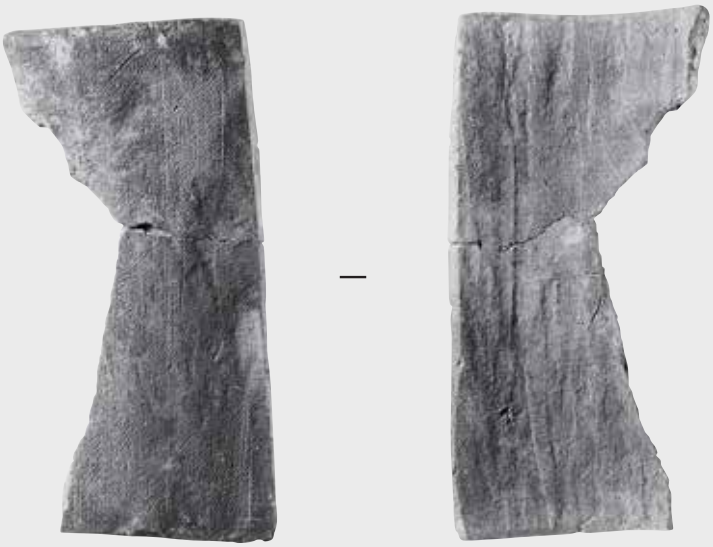
1：6（1～3を除く）

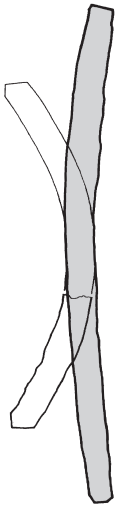




103　7A

103　平瓦7類A。叩き締めの円弧を描く縄叩き目。





104　7B

104　平瓦7類B。側辺に平行するタテ縄叩き目。凹面中央にヘラ書「大」。

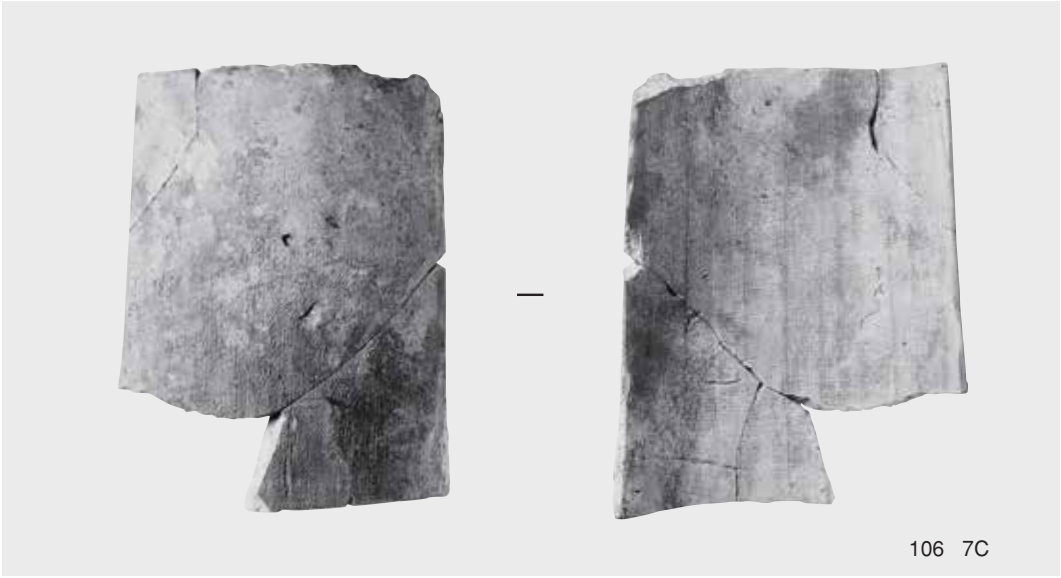
105　7A

105　平瓦7類A。斜格子叩き目が共存する例。

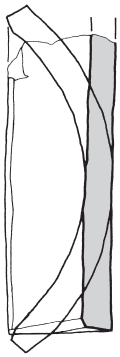
1　粘土板合わせ目。

2　平瓦7類Aの布綴じ7a細部。

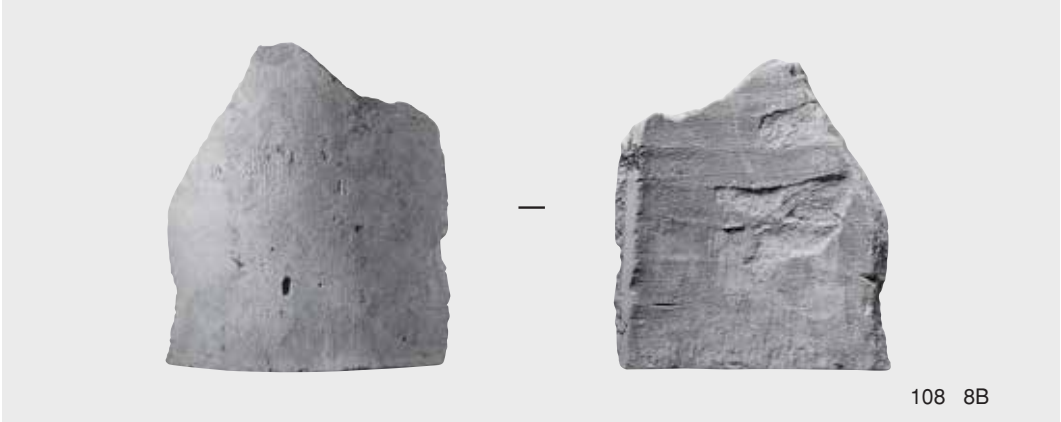
1：6（1・2を除く）



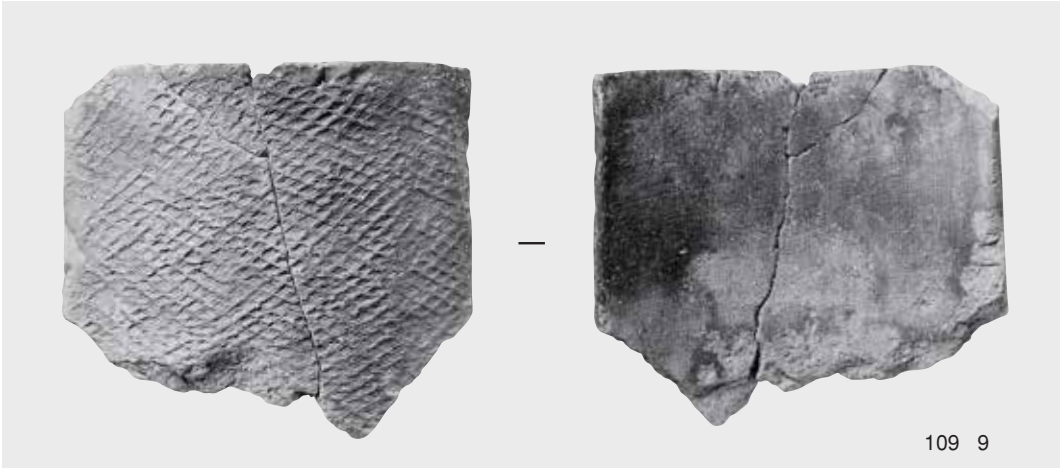
106　平瓦7類C。凸面は狭端側1/3を調整。凹面は調整しない。粘土板合わせ目あり。

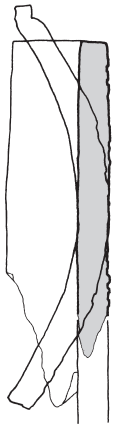


107　平瓦8類A。凸面に縄叩き目あり。凹面に粘土紐の痕跡あり。



108　平瓦8類B。凹面の粘土紐の痕跡明瞭。側面に分割破面残る。

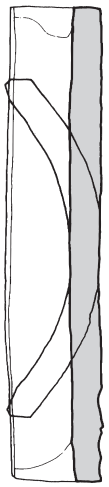




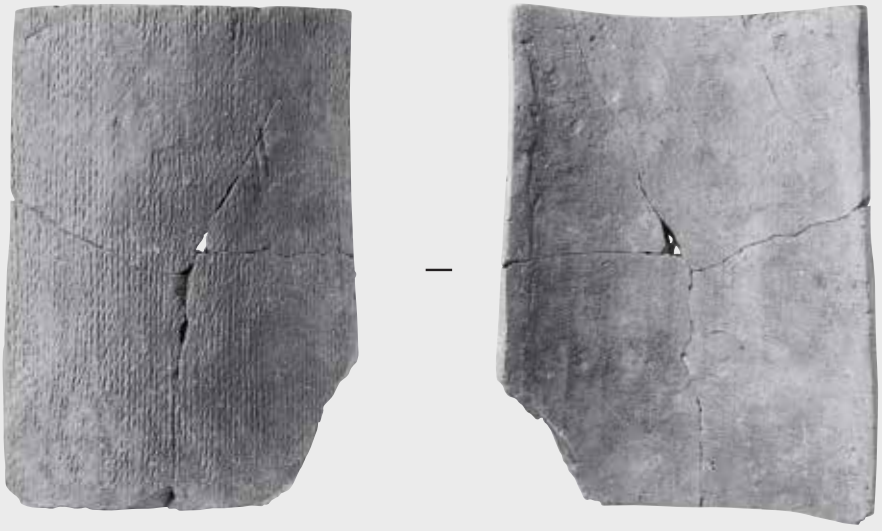
109　平瓦9類。凸面の粗い斜格子叩き目は円弧を描かない。凹面に側板の痕跡なし。

1：6

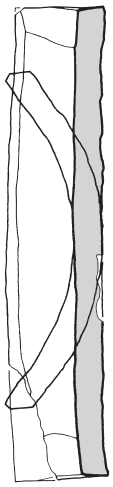
110　10AⅠ



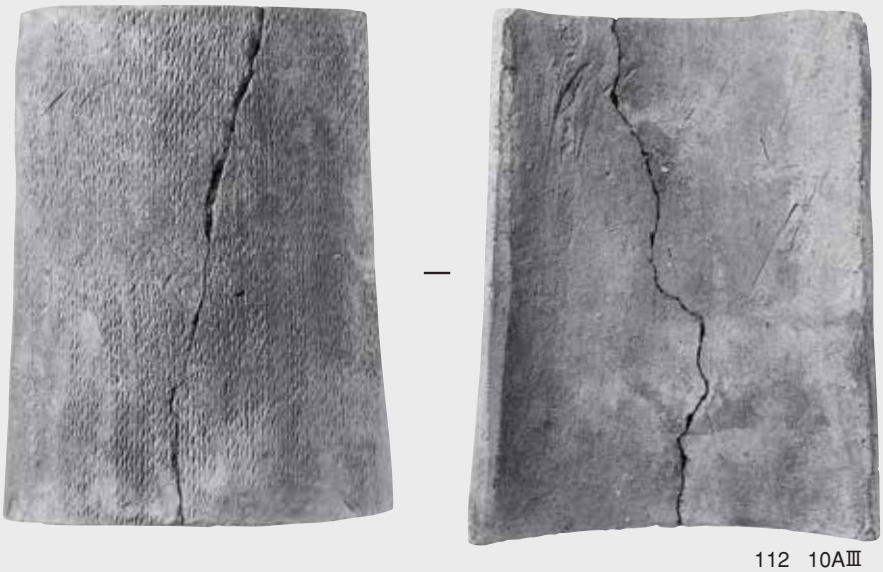
110　平瓦10類AⅠ。凸面タテ縄叩き目。



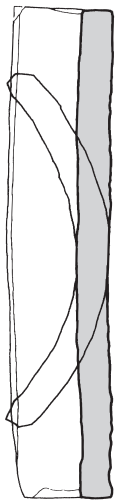
111　10AⅡ



111　平瓦10類AⅡ。凸面の縄叩き目はやや粗い。凹面左側辺近くに布端の痕跡。

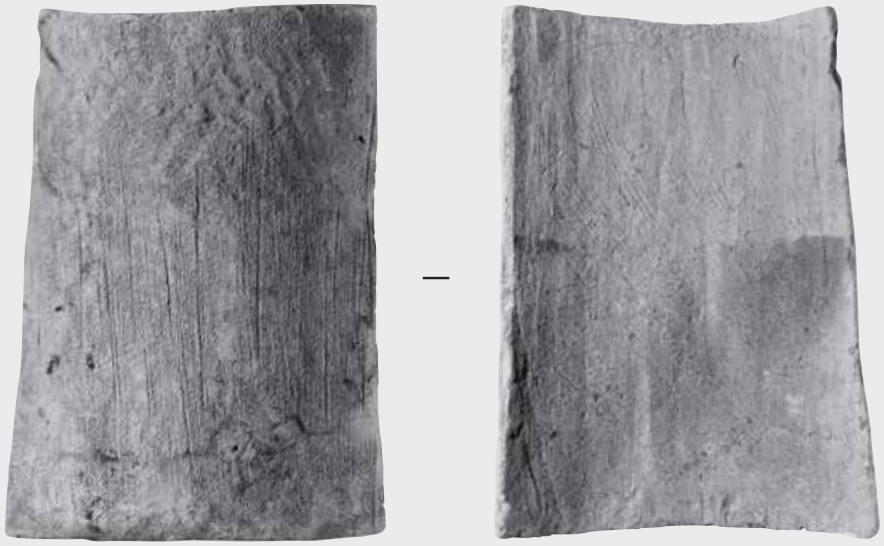


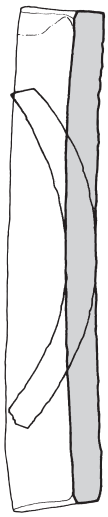
112　10AⅢ



112　平瓦10類AⅢ。10類AⅠ・Ⅱより一回り大型。

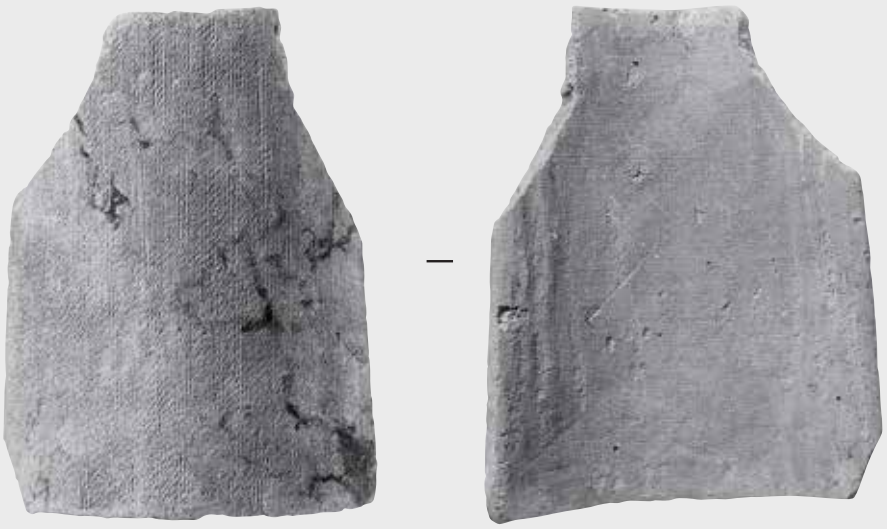
1：6





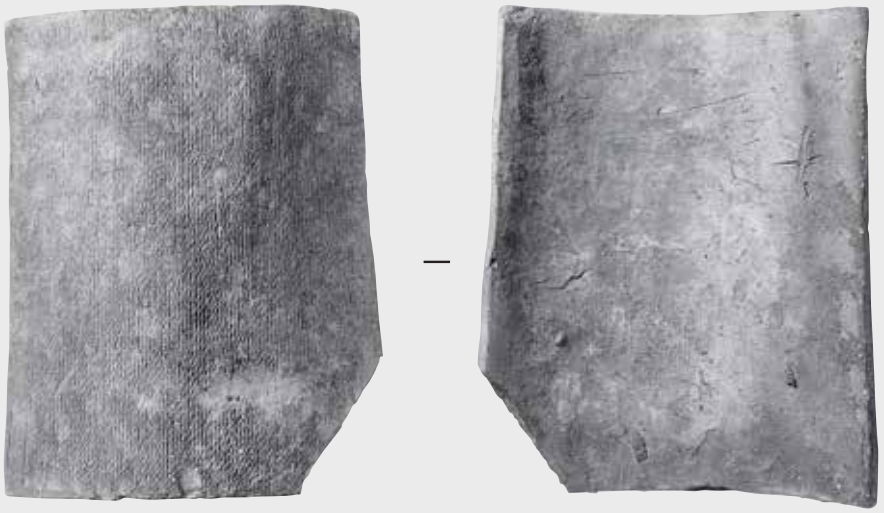
113　10BⅠ

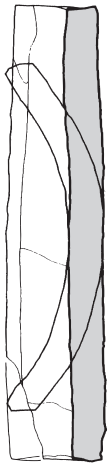
113　平瓦10類BⅠ。縄叩き目の条が細い。凸面狭端近くにユビオサエの痕跡。凹面広端隅に布継ぎ目。



114　10BⅡ

114　平瓦10類BⅡ。凸面全面にタテ縄叩き目。凹面調整せず、側辺近くに内叩きの痕跡あり。

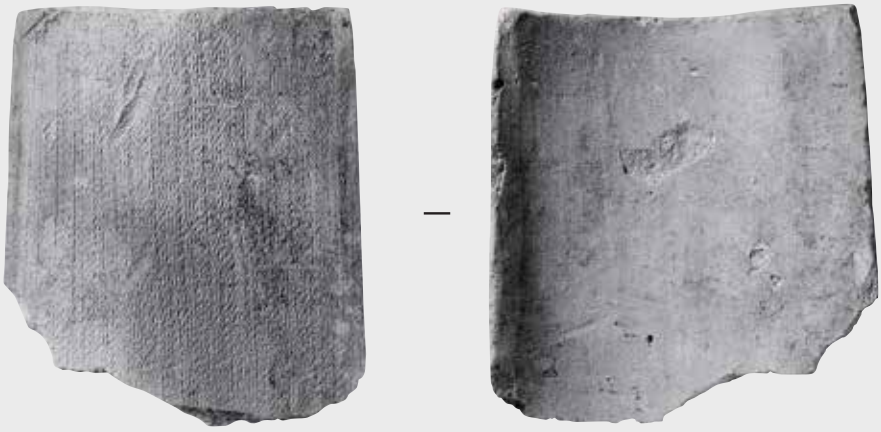


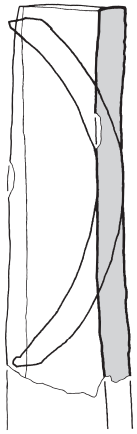


113　10BⅢ

115　平瓦10類BⅢ。凸面全面にタテ縄叩き目。凹面全面をナデ調整。ヘラ書「大」。

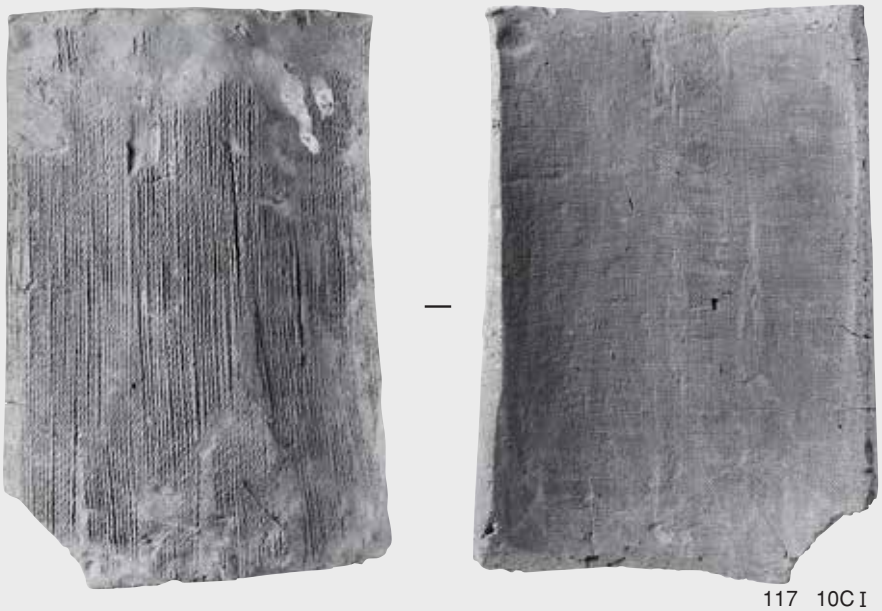
1：6

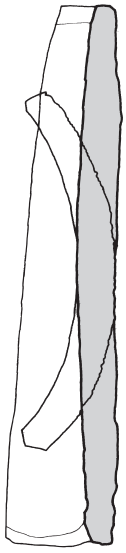




116　10BⅣ

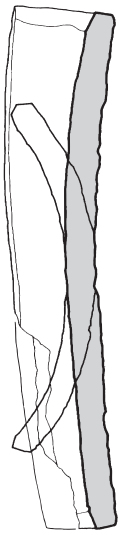
116　平瓦10類BⅣ。凹面中央をタテにナデ調整。湾曲が強く凹面側縁がとがる。





117　10CⅠ

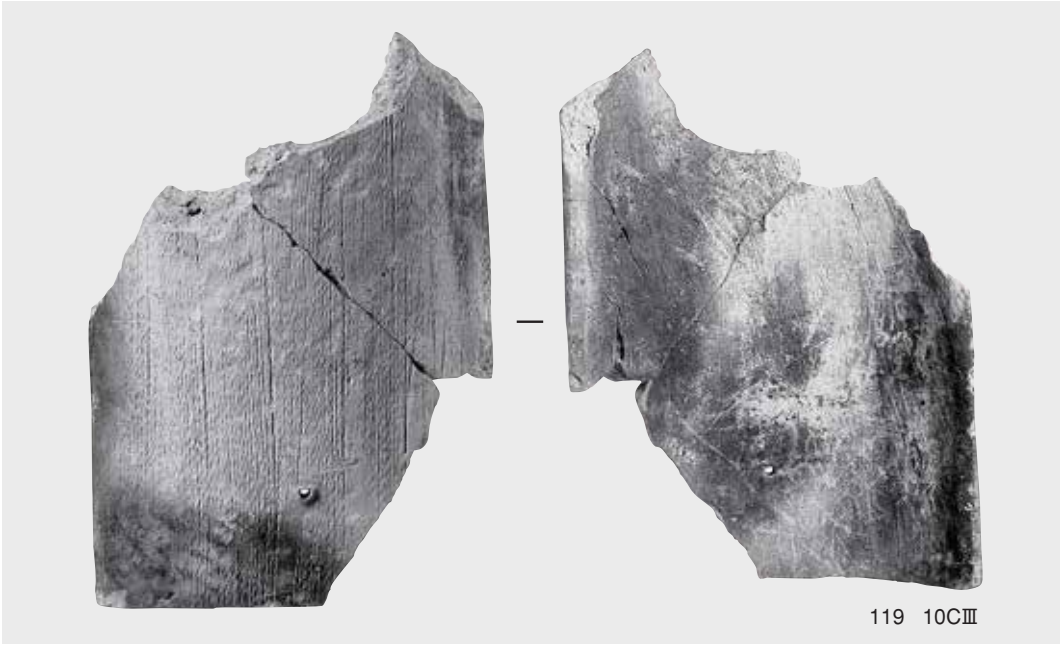
117　平瓦10類CⅠ。瓦が長細く、凸面の縄叩き目が粗雑。

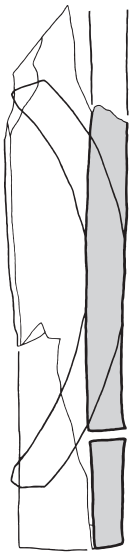


118　10CⅡ

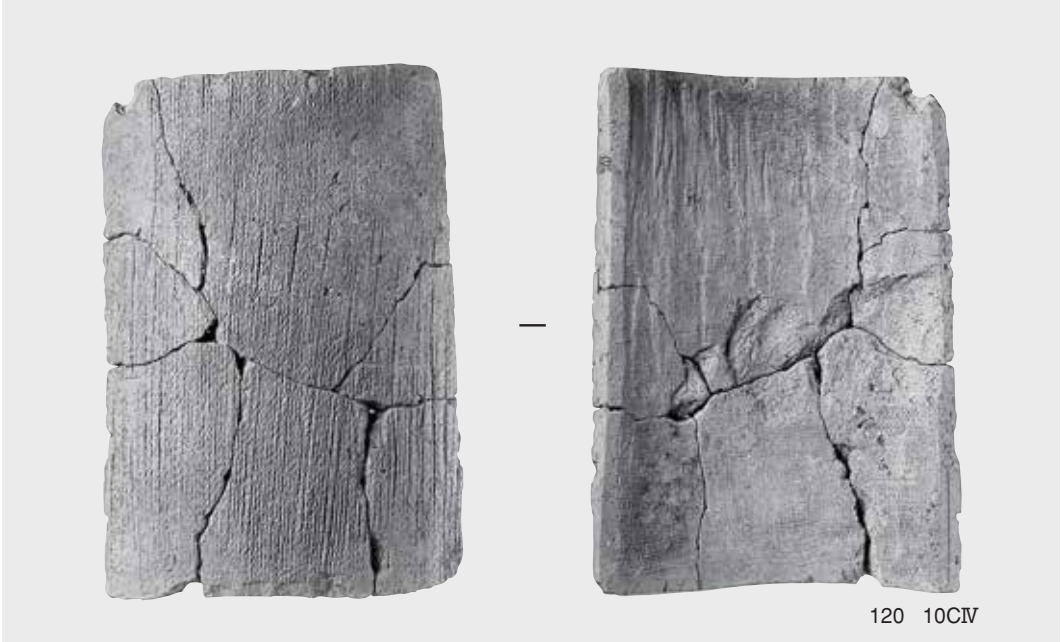
117　平瓦10類CⅡ。凸面の縄叩き目は、条が長い。凹面に内叩きの痕跡多数。

1：6

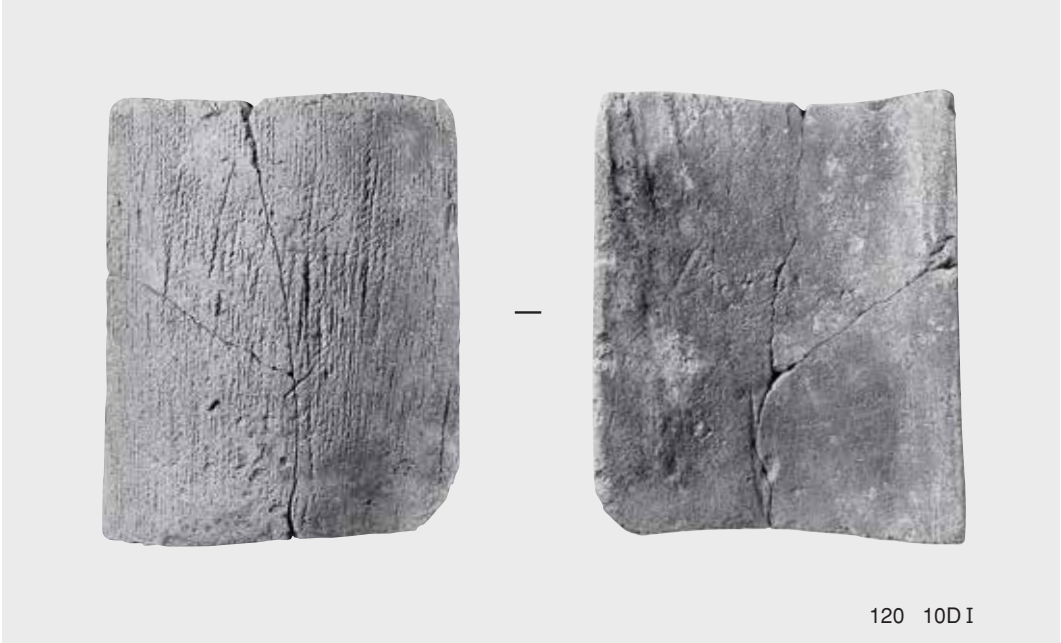


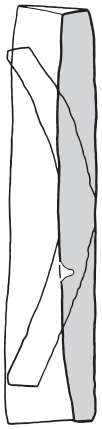


119　平瓦10類CⅢ。凸面の縄叩き目は細い。広端近くに焼成前にあけた釘孔あり。

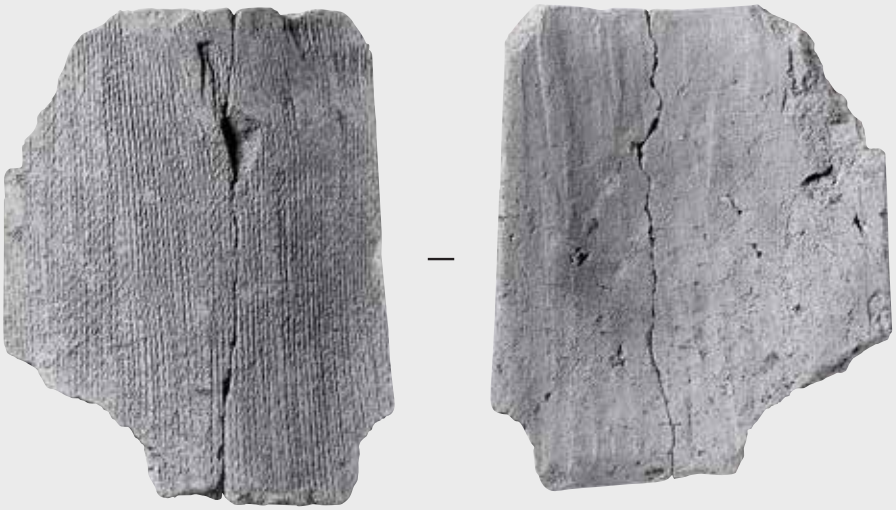


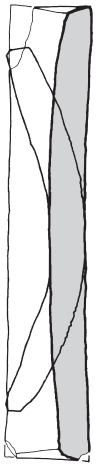
120　平瓦10類CⅣ。凸面の縄叩き目は若干右傾する。凹面に内叩きの痕跡明瞭。





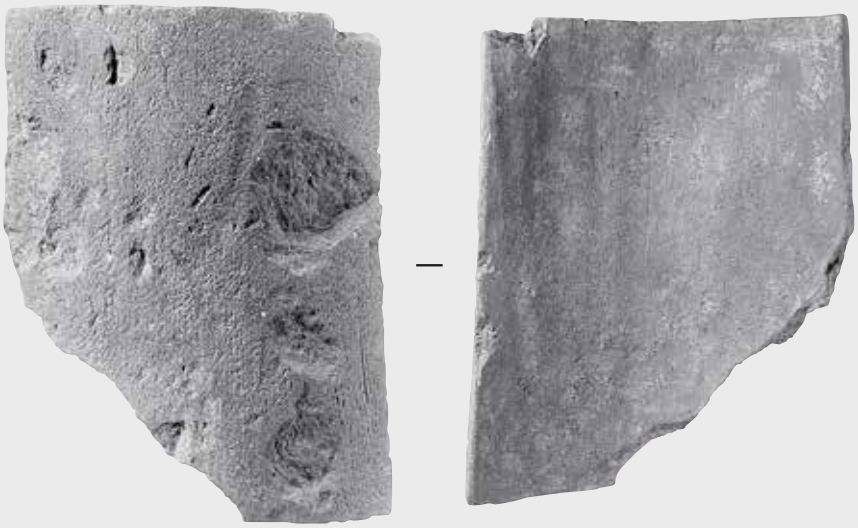
121　平瓦10類DⅠ。小型の縄叩き平瓦。凹面に離れ砂が付着。
1：6

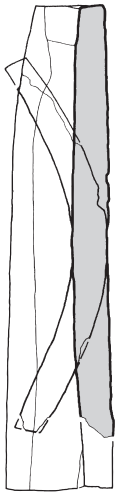




122　10DⅡ

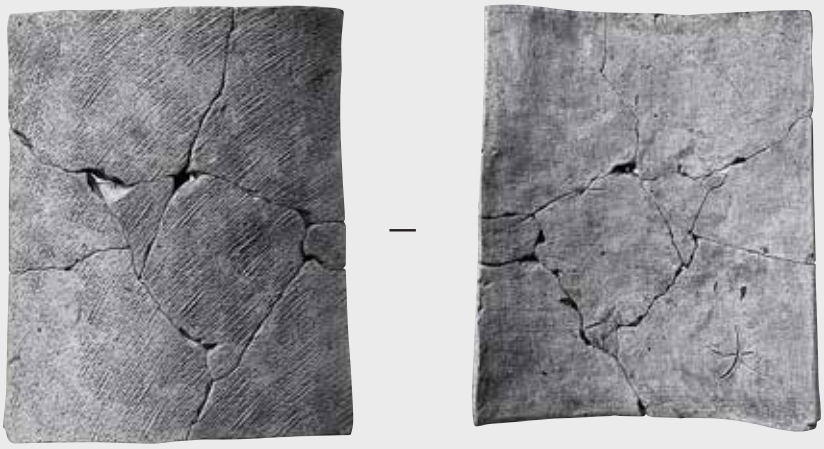
122　平瓦10類DⅡ。凸面にも糸切り痕がみえる。凹面に内叩きの痕跡。





123　10E

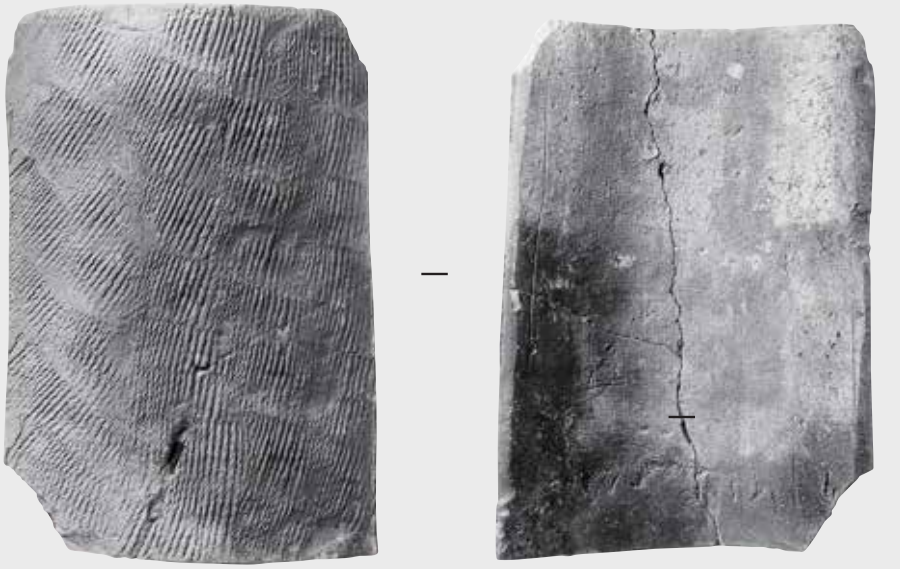
123　平瓦10類E。凹凸面に離れ砂。凸面の縄叩き目と凹面の布圧痕は不明瞭。

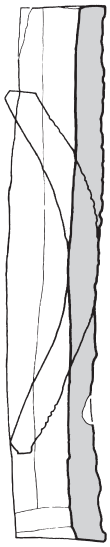


124　11A

124　平瓦11類A。凸面に右上がりの斜め縄叩き目。凹面調整せず、広端側隅にヘラ書「大」。

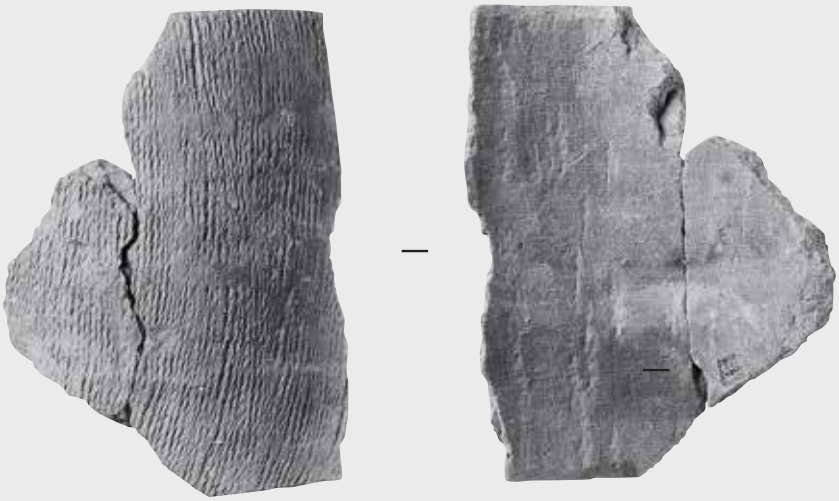
1：6





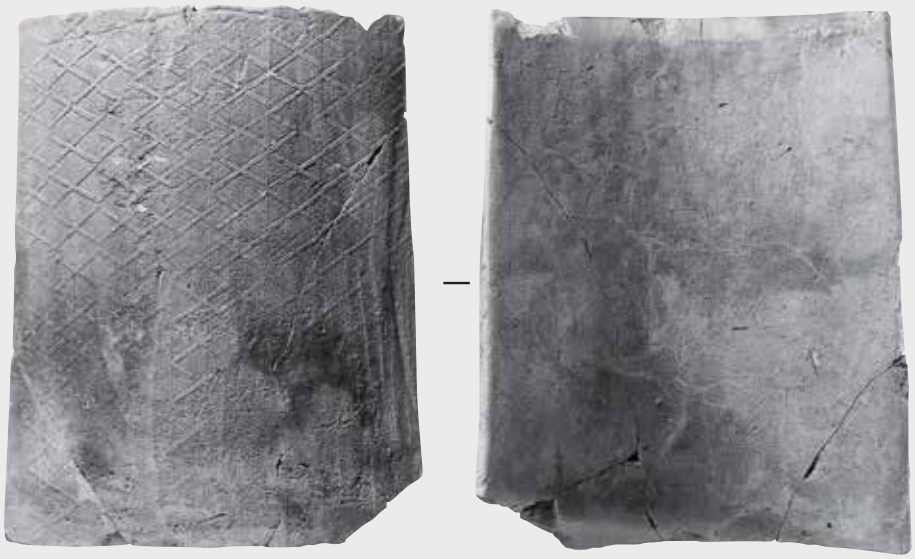
125　11B

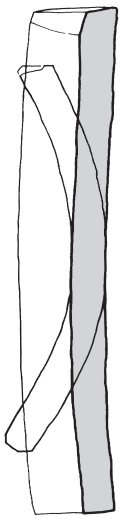
125　平瓦11類B。凸面左半は右上がり、右半はタテの縄叩き目。凹面広端側に布端の痕跡あり。



126　11C

126　平瓦11類C。凸面は広端近くで若干傾斜する縄叩き目。凹面に内叩きの痕跡。





127　12

127　平瓦12類。凸面に大振りの斜格子叩き目。凹面は丁寧な調整。狭端縁を深くヘラケズリ。

1：6

128　平瓦7類D。円弧を描く縄叩き目。

1　平瓦7類Cの粘土板合わせ目と内叩き。

2　平瓦10類CⅡの布端と内叩き。

3　平瓦10類DⅡの内叩き。

4　平瓦11類Cの内叩き。

5　平瓦10類BⅠの布継ぎ目。

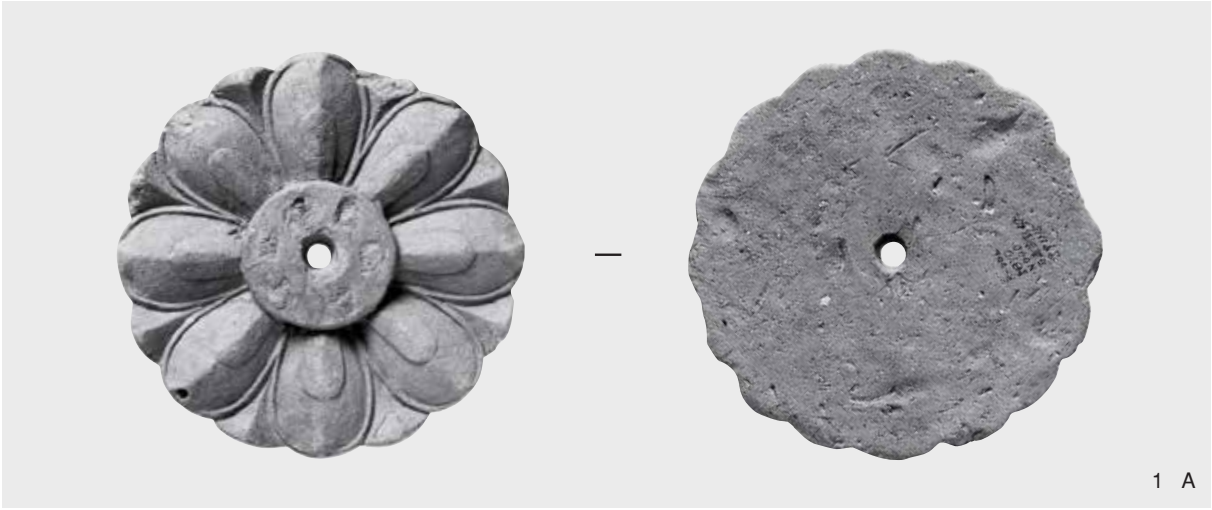
6　平瓦10類CⅡの糸切り痕と風蝕痕。

7　11類Bの側面。

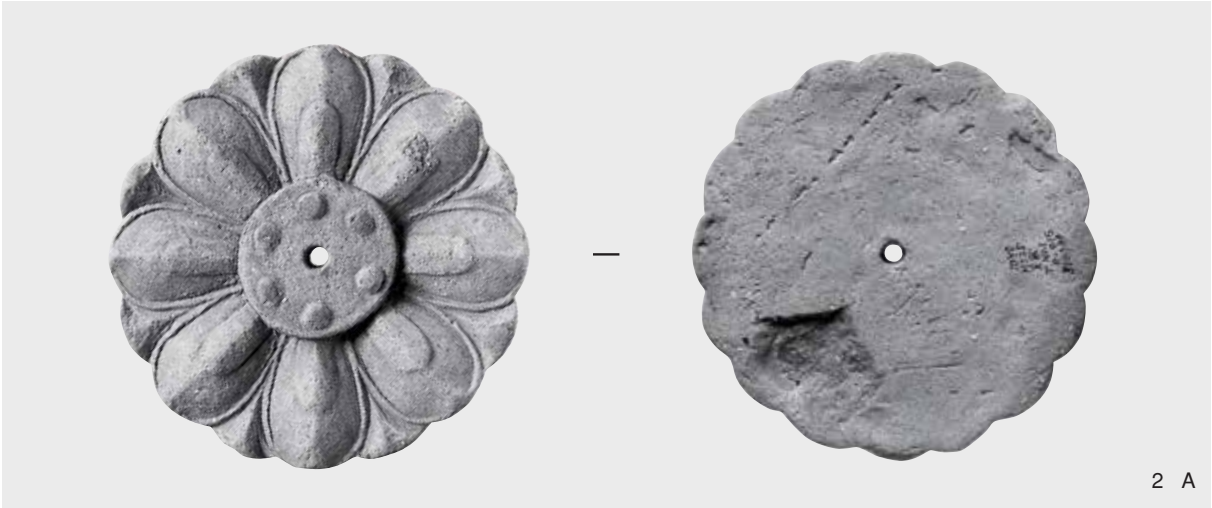
8　平瓦12類凹面、叩き目の痕跡。

1：6（1～5、7・8を除く）

垂木先瓦 1



1 A



2 A

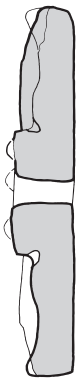
3 A

4 A

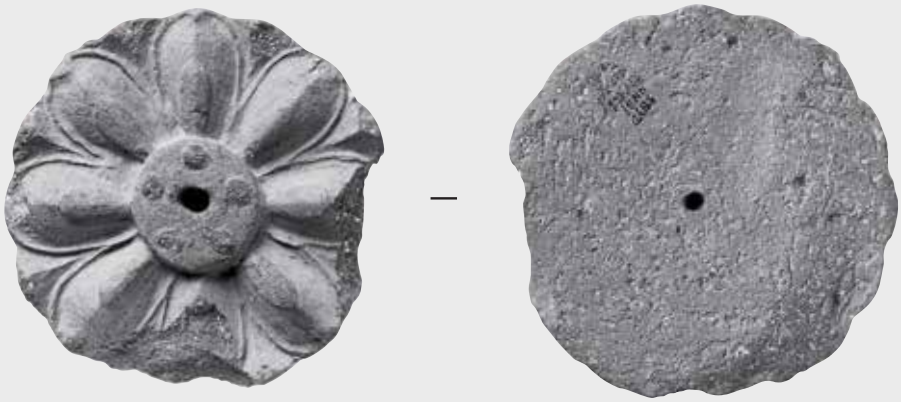
5 E

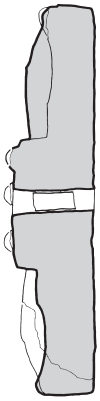
6 E

1：3

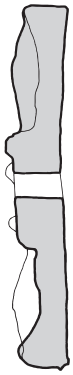


7 B

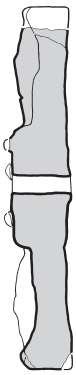




8 B



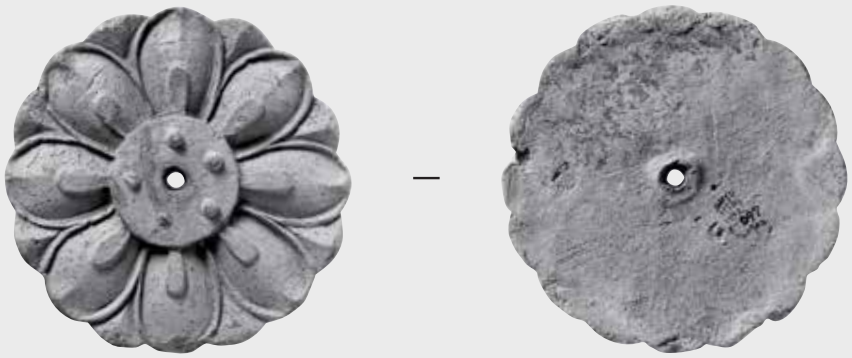
9 B′

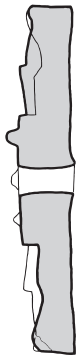


10 B′

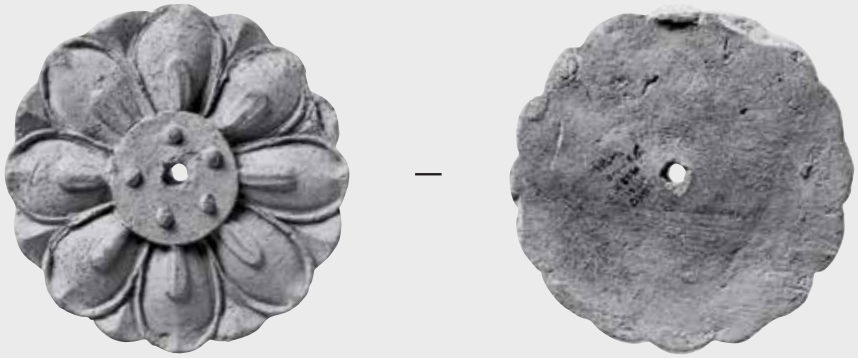
1：3

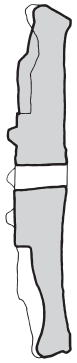
垂木先瓦 3



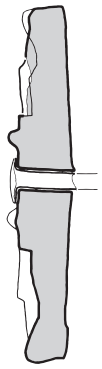


11 Ca

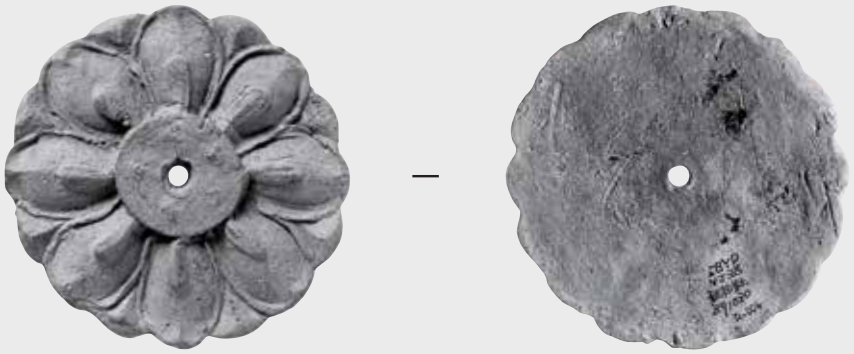


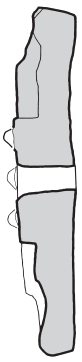


12 Cb



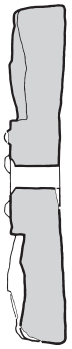
13 Cb



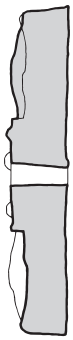


14 Cb

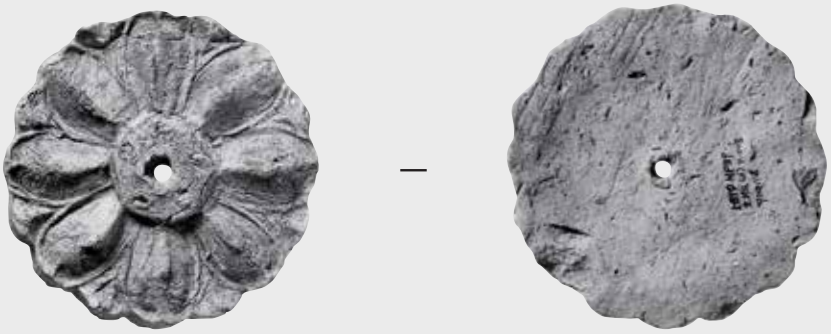
1：3



15 D



16 D



17 D

18 D

1：3

垂木先瓦細部写真 1

1　深いかしめ穴（A種）。

2　浅いかしめ穴（A種）。

3　かしめ穴に錆がつまるもの（B種）。

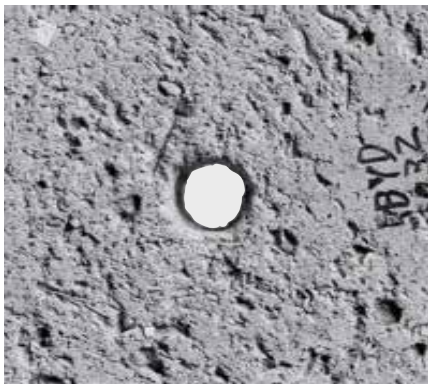
4　枷型端の粘土のはみだし（B種）。

5　笵型と左右分割枷型の合わせ目（A種）。

6　笵型と枷型の合わせ目（A種）。

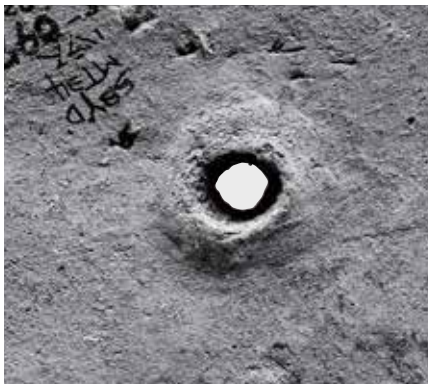
7　裏面の外周に残る風化の跡（B種）。

8　裏面はナデ調整（B種）。



9　ケズリ調整のアップ（D種）。

10　ケズリ調整のアップ（B種）。



11　ハケ目調整のアップ（Cb種）。

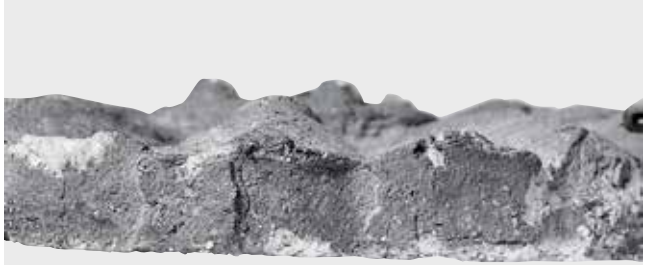
1　粘土の詰め方（D種）。

2　粘土の詰め方（B種）。

3　Cb種　釘孔が2孔のもの。

4　D種　笵傷1段階のアップ。

5　B種　側面の突起。



6　B’種　側面の突起。

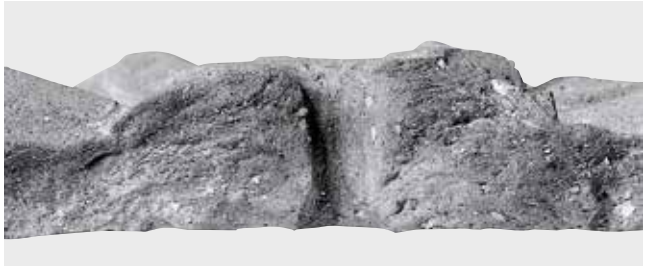
7　釘孔の断面①（D種）。

7　釘孔の断面①（D種）。

9　釘孔の断面②（B種）。

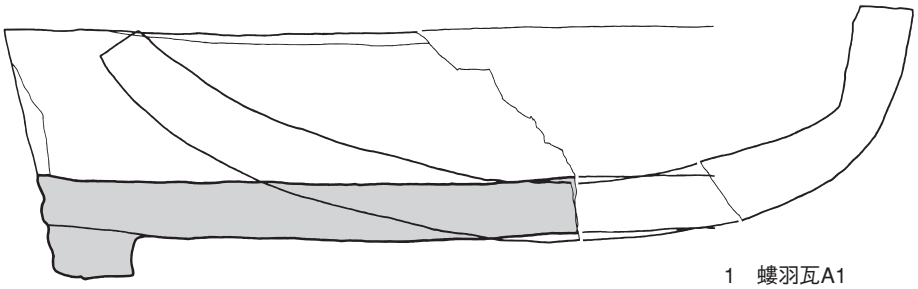
10　釘孔の断面③（Cb種）。

11　釘孔の断面④（A種）。



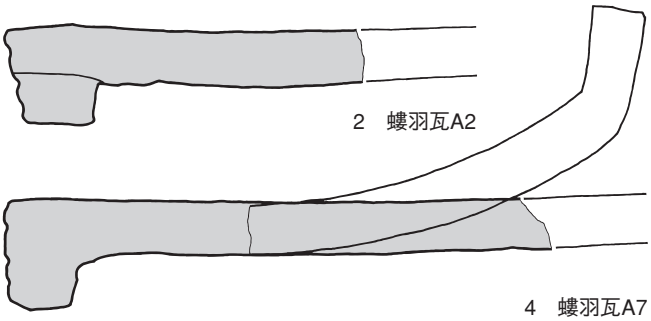
12　釘孔の断面④（A種）。

蠧羽瓦細部写真 1



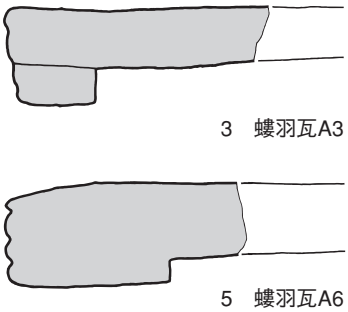
1　蠧羽瓦A1

0　1：3　10cm



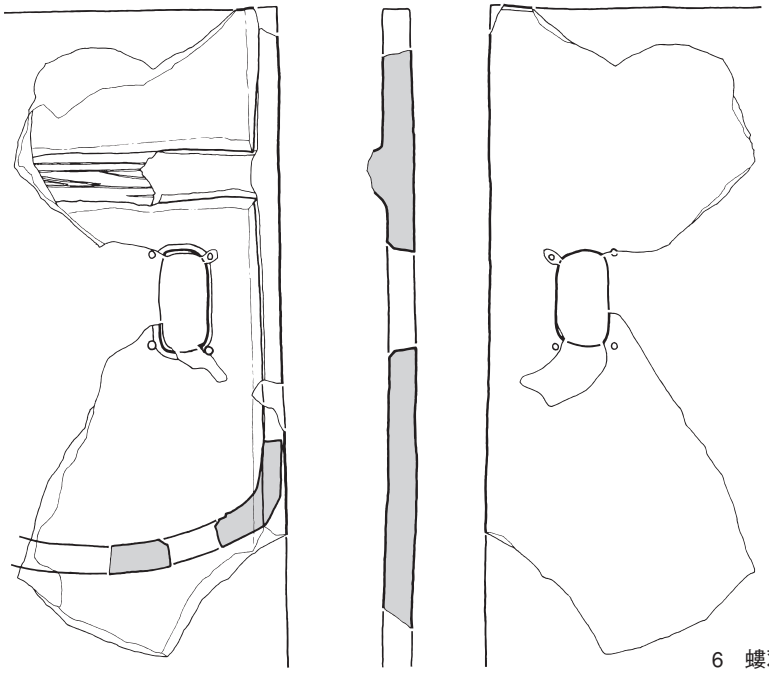
2　蠧羽瓦A2

4　蠧羽瓦A7

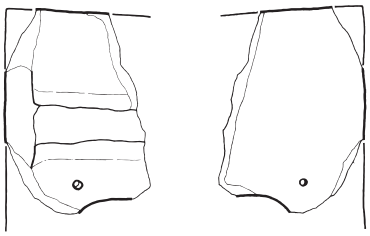


3　蠧羽瓦A3

5　蠧羽瓦A6



6　蠧羽瓦A1



7　蠧羽瓦A11

0　1：6　20cm

1　蠧羽瓦A1の狭端部。突帯と方形の穿孔あり。

2　孔は隅丸方形、四隅に小孔あり。

1：3（1・2を除く。6・7は1：6）

1　蠧羽瓦A1

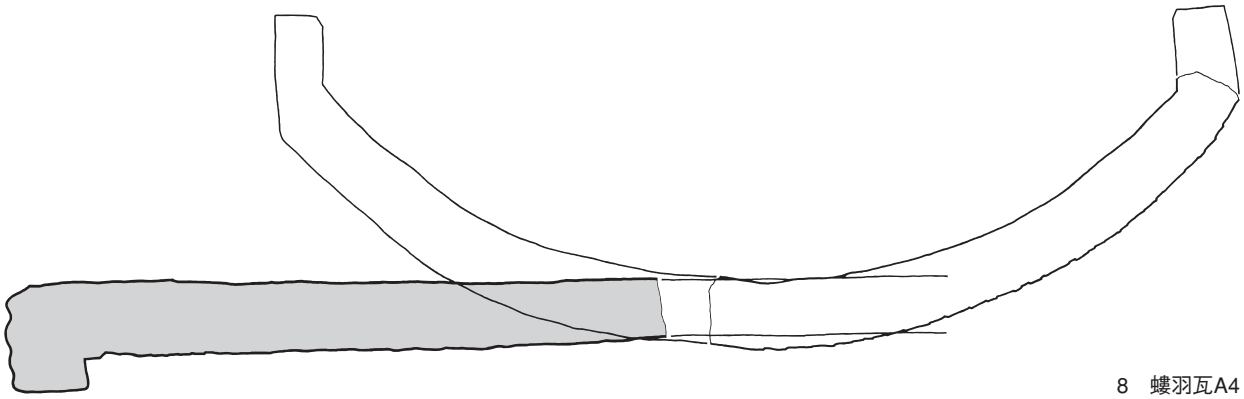
2　蠧羽瓦A2

3　蠧羽瓦A3

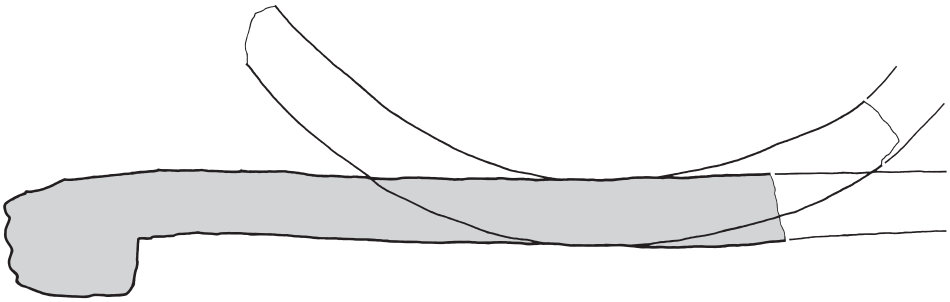
4　蠧羽瓦A7

5　蠧羽瓦A6

1：3

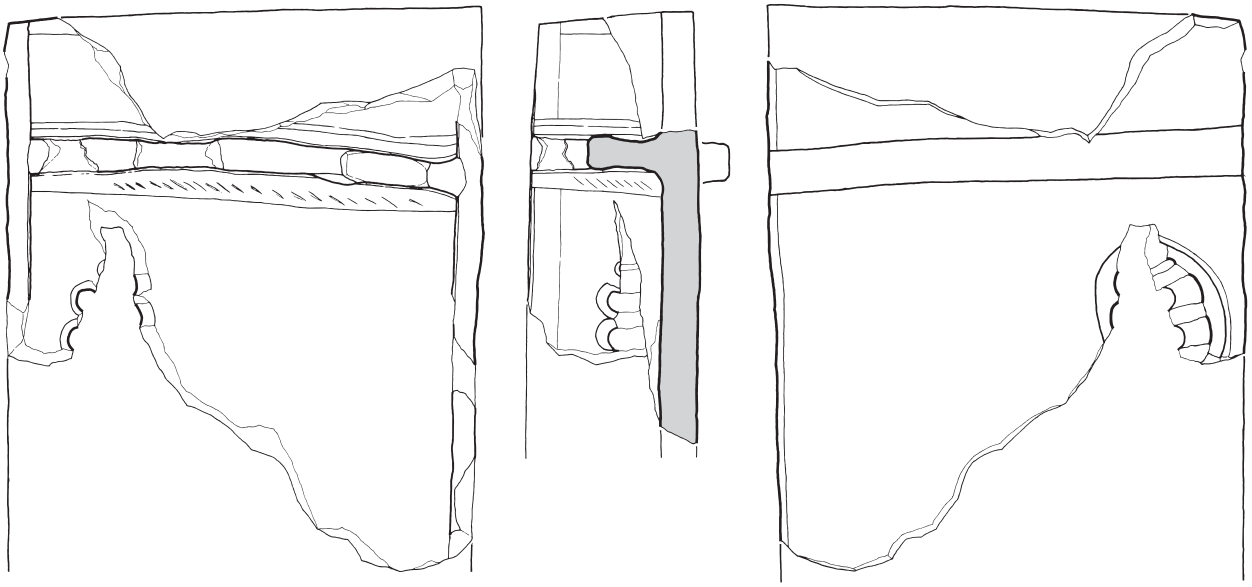


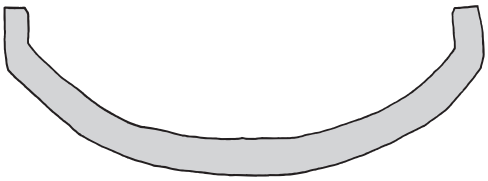
8　螻羽瓦A4



9　螻羽瓦A5

0　1：3　20cm





10　螻羽瓦A4・5

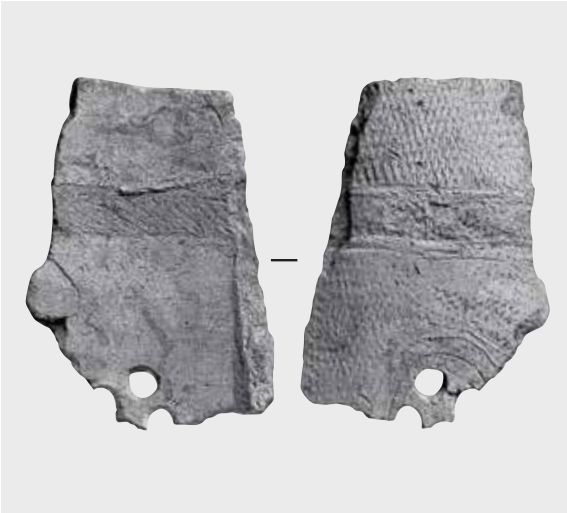
0　1：6　40cm

8　蠧羽瓦A4

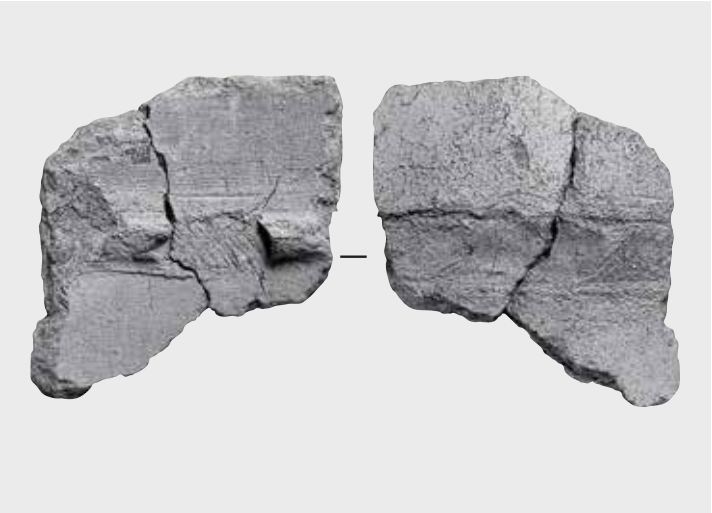
9　蠧羽瓦A5

1　蠧羽瓦A4・5の狭端部。凸帯の2箇所に丸い抉り。

2　その凸面。凸帯の痕跡と周囲に凸帯を巡らせた穿孔部。



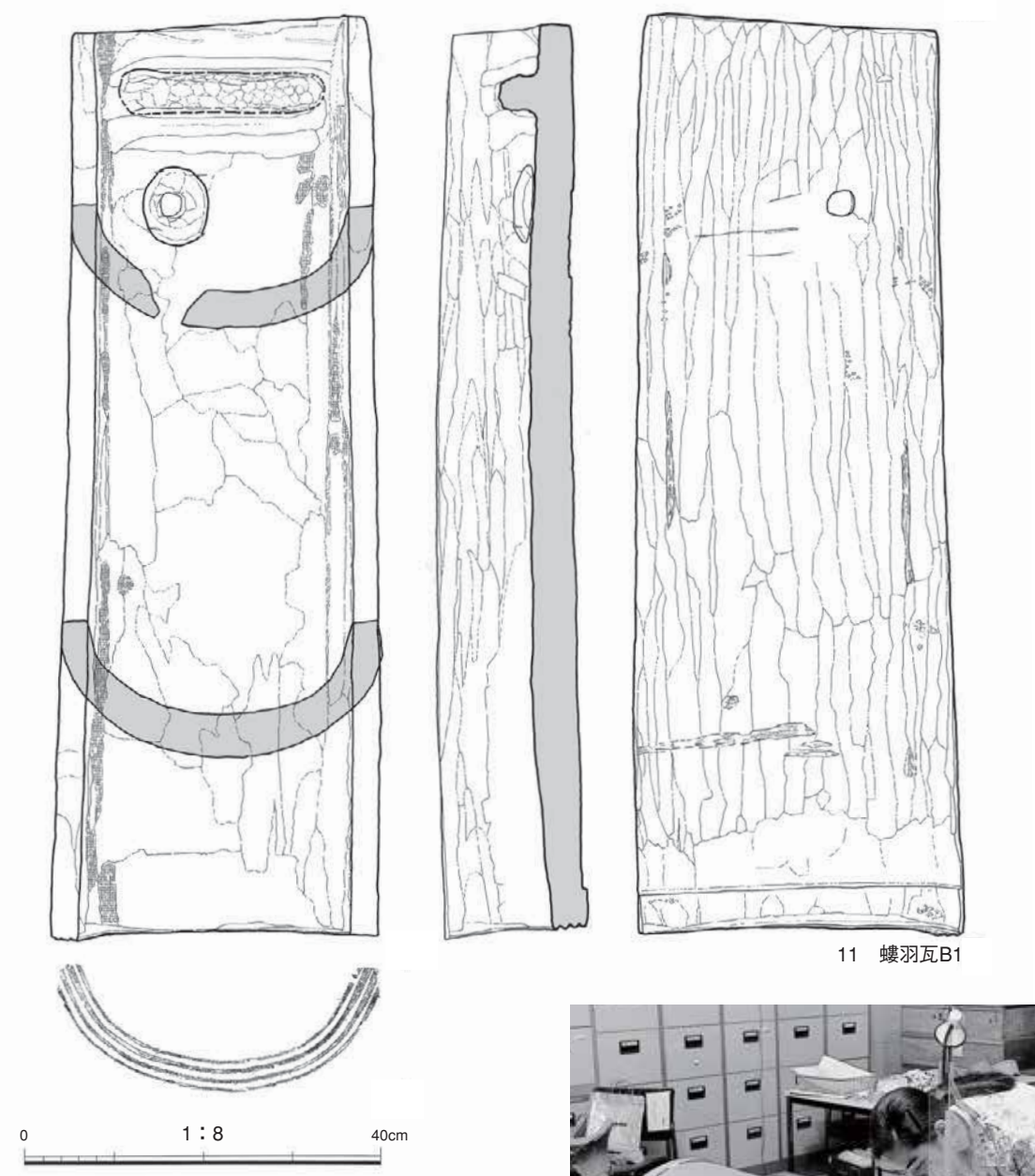
3　蠧羽瓦A4・5狭端部。穿孔部の孔は6～7個。



4　蠧羽瓦A4・5狭端部。凹凸面の凸帯剥離。

1：3（1～4を除く。3・4は1：6）

蠧羽瓦細部写真 2



11　蠧羽瓦B1

3　実測している様子。美女と蠧羽瓦。

1　蠧羽瓦B1の狭端部。円孔と突帯。円孔に割付線あり。

2　瓦当近くの凸面。顎面に割付線。ほぼ全面ヘラケズリ。

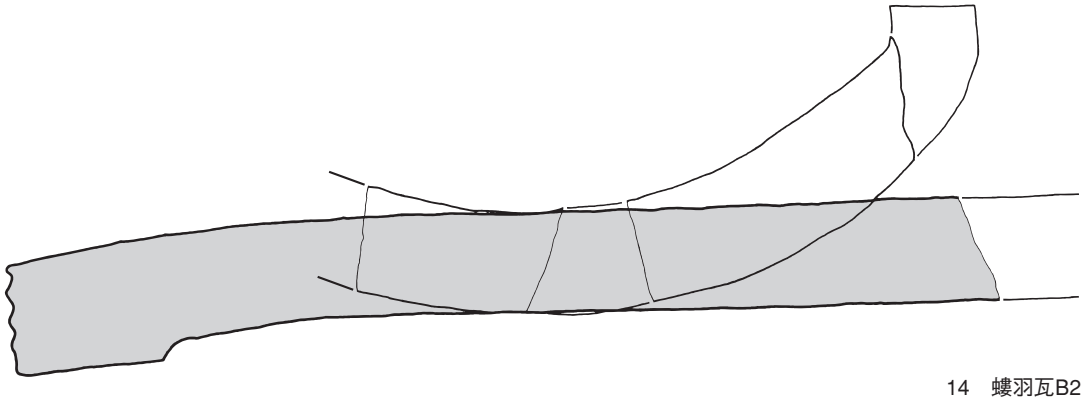
11　蠧羽瓦B1

12　蠧羽瓦B1

13　蠧羽瓦B1

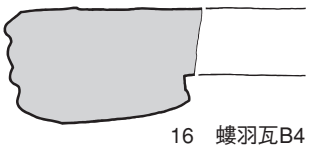
1：3（12・13を除く）

螻羽瓦細部写真 3

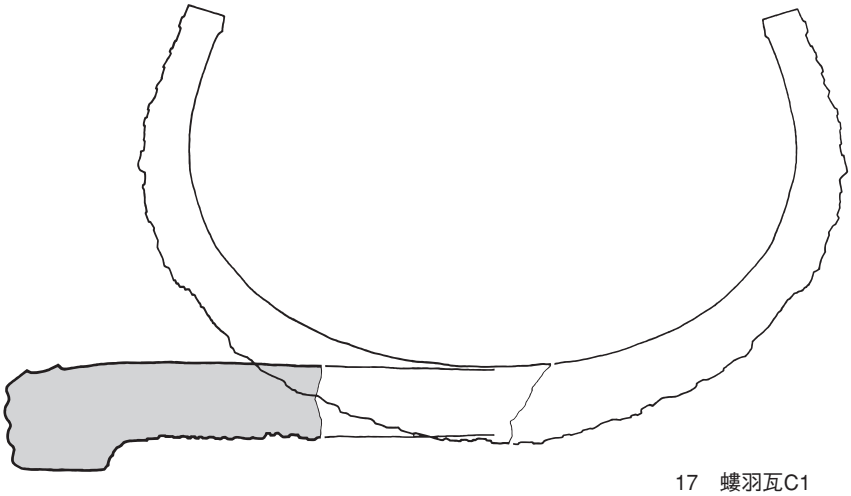


14　螻羽瓦B2

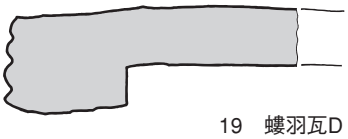
15　螻羽瓦B3



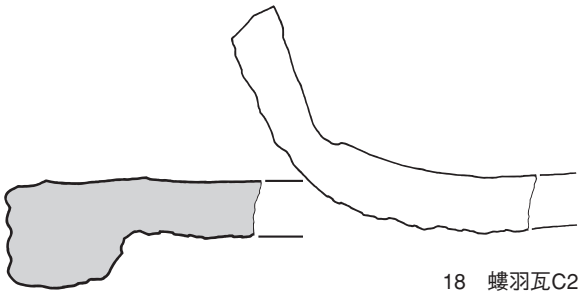
16　螻羽瓦B4



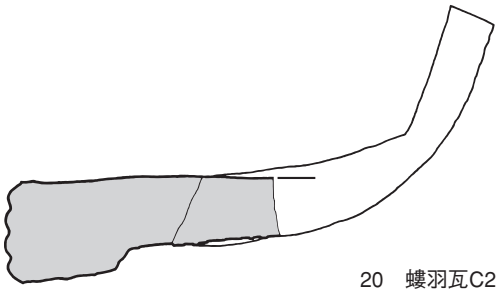
17　螻羽瓦C1



19　螻羽瓦D



18　螻羽瓦C2



20　螻羽瓦C2

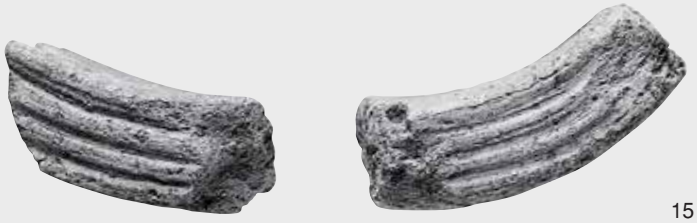
0　1：3　20cm

1　螻羽瓦C1の狭端部。

2　螻羽瓦C3の狭端部。

3　螻羽瓦C2の狭端部。

14　蠧羽瓦B2



15　蠧羽瓦B3

16　蠧羽瓦B4

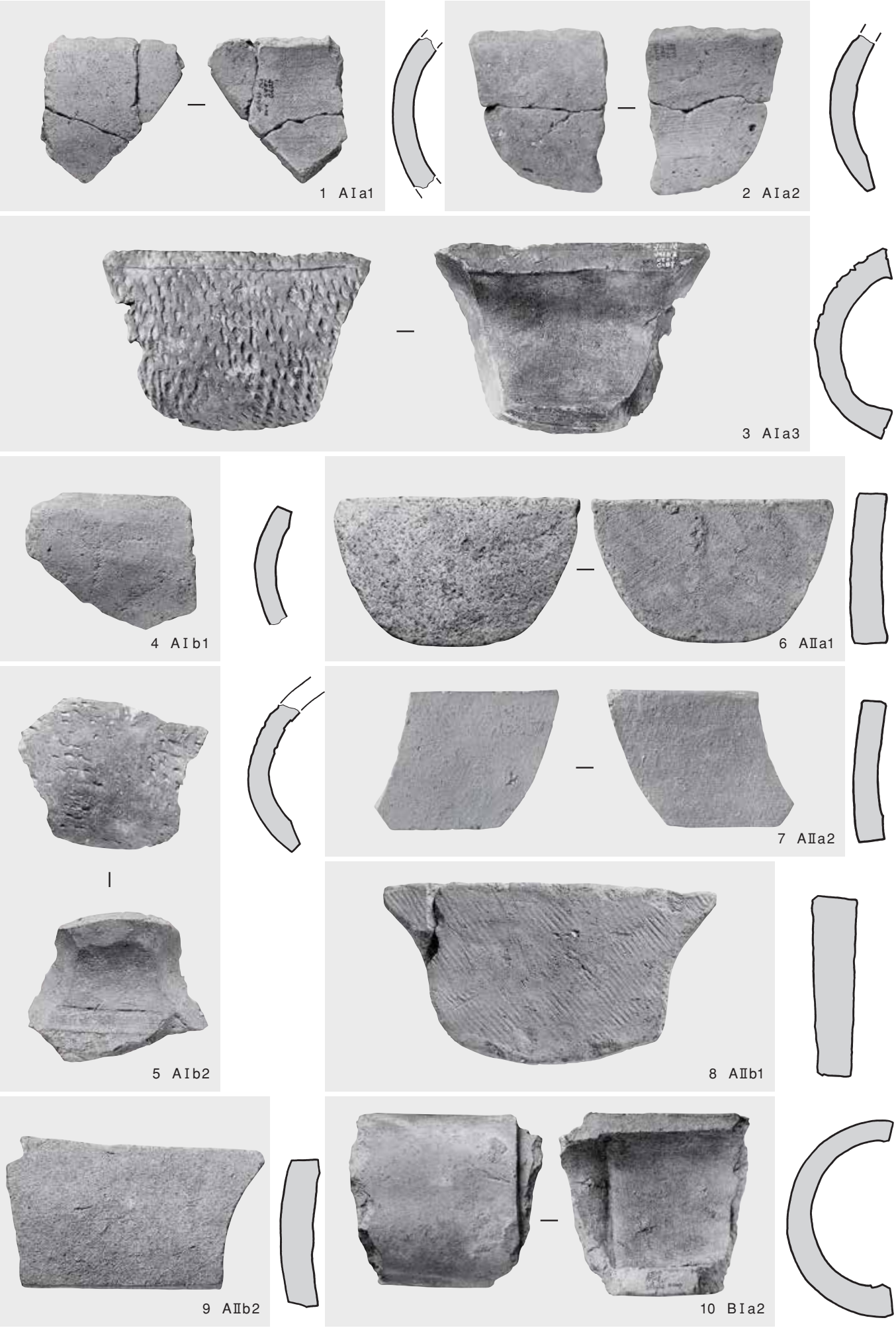
17　蠧羽瓦C1

18　蠧羽瓦C2

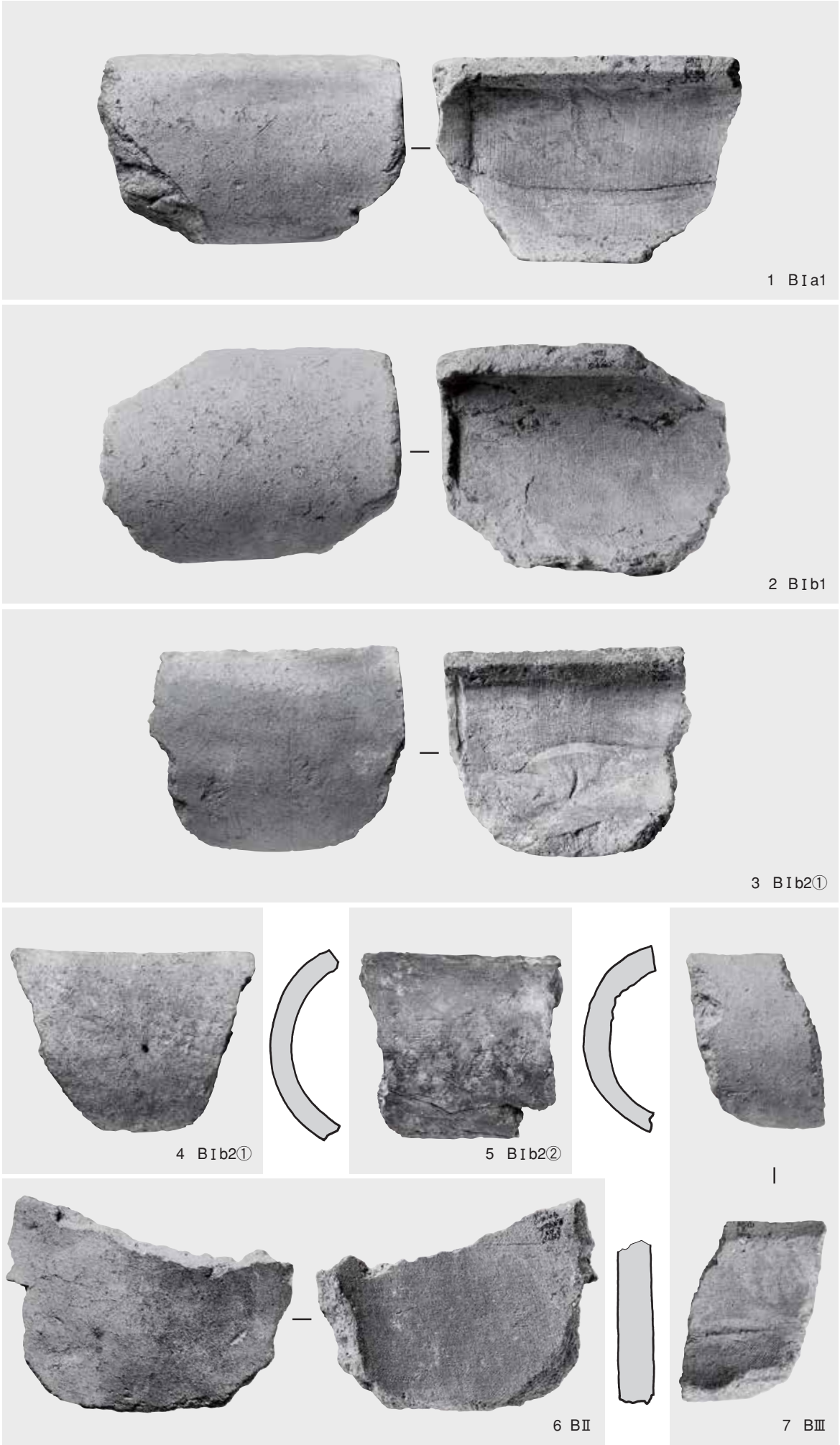
19　蠧羽瓦D

1：3

面戸瓦 1


1 AIa1
2 AIa2
3 AIa3
4 AIb1
6 AIIa1
7 AIIa2
5 AIb2
8 AIIb1
9 AIIb2
10 BIa2

1：4



1：4

1 割熨斗瓦B。粘土板合わせ目Zで割った例。

2 割熨斗瓦B。風蝕痕が幅広の例。

3・4 割熨斗瓦B。凹面にも風蝕痕。平瓦として使用ののち熨斗瓦に転用した例。

5 割熨斗瓦B。風蝕痕。

6 割熨斗瓦B。幅広の風蝕痕。

1：6

7 割熨斗瓦B。幅8㎝ほどの風蝕痕。

8 割熨斗瓦B。瓦の幅は合わせ目まかせ。

9 割熨斗瓦B。粘土板合わせ目Zで分割。

10 粘土板合わせ目Sで分割。

11 風蝕痕と葺き土。

12 風蝕痕。

13 幅広の風蝕痕。

14 不整形な割熨斗瓦B。

15 割熨斗瓦C。風蝕痕不明瞭。

1：6

熨斗瓦 3

16　割熨斗瓦A

16　割熨斗瓦A。側面に風蝕痕。

17　割熨斗瓦D

17　割熨斗瓦D。側面に風蝕痕。

18　割熨斗瓦D

18　割熨斗瓦D。側面に風蝕痕。

19　割熨斗瓦E

19　割熨斗瓦E。平瓦11類を加工。

20　割熨斗瓦F

20　割熨斗瓦F。平瓦10類Bを加工。

21　割熨斗瓦F

21　割熨斗瓦F。平瓦10類Aを加工。

22　割熨斗瓦B

22　割熨斗瓦Bで半割面に風蝕痕がある例。

1　割熨斗瓦B凸面の凹型台痕跡。

2　割熨斗瓦Eの半割面細部。

1：6（1・2を除く）

23 台熨斗瓦。凸面のタテ半分に風蝕痕。凹面に葺土。

1 熨斗瓦各種。

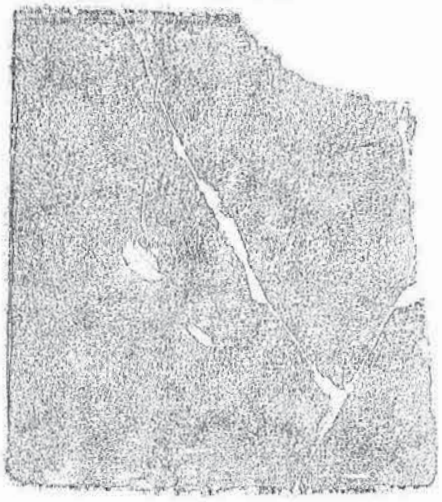
2 回廊熨斗積の復元。

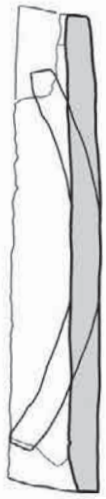
1：6（1・2を除く）

1　雁振瓦1

2　雁振瓦1

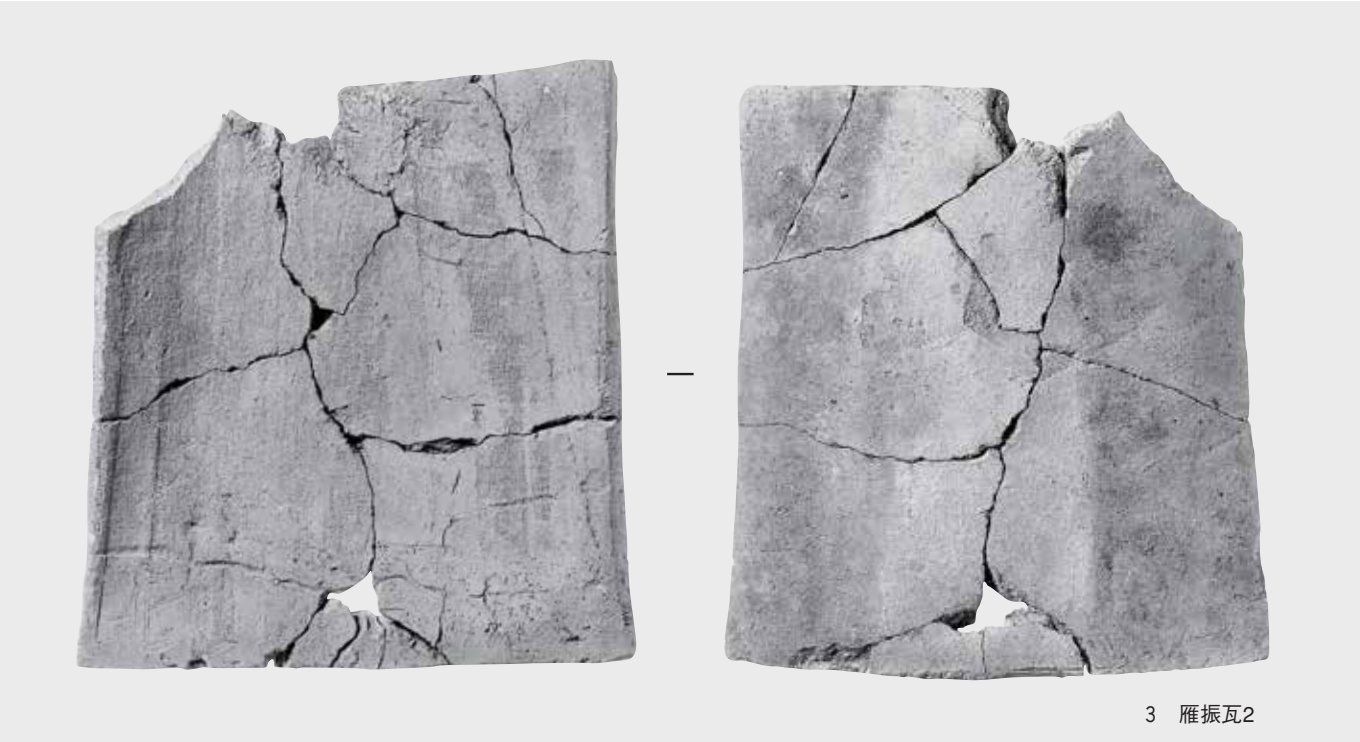
3　雁振瓦2



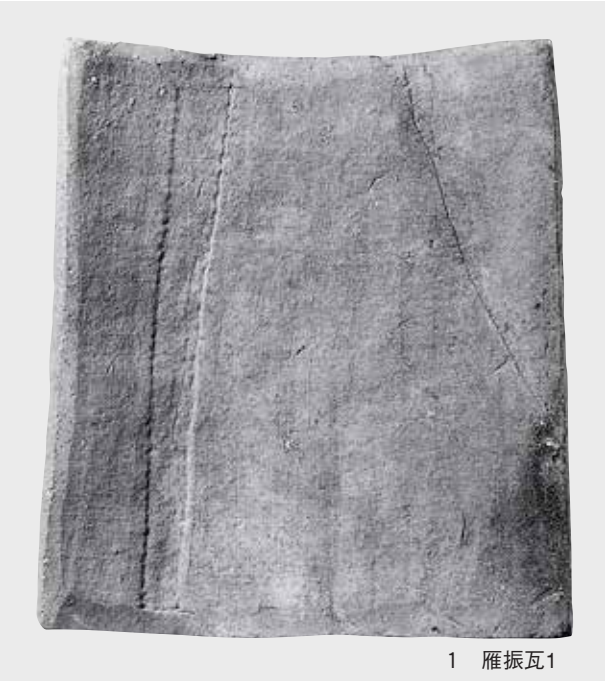


4　雁振瓦1

1：6



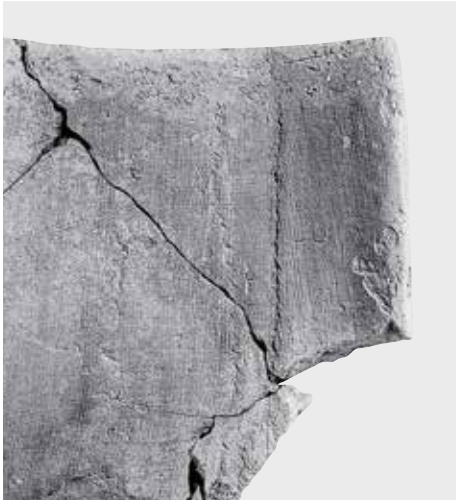
3　雁振瓦2。凸面の中央に葺土の痕跡が明瞭に残る。



1　雁振瓦1。凹面の布綴じ痕ⅱ。

5　雁振瓦1。凹面の布綴じ痕ⅰ。

6　布綴じ痕ⅲ。

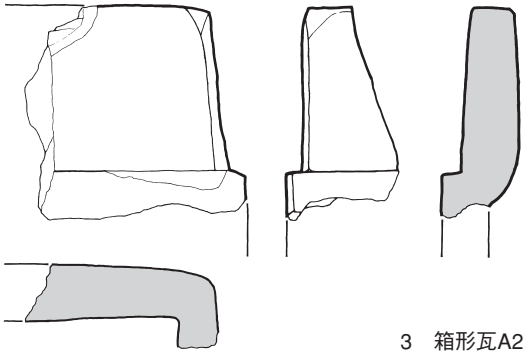


7　雁振瓦2。布綴じ痕ⅳ。

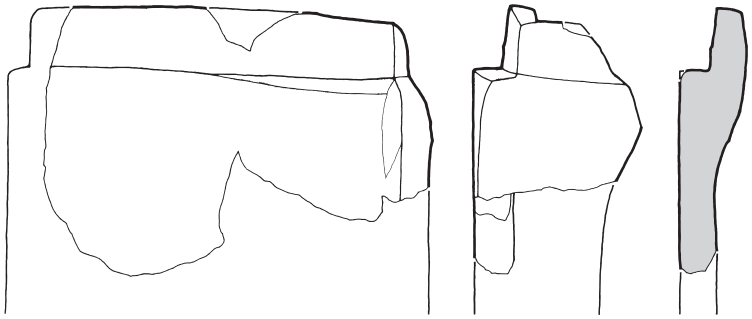
8　雁振瓦3。布綴じ痕ⅳ。

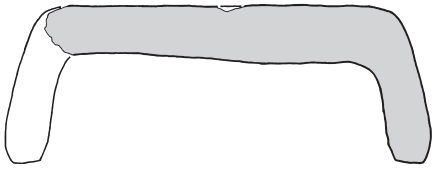
9　側面打ち欠き。

1：5（7・9を除く）

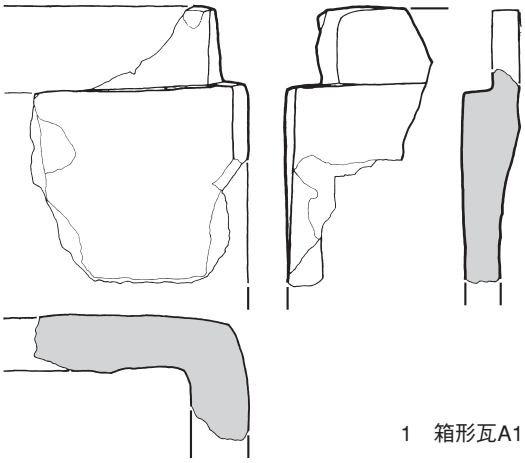


3　箱形瓦A2

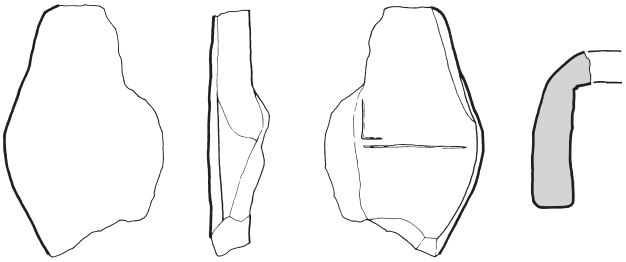




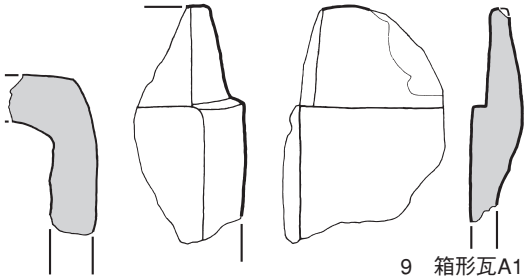
2　箱形瓦A1



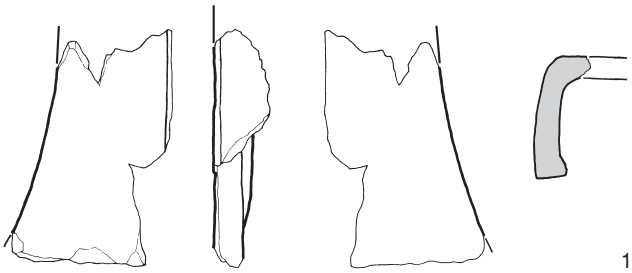
1　箱形瓦A1



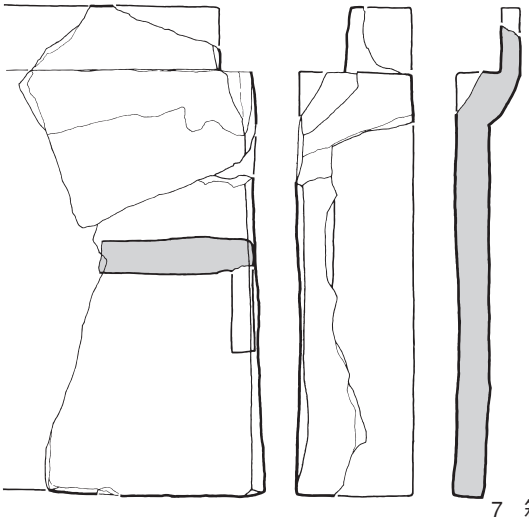
5　箱形瓦A



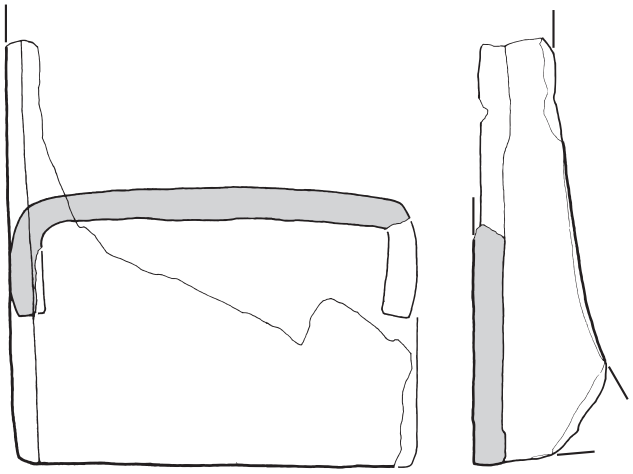
9　箱形瓦A1



10　箱形瓦A



7　箱形瓦B



6　箱形瓦A

0　1：5　30cm

1　箱形瓦A1の玉縁部凹面。ナデ調整。

2　箱形瓦A1の玉縁部外観。玉縁が短い。側辺波形。

3　箱形瓦A2の玉縁部凹面。不調整。

4　箱形瓦A2の玉縁部外観。玉縁が長い。端部に斜格子叩き目。

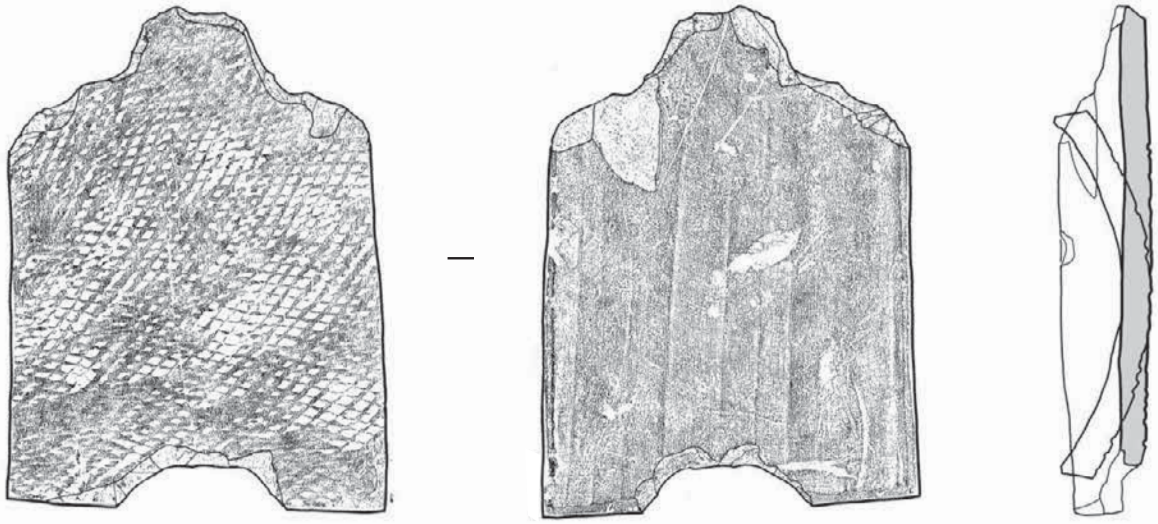
5　箱形瓦A。側辺波形。凹面に割付線。

6　箱形瓦Aの広端部。側辺波形。

7　箱形瓦B。玉縁部凹面。布綴じ合わせあり。

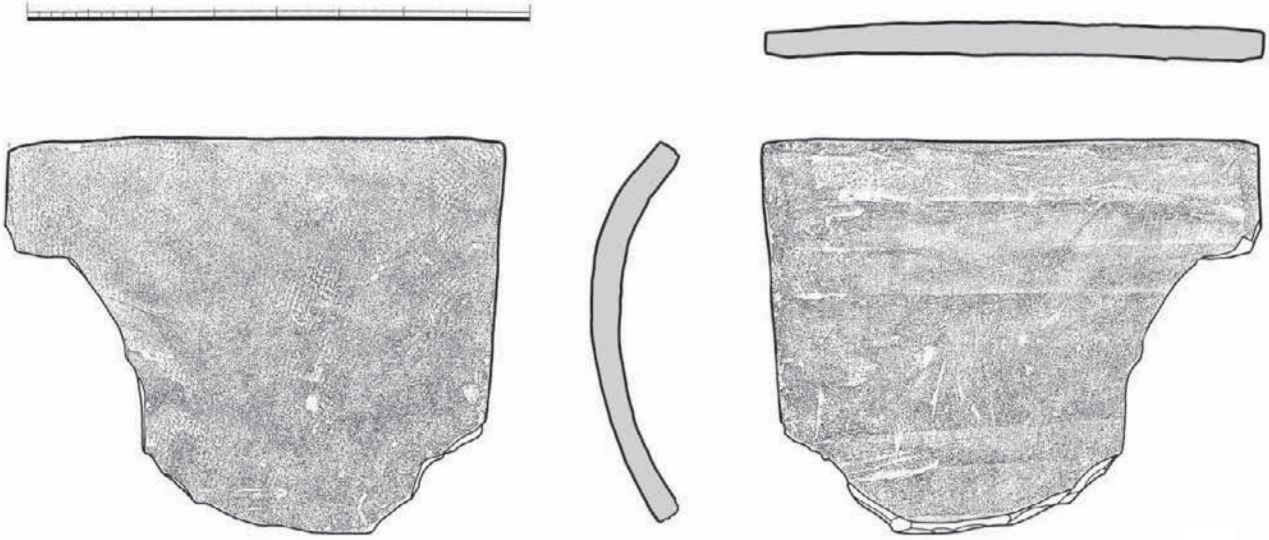
8　箱形瓦B外観。玉縁短い。側辺は直線。

平瓦を加工した道具瓦 1

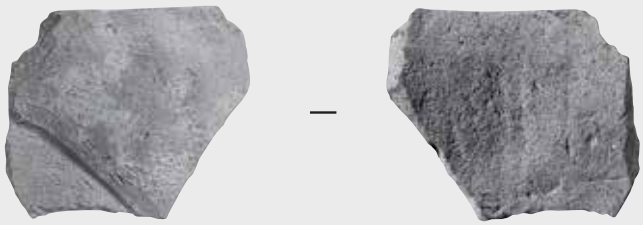


1

0　1：6　40cm



2



4

5

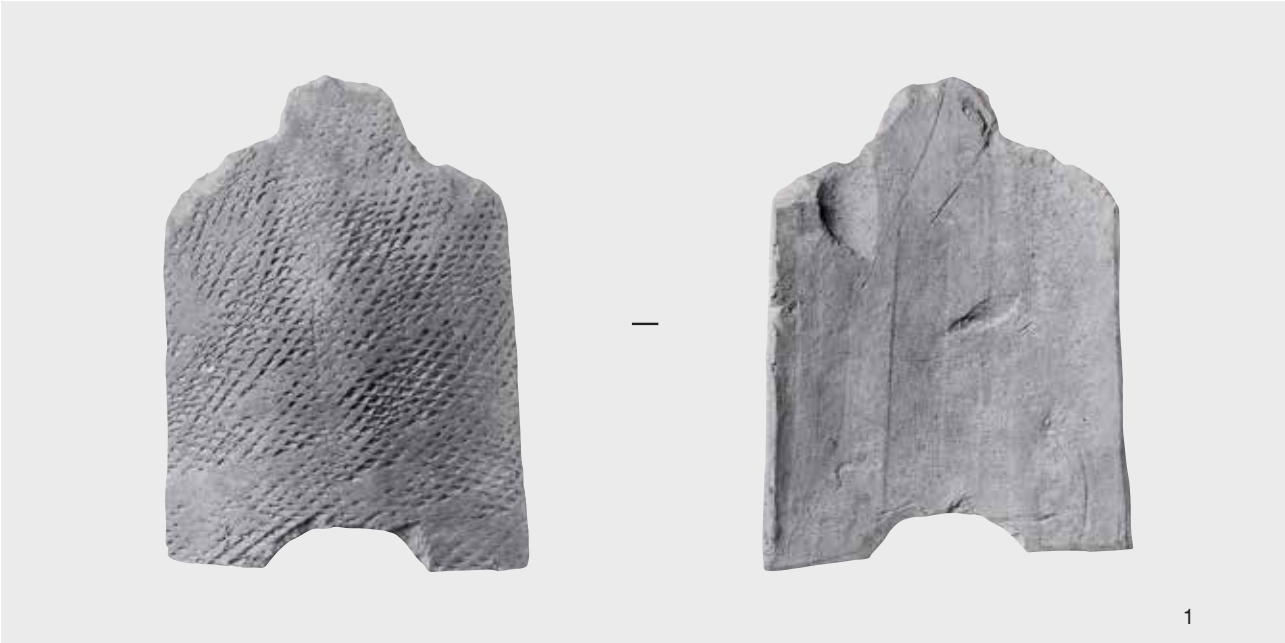
6

4　狭端とは斜めに段差を設けた平瓦。凹面に風蝕痕跡。

5・6　平瓦を半円形に加工した瓦。

1　鬼瓦　2　大型面戸瓦　4〜6　用途不明

1：6



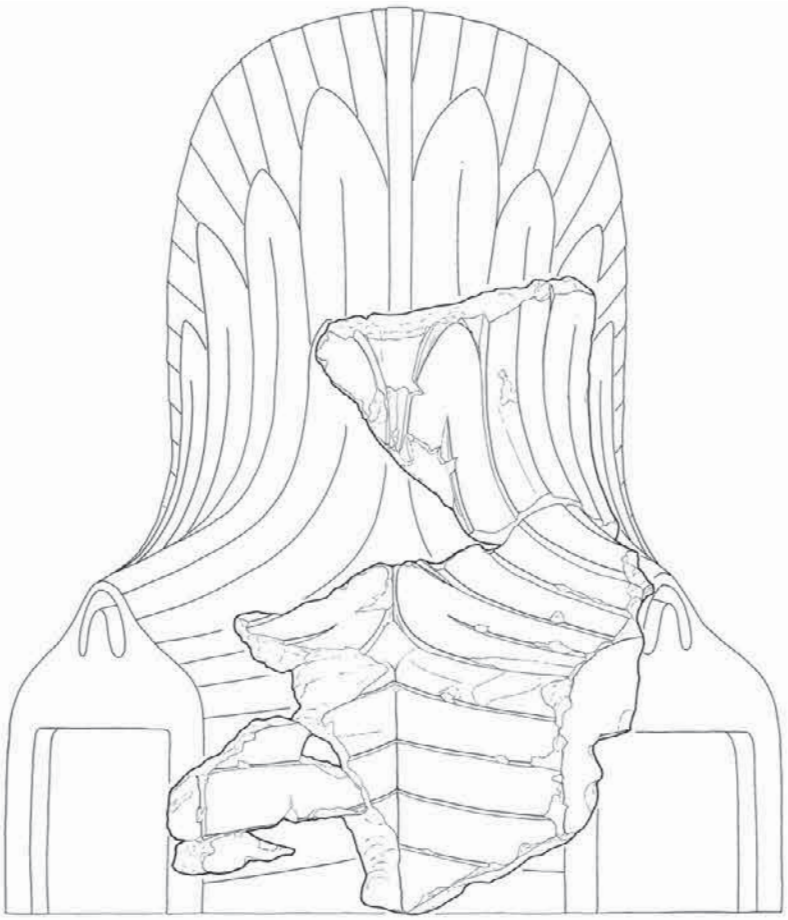
1　平瓦6類Aを焼成後に加工した「鬼瓦」。凹面に風蝕痕跡あり。平瓦として使用後に加工転用。宝蔵出土。

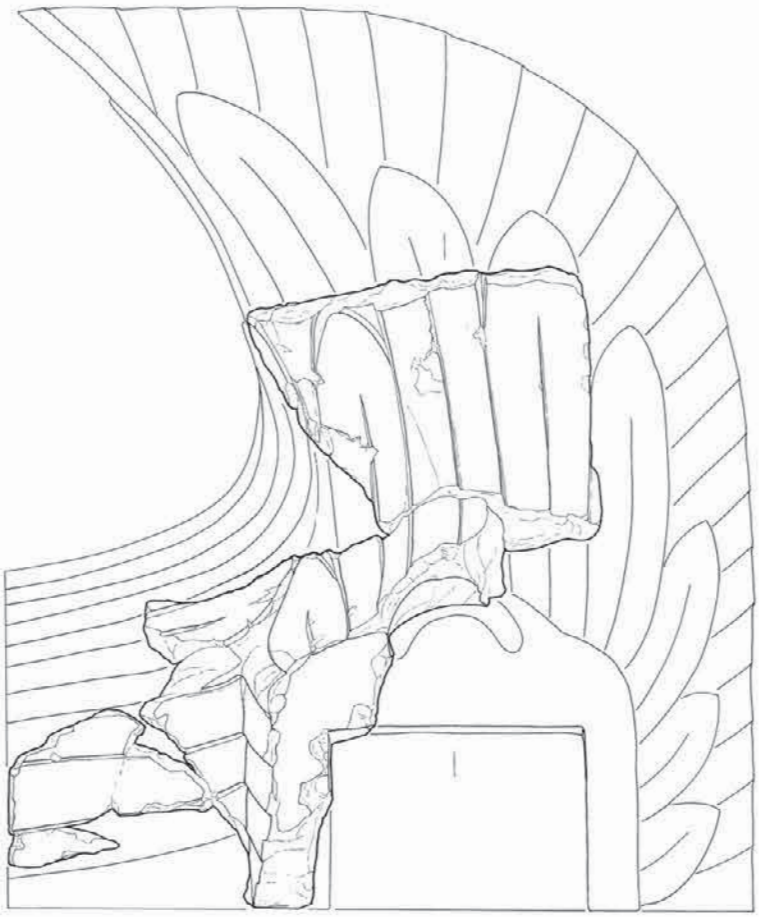
3　平瓦1類を面戸瓦風に加工した瓦。金堂出土。

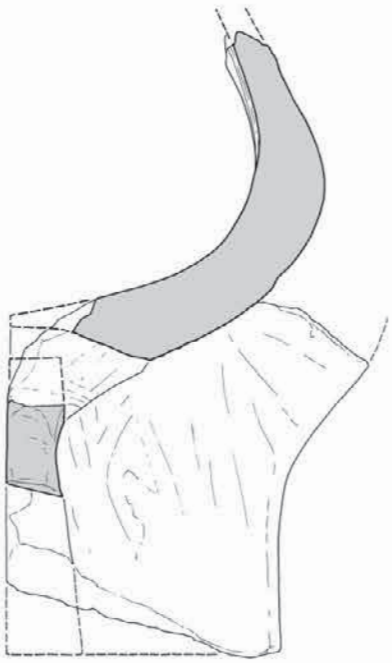
3　平瓦4類の広端を切り縮め、カーブさせた瓦。葺き足が長い。東面回廊出土。

1　鬼瓦　2　大型面戸瓦　3　用途不明

1：6







1・2　双頭C1

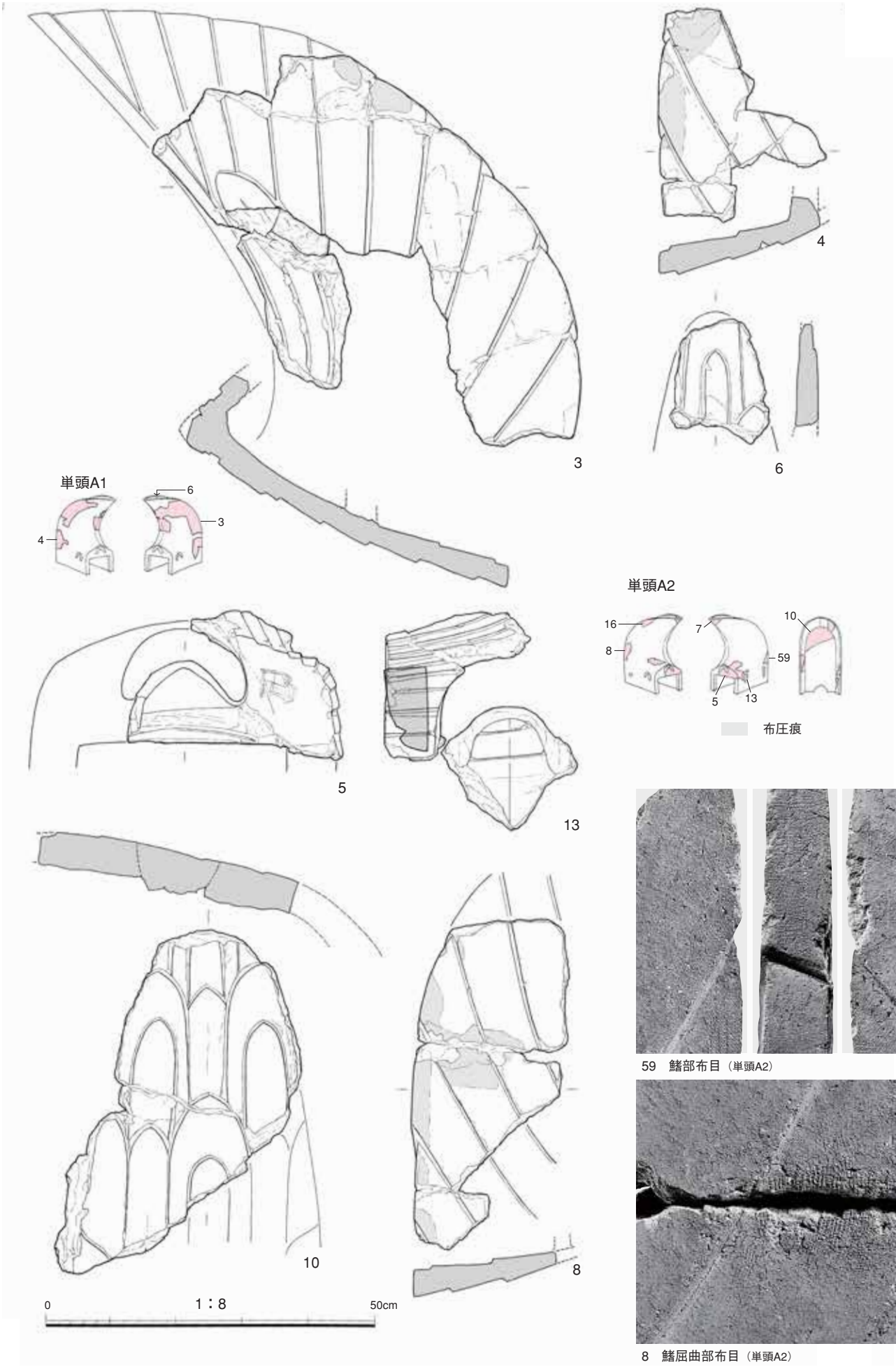
0　1：8　50cm

1　双頭C1

2　双頭C1

1：6

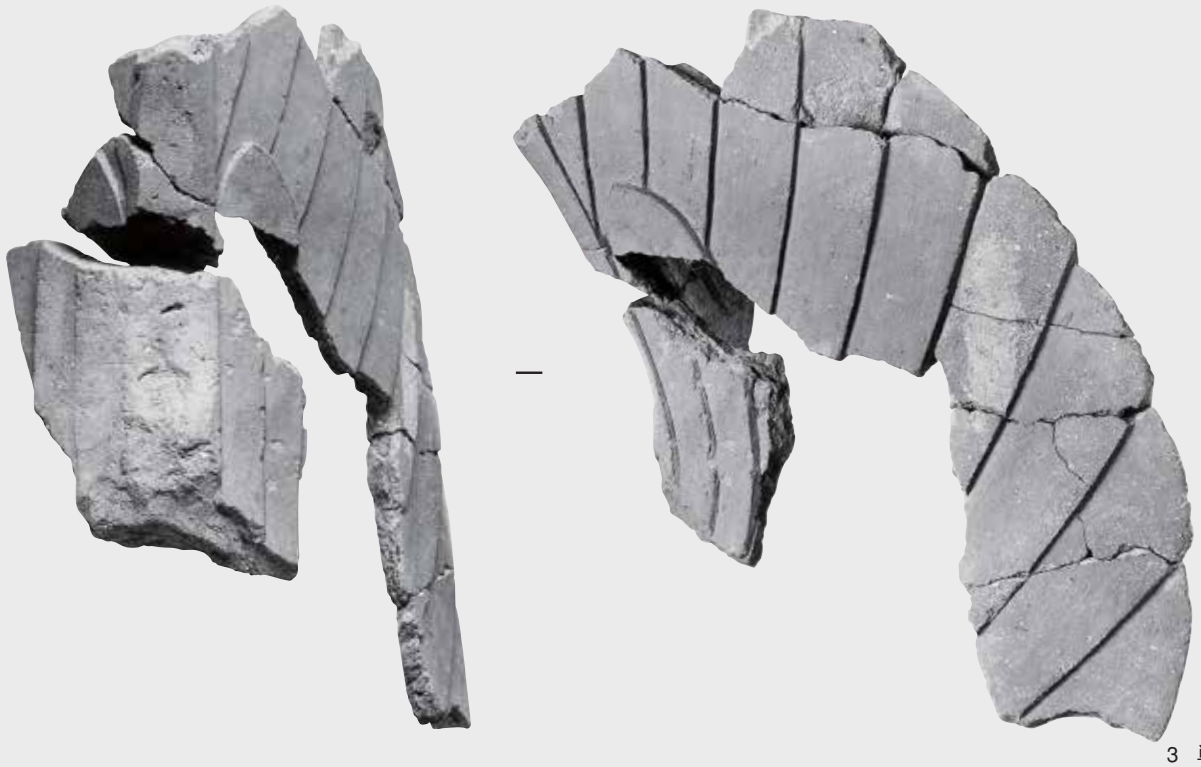
鵄尾細部写真 1



59　鰭部布目（単頭A2）

8　鰭屈曲部布目（単頭A2）

1：8（8・9を除く）



3　単頭A1

4　単頭A1

5　単頭A2

6　単頭A1

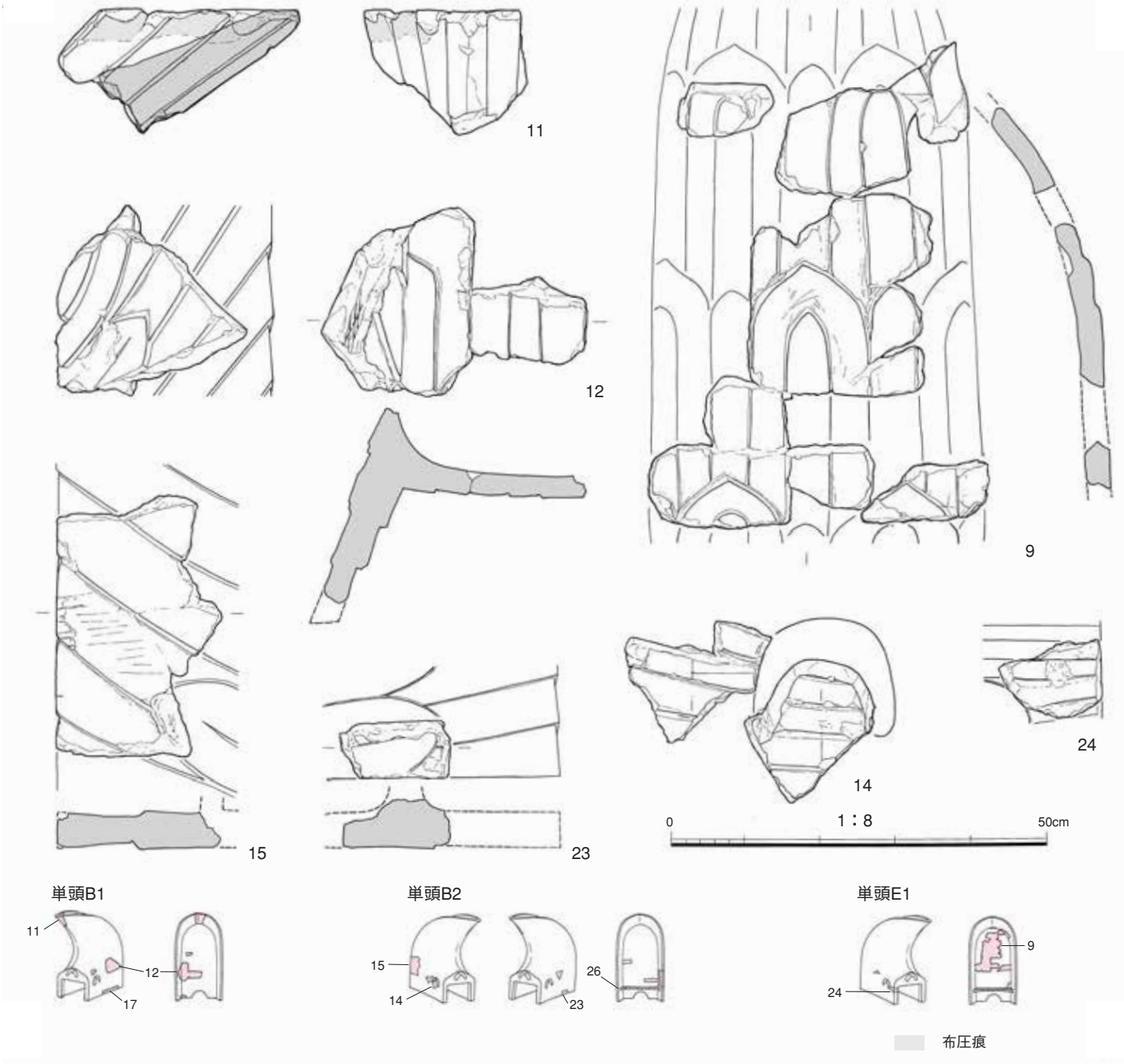
7　単頭A2

8　単頭A2

9　単頭E1

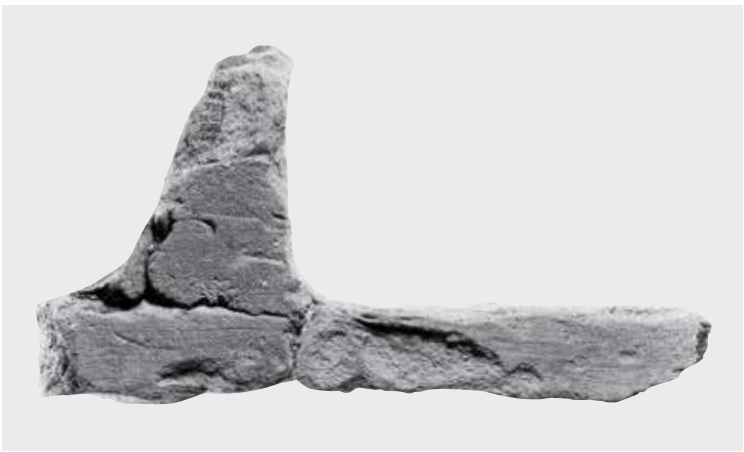
1：6

鴟尾細部写真 2



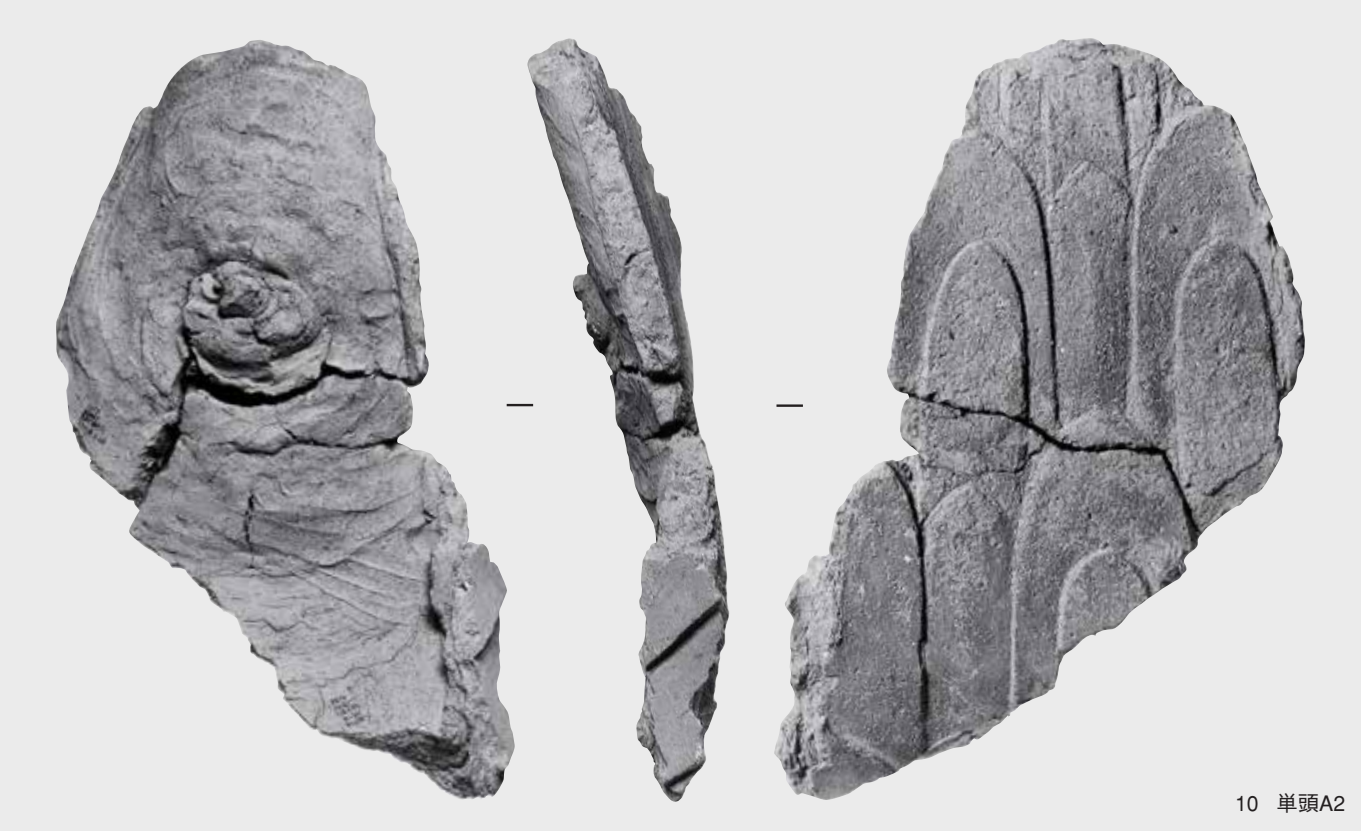
12　鰭部キザミ目（単頭B1）

15　鰭部キザミ目（単頭B2）

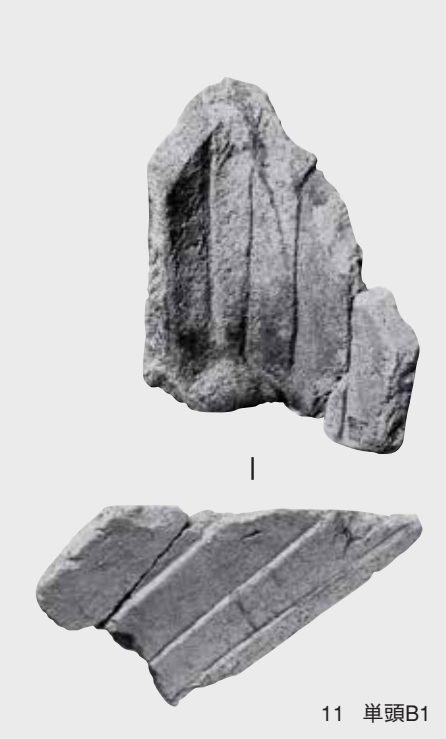


17　基底面布目（単頭B1）

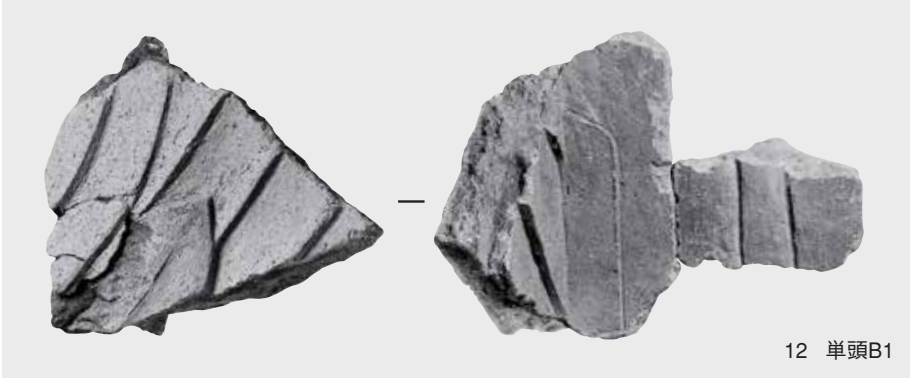
1：8（12・15・17を除く）



10　単頭A2

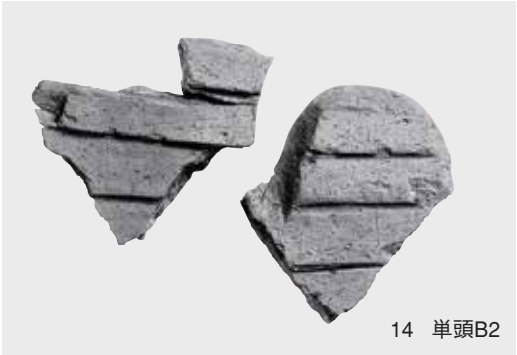


11　単頭B1



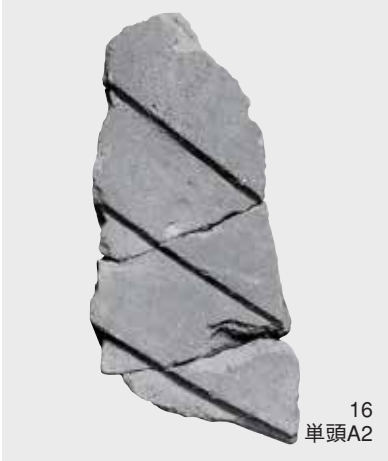
12　単頭B1

13　単頭A2



14　単頭B2

15　単頭B2



16
単頭A2

17　単頭B1

1：6

鴟尾細部写真 3

単頭C1

18

21

単頭C2

22

27

28

単頭D2

25

29

単頭D1

27

29

20

単頭E2

19

19

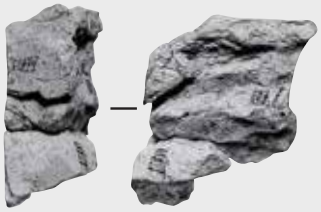
0　1：8　50cm

18　基準線▲と下書き線△（単頭C1）

1：8（18を除く）

18　単頭C1

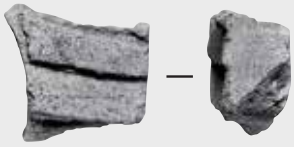
19　単頭E2



20　単頭D1

28　単頭D2

21　単頭C2



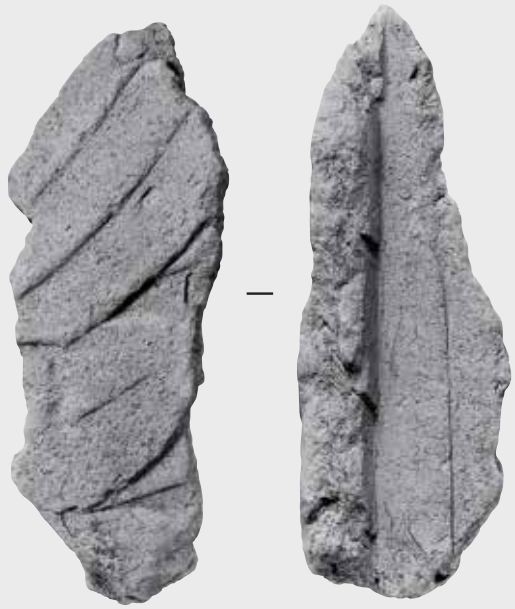
22　単頭C2

23　単頭B2

24　単頭E1

25　単頭D2

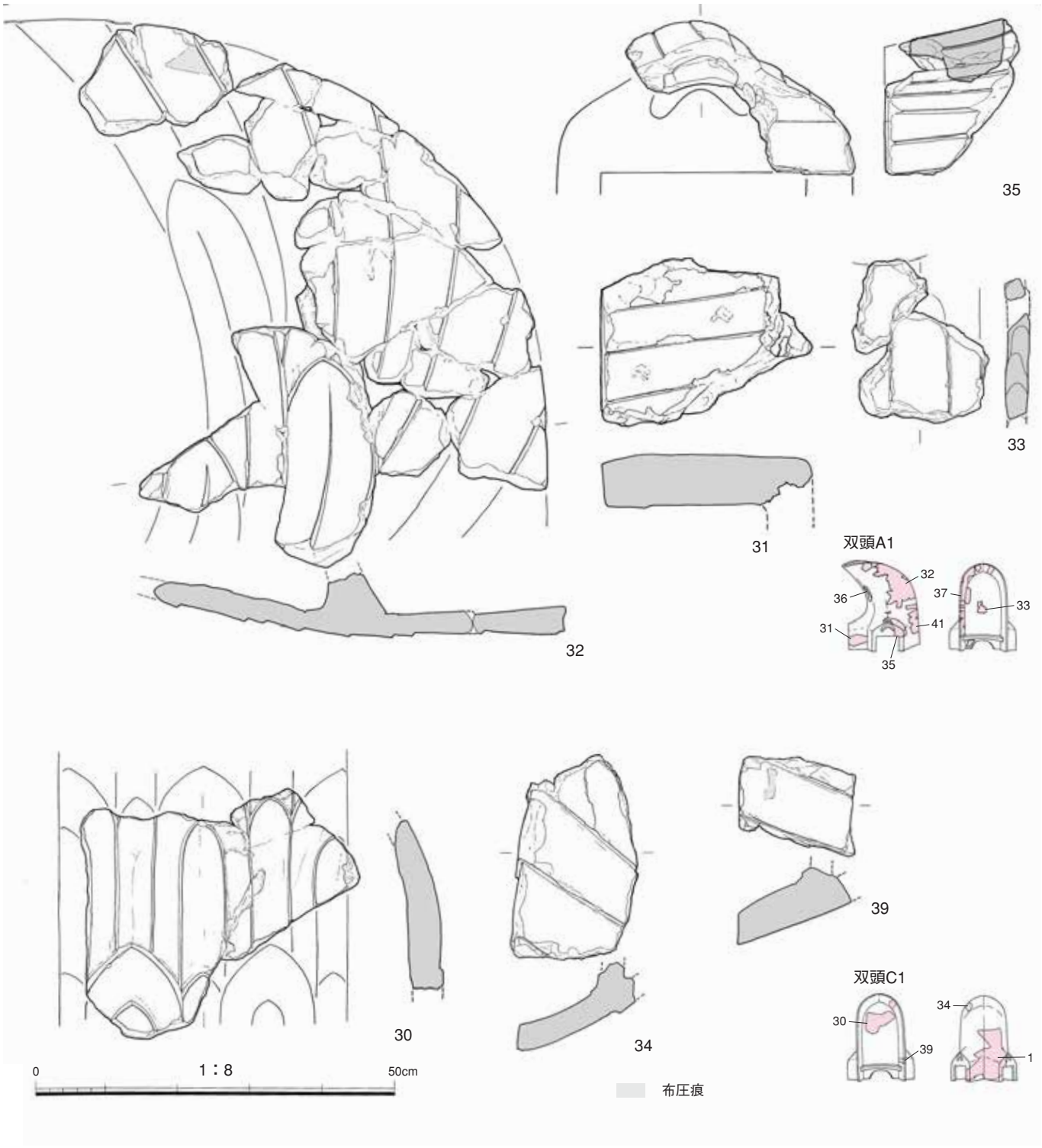
26　単頭B2



29　単頭D1

27　単頭D1

1：6


35
33
31
32
双頭A1
32
36
37
33
31
41
35
30
34
39
双頭C1
30
34
39
1
0
1：8
50cm
布圧痕

30　双頭C1

31　双頭A1

32　双頭A1

33　双頭A1

34　双頭C1

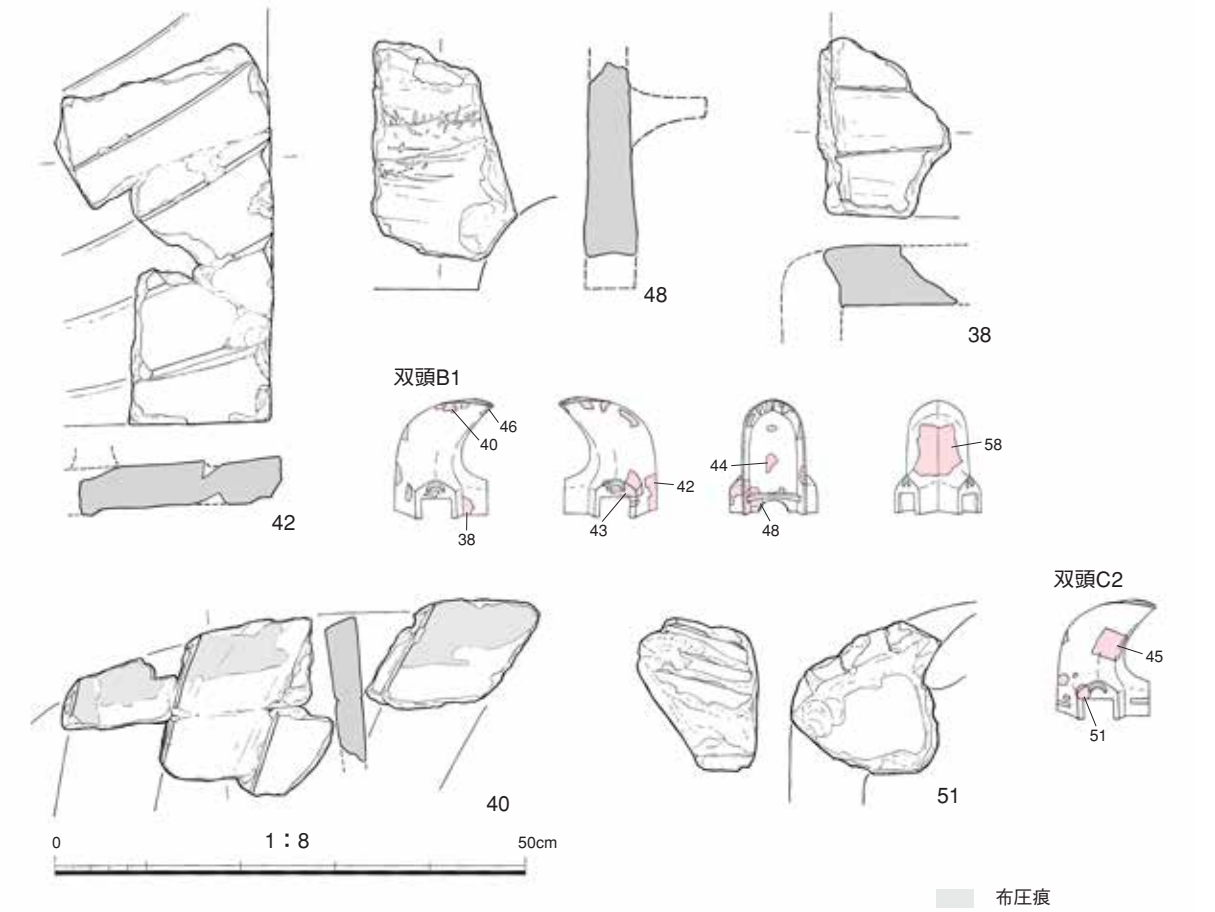
35　双頭A1

36　双頭A1

37　双頭A1

40　双頭B1

1：6



38　双頭B1

39　双頭C1

41　双頭A1

1：8（38・39・41は1：6）

42　双頭B1

43　双頭B1

44　双頭B1

（内面）　45　双頭C2

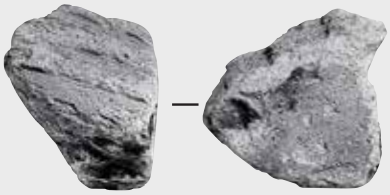
46　双頭B1

47　双頭D2

48　双頭B1

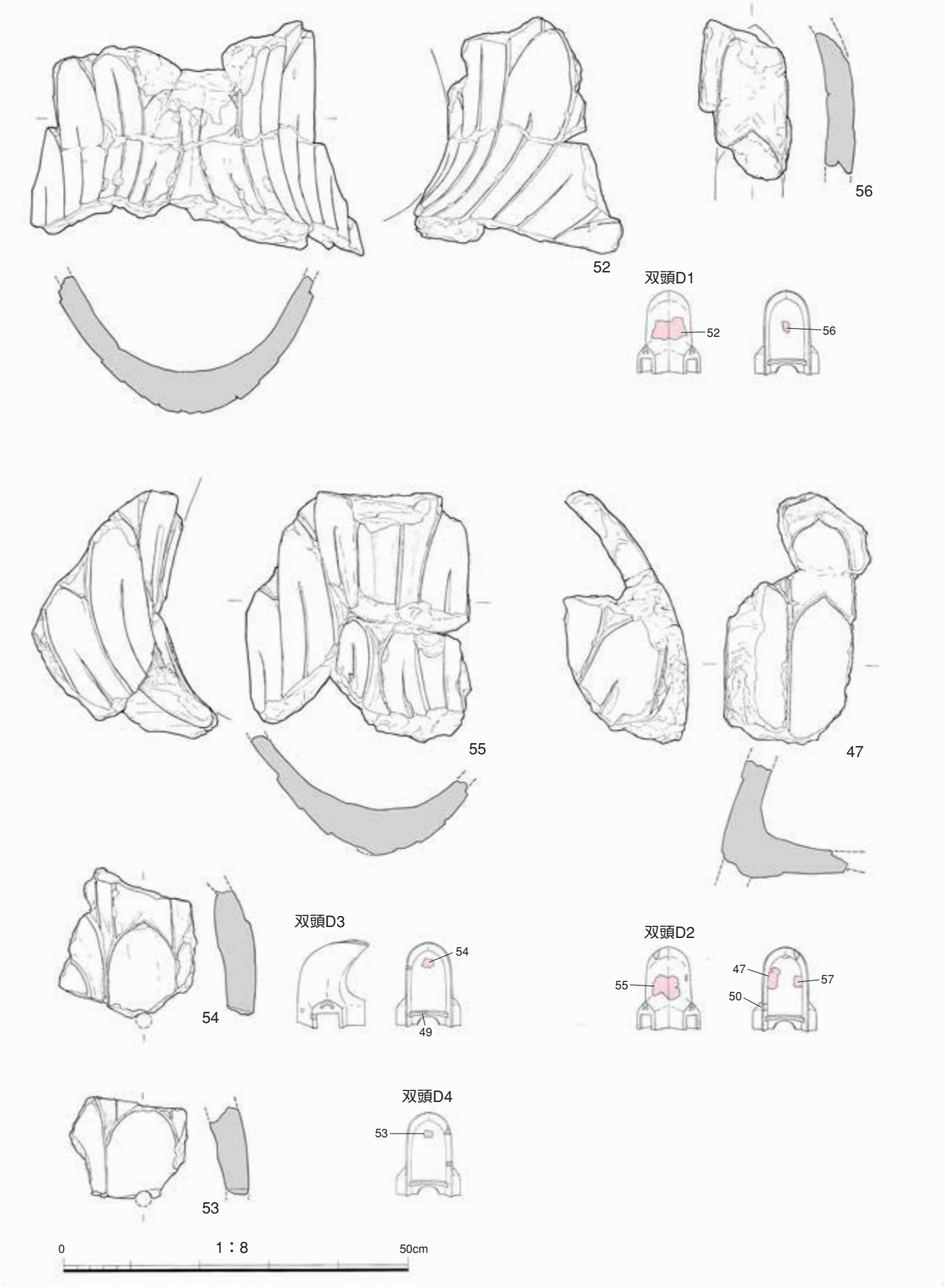
49　双頭D3

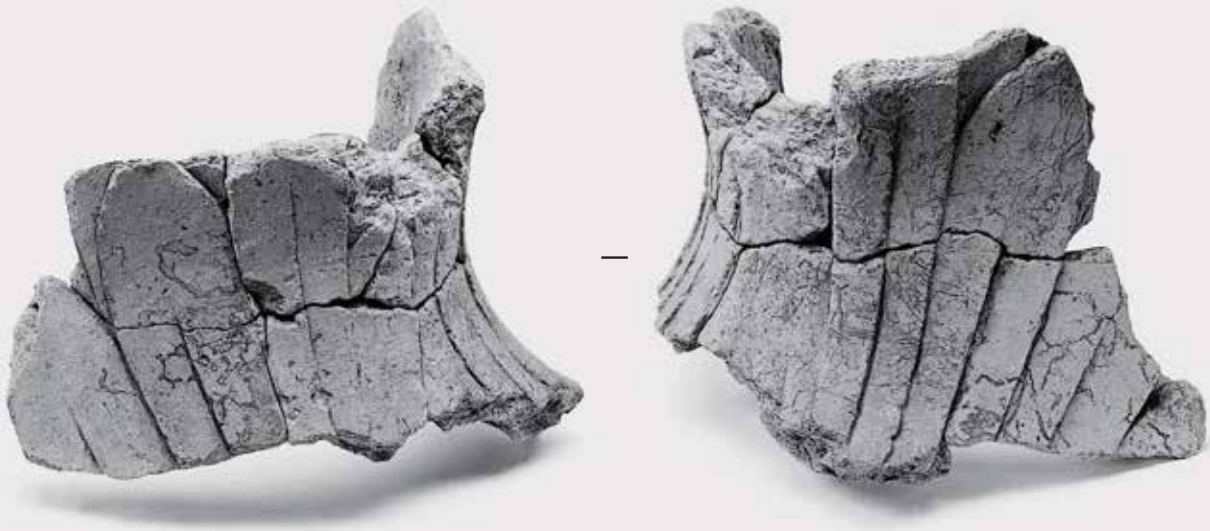
50　双頭D2



51　双頭C2

1：6


52
56
双頭D1
52
56
55
47
54
双頭D3
54
49
双頭D2
55
47
57
50
53
双頭D4
53
0
1：8
50cm



52　双頭D1

53　双頭D4

54　双頭D3

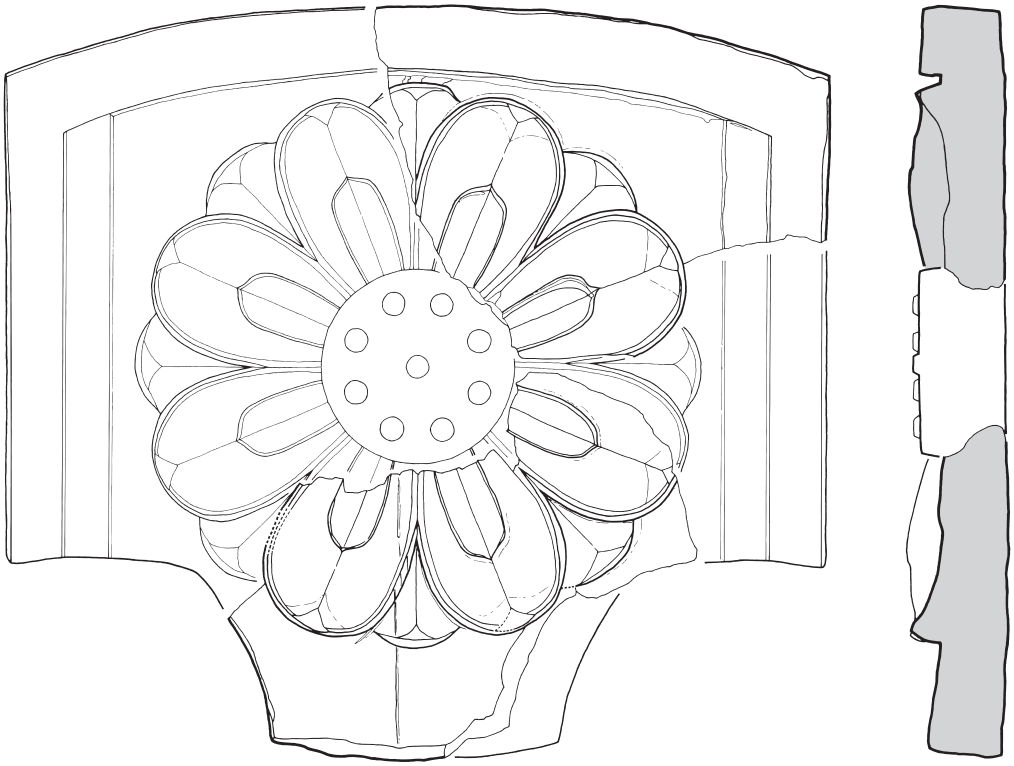
55　双頭D2

56　双頭D1

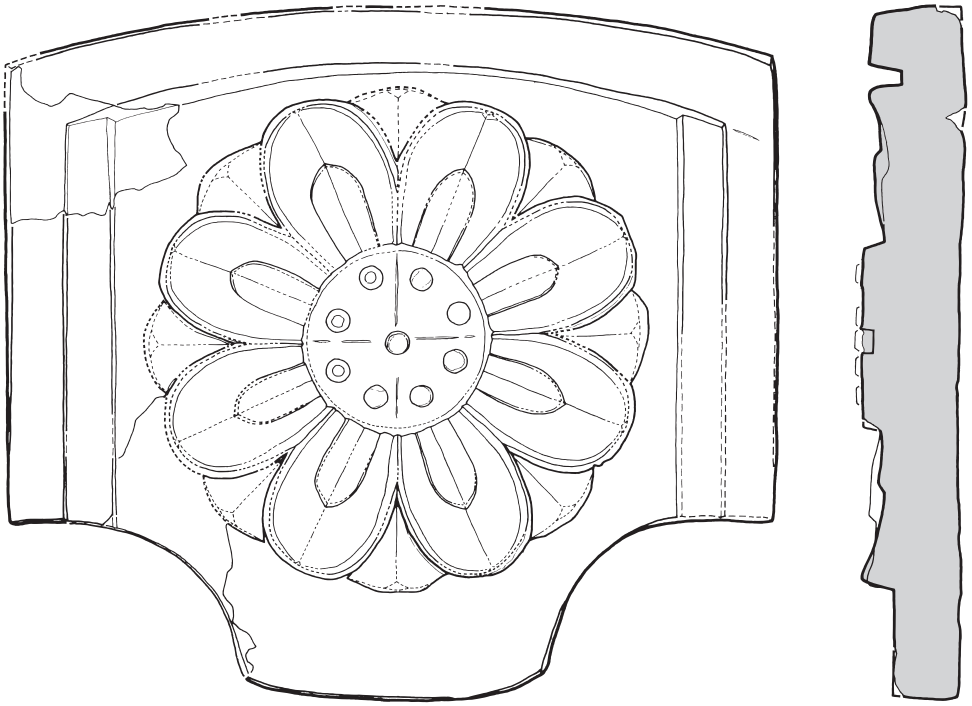
57　双頭D2

58　双頭（高浜市かわら美術館蔵品）

1：6



1　蓮華文A



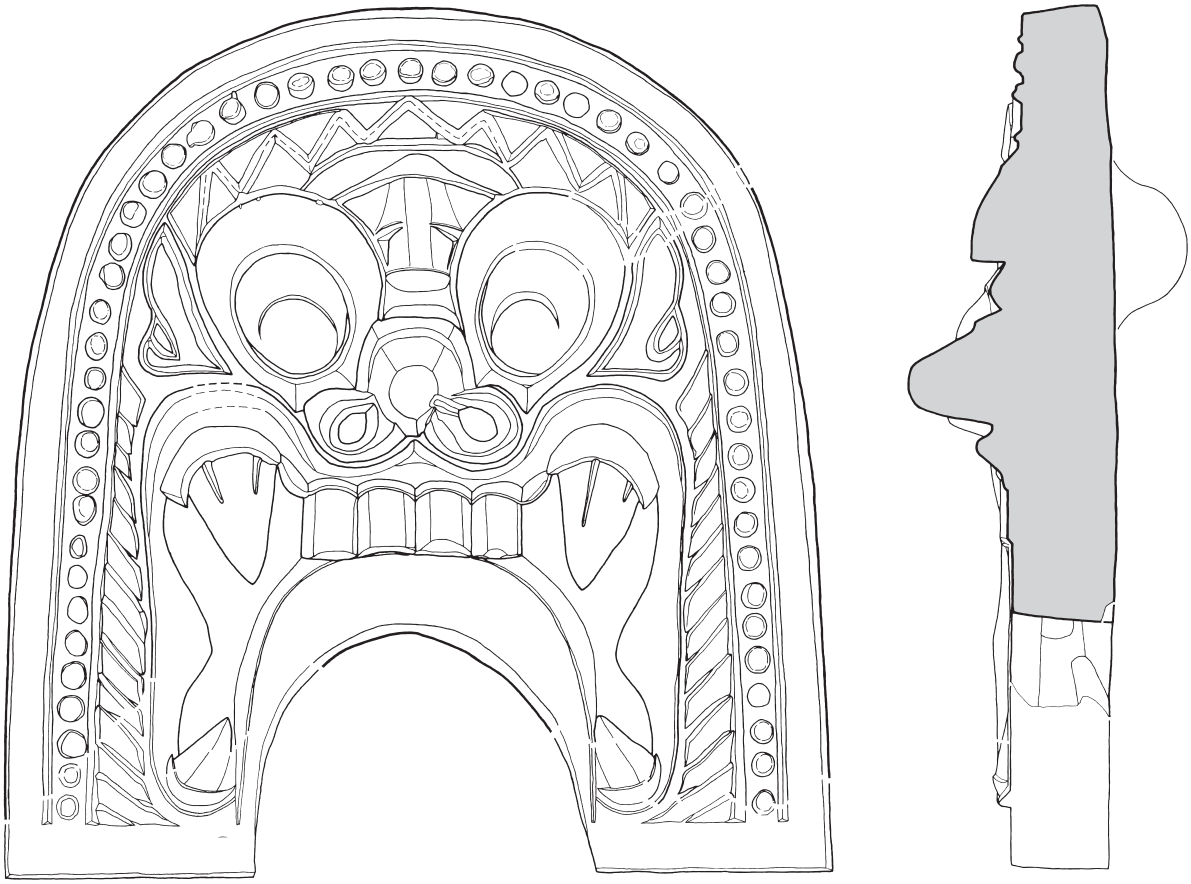
2　蓮華文B

0　1：4　30cm

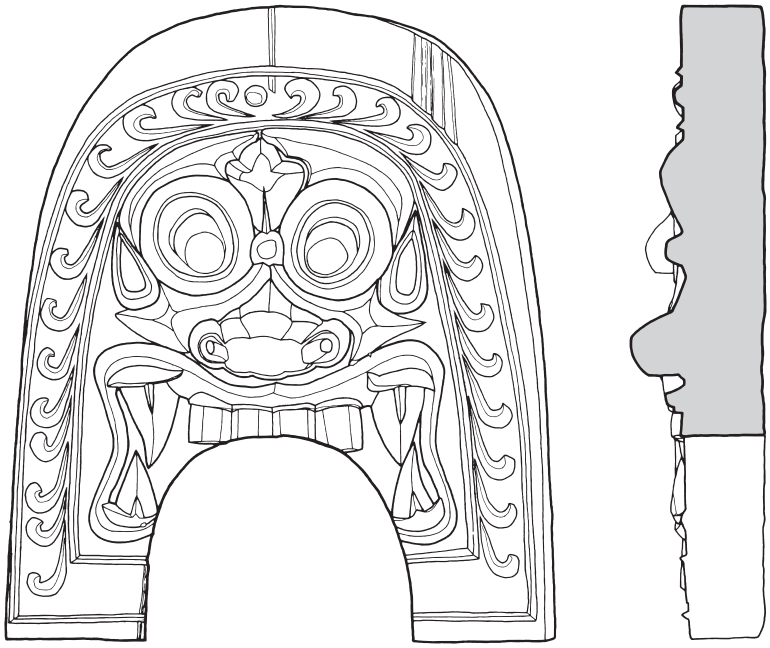
1　蓮華文A

2　蓮華文B

1：4



1　鬼面文A



5　鬼面文B

0　1：4　30cm

1　鬼面文A

2　鬼面文A

3　鬼面文A

4　鬼面文A

1：4

鬼瓦細部写真

1　上中央の間弁端から弁に笵傷。

2　下中央の蓮弁から地板に笵傷。

3　蓮弁に鑿痕が残る。

4　蓮弁や間弁はヘラでなぞる。

5　側面に笵と枷型の合わせ目痕。

6　裏面に棒や板の圧痕。

7　地板の天に弁を割り付けたケガキ線が 3 条残る。

8　地板側面に弁割り付け線 1 条。

9　地板右上に外縁の割り付け線。

10　蓮弁は丁寧にヘラで仕上げ。

11　裏面は全体をヘラケズリ。

12　向って左口辺部の良好資料。

13　向って左眼上半や珠文に笵傷。

14　向って右眼上半に笵傷。

15　把手剥離痕と割り付け線。

16　円孔をもつ台形の把手あり。

17　顔中心部の良好資料。

18　上中央の外縁・外区に笵傷。

19　向って右肩の外縁に笵傷。

20　側縁に笵と枷型の合わせ目痕。

21　地板脚部下面の下端に枷型痕。

22　刳形の目安線が残る。

23　裏面はカキ目。

1〜6 蓮華文A　7〜11 蓮華文B　12〜16 鬼面文A　17〜23 鬼面文B

1　鬼面文鬼瓦B

2　鬼面文鬼瓦B

3　鬼面文鬼瓦C

4　鬼面文鬼瓦D

5　用途不明品

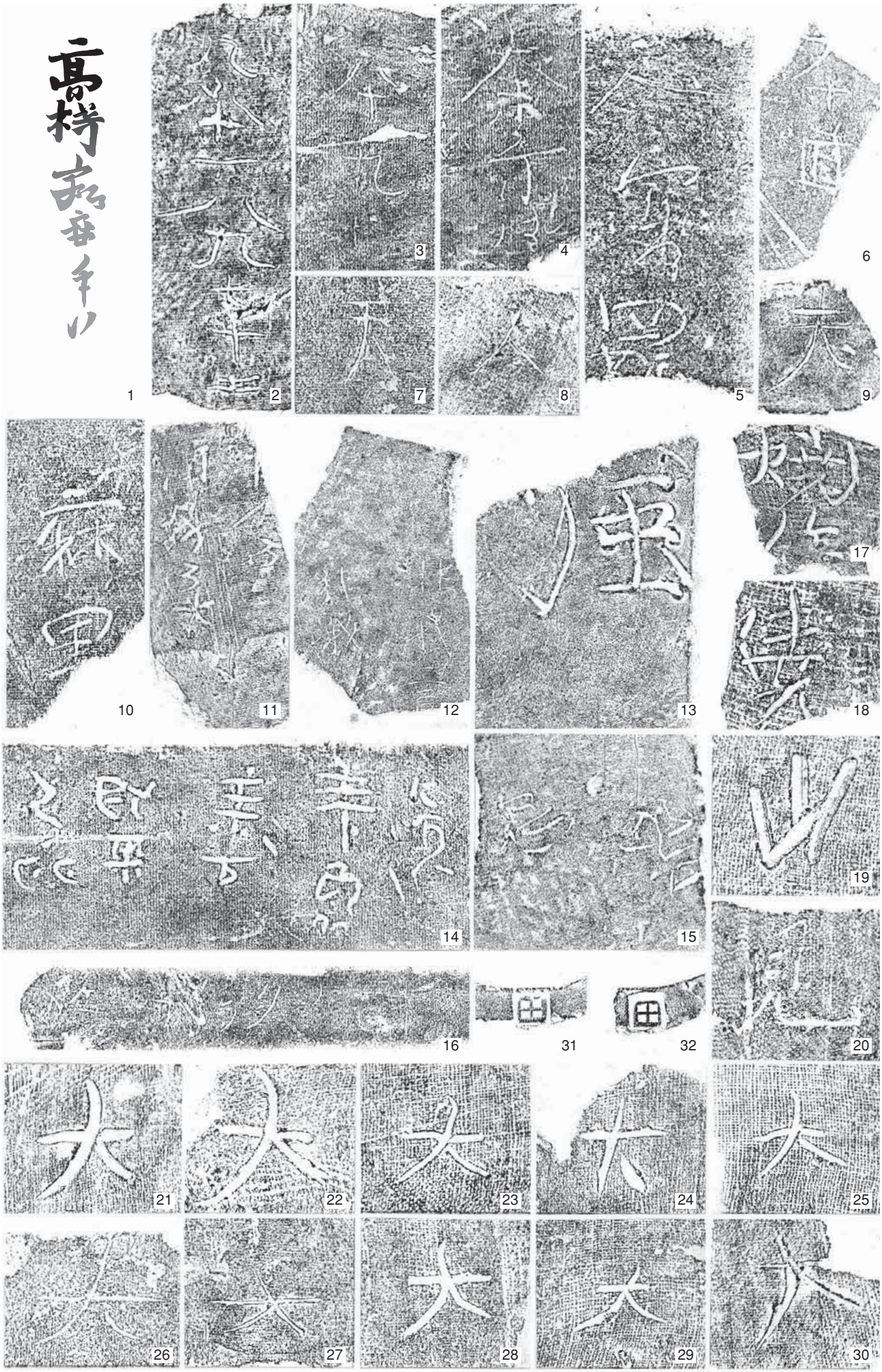
6　用途不明品

7　用途不明品

8　隅木蓋瓦

1：4

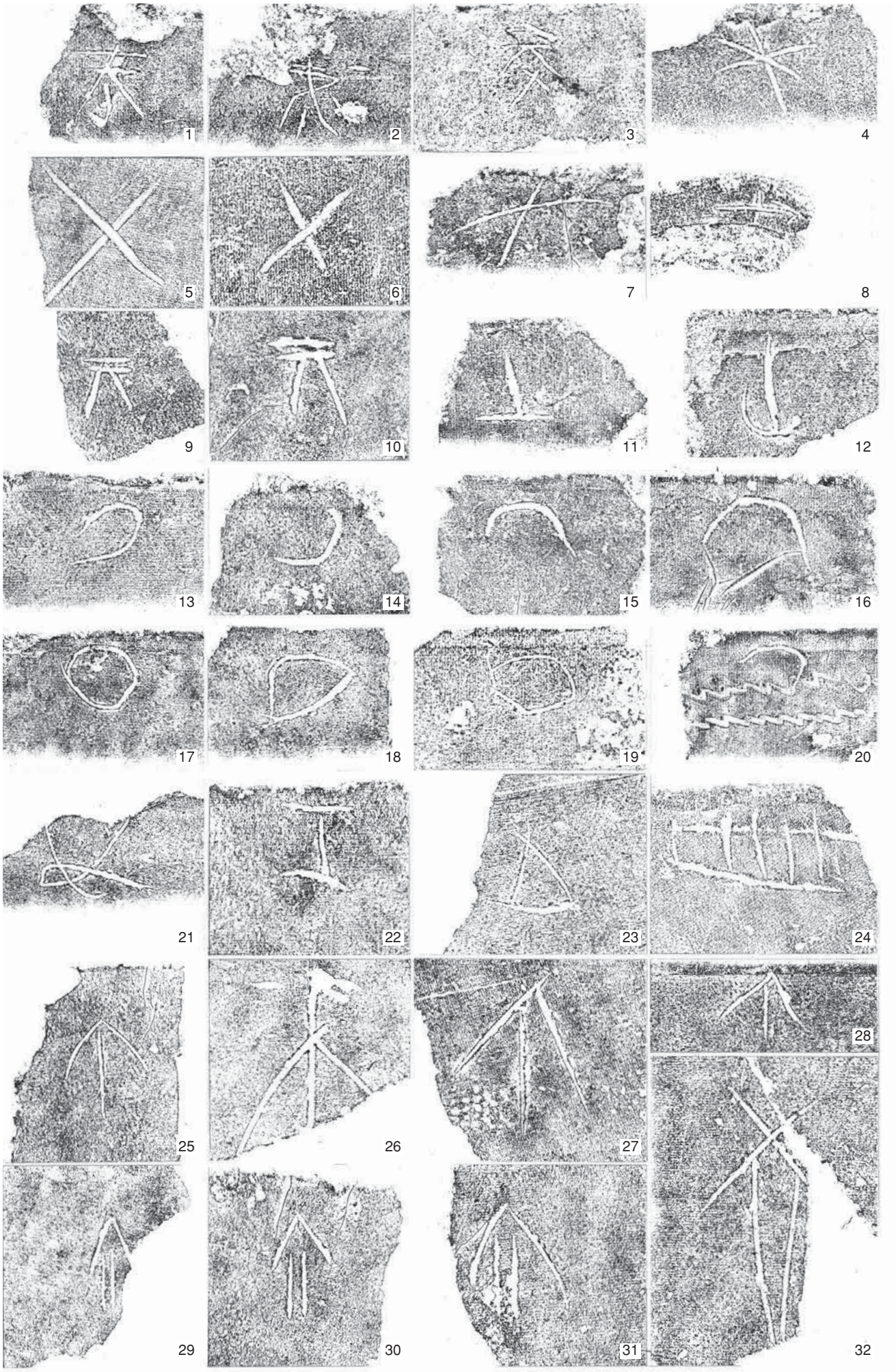
高樹嘉平


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32

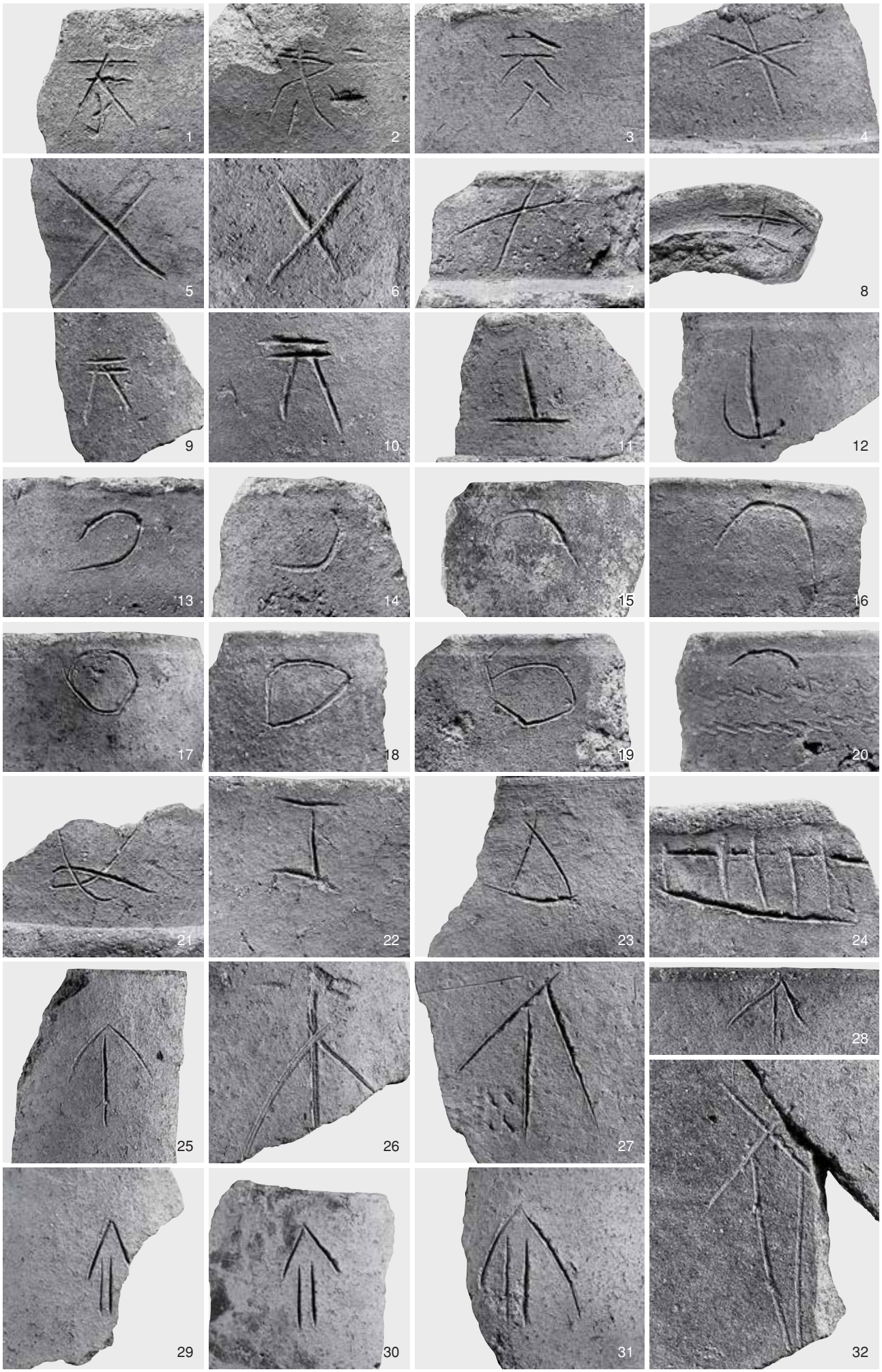
1：2

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
17
18
14
15
19
16
31
32
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

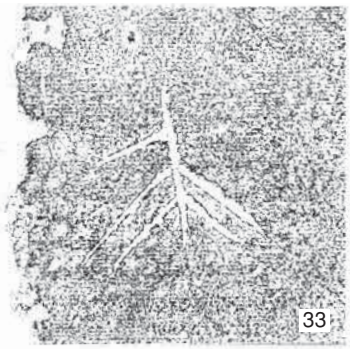
1：2

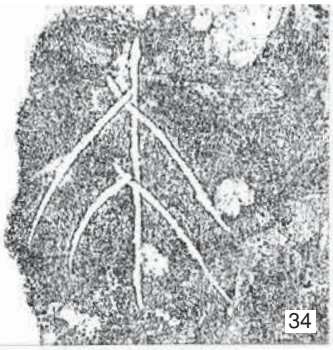

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32

1：2


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32

1：2


33


34

35

36

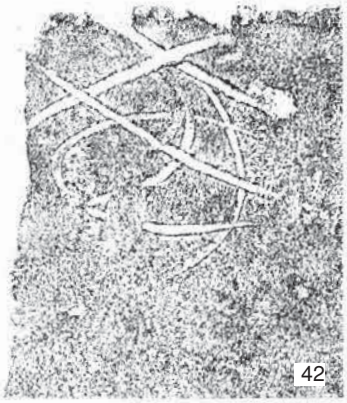
37

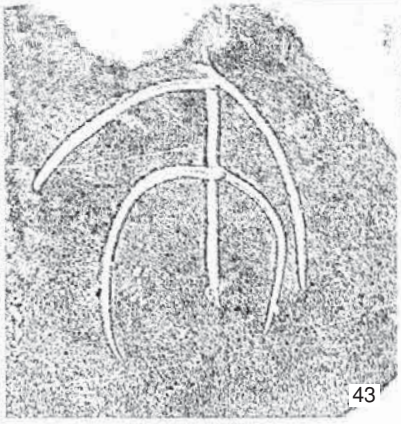
38

39

40

41


42


43

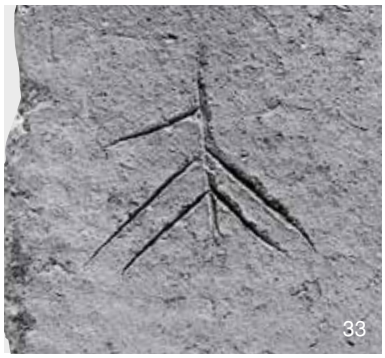
44

45

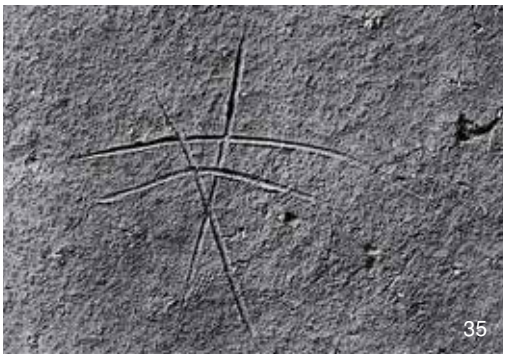
46

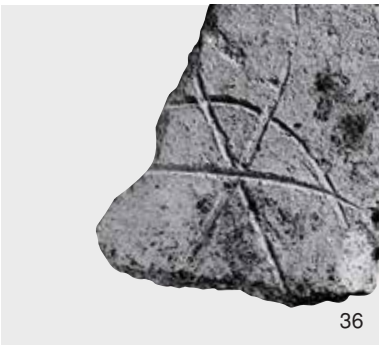
47

1：2

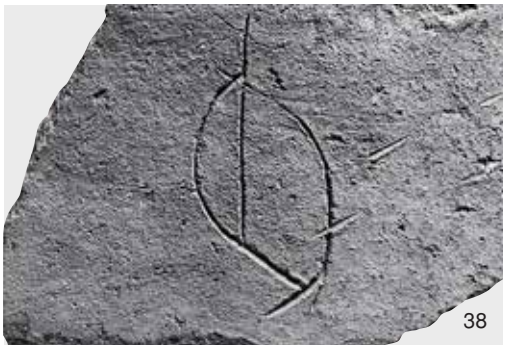

33

34

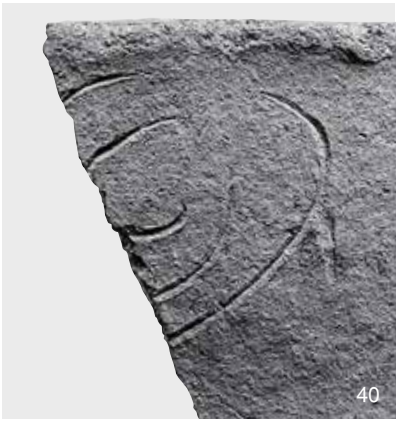

35


36

37


38

39


40

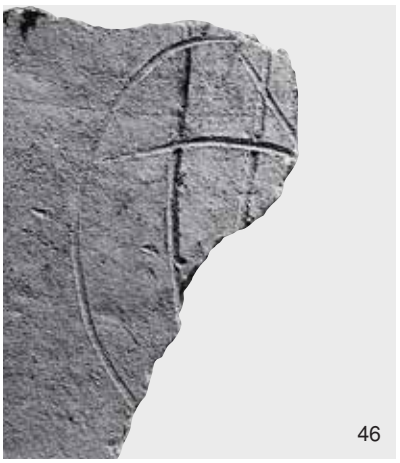
41

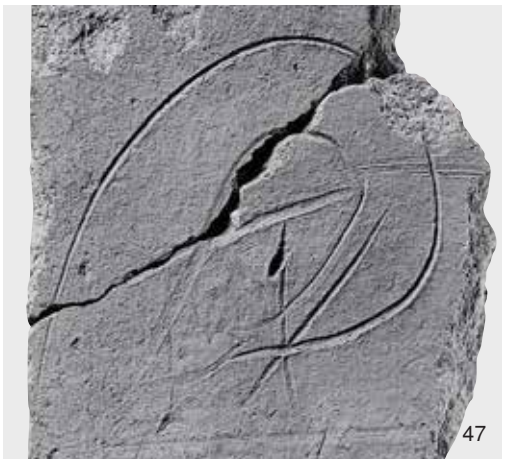
42

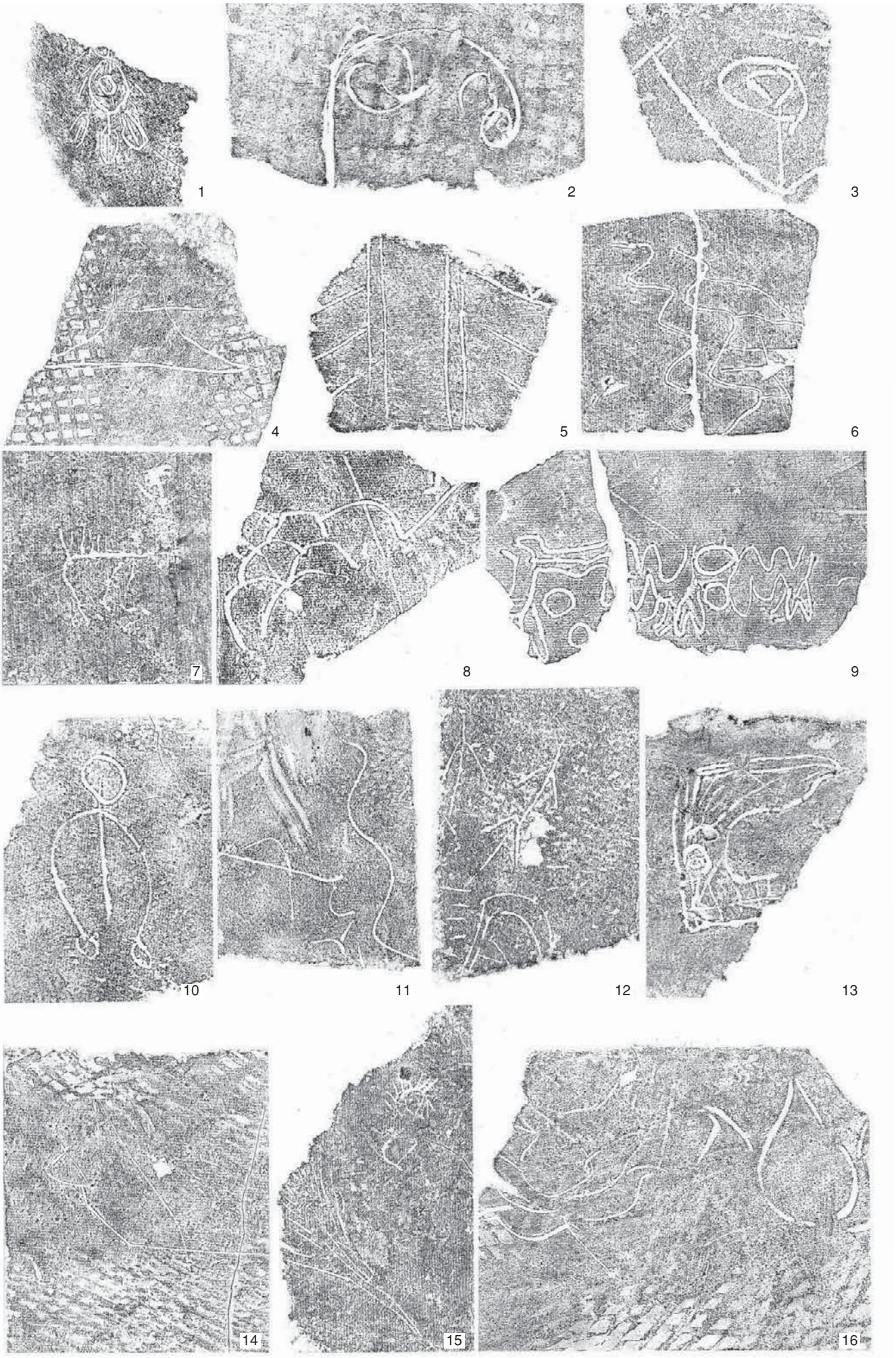
43

44

45


46


47



1：2

1

2

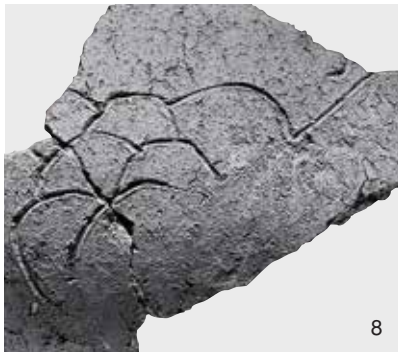
3

4

5

6

7


8

9

10

11

12

13

14

15

16

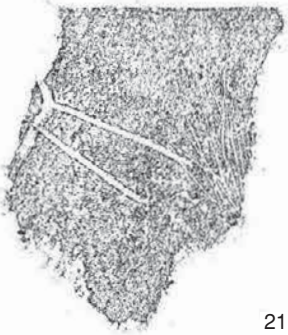
1：2

17

18

19

20

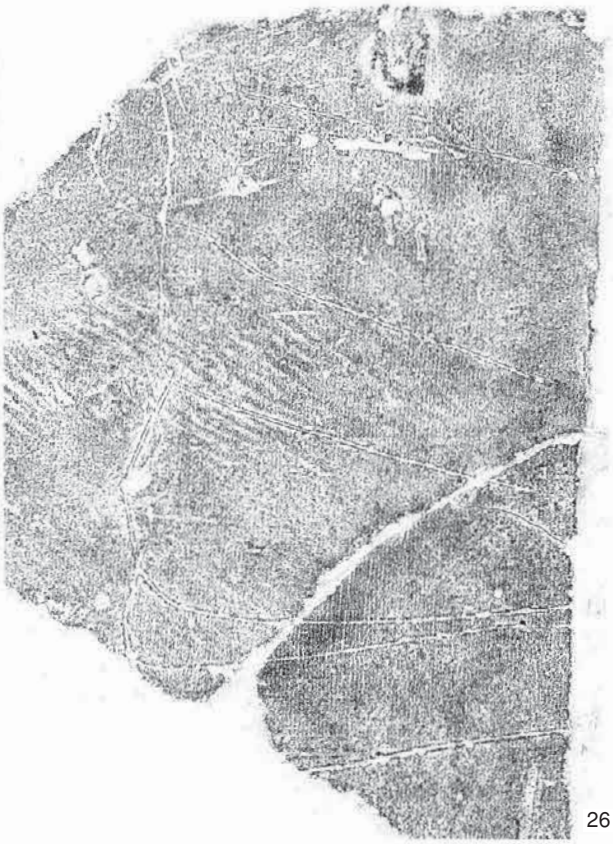

21

22

23

24

25


26

1 : 2

17

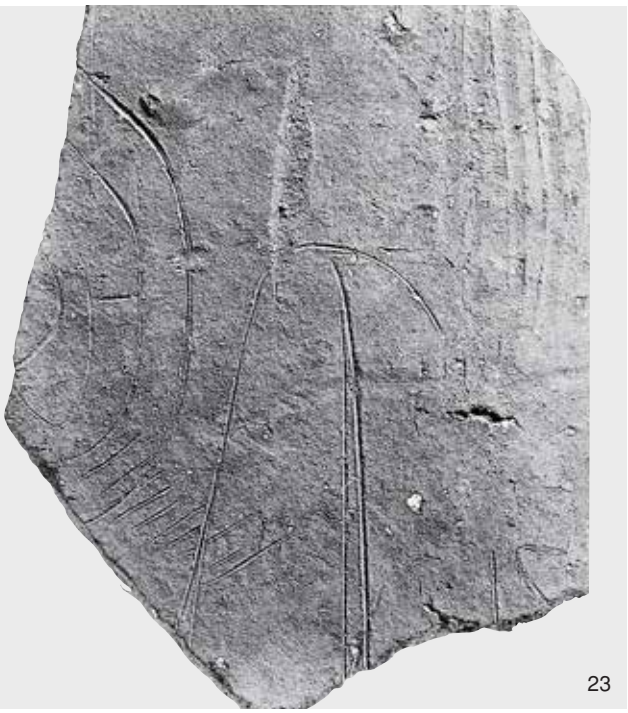
18

19

20

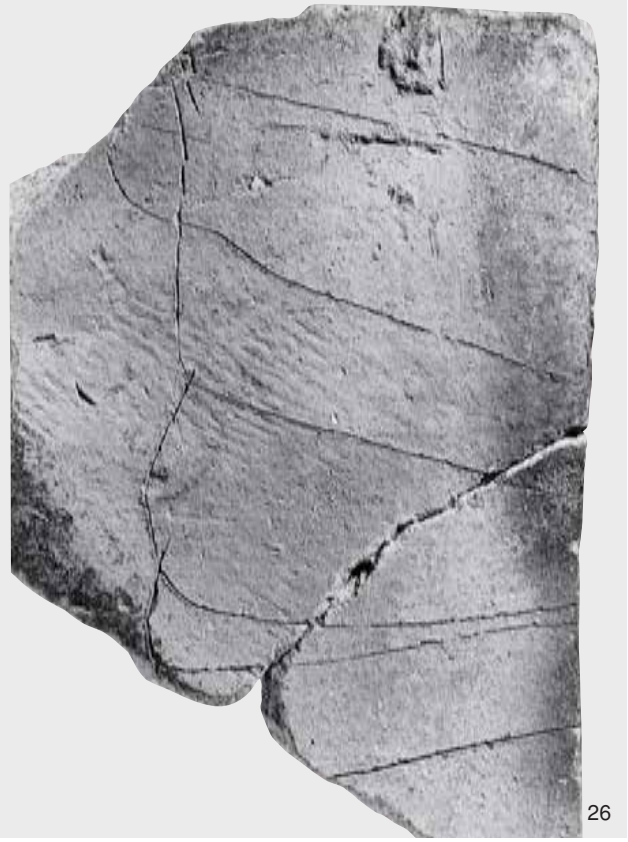
21

22

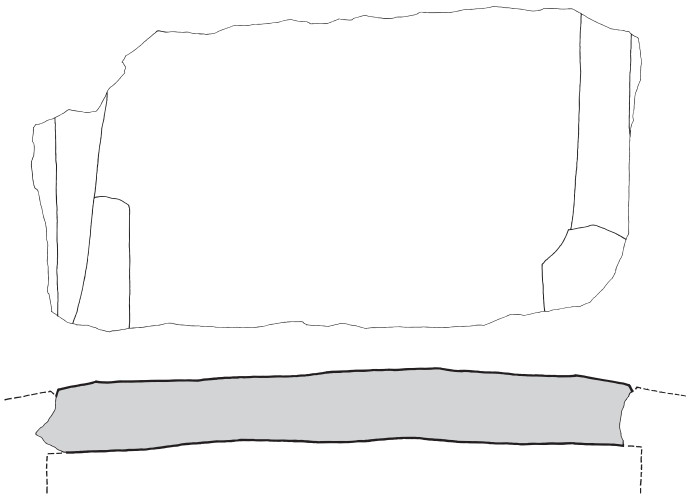

23

24

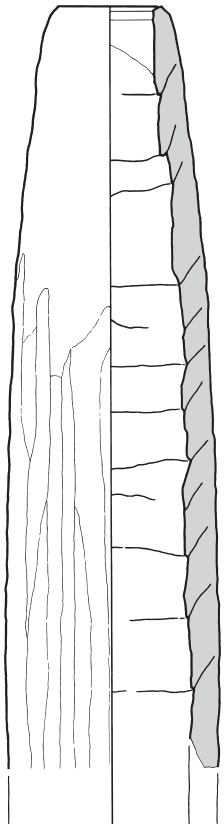
25


26

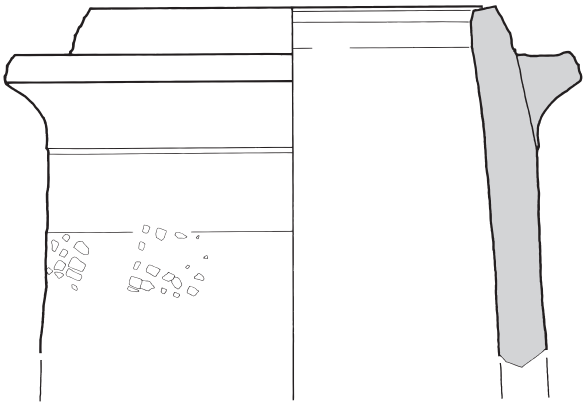
1：2



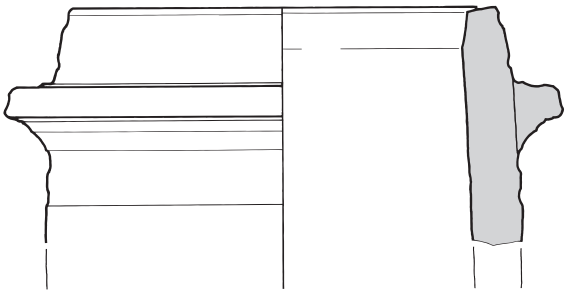
11　隅木蓋瓦



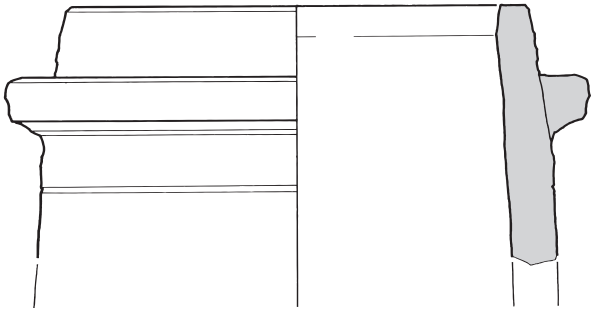
6　行基風土管



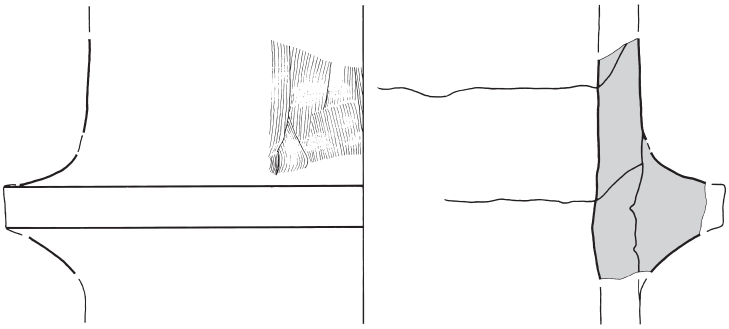
10　鍔付き土管



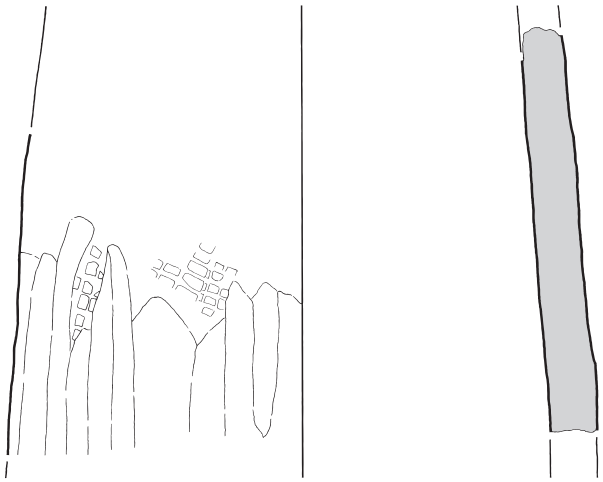
11　鍔付き土管



7　鍔付き土管



9　土管様製品



8　鍔付き土管

0　1：4　30cm

1　方塼A2（半截）

2　方塼B2

3　方塼C

4　加工塼

5　加工塼

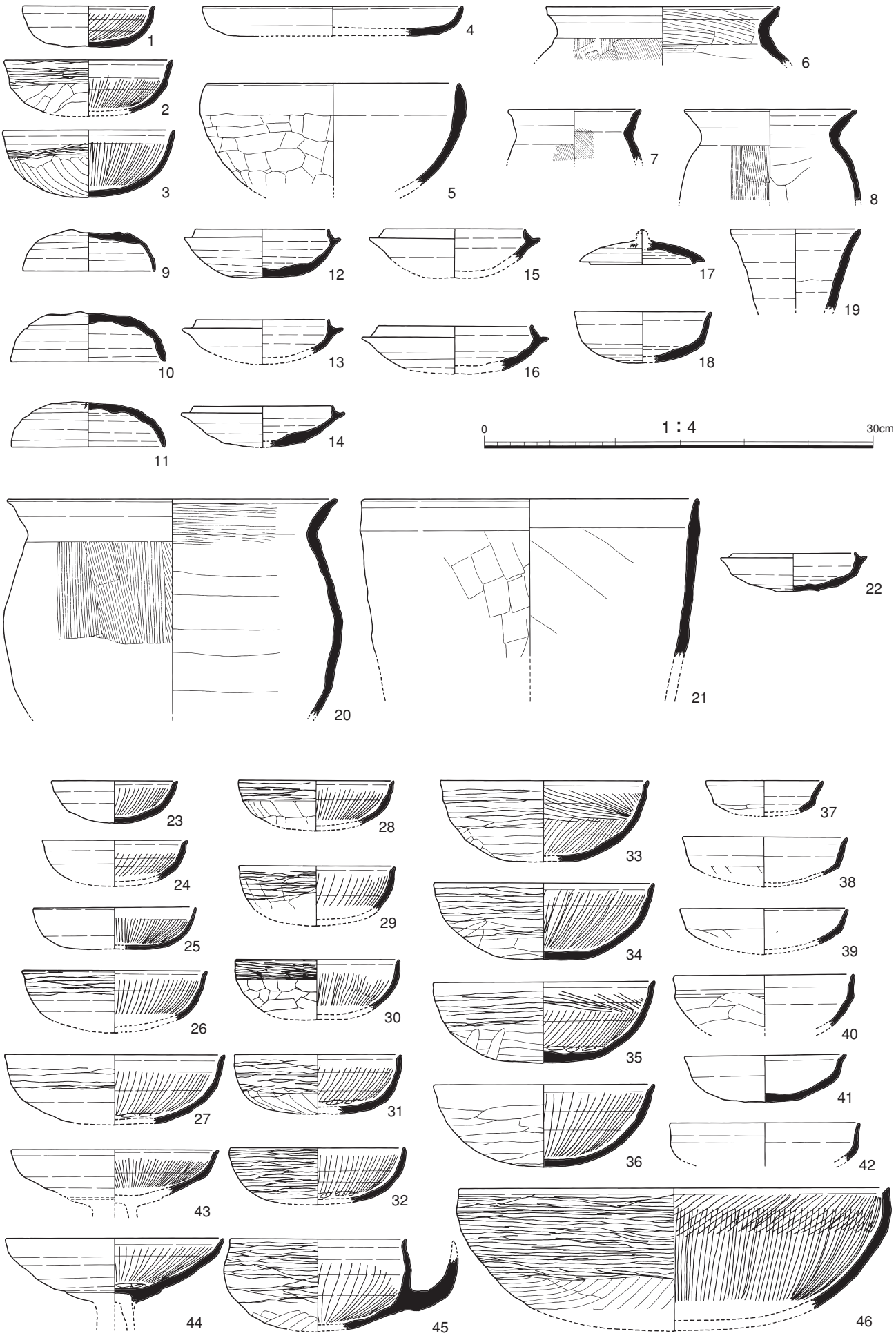
6　行基風土管

7　鍔付き土管

8　鍔付き土管

9　土管様製品

1～5　1：8　　6～9　1：6



1～19　SD619　　20～22　SD619・整地土　　23～46　整地土

1

2

18

24

30

31

32

45

9

11

16

22

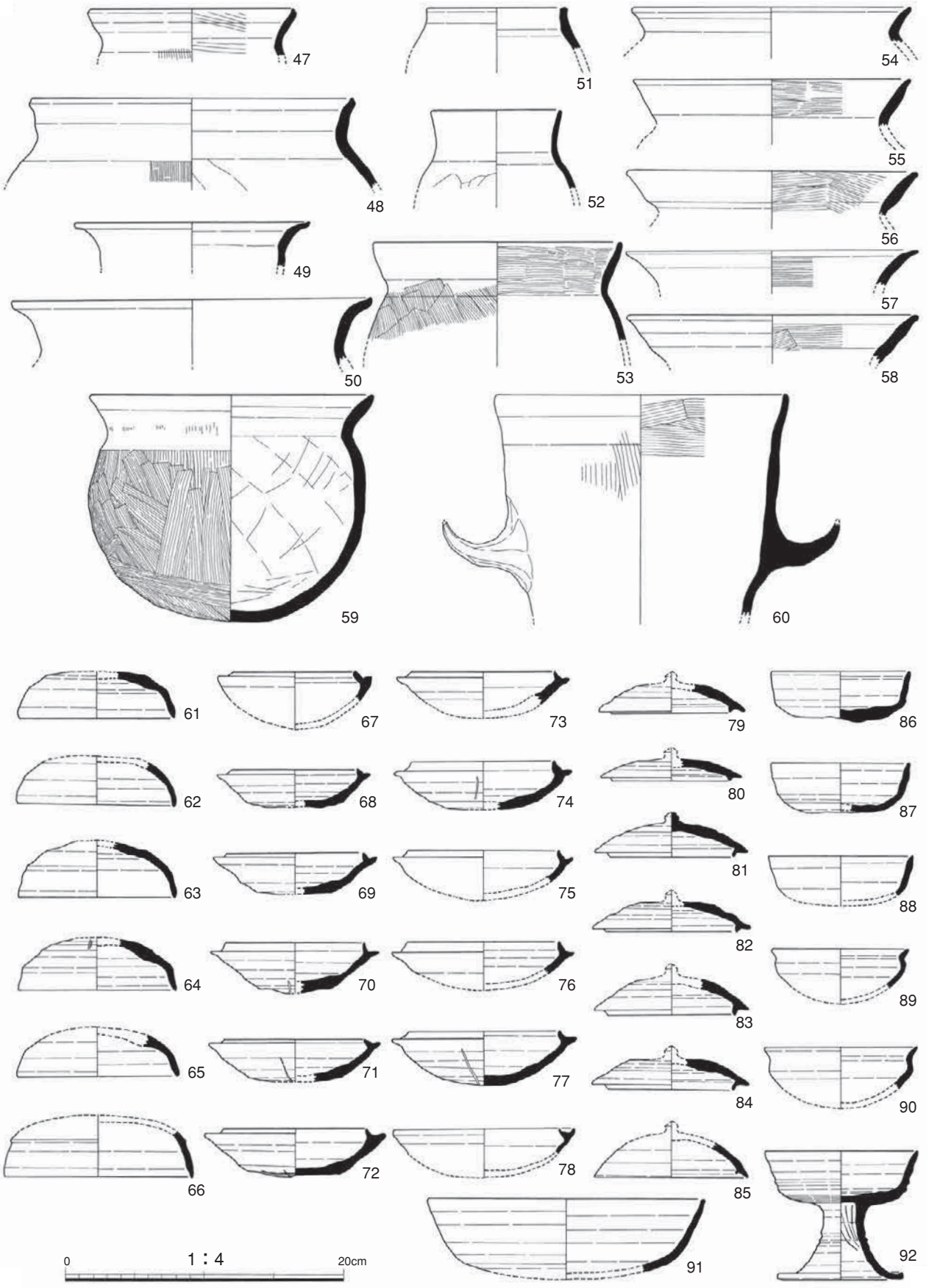
33

34

41

40

1：2


47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
0
1：4
20cm

47～92　整地土

61

64

68

69

71

77

72

59

81

82

84

86

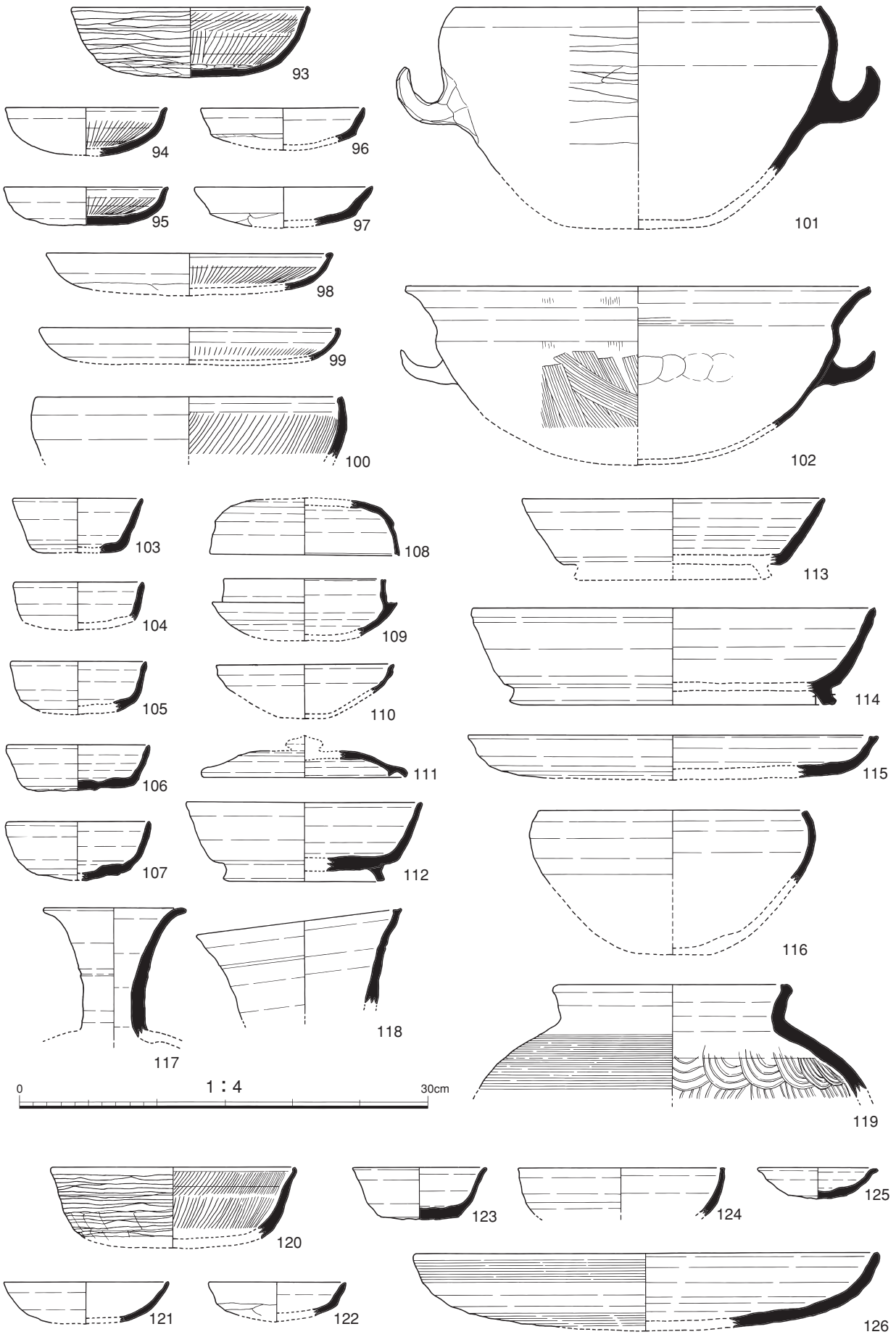
87

88

89

92

1：2(59のみ1：3)



93～119　SK006　　120～126　SK405

93

103

94

104

95

106

99

107

97

112

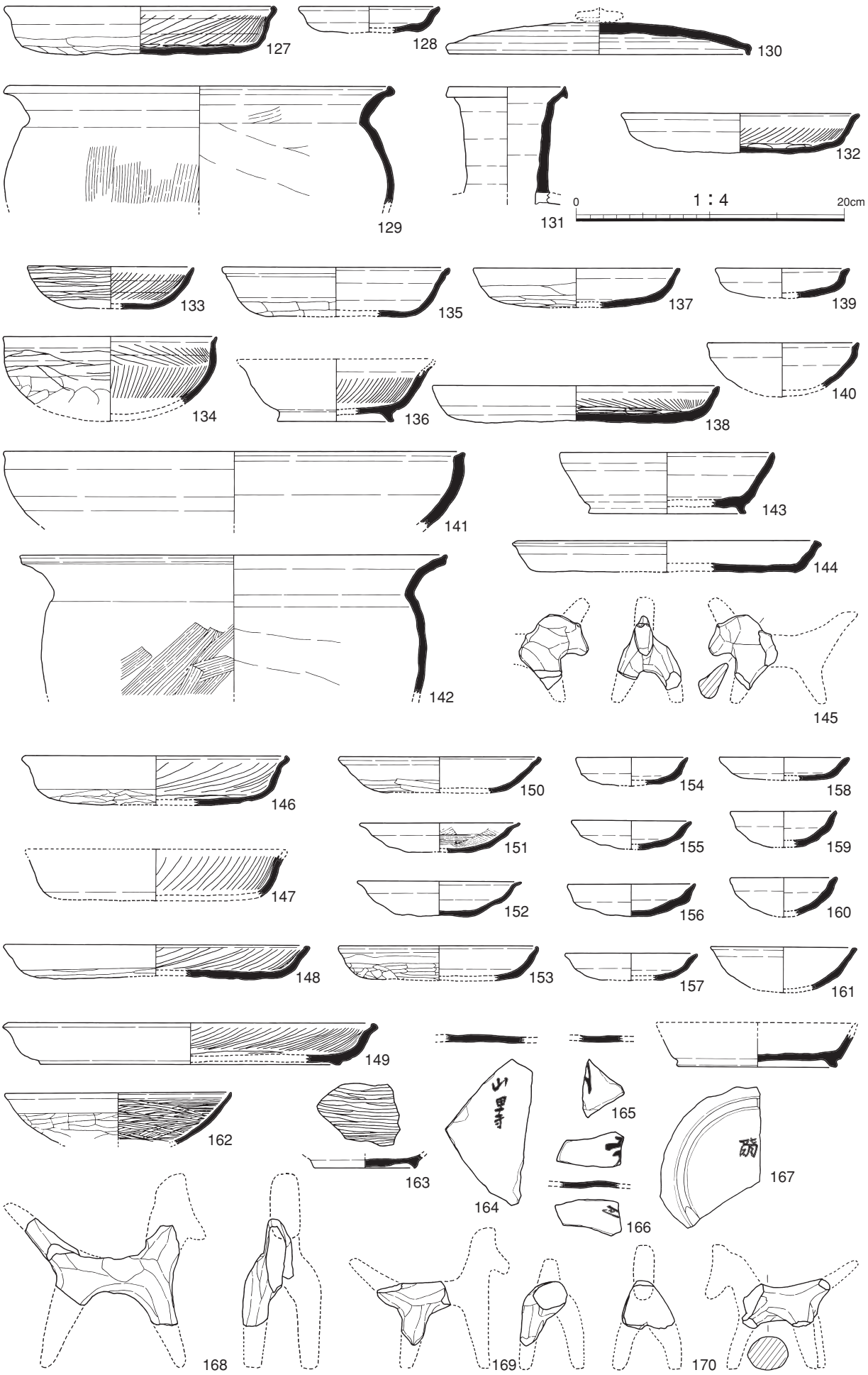
120

123

125

126

1：2



127～131　瓦敷直上　　132　SD611　　133～145　SD625A　　146～170　SD625B

127

128

130

133

139

135

136

134

143

150

154

164

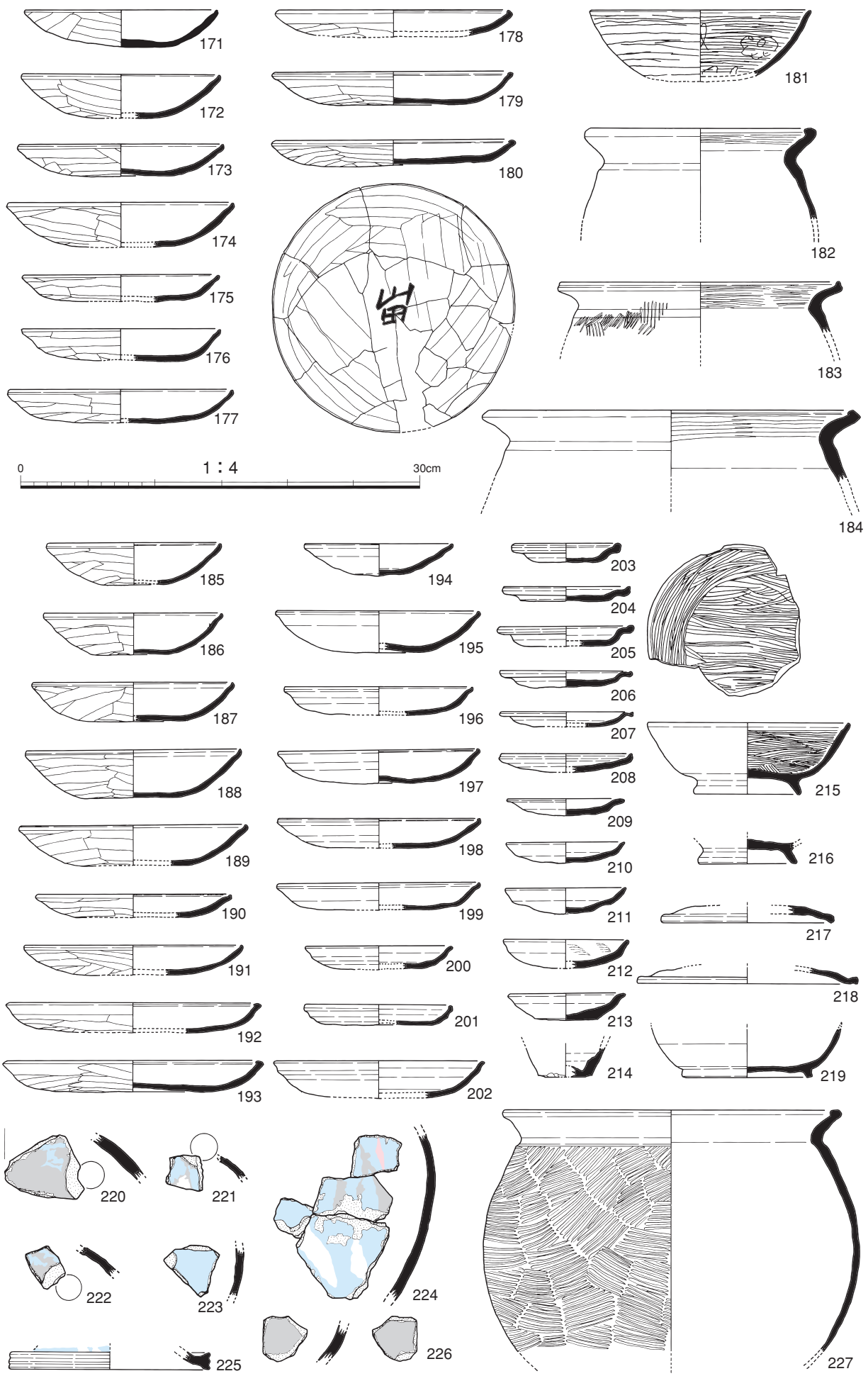
152

155

161

156

1：2



緑釉　褐釉　白釉　釉銀化

171～184　SB660B基壇土（暗青灰色砂質土）　185～227　SB660B周辺の黒灰色粘土（220～226は鉛釉陶器）

171

173

175

176

180

180

185

196

198

202

215

203

209

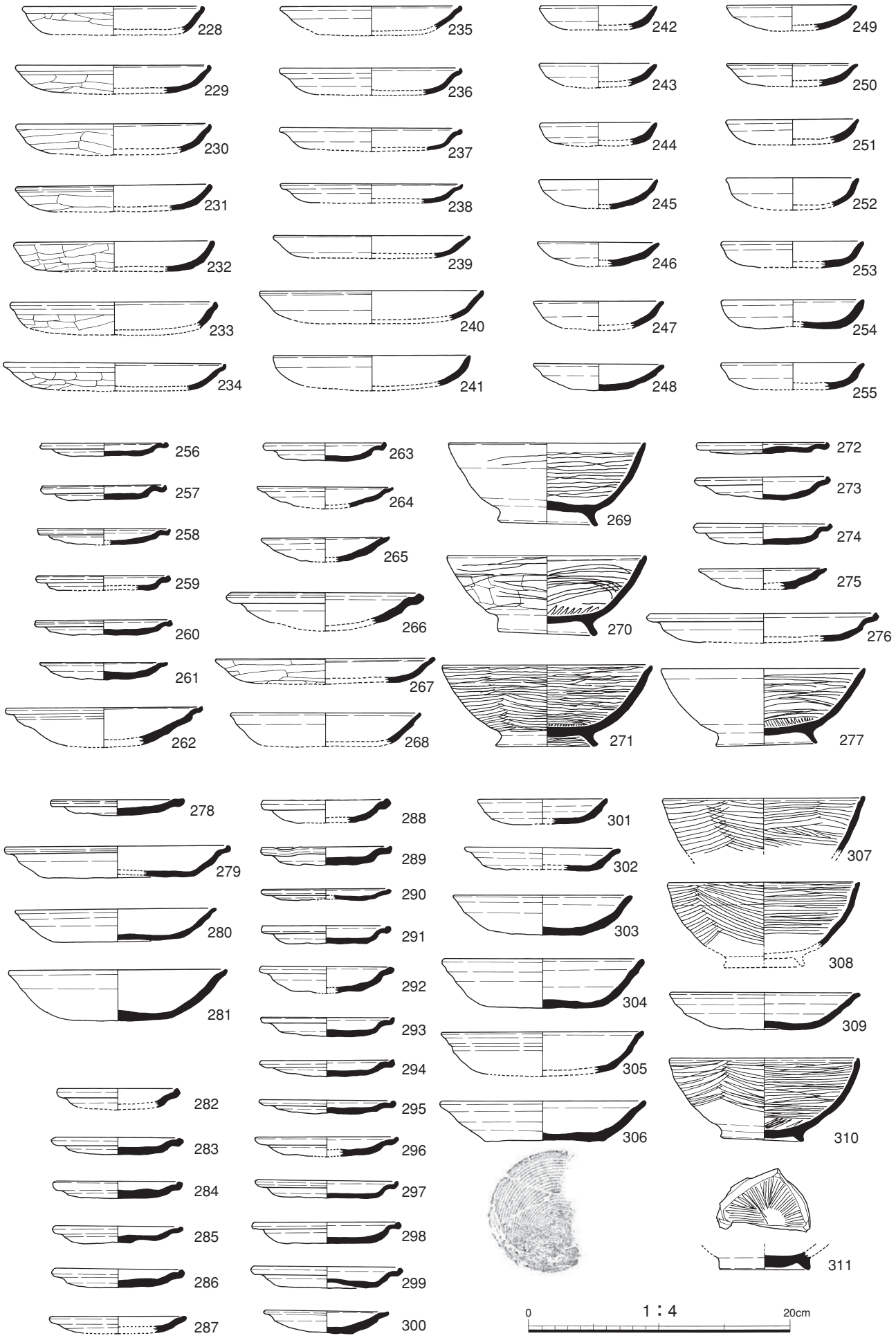
210

213

193

227

1：2（227のみ1：3）



228～255　灯籠周囲　256～277　SC060　278～281　SD565　282～287　SK206　288～308　SX429
309・310　SK434

244

250

253

245

251

254

260

270

274

261

271

275

279

293

280

303

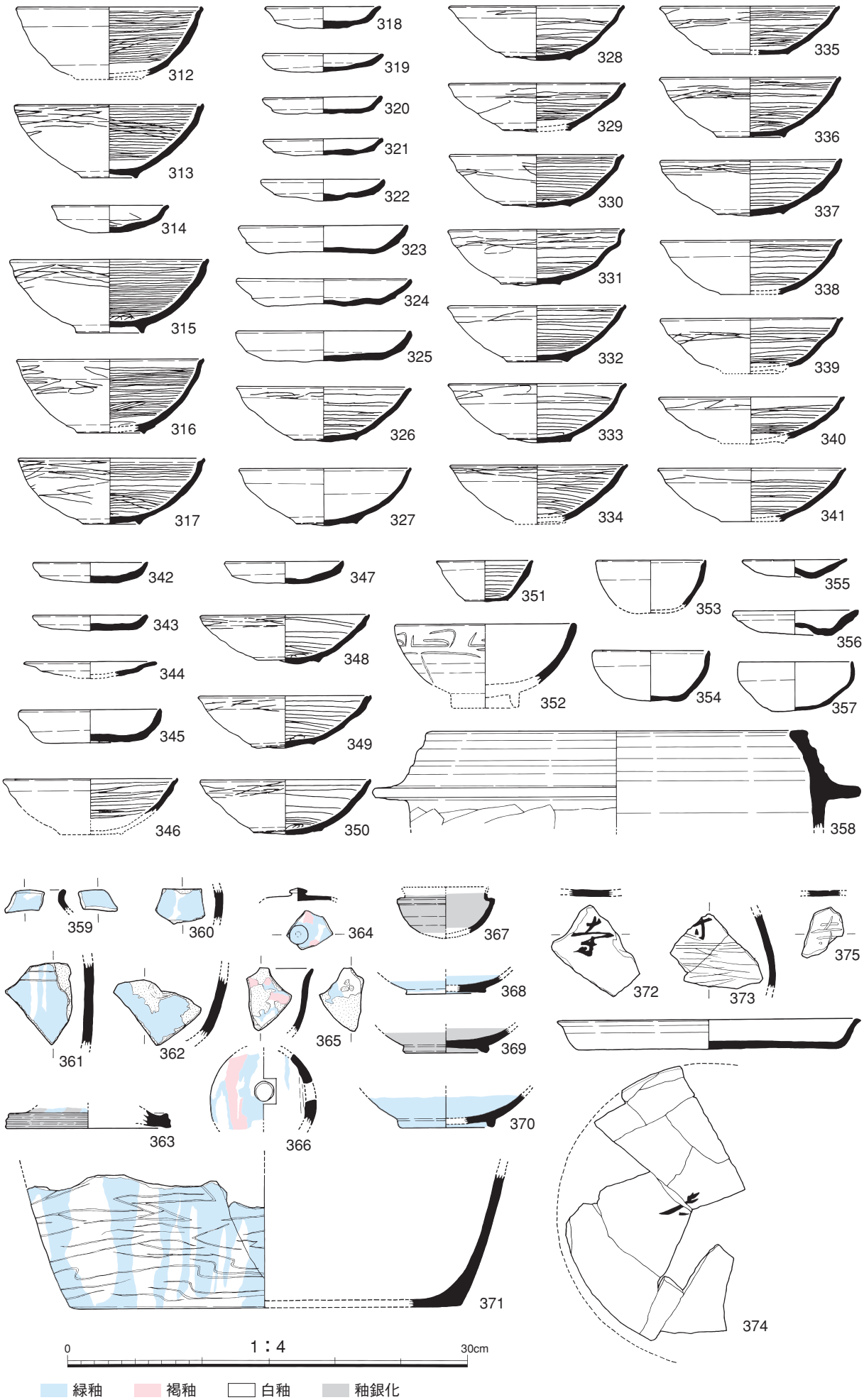
309

306

310

308

1：2



緑釉　褐釉　白釉　釉銀化

312　SD209　313　SD210　314　SD239　315　SD215　316　金堂周辺青灰色粘土　317　金堂周辺灰褐色土
318～341　SE230　342～346　SK440　347～350　SE218　351・352　SD222　353・354　SE231　355　SD223
356～358　SE480　359～371　SB660B周辺ほか（鉛釉陶器）　372～375　SB001周辺ほか（墨書・刻書土器）

314

313

315

316

317

320

322

324

325

330

333

335

342

343

345

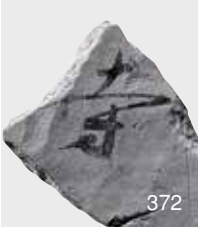
348

347

351

350

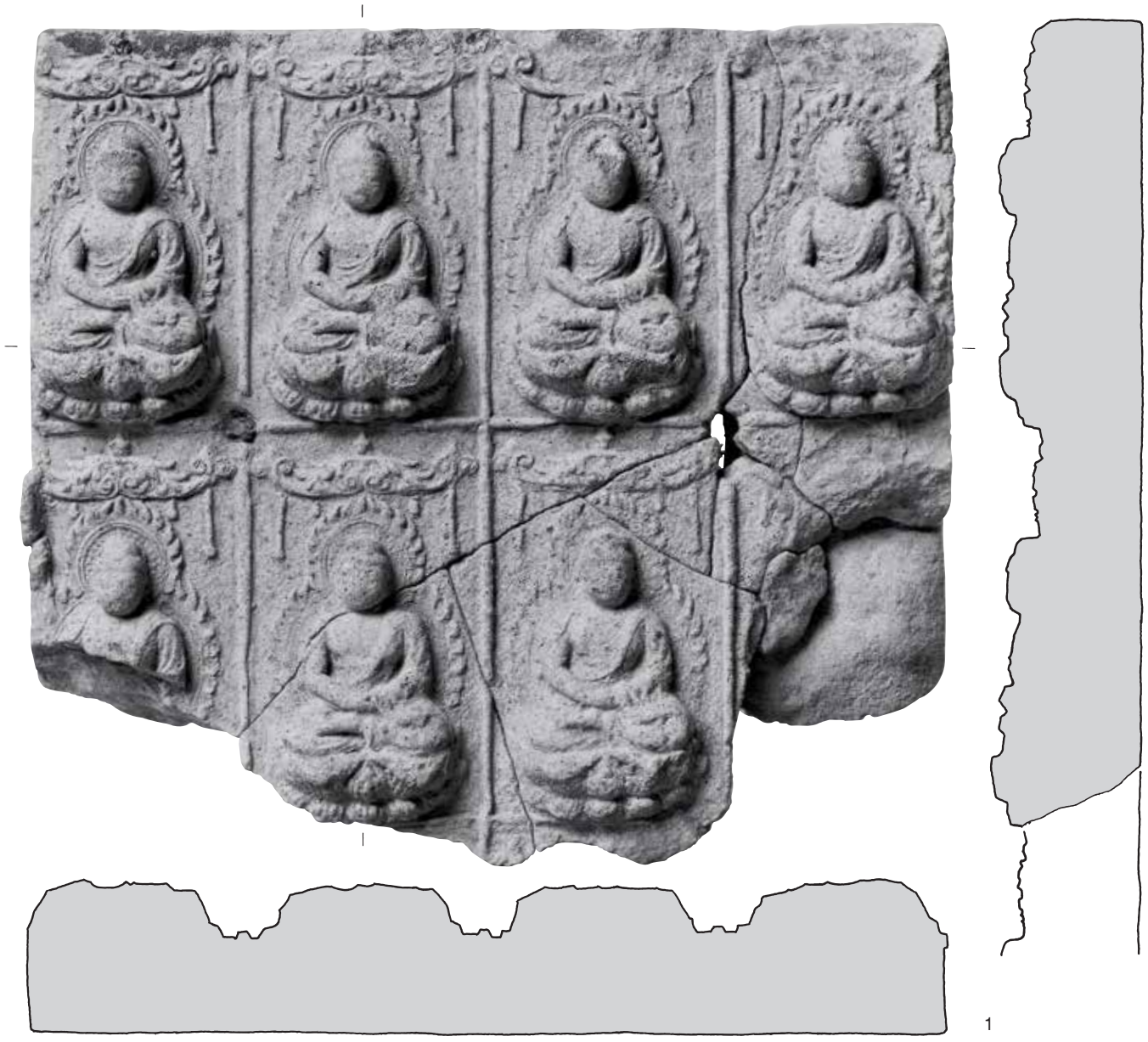
354


372

375

1：2

塼　仏 1（十二尊連坐塼仏）

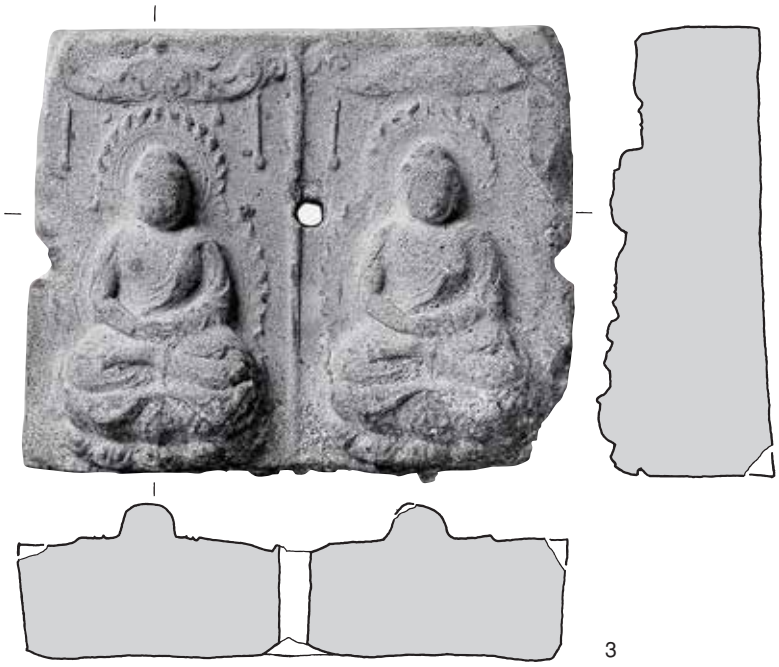


1

2

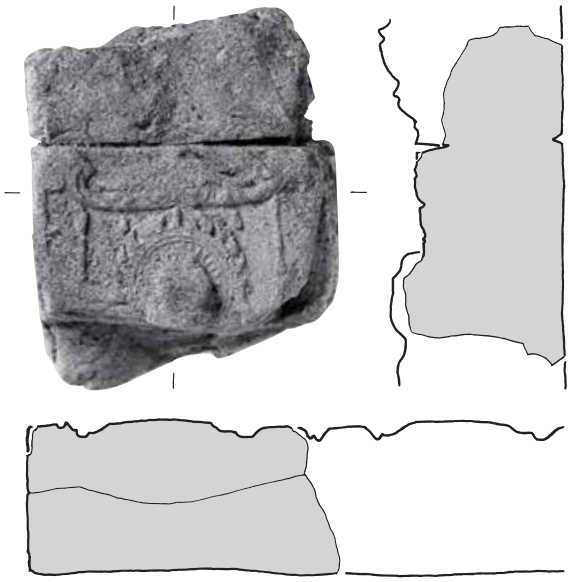
1：1

塼　仏 2（十二尊連坐塼仏ー切り離しー）

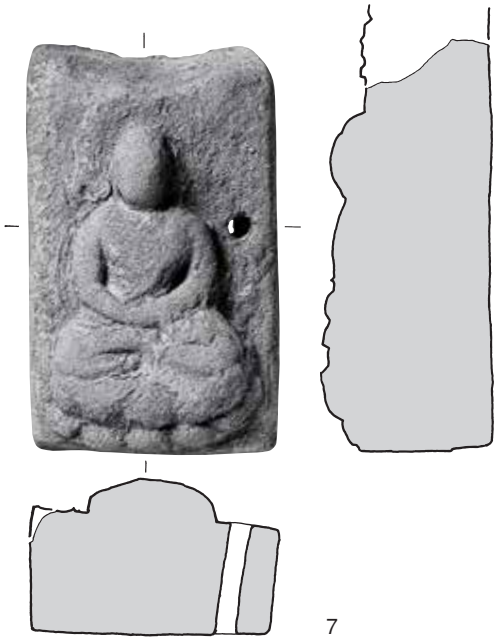


3

6



4



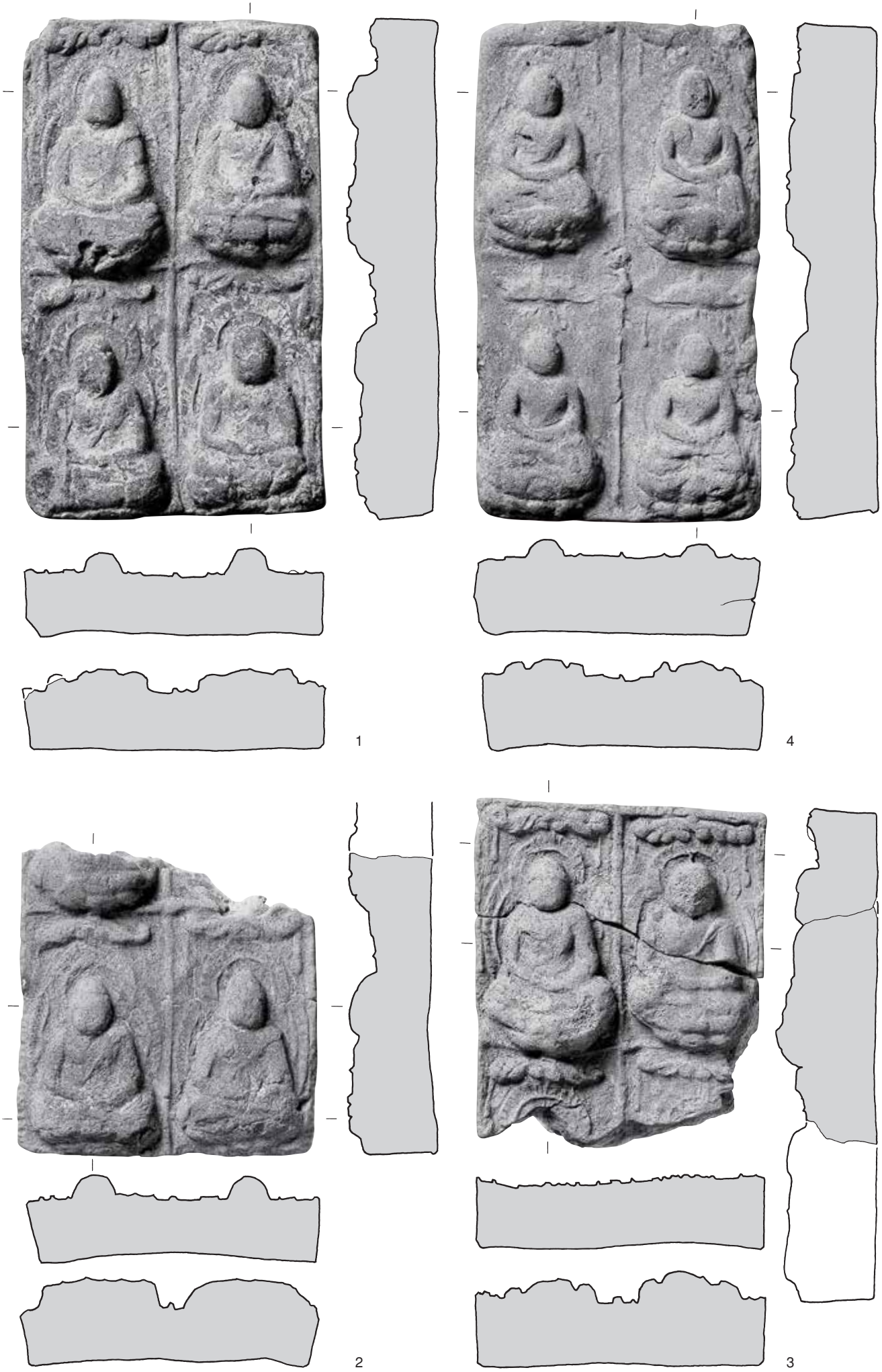
7

5

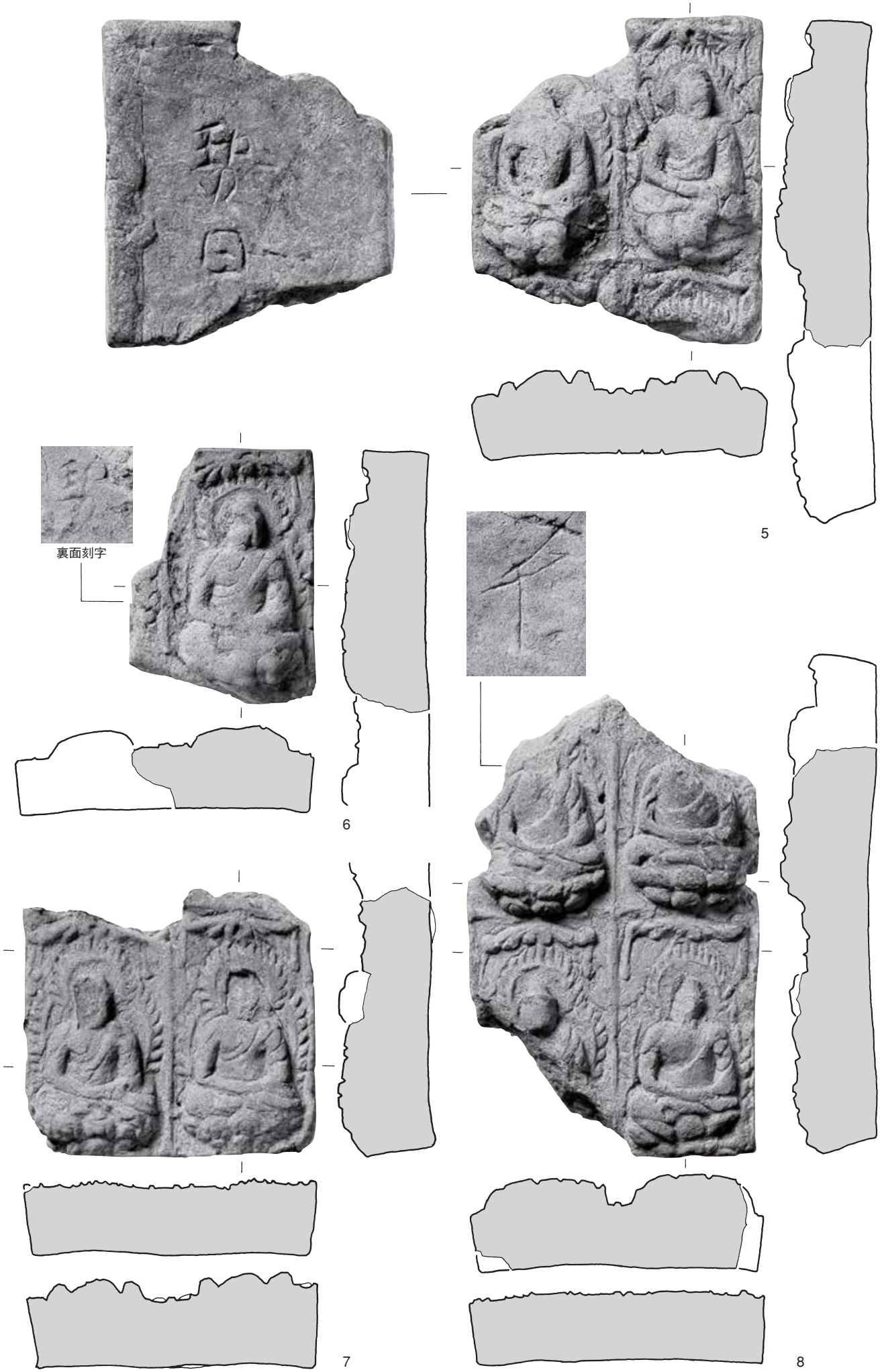
8

1：1

塼　仏 3（四尊連坐塼仏A・C）

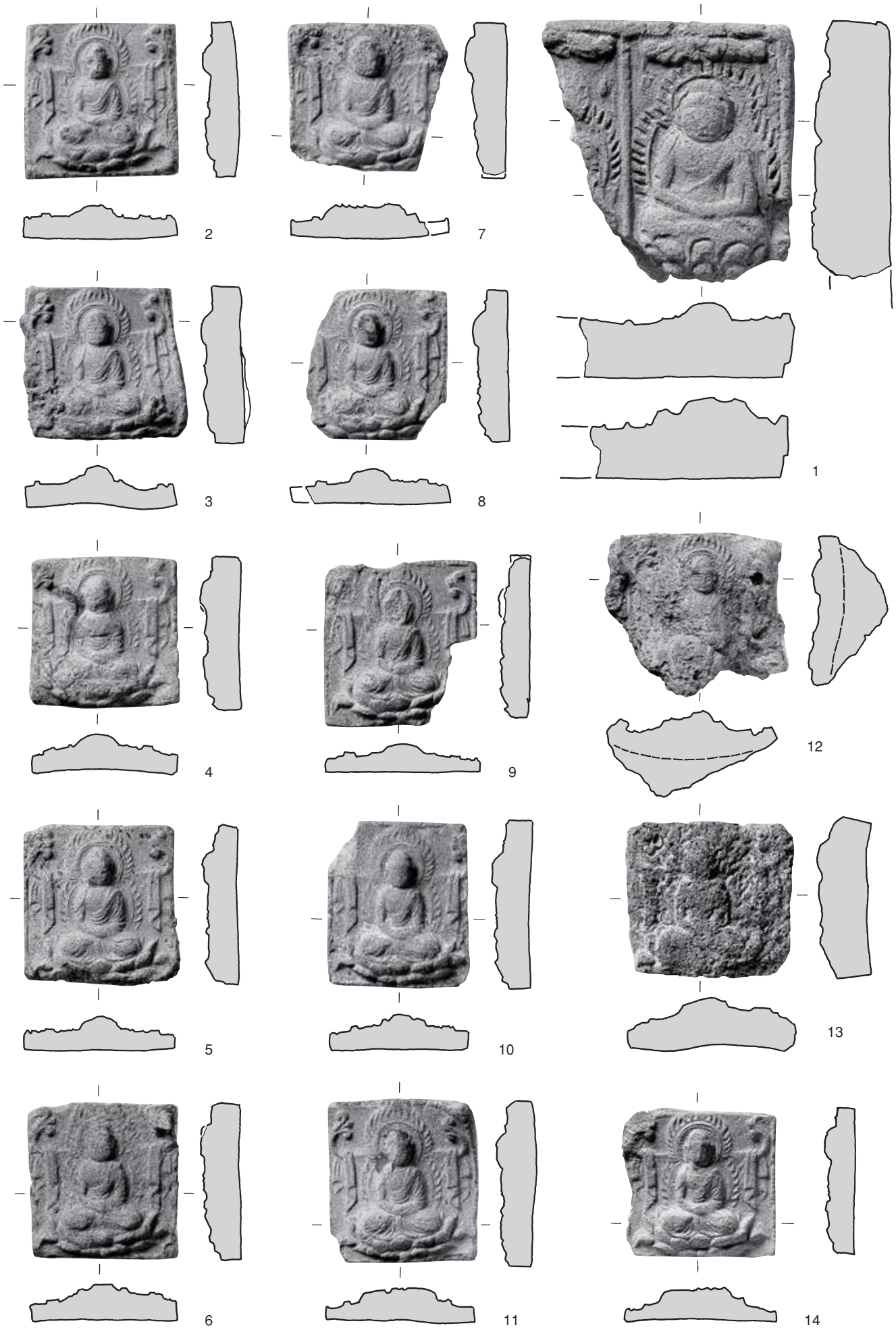


1：1　　1～3　四尊連坐塼仏A　　4　四尊連坐塼仏C

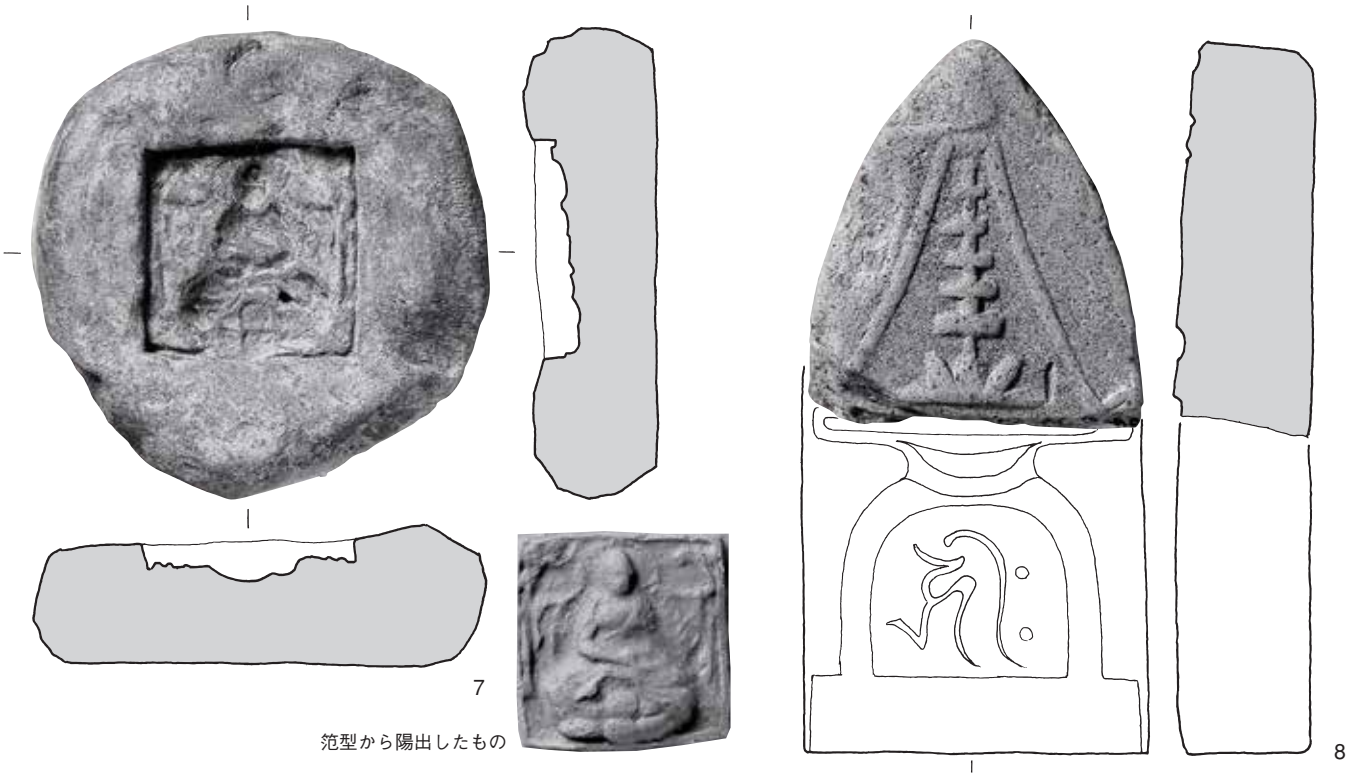


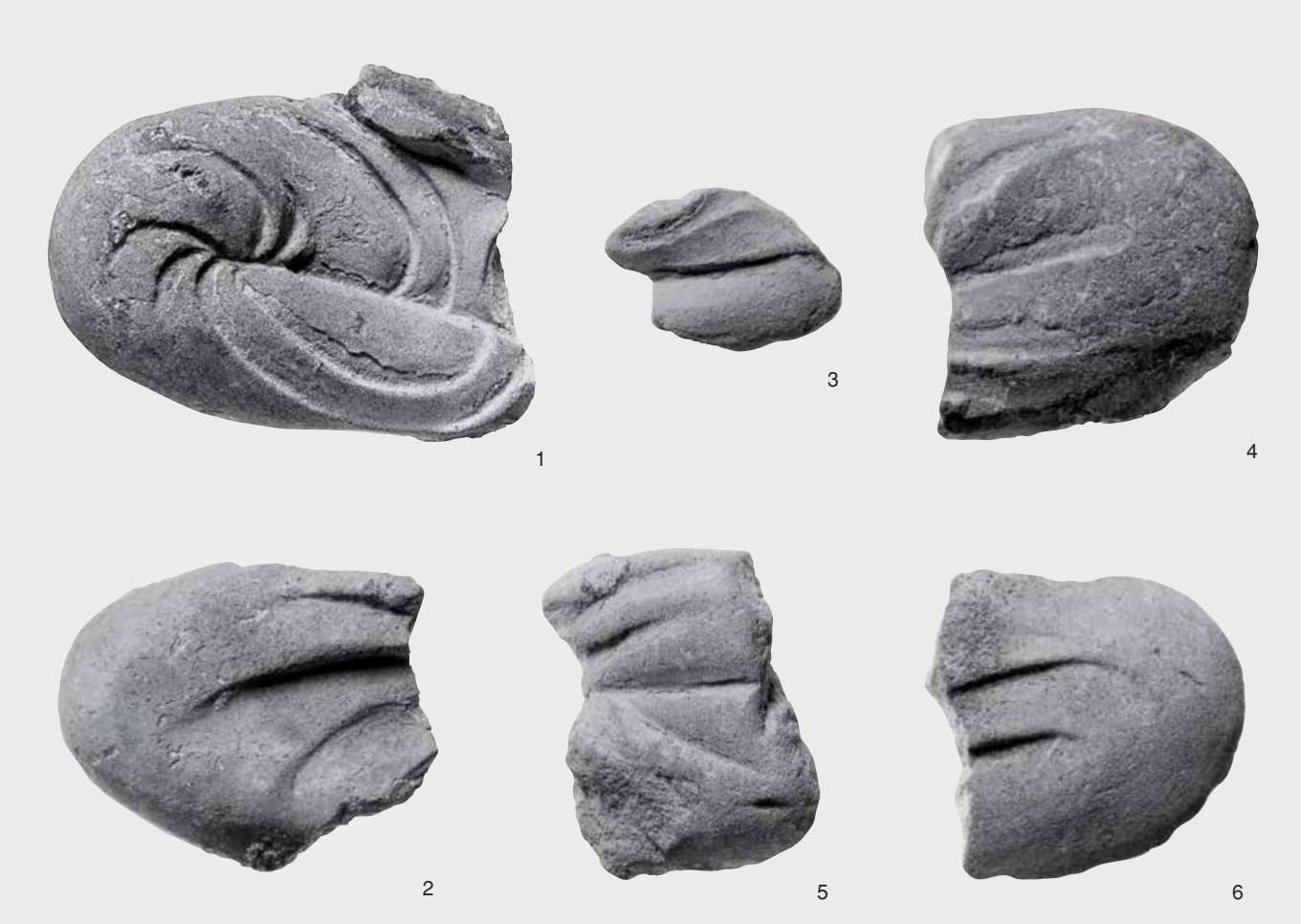
1：1

塼　仏 5（四尊連坐塼仏D・小型独尊塼仏）



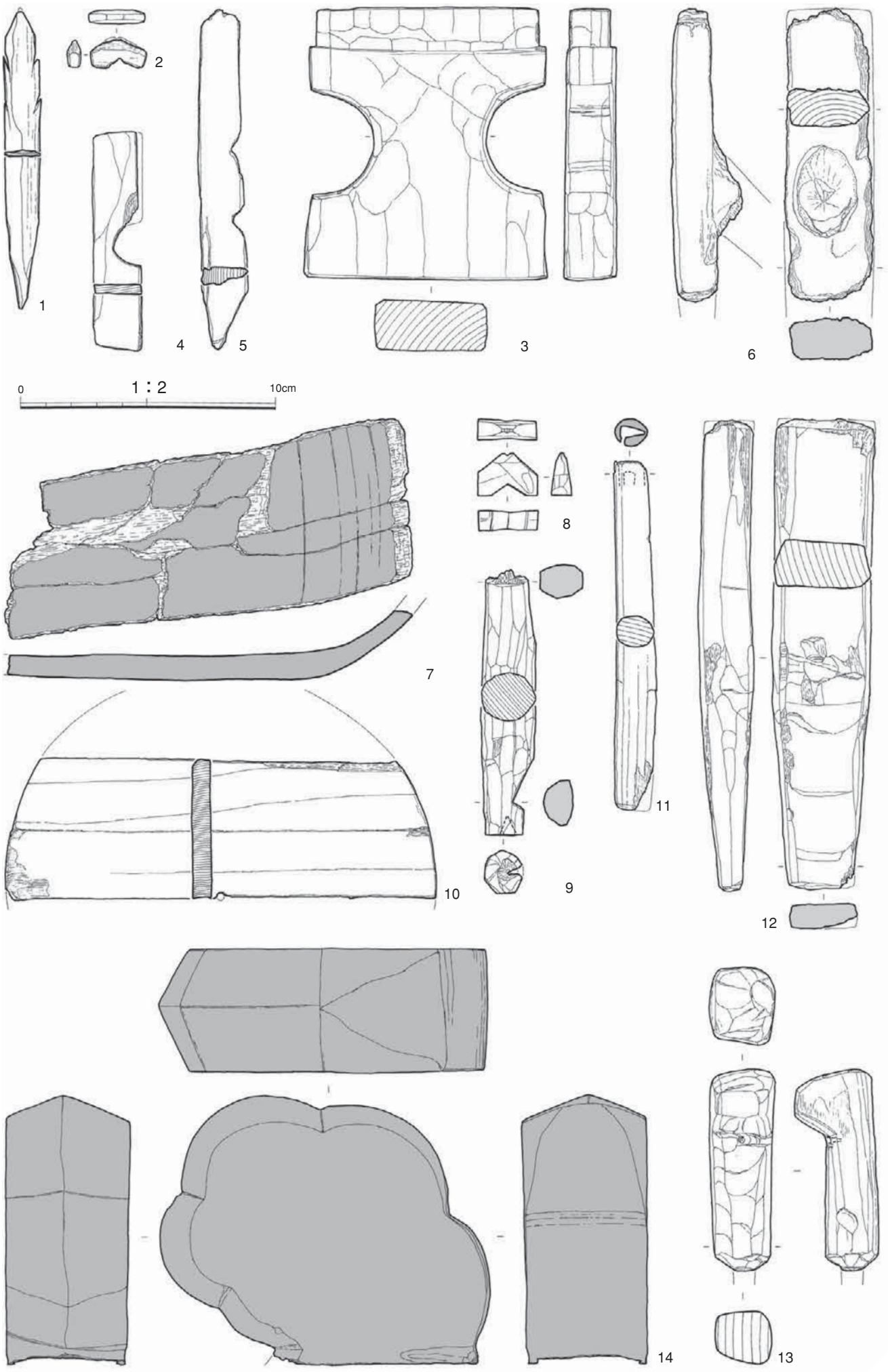
1：1　　1　四尊連坐塼仏D　　2～14　小型独尊塼仏



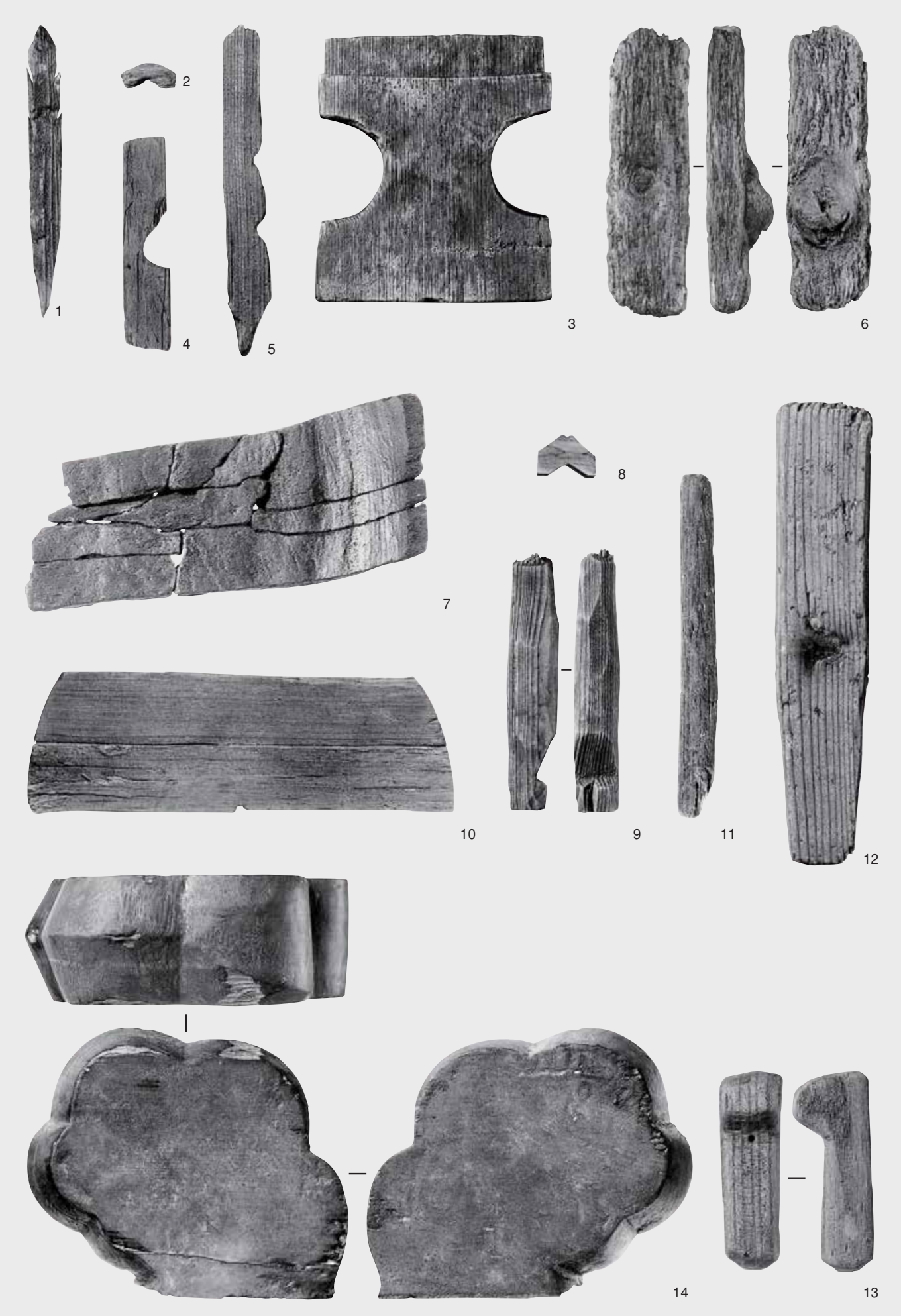


1～6　大型独尊塼仏　　7　小型独尊塼仏笵型　　8　泥塔

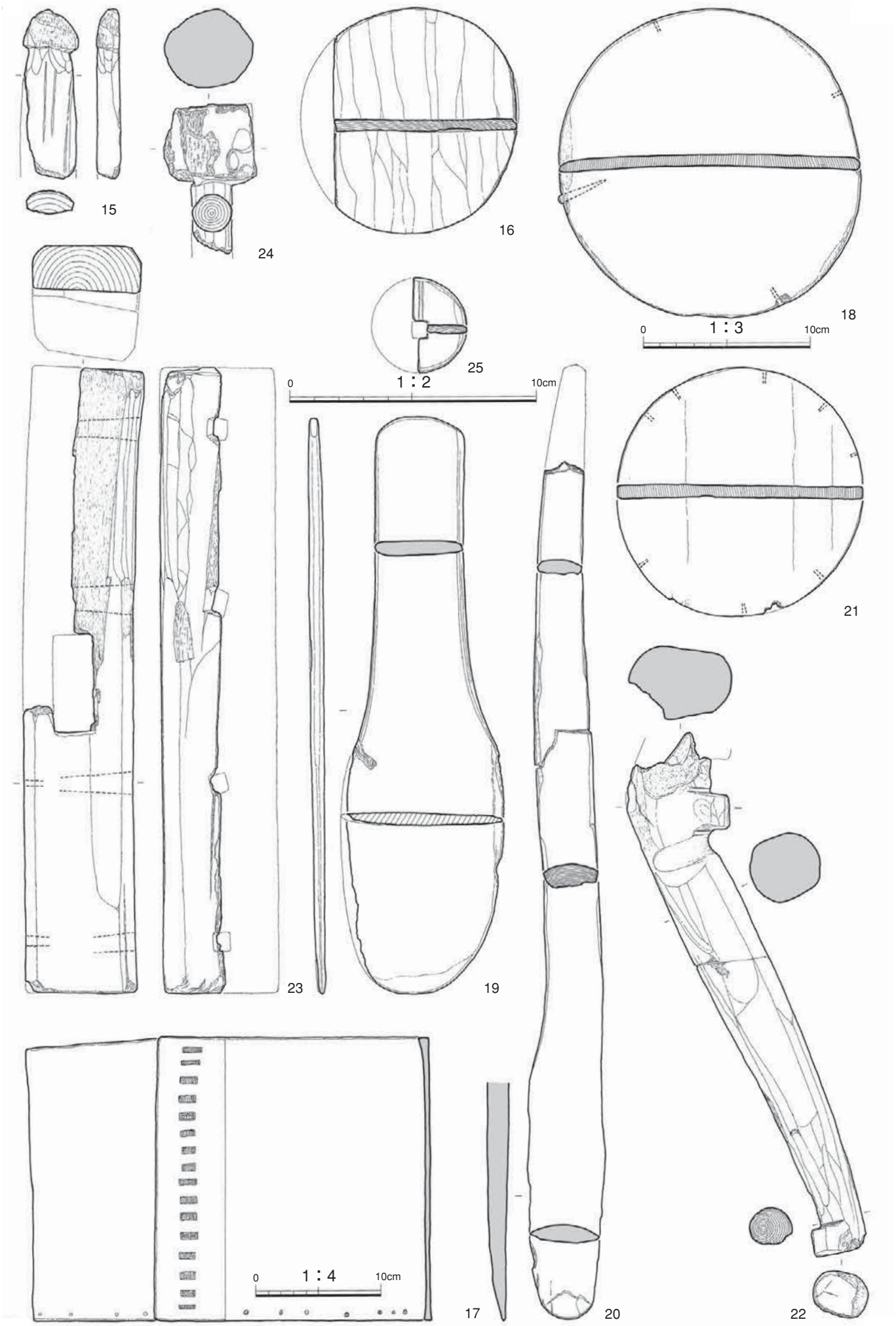
1：1



1～5　SD619堆積層　　6　SX620柱穴　　7～9　山田寺造営時整地土　　10　SD625A
11～13　SD629　　14　SK635　　黒色漆



1：2



15・16　SE230　　17　SE233　　18　SE234　　19～22　SC060東側　　23　SD530　　24・25　SD531

15・19・23・24・25　1：2　　16・18・20・21・22　1：3　　17　1：4

19

15

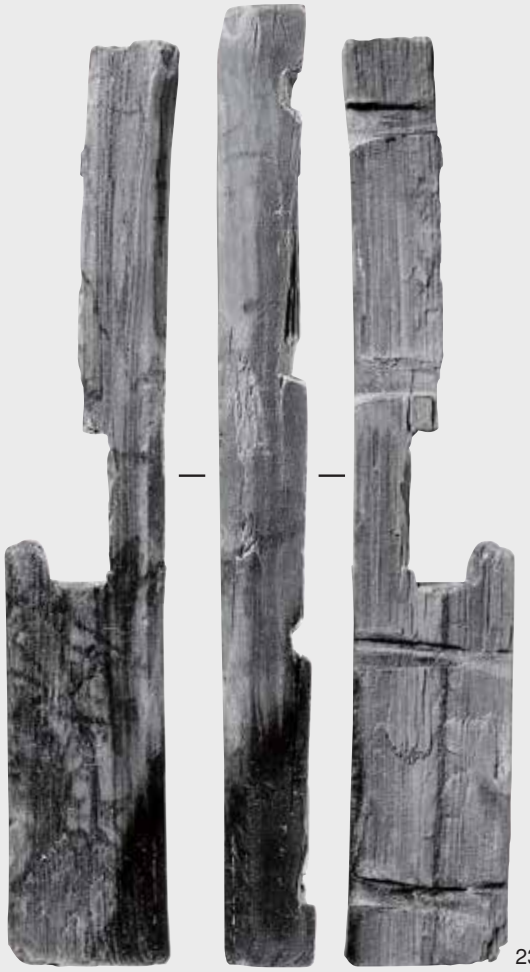
16

18

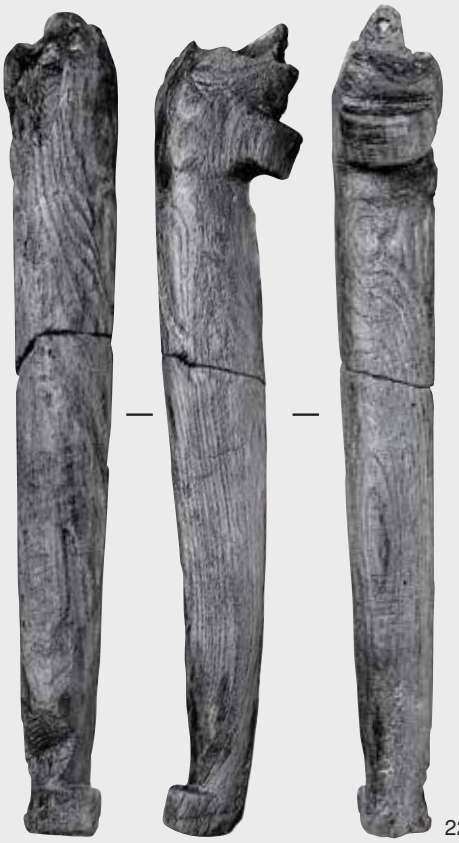
24

25

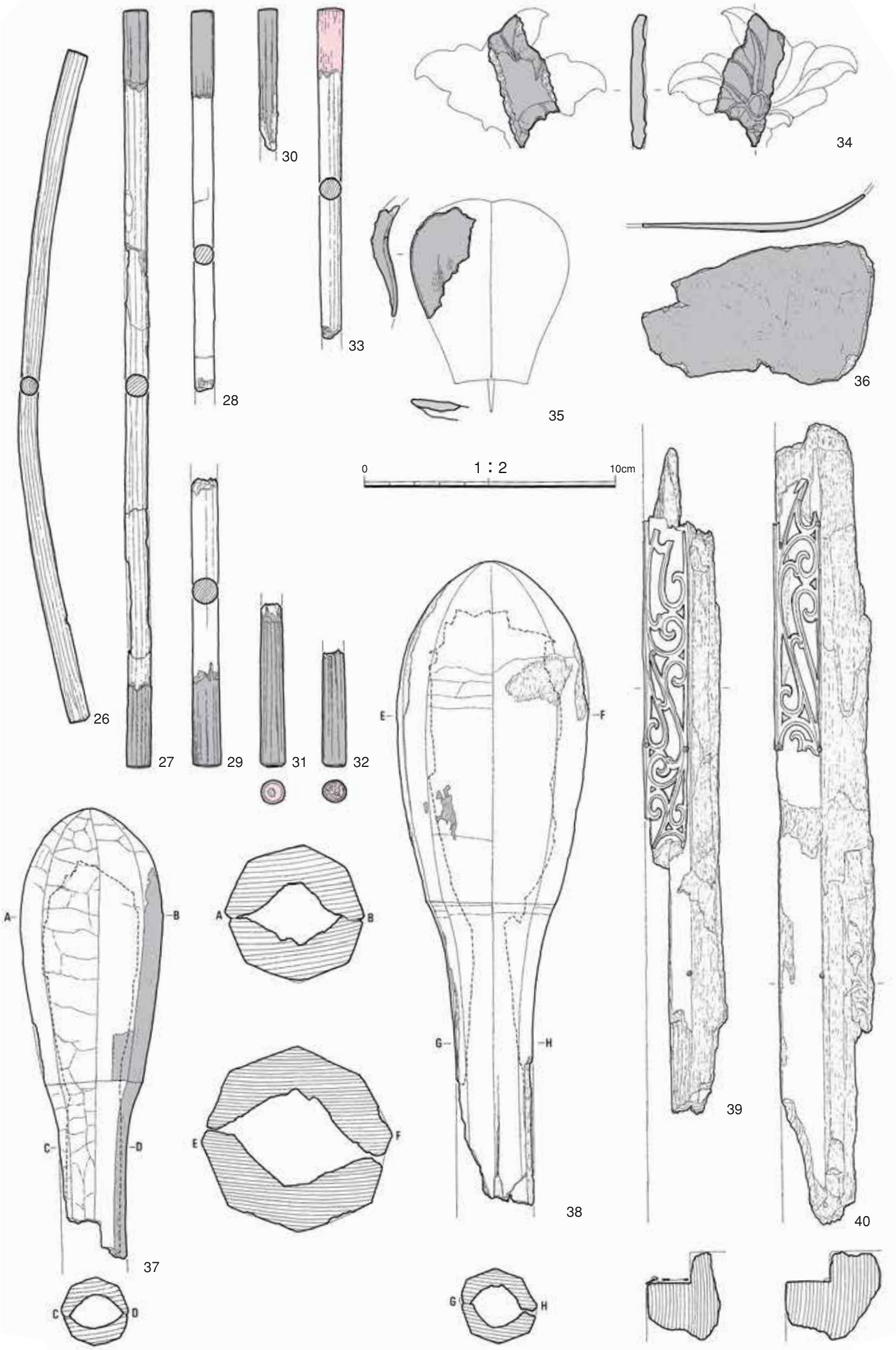
21


23

20

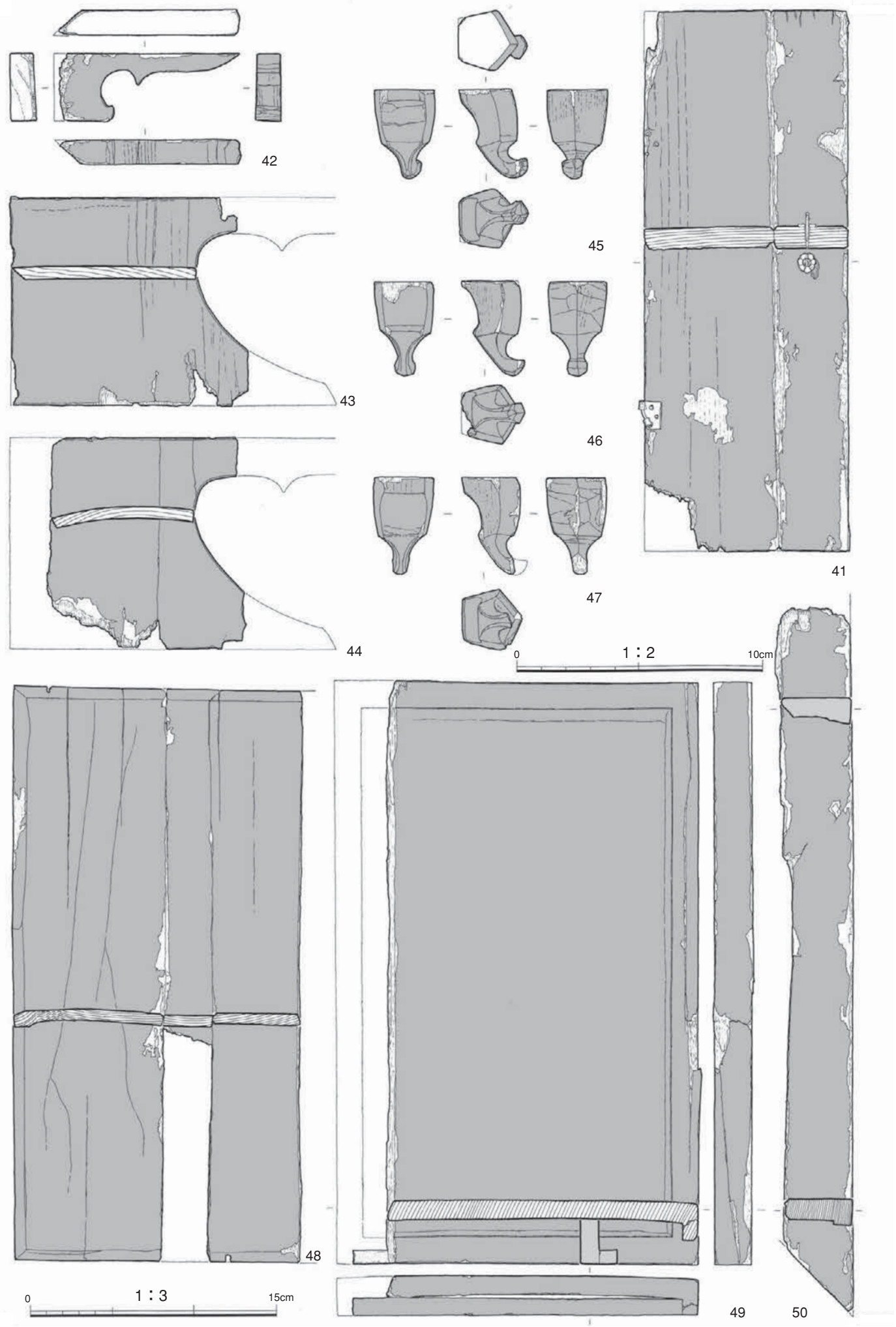

22

15・19・23・24・25　1：2　　16・18・20・21・22　1：3



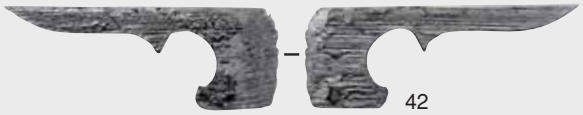
26～40　SB660周辺　　黒色漆　　赤色漆

1：2



41～50　SB660周辺　　黒色漆

42～47　1：2　　41・48～50　1：3

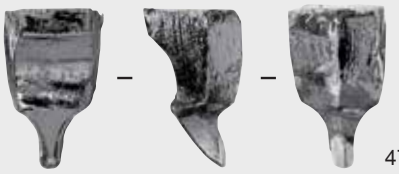

42

43

45

46

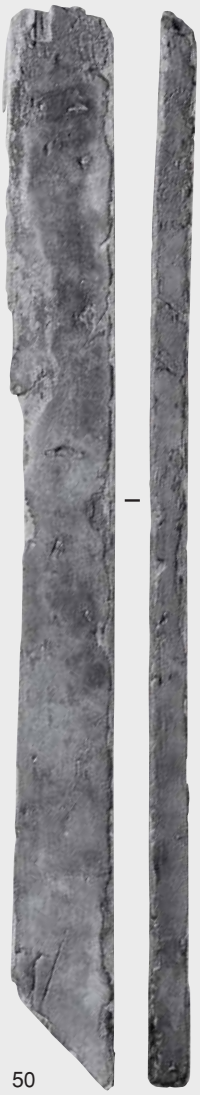
44


47

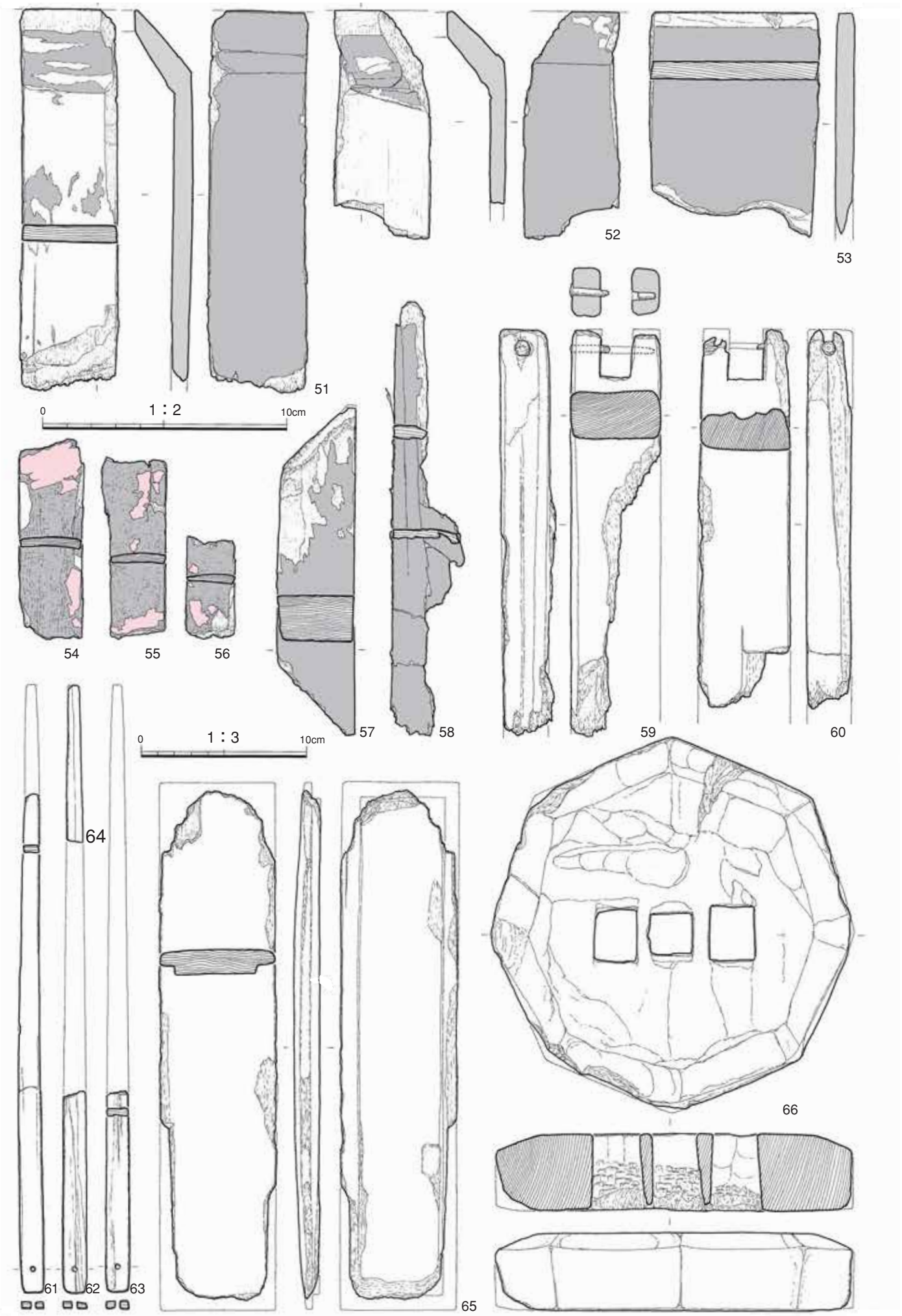
41

48

49


50

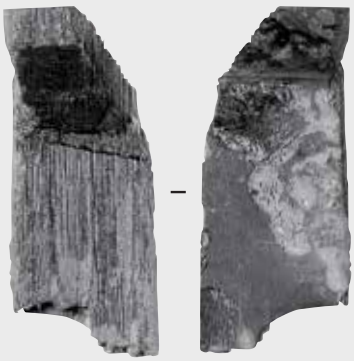
42～47　1：2　　41・48～50　1：3



51～66：SB660周辺　黒色漆　赤色漆

51～60　1：2　61～65　1：3　66　1：4

51


52

56

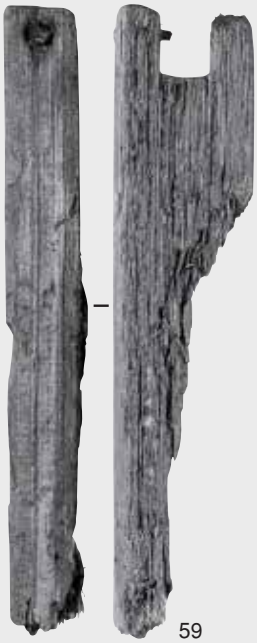
55

54

53

57

60


59

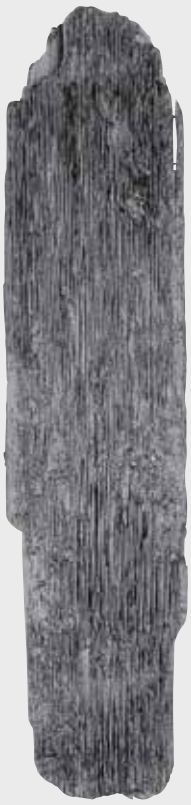
58

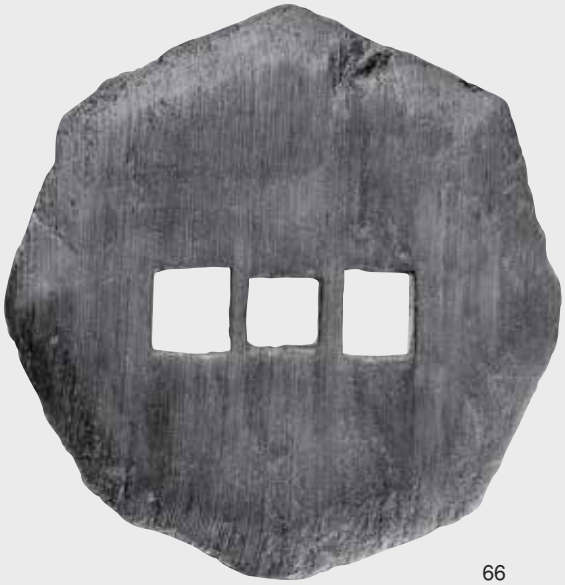
61

64

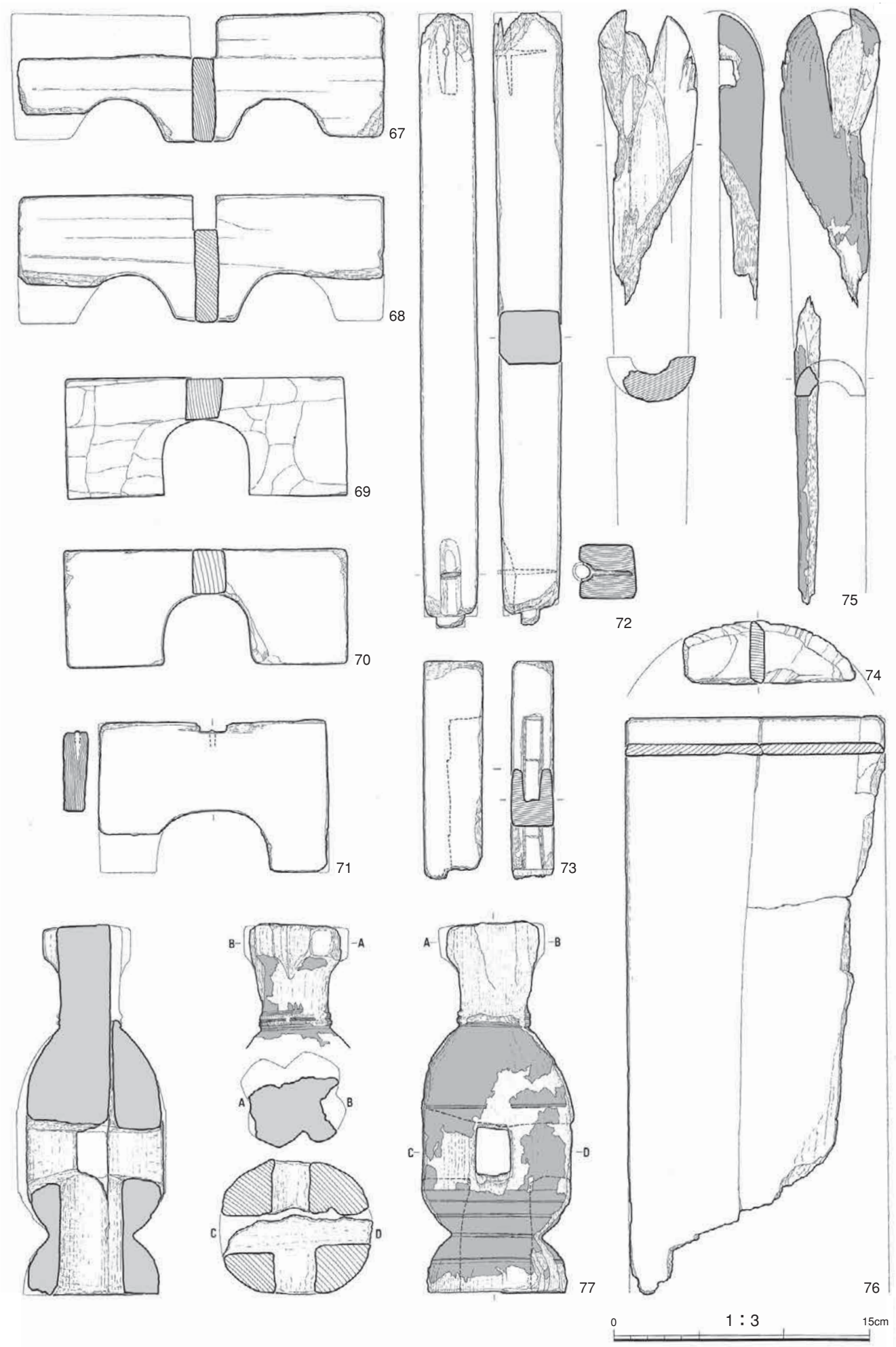
62

63


65


66

51～60 1：2 61～65 1：3 66 1：4



67～74：SB660周辺　75・76：SD552　77：北面回廊の北側　黒色漆

67

68

69

70

71

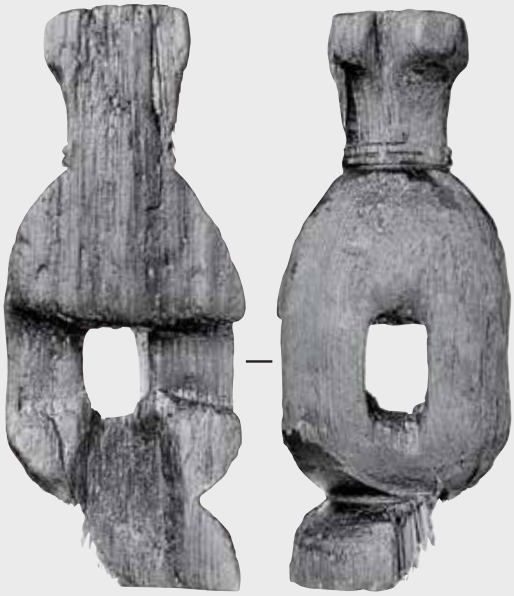
72

73

75

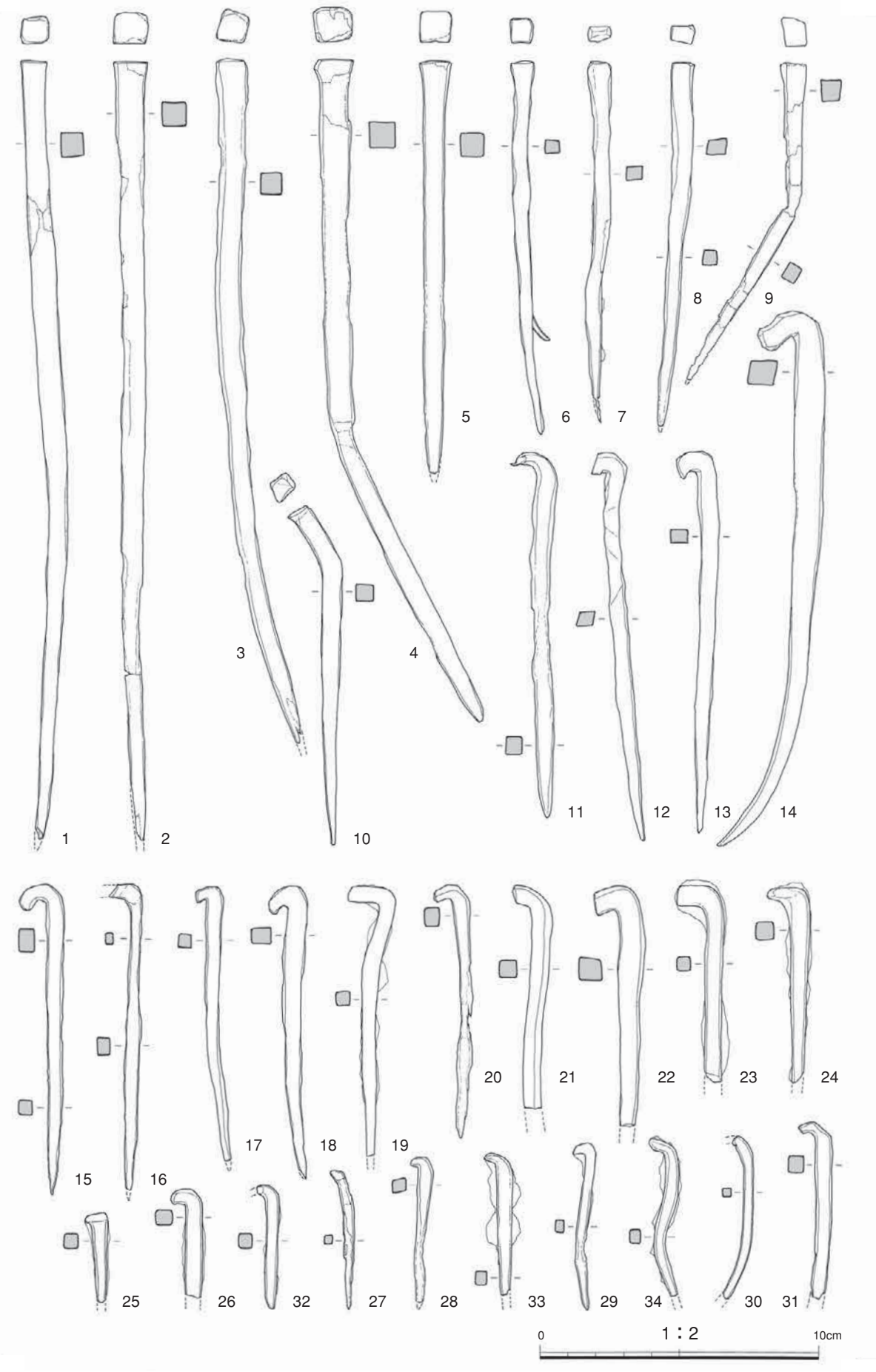
76

74

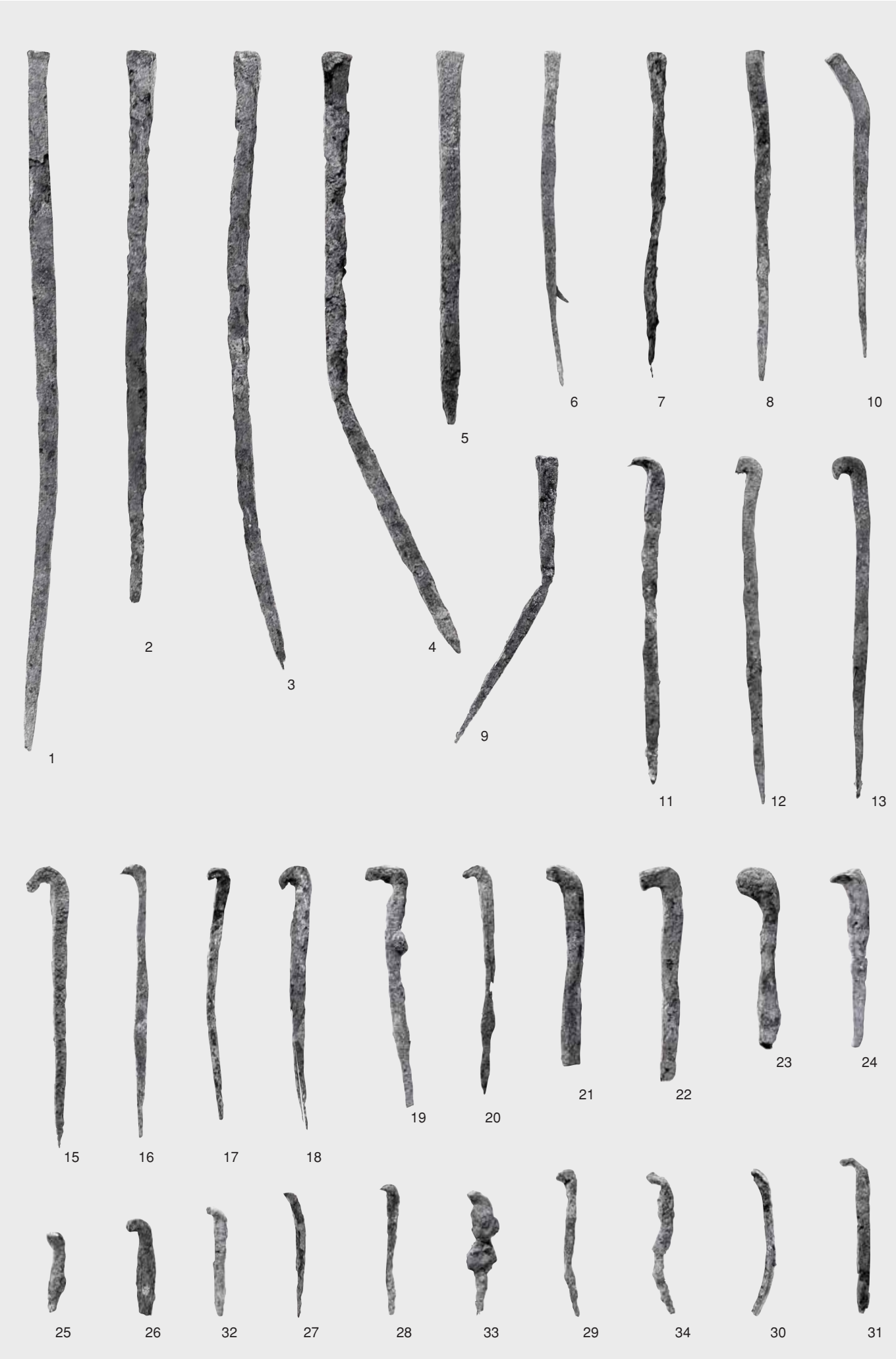


77

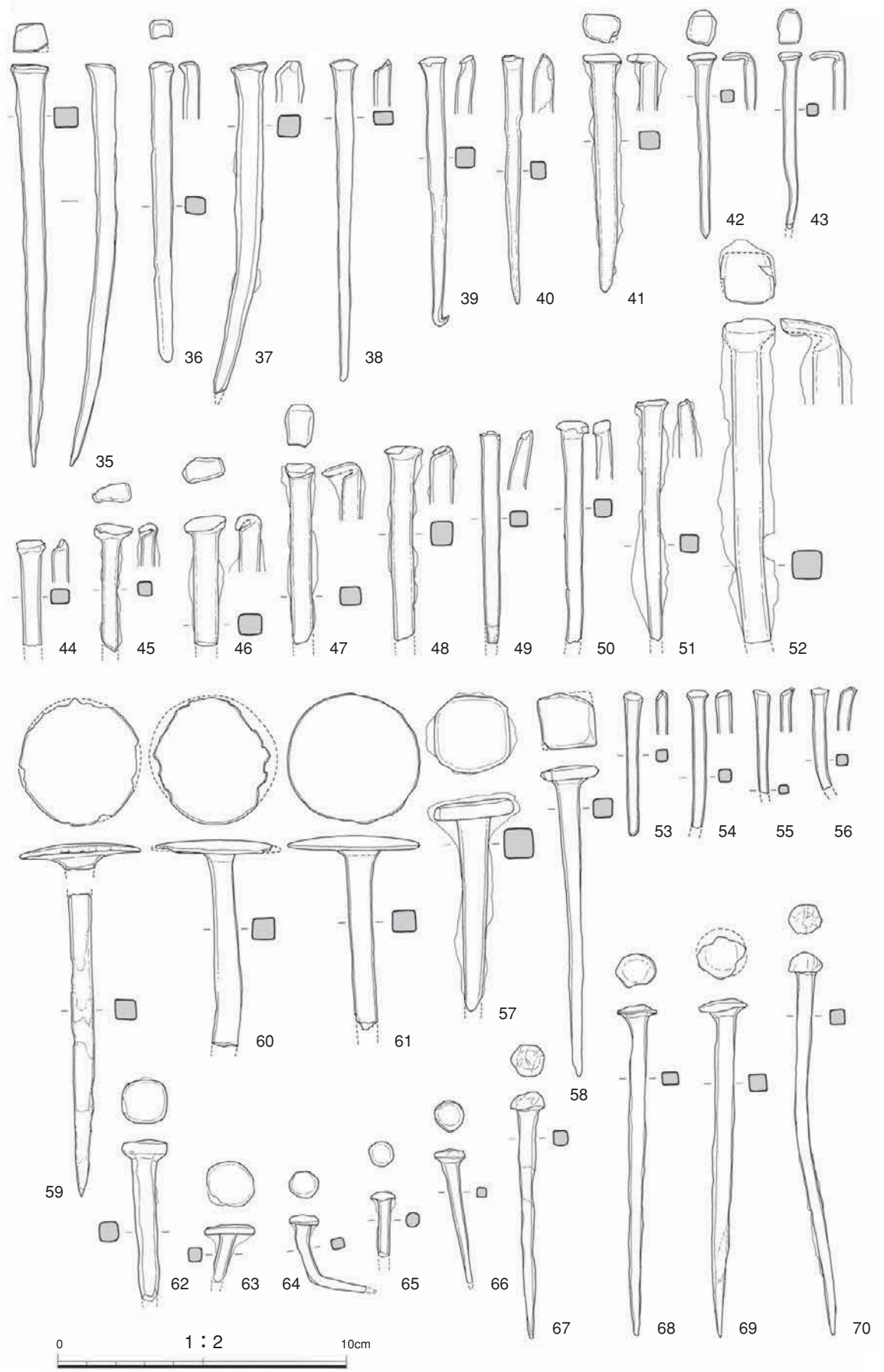
1：3



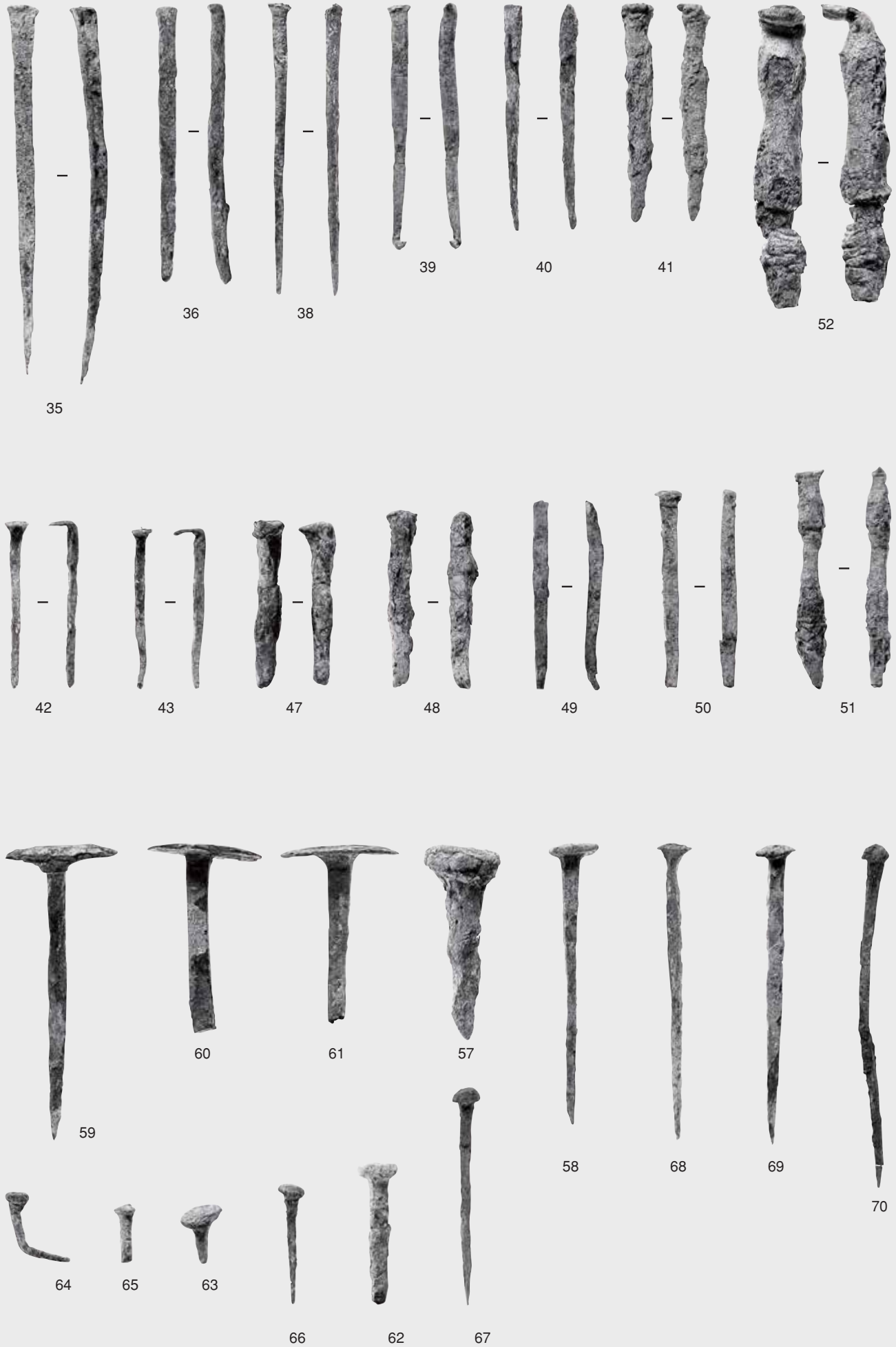
1～10　切釘　　11～30　折釘　　31～34　叩折釘


1
2
3
4
5
6
7
8
10
9
11
12
13
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
32
27
28
33
29
34
30
31

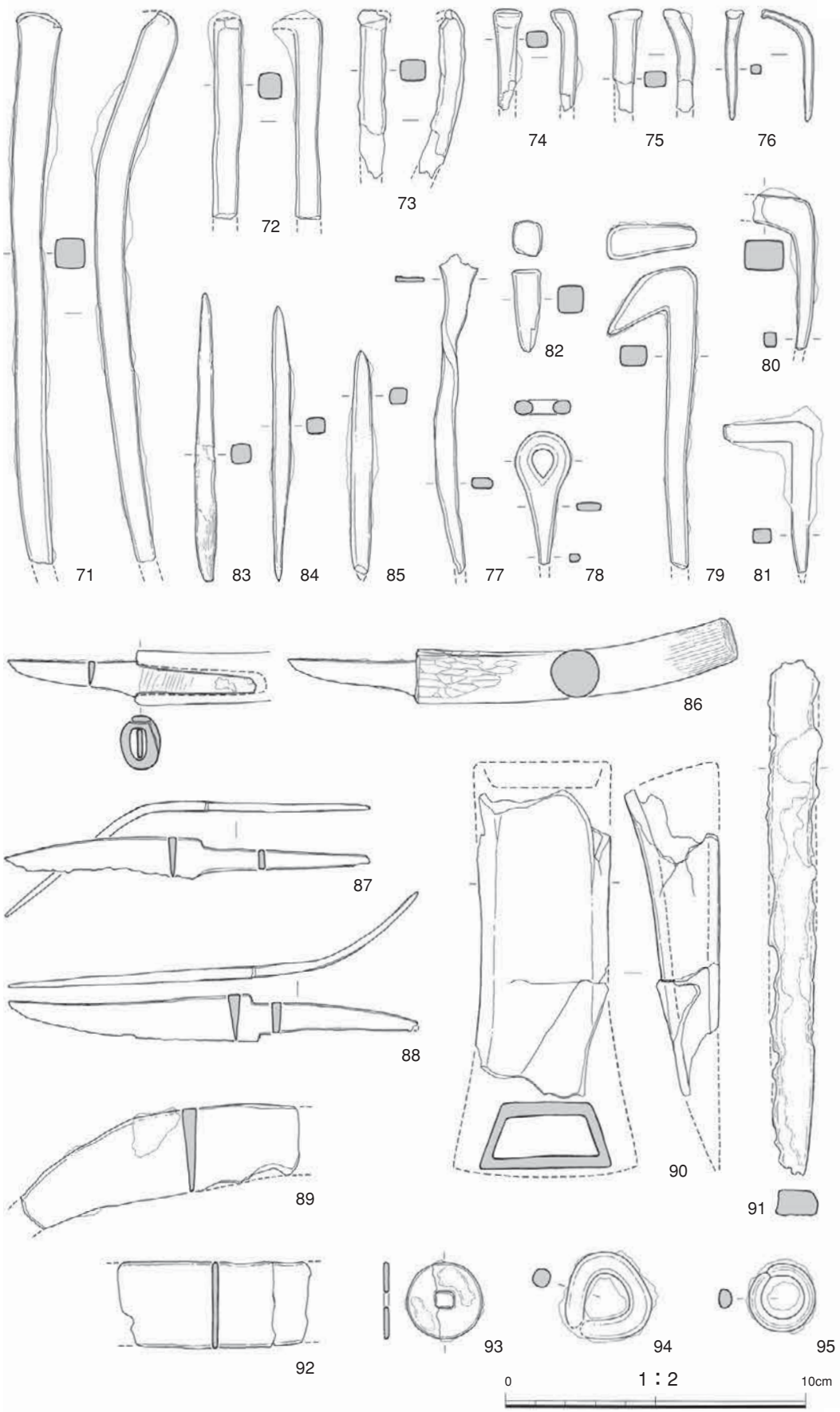
1：2



35・36　叩折釘　　57・58・62・63　方頭釘　　59～61・64～70　円頭釘


35
36
38
39
40
41
52
42
43
47
48
49
50
51
59
60
61
57
58
68
69
70
64
65
63
66
62
67

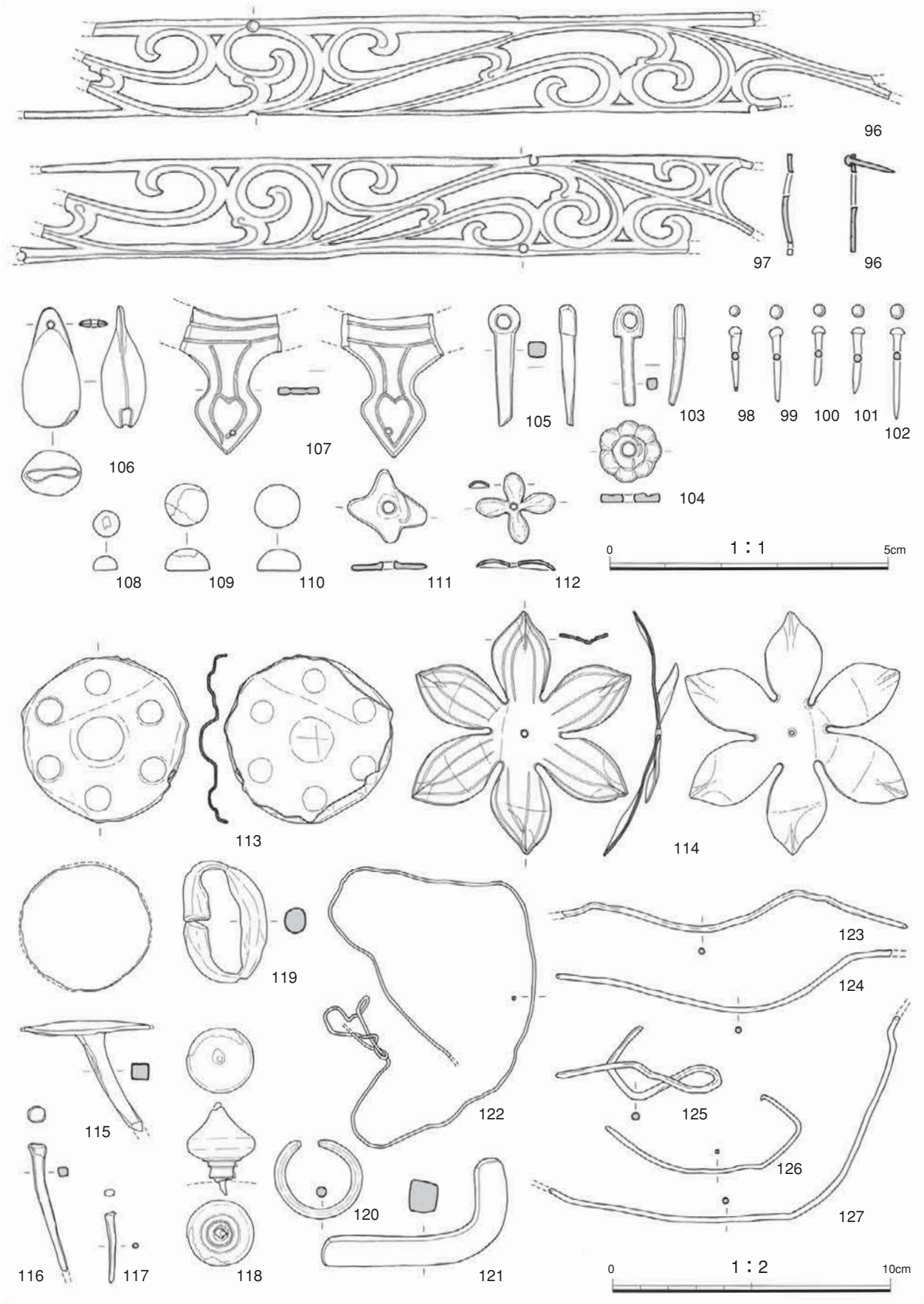
1：2



71～76　叩折釘　　78　壺金具　　79　折釘　　80　鋏　　81　肘壺金具　　82　鑿
83　錐　　84・85　合釘　　86～88　刀子　　89　鉄鎌　　90　鋳造鉄斧　　93　座金具
94・95　鉄環　　77・91・92　不明鉄製品

53
54
55
56
73
74
75
76
91
14
71
72
85
84
83
77
79
81
80
78
82
86
88
87
90
89
92
93
95
94

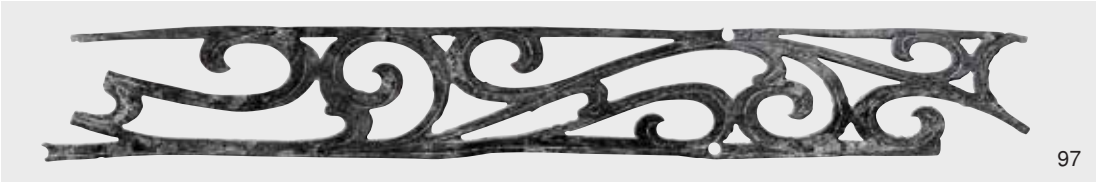
1：2



96～105　厨子金具　　106　金銅製鈴　　108～110　ガラス製品　　111　鉛製瓔珞　　112　金製瓔珞
113　垂木先瓦中房飾金具　　114　金銅製六弁花形金具　　115　金銅製鋲　　116・117　銅釘
118　金銅製宝珠紐　　119　吊金具　　120　金銅製円環　　107・121　不明銅製品　　122～127　銅線
96～112　1：1　　113～127　1：2

96

108～110


97

115

116

118

112

111

104

106

105

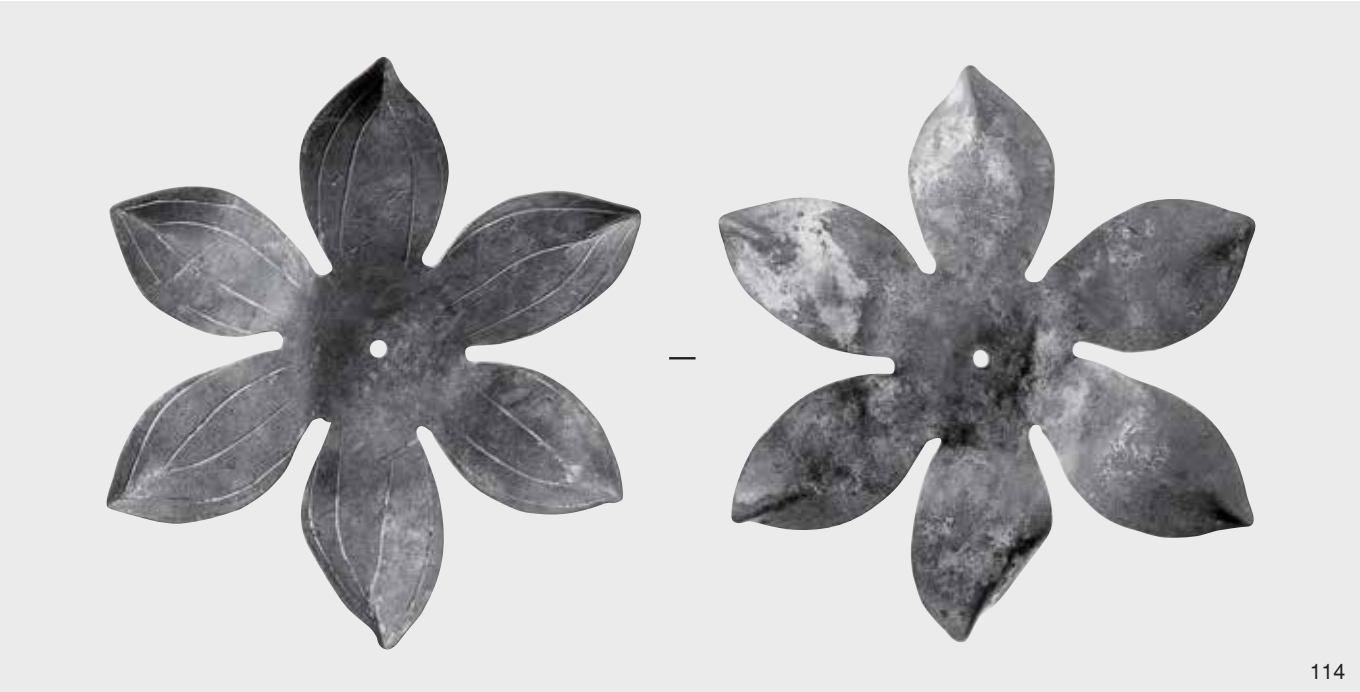
103

107

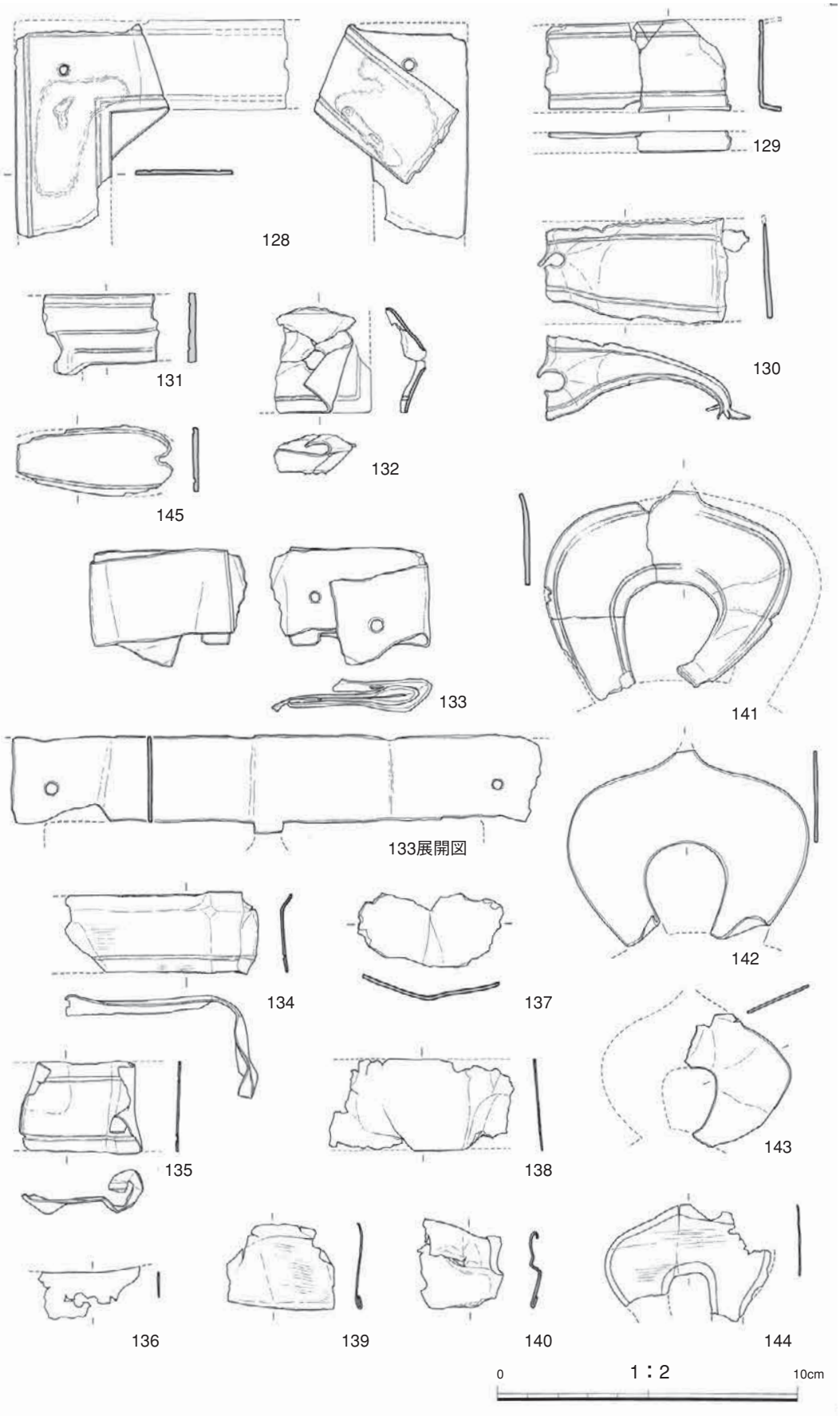
120

119

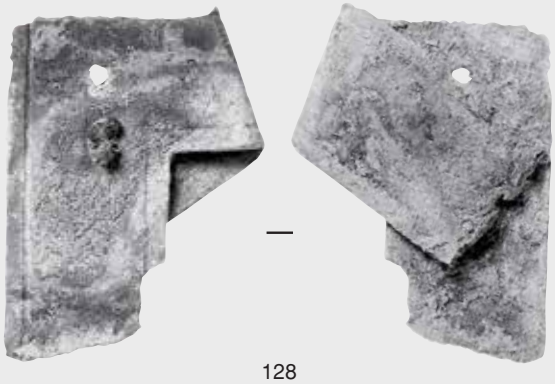
113


114

96～112　1：1　　113～120　9：10



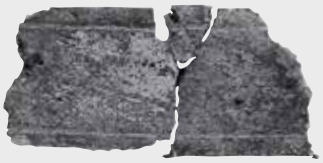
128・130～144　隅木先飾金具　　129・145　金銅製飾金具



128

141

131

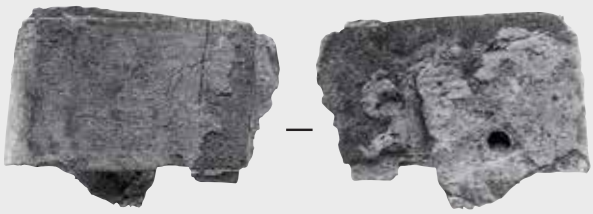


129

142

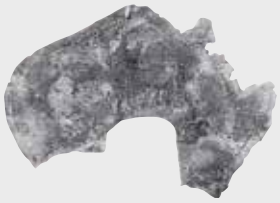
132

130



133

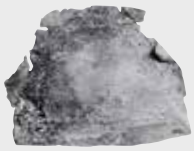
143



144

140

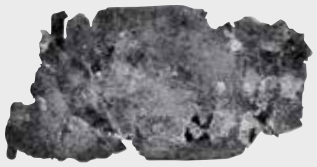
134



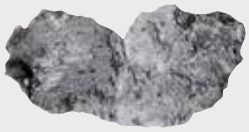
139

135

136

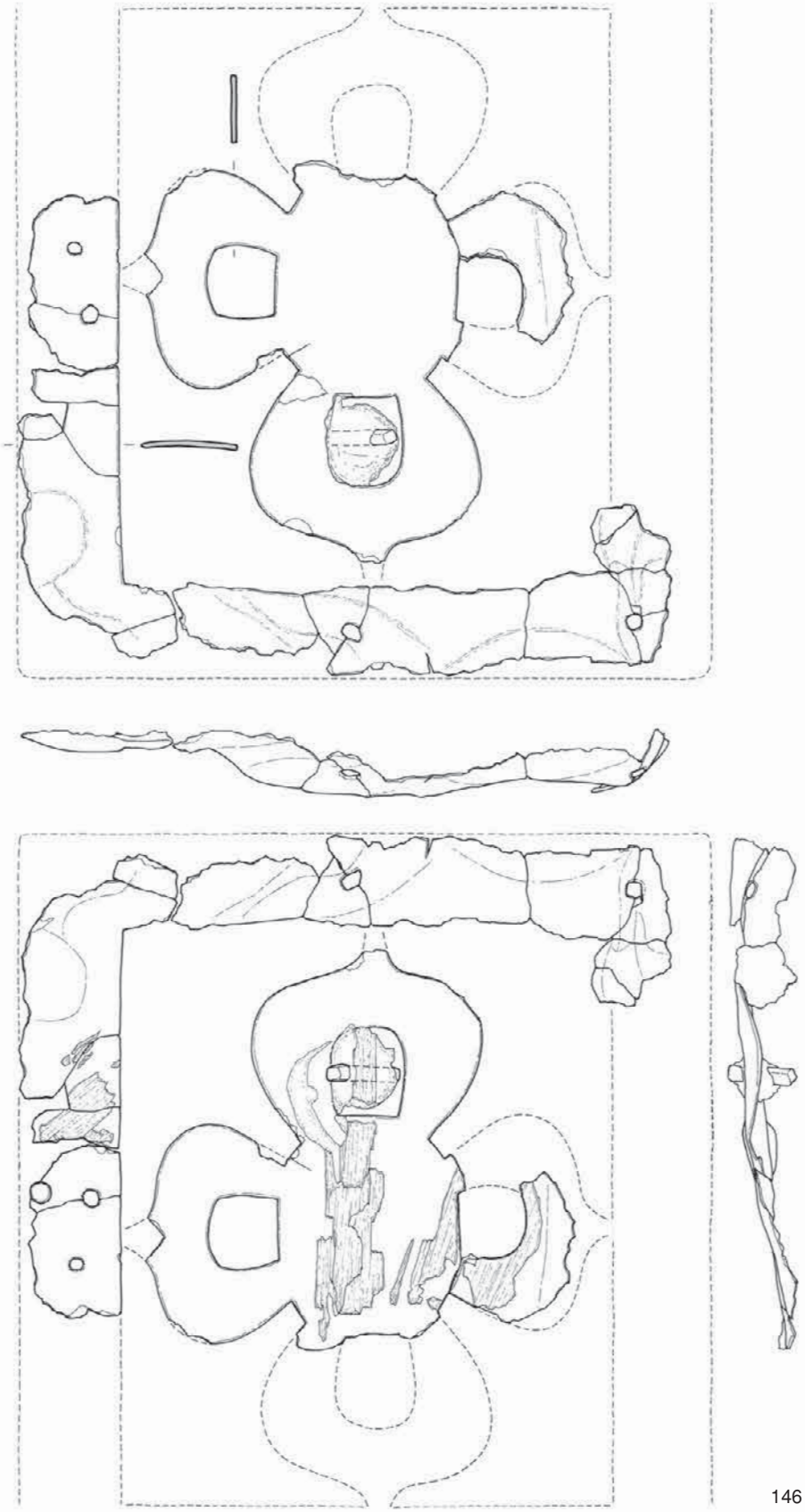


138



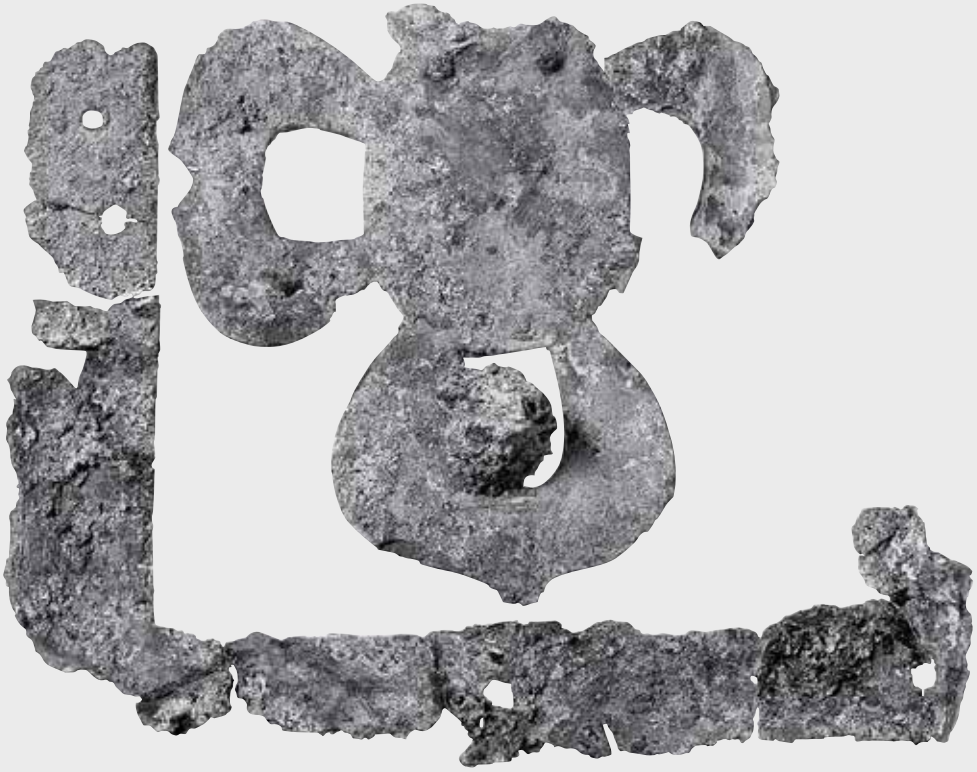
137

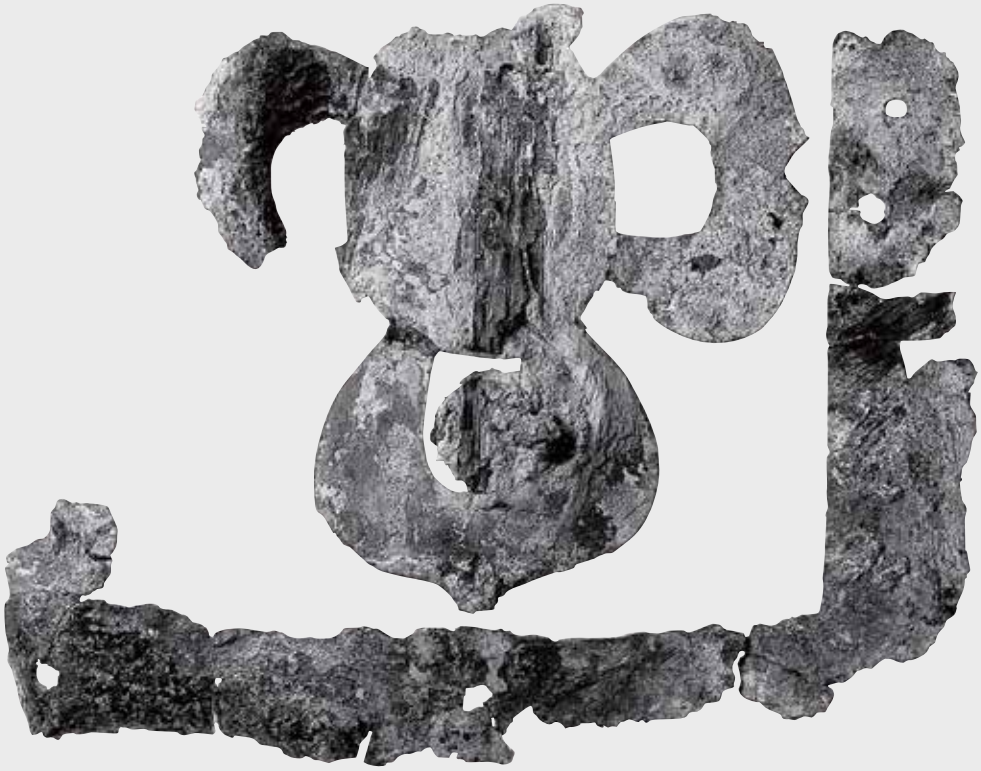
145



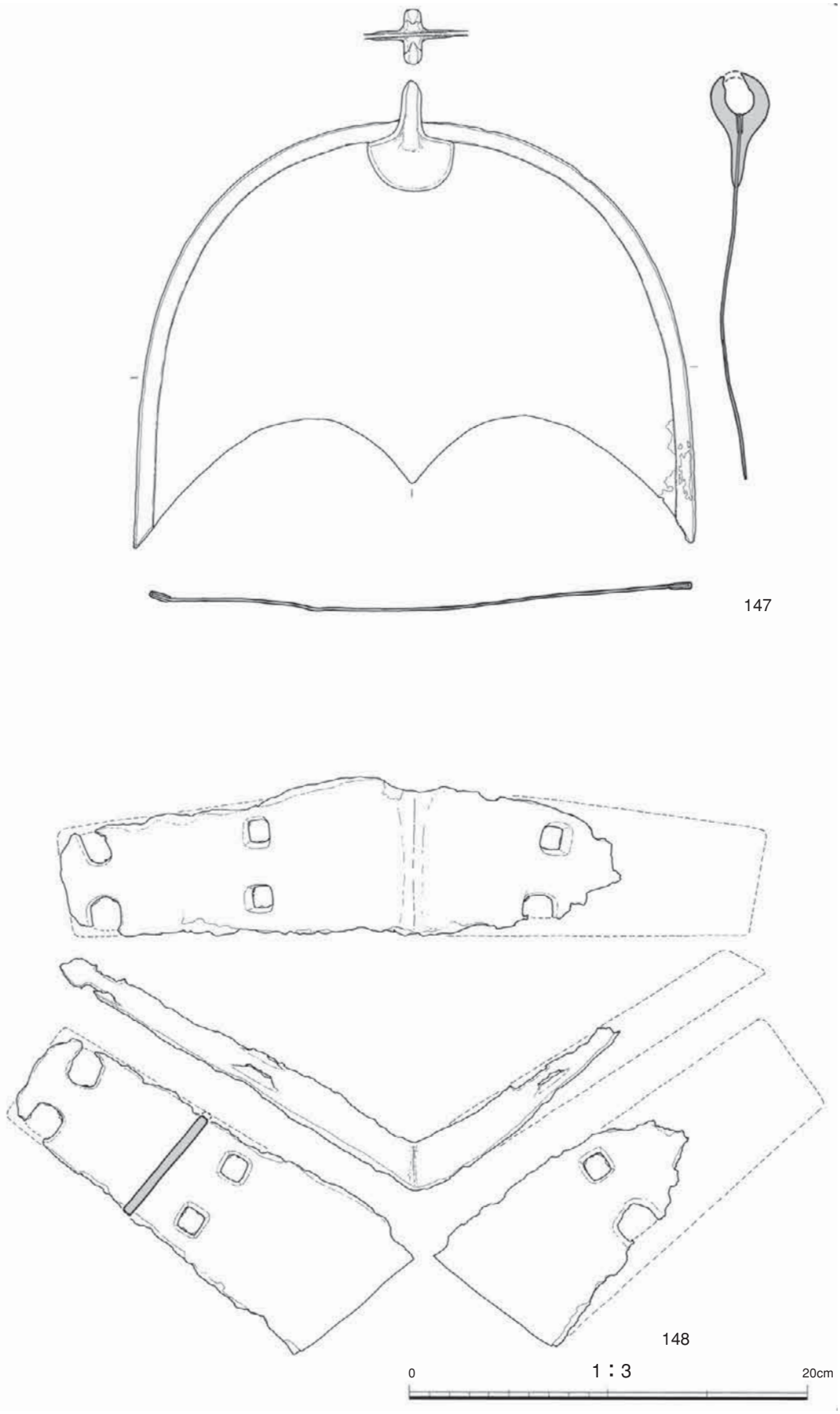
146

0 1：2 10cm





2：3

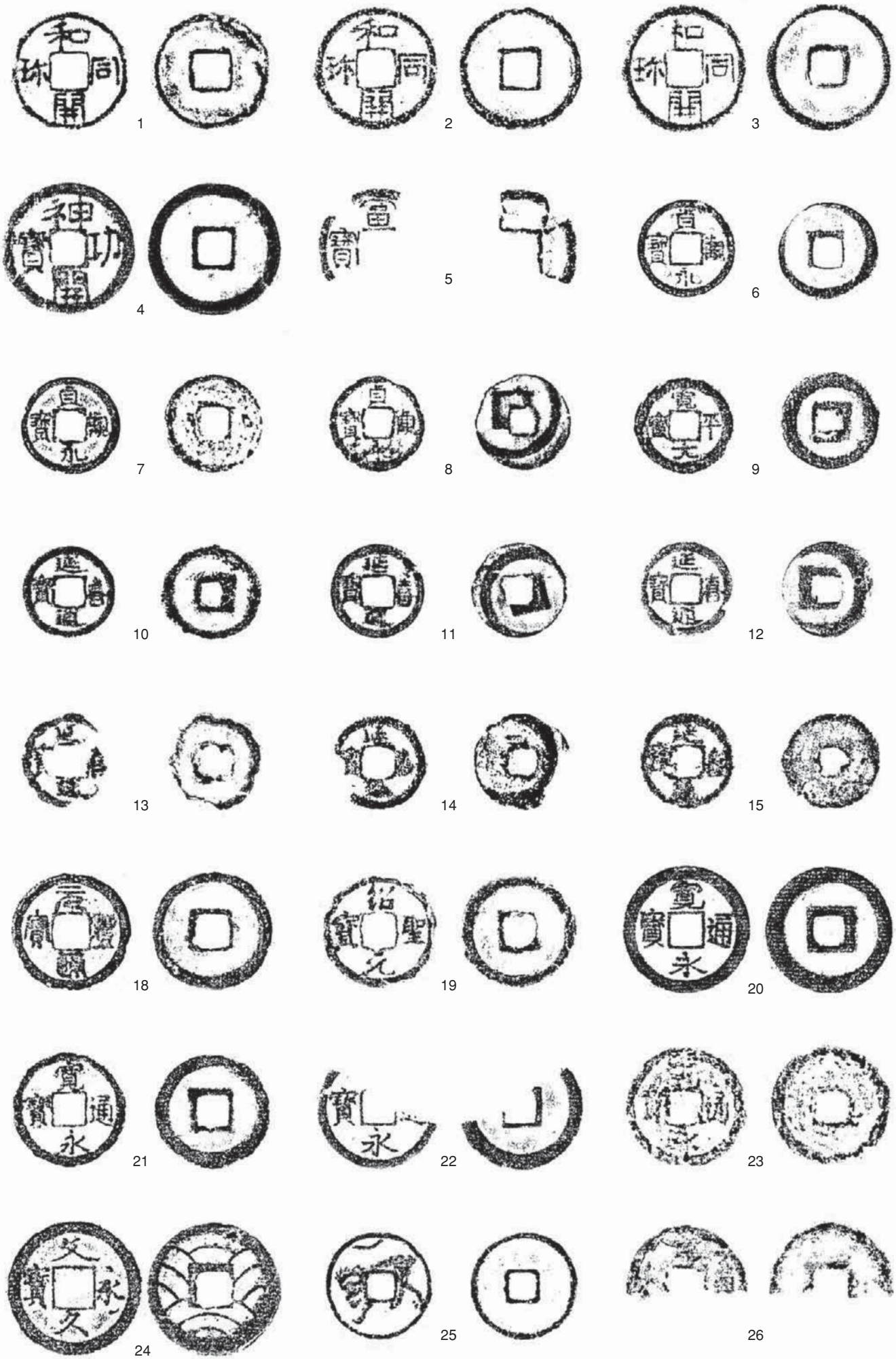


147　風招　　148　茅負留先金具

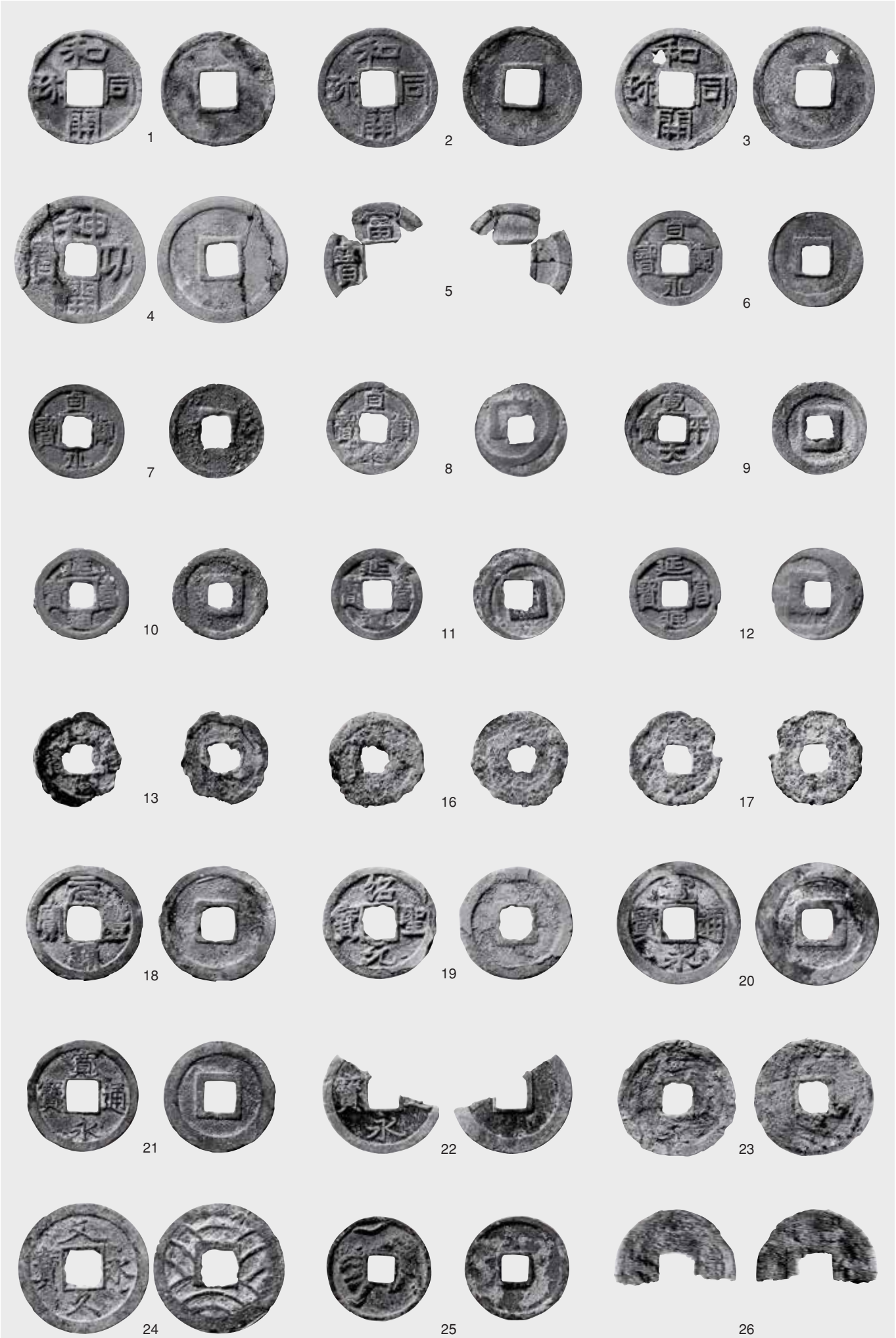
147

148

1：2



1：1

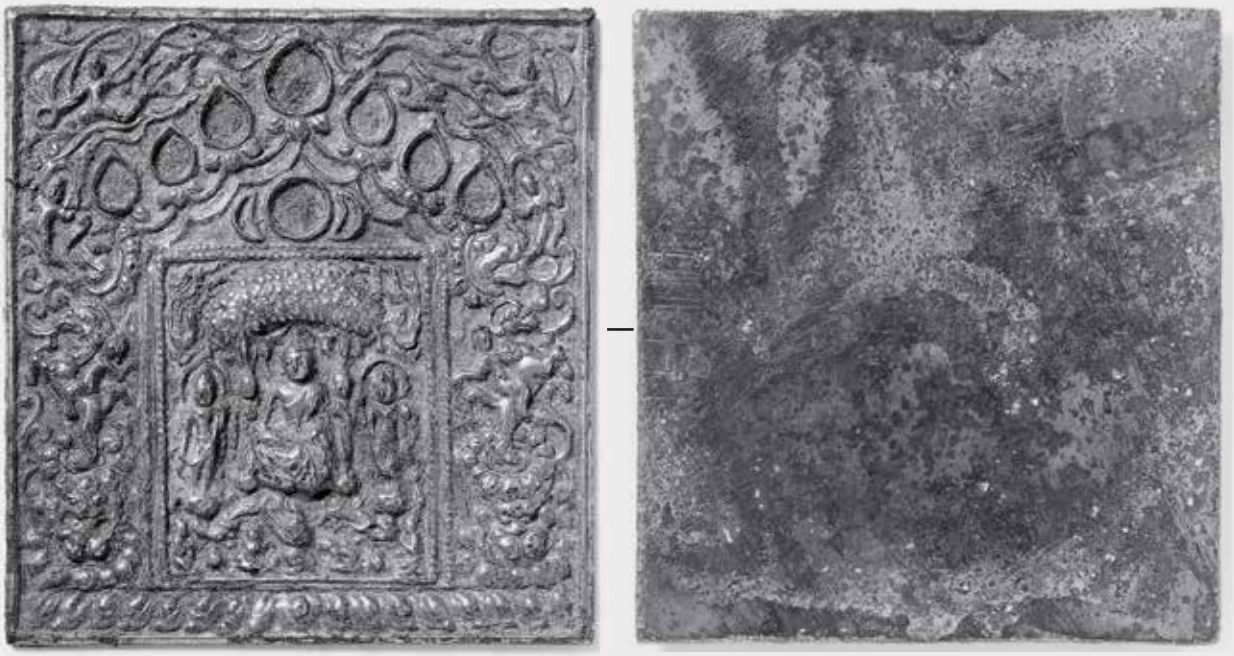


1：1

白鶴美術館蔵銅板五尊像

1

2

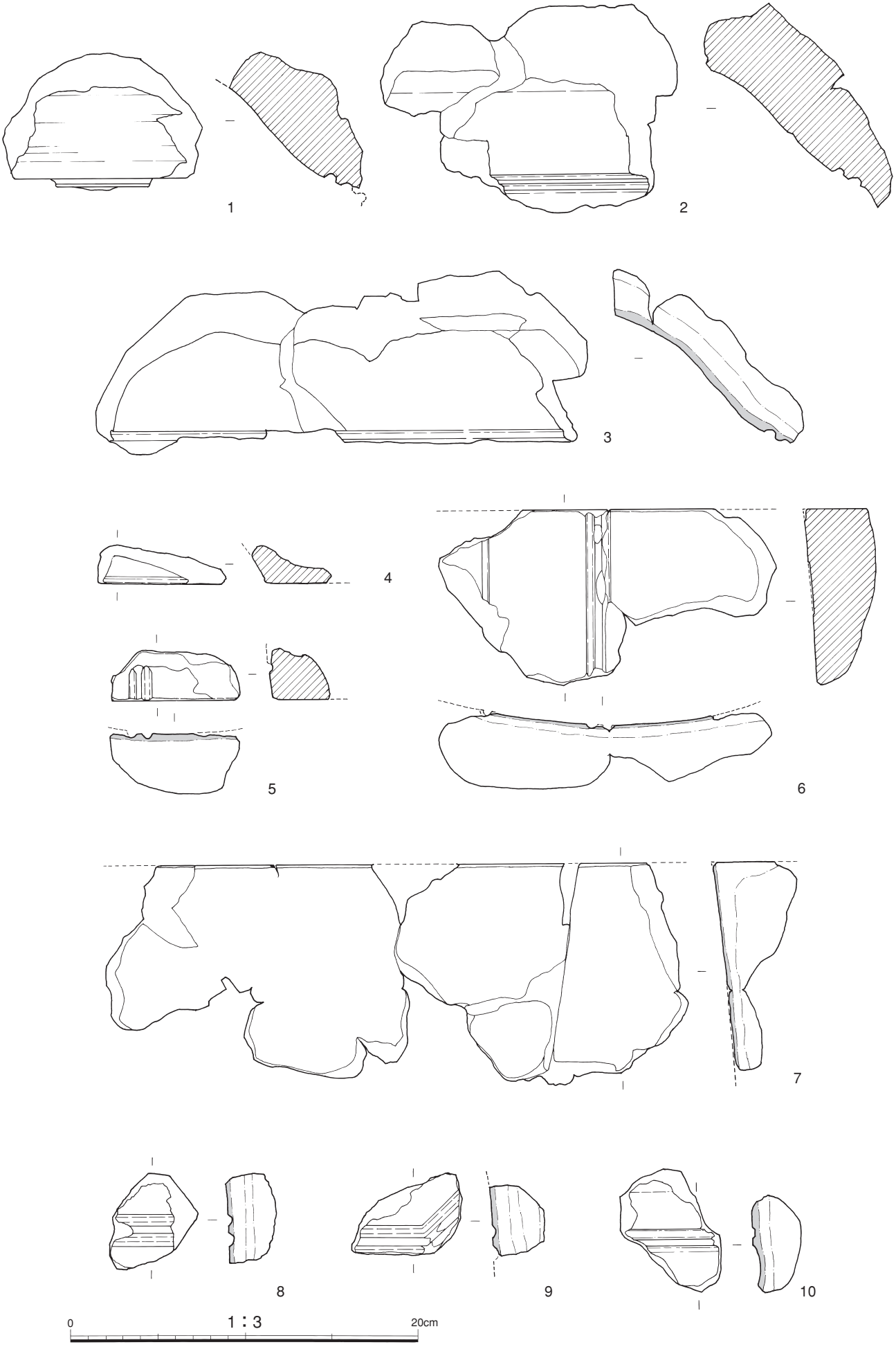


3

1：1

1・2　銅板五尊像　　3　押出仏A　　4・5　押出仏B　　6・7　押出仏C

1：1（1・5は2倍大）



1～3　笠形　　4～7　縦帯・池の間　　8～10　中帯

1

2

3

4

5

6

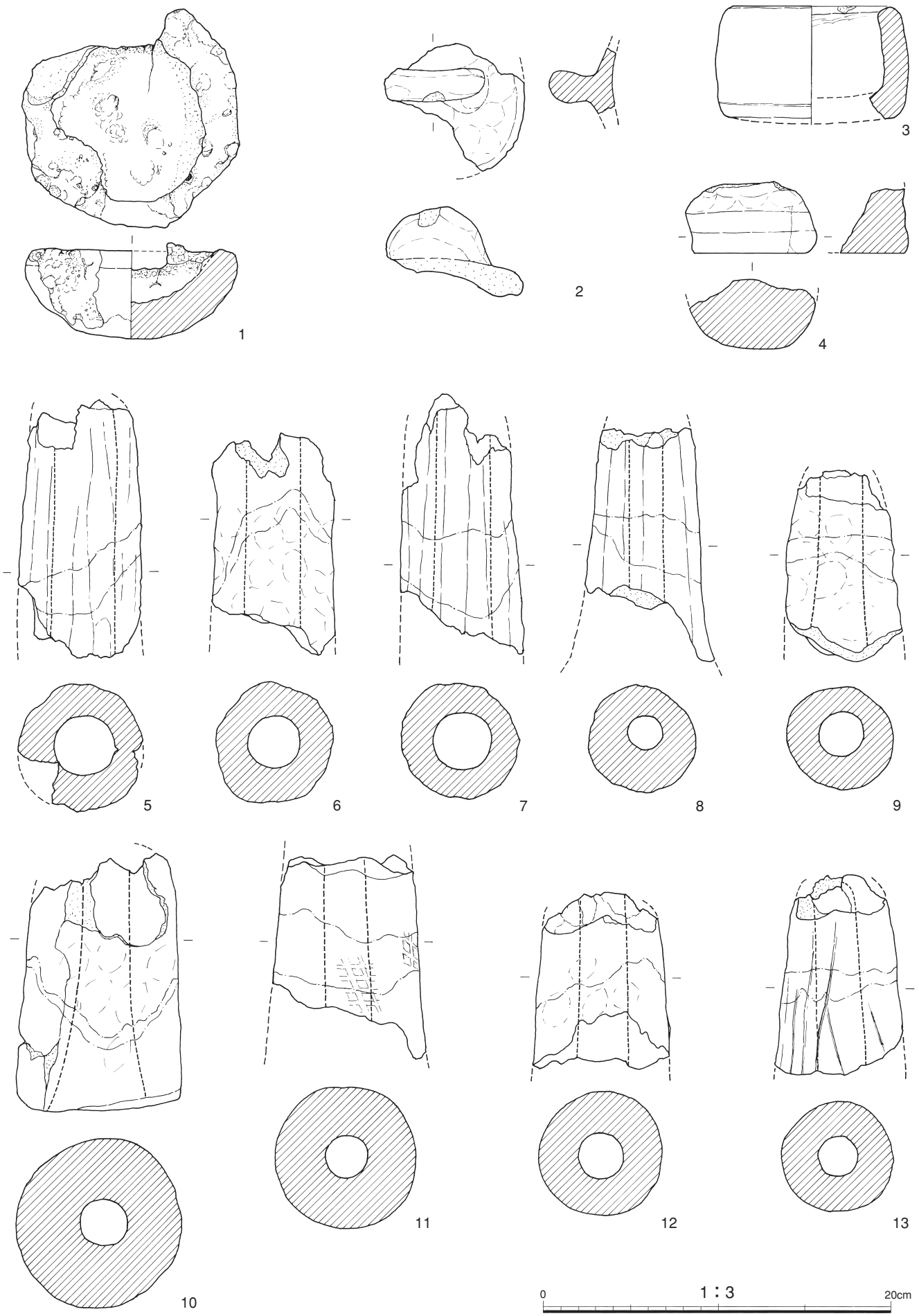
8

9

7

10

1：3



1・2　坩堝・坩堝蓋　　3・4　不明品　　5～13　鞴羽口

1

2

4

5

8

7

6

12

9

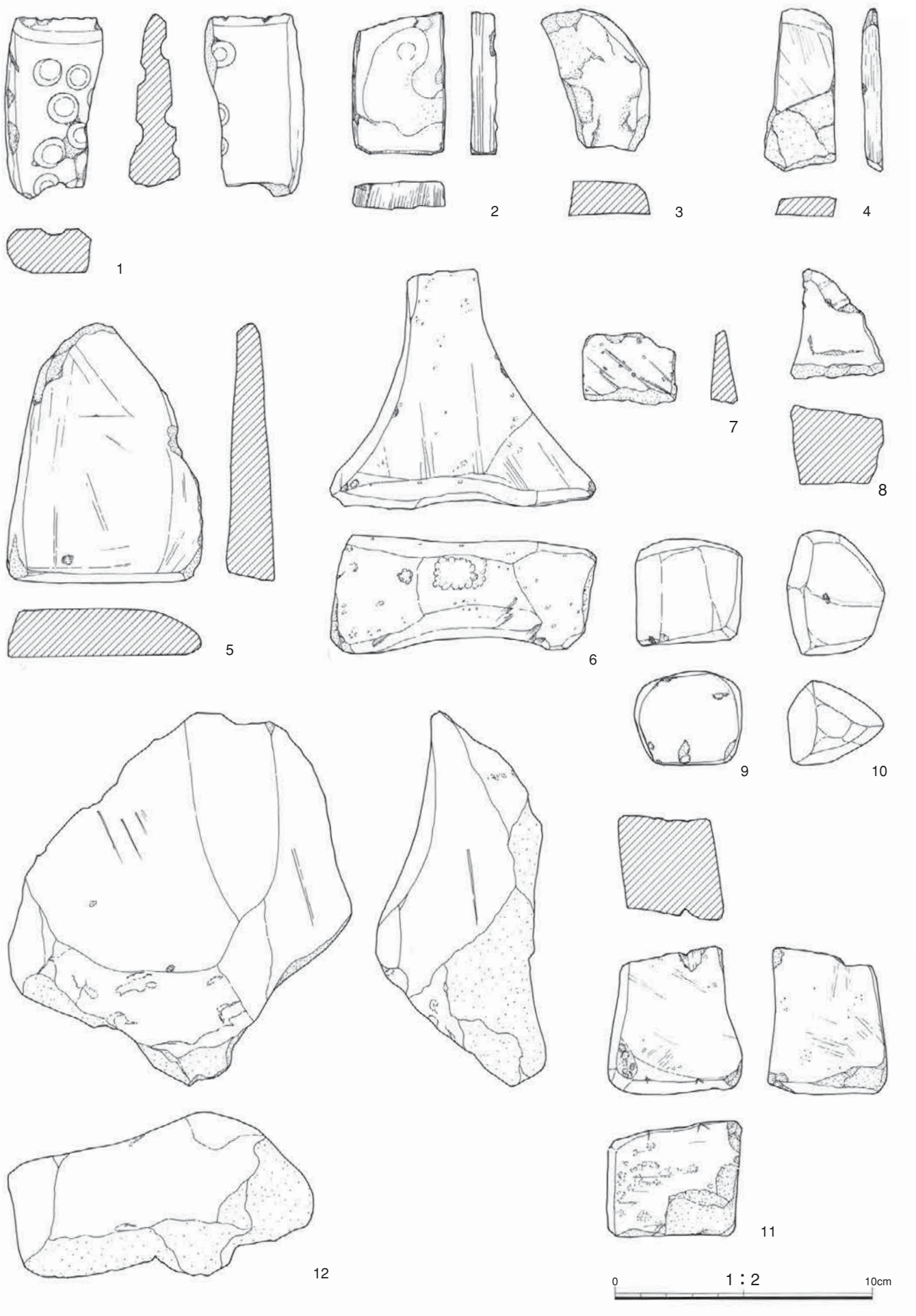
10

11

13

砥石各種（Ph. 245 - 1～12ほか）

1：3（砥石各種を除く）



1～12　砥石

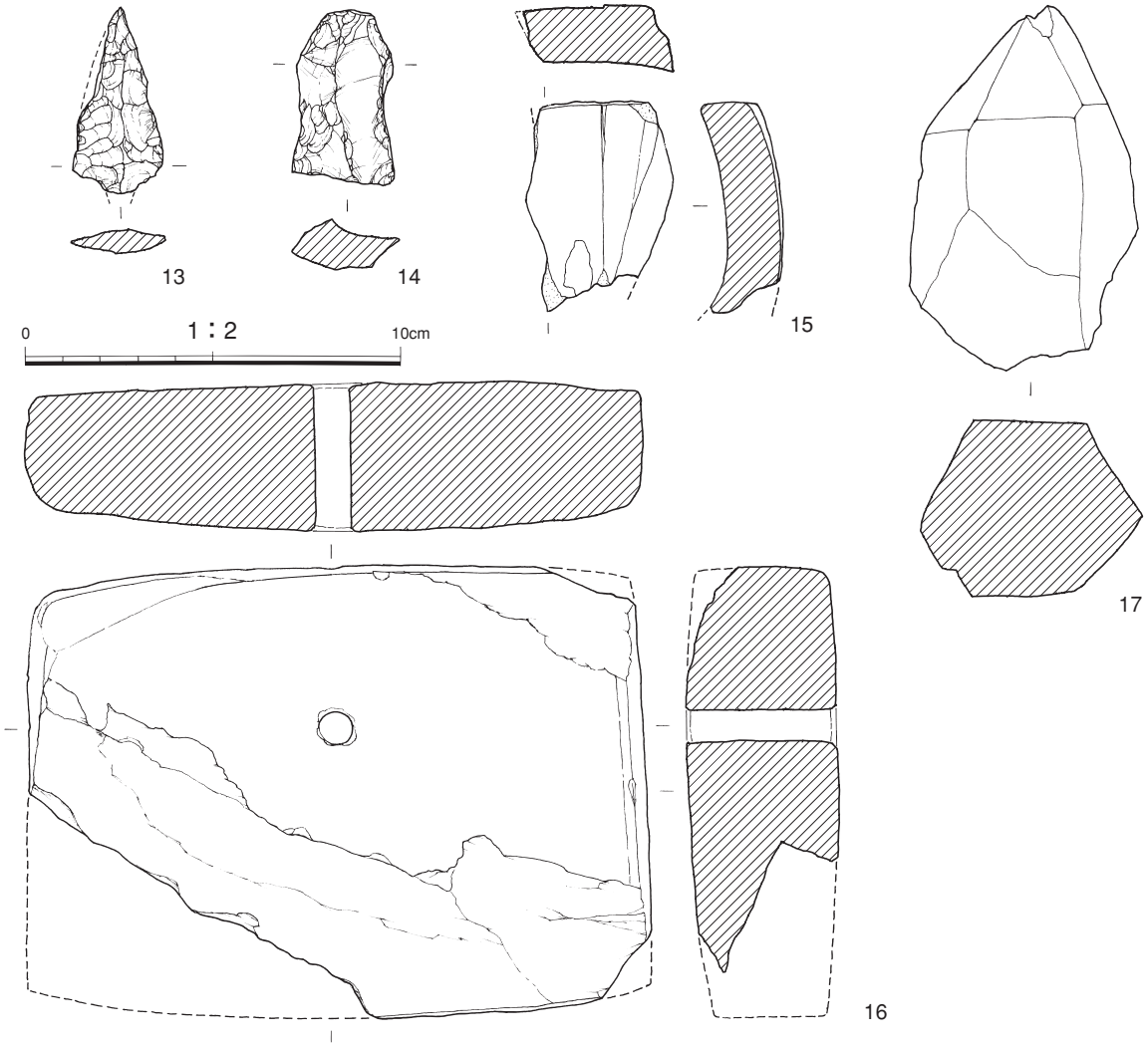
1

13

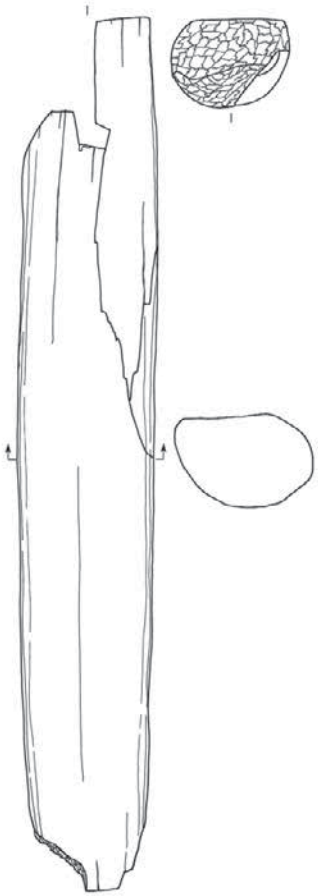
14

15

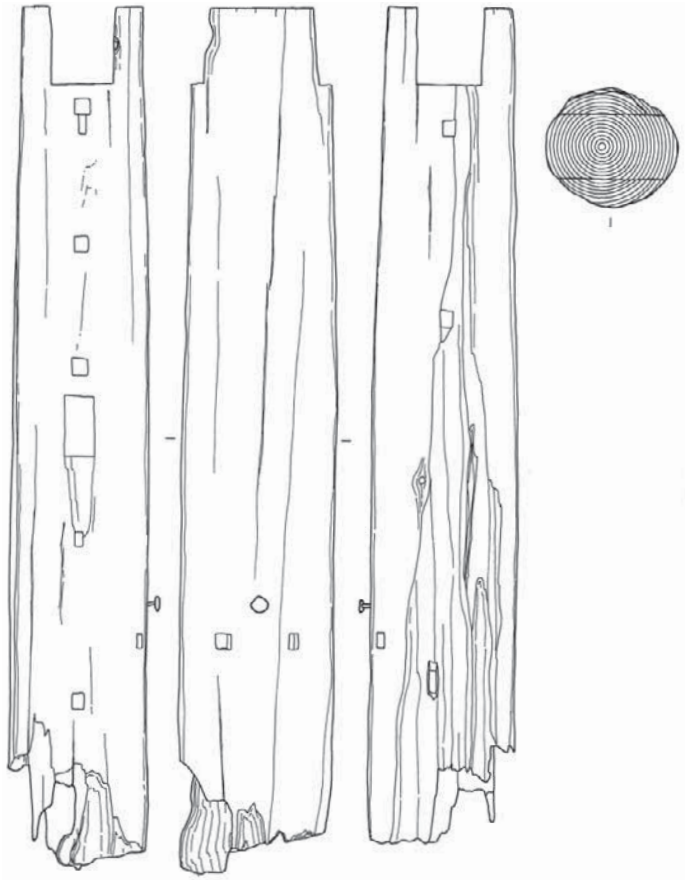
16



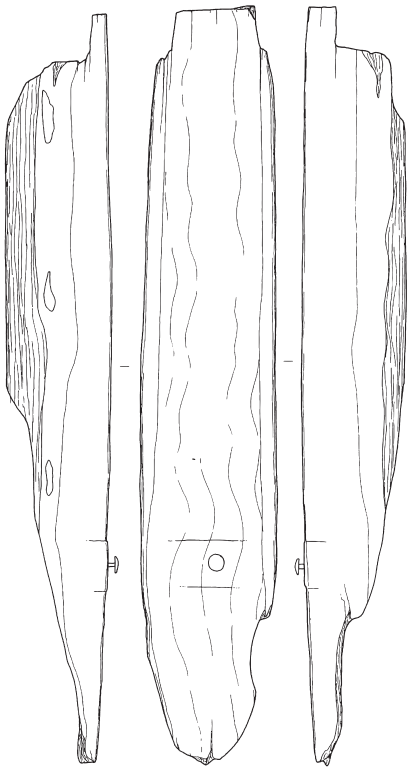
1　砥石　　13・14　石器　　15　石鍋転用品　　16　温石　　17　水晶



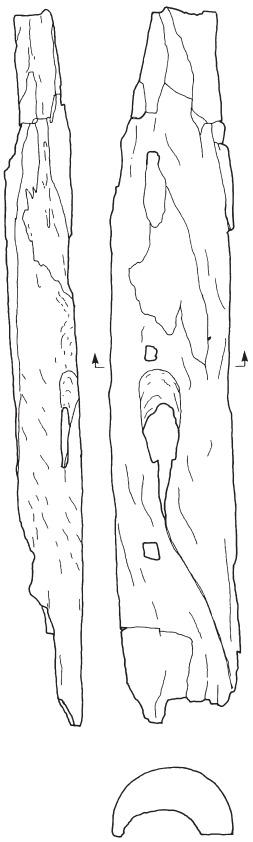
柱05



柱06



柱15



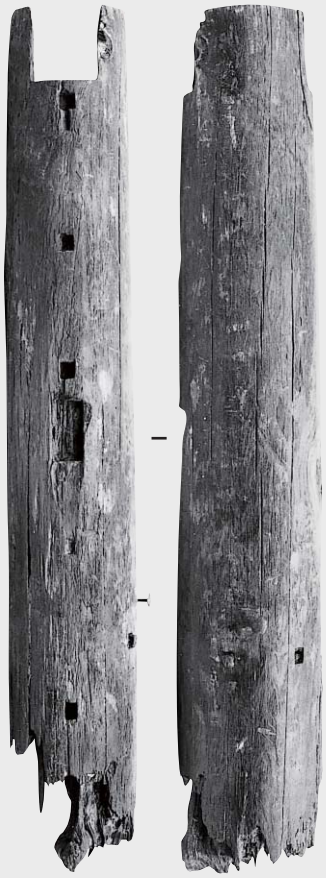
柱29

1：20

柱05

柱05（頭貫欠き込み）

柱05（長押当り痕跡）



柱06

柱15

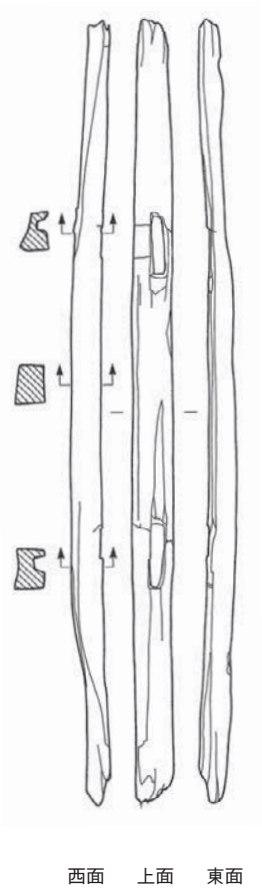
柱29

柱06（頭貫欠き込み）

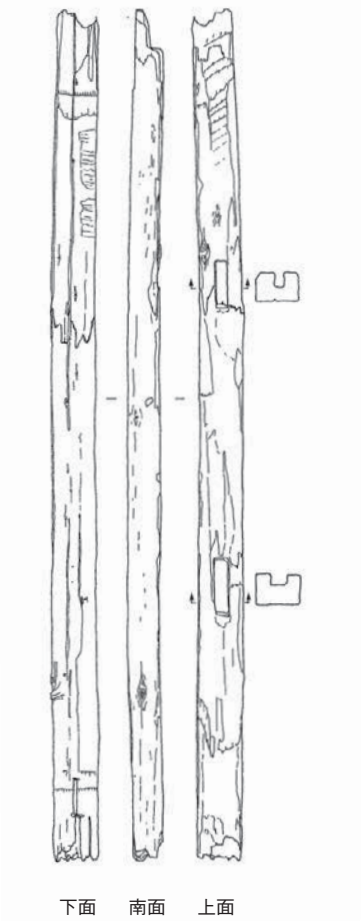
柱06（長押釘・太枘穴）

1：20（細部写真を除く）

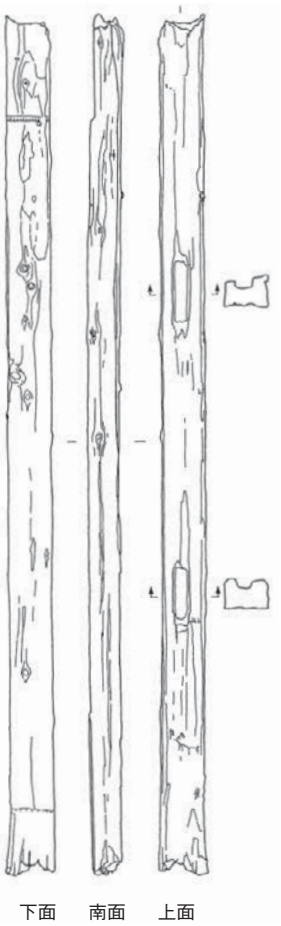
地覆01　地覆05



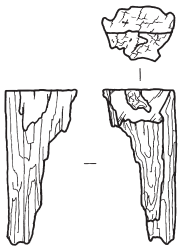
地覆09



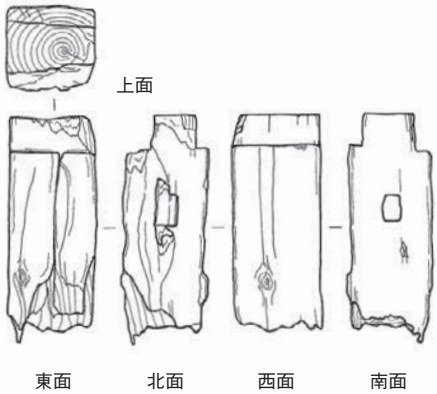
地覆13



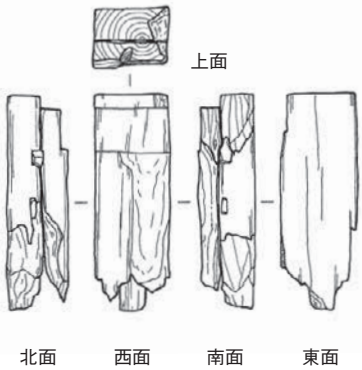
地覆14



腰壁束01

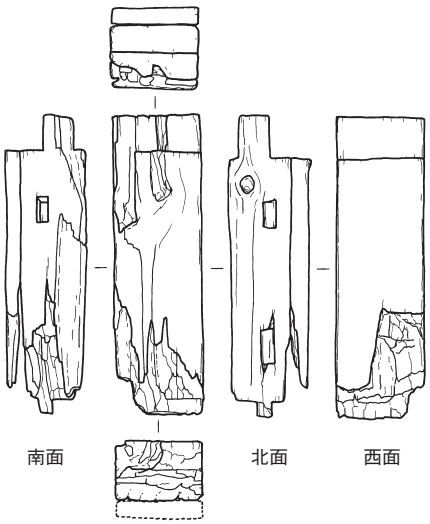


腰壁束05

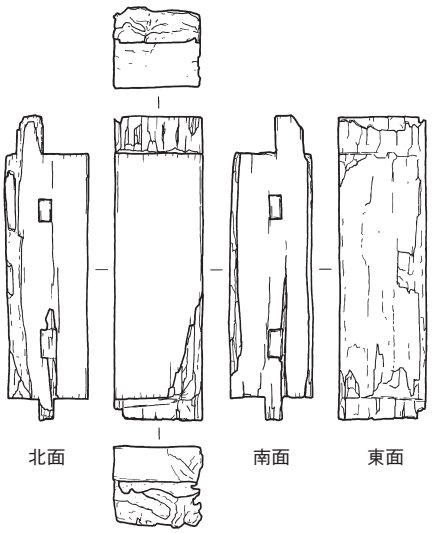


腰壁束11

腰壁束06



腰壁束12



腰壁束14

地覆　1：30　　腰壁束　1：15

上面
地覆01

上面
地覆05

上面
地覆09

腰壁束01

腰壁束05

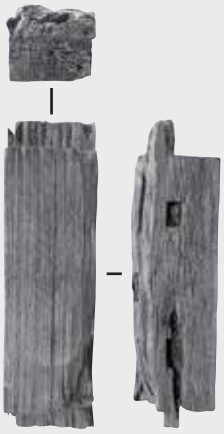
腰壁束06

腰壁束11

下面　上面
地覆13

下面　上面　北面
地覆14

北面　西面
腰壁束12

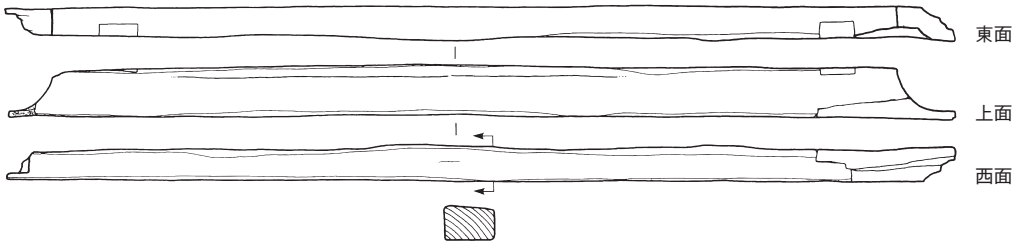


西面　北面
腰壁束14

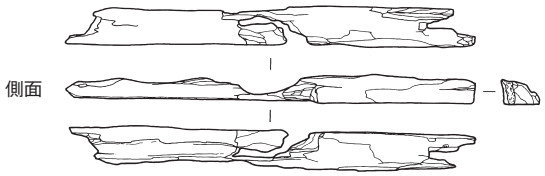
地覆14（端部）

地覆14（下面礎石当り痕跡）

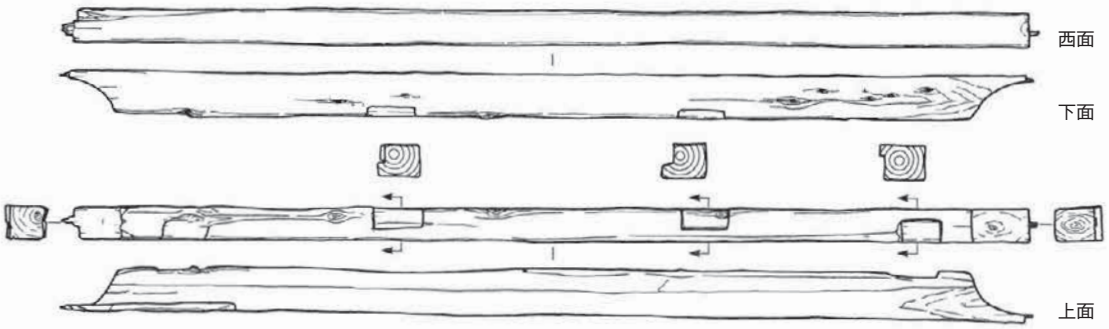
地覆　1：30　　腰壁束　1：15（細部写真を除く）



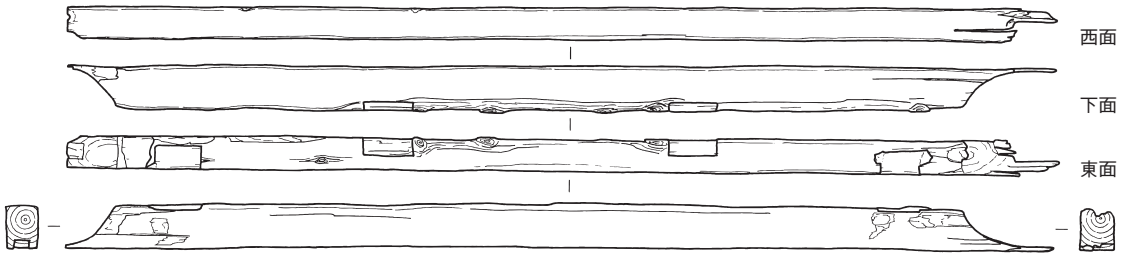
長押01



長押04

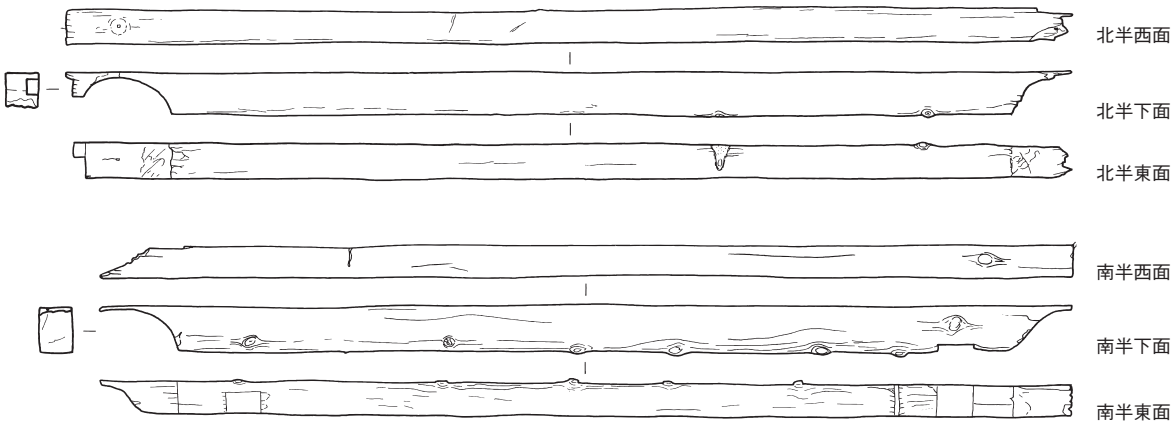


長押05



長押06

○ 長押釘

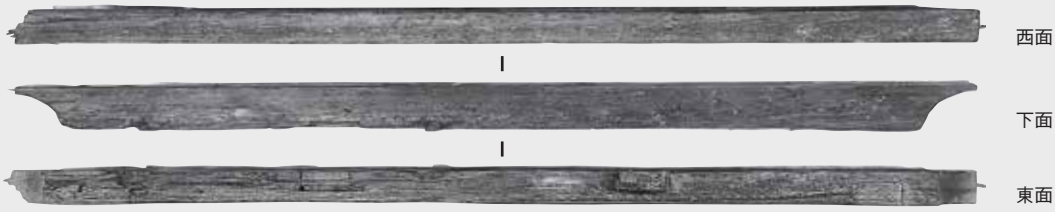


長押07

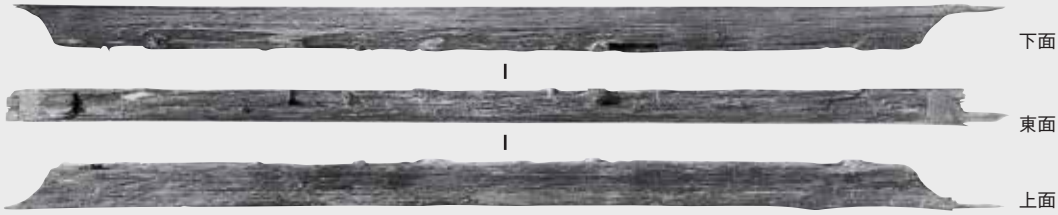
1：30

長押01

長押04



長押05



長押06

長押07

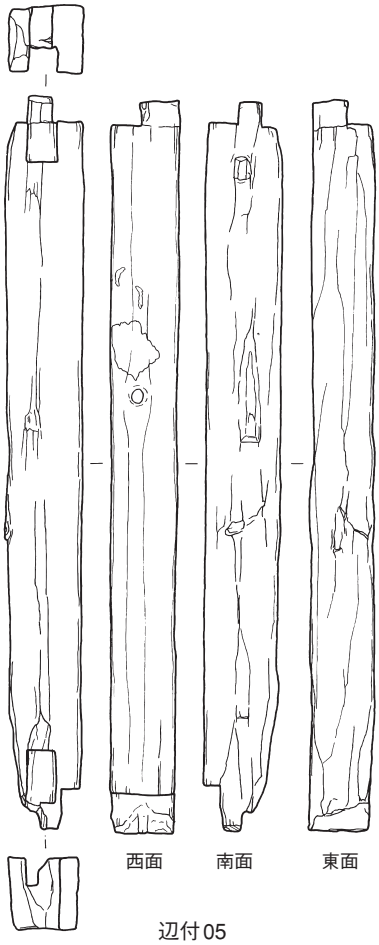
長押06（継手）

長押06（継手）

長押07（長押釘）

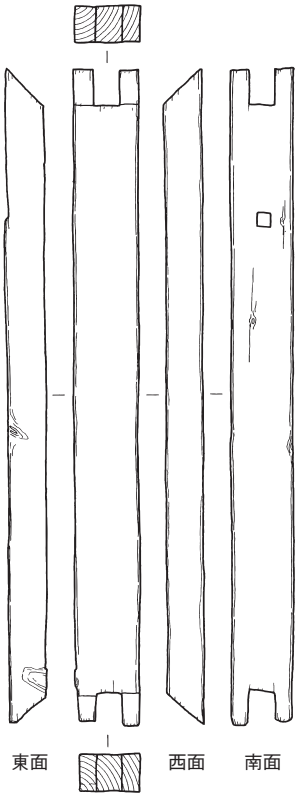
1：30（細部写真を除く）

辺付04

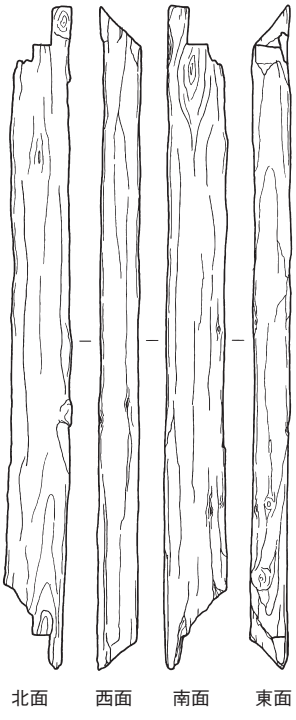


辺付05

竪窓枠04



竪窓枠03



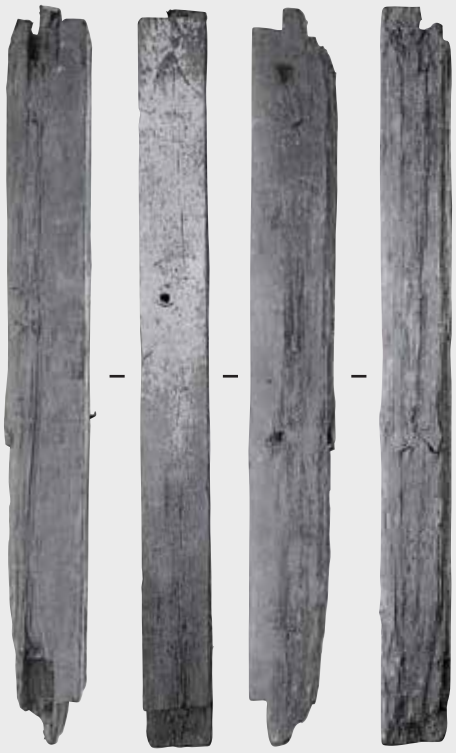
竪窓枠07

竪窓枠05

1：15

南面　東面

辺付04



北面　西面　南面　東面

辺付05

西面

竪窓枠04

竪窓枠03（仕口）

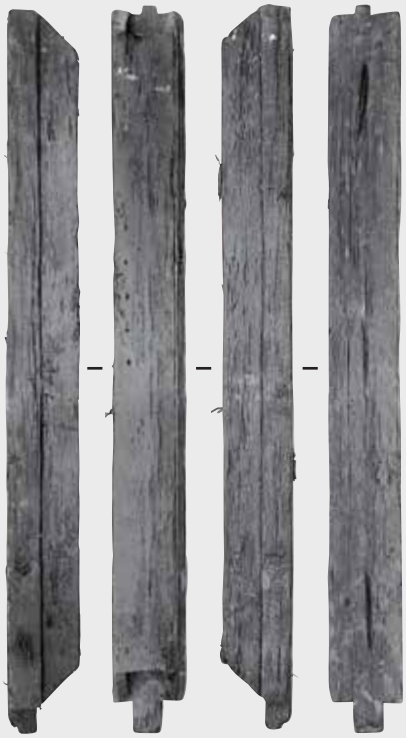
竪窓枠04（仕口）

北面　西面

竪窓枠03

北面　西面　南面　東面

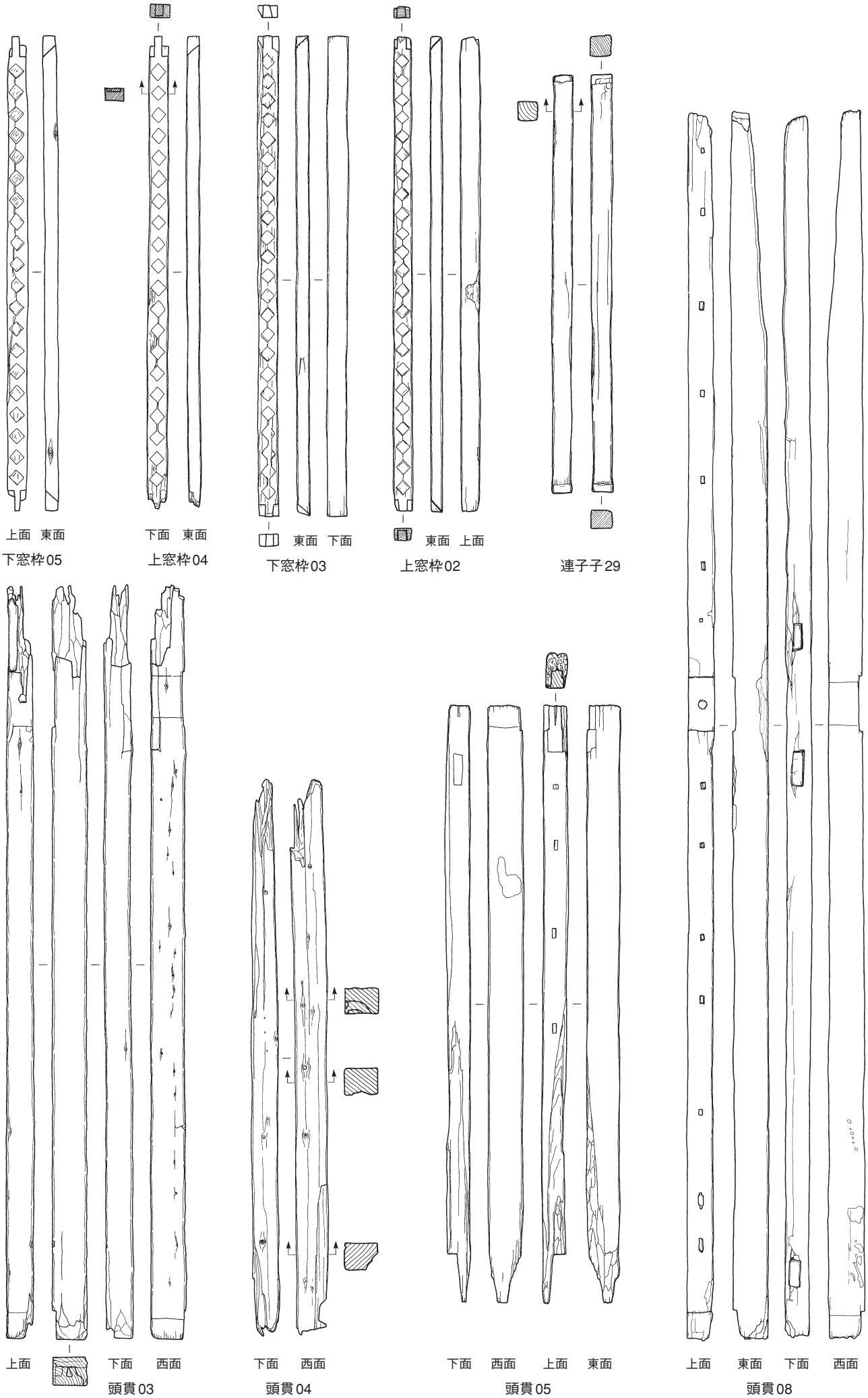
竪窓枠07



西面　南面　東面　北面

竪窓枠05

1：15（細部写真を除く）



上下窓枠・頭貫　1：30　　連子子　1：15

上面　東面
下窓枠05

下面　西面
上窓枠04

上面　東面
下窓枠03

上面
上窓枠02

連子子29

上面　下面　西面
頭貫08

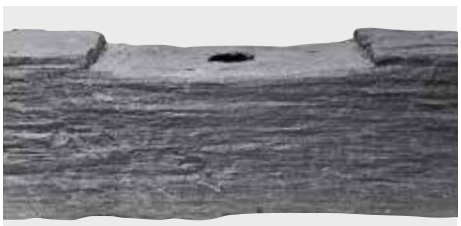
頭貫05（継手男木）

下窓枠03（枘）

頭貫05（継手）

頭貫08（継手）

頭貫05（男木を組む）



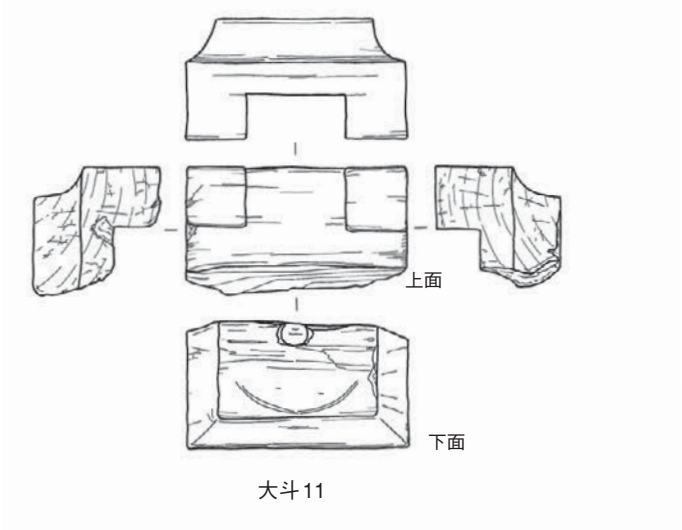
頭貫08（大斗欠き込み）

頭貫08（太枘穴・間渡し穴）

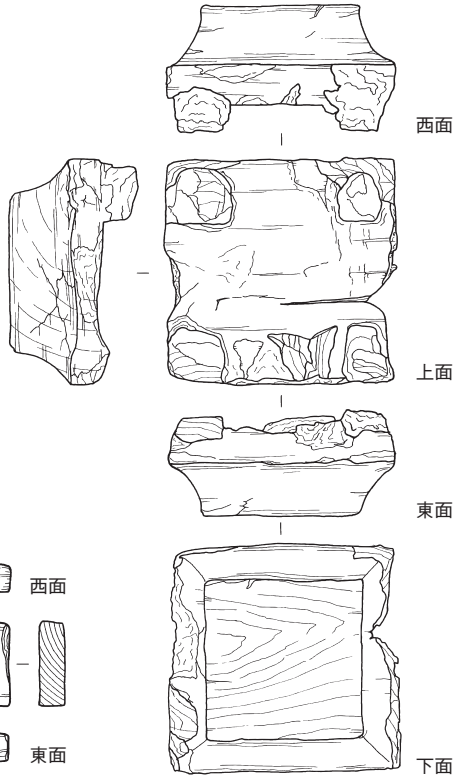
頭貫08（枘穴）

下面　上面　東面
頭貫05

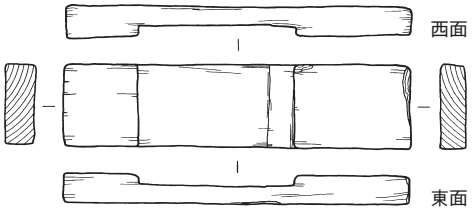
上下窓枠・頭貫　1：30　　連子子　1：15（細部写真を除く）



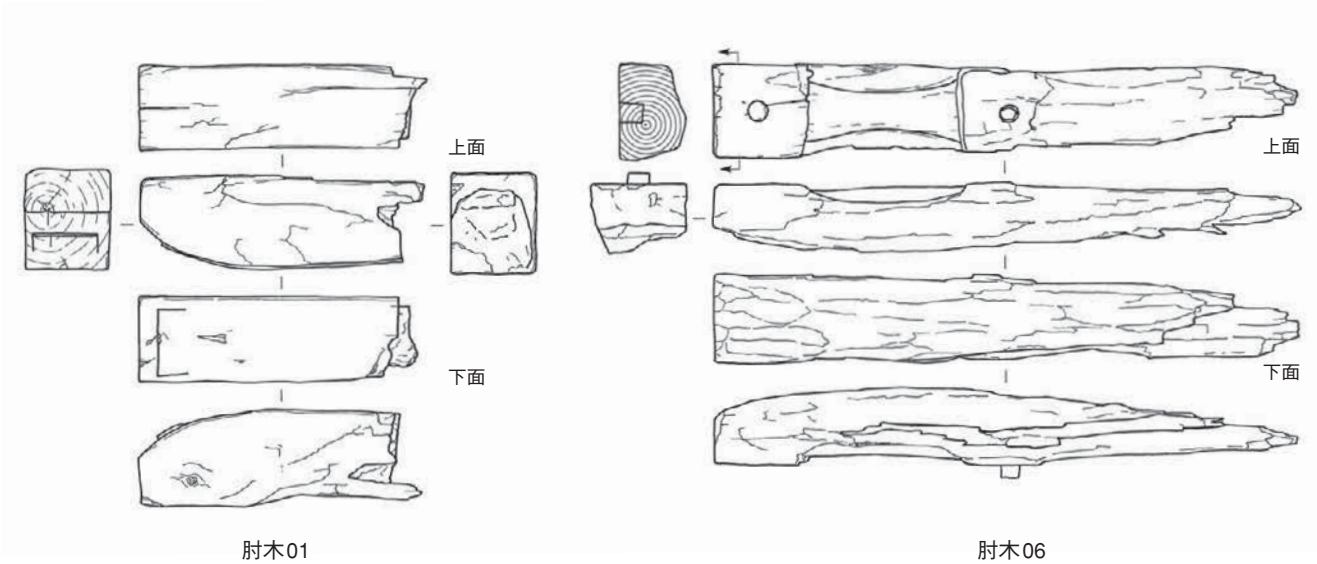
大斗11



大斗07

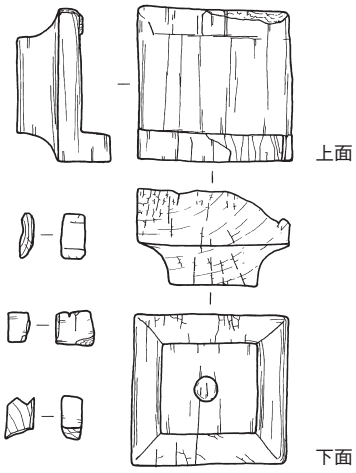


大斗08

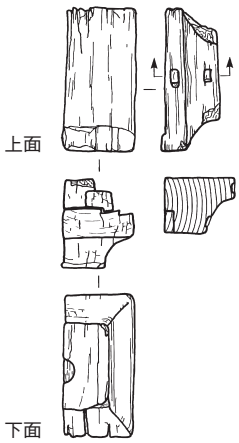


肘木01

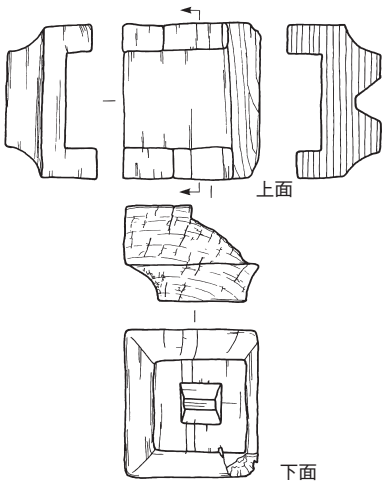
肘木06



卷斗07



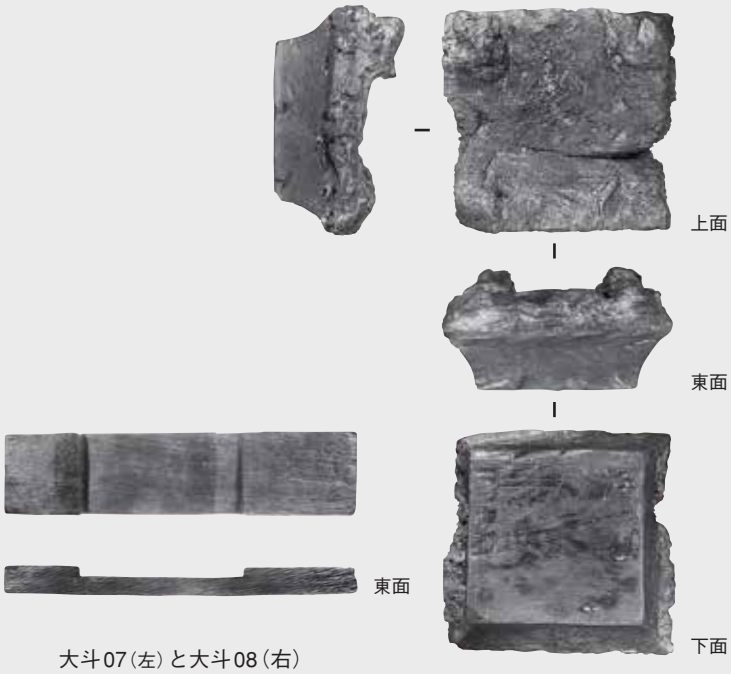
卷斗14



卷斗26

1：15

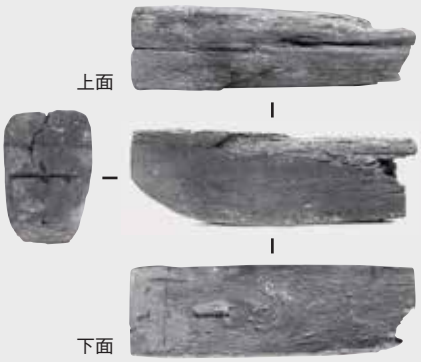
大斗11



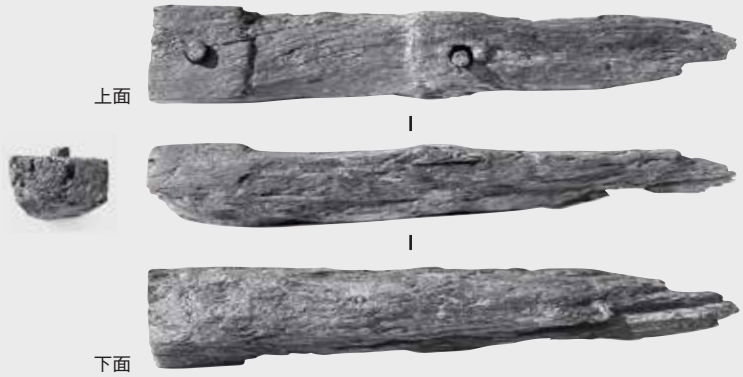
大斗07（左）と大斗08（右）

肘木01（木口）

大斗07と大斗08を組む

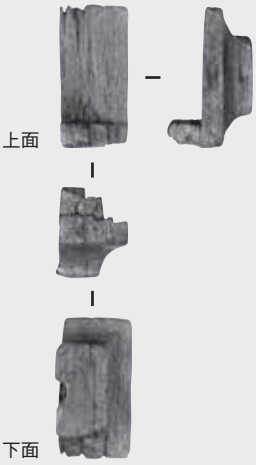


肘木01



肘木06

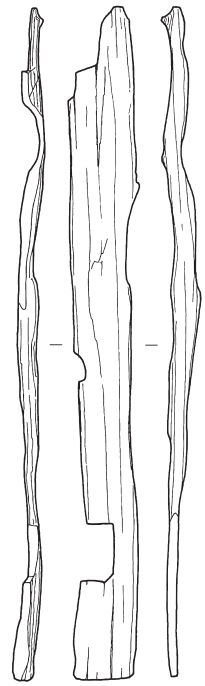
巻斗07



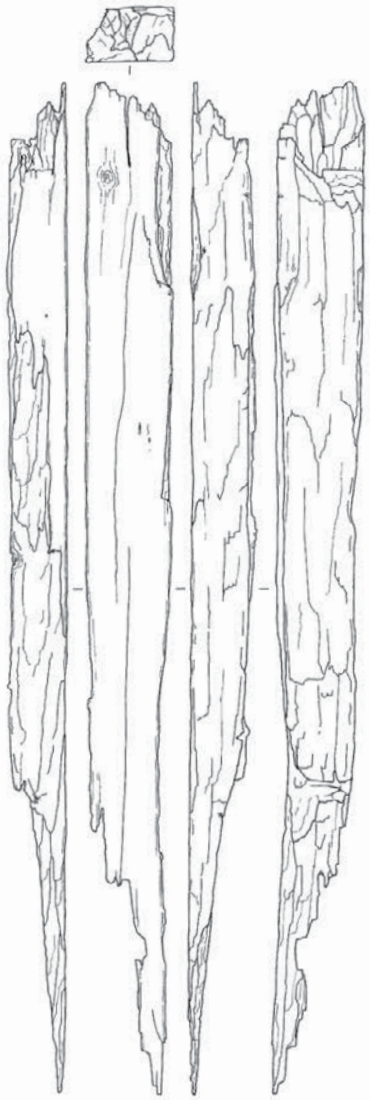
巻斗14

巻斗26

1：15（細部写真を除く）



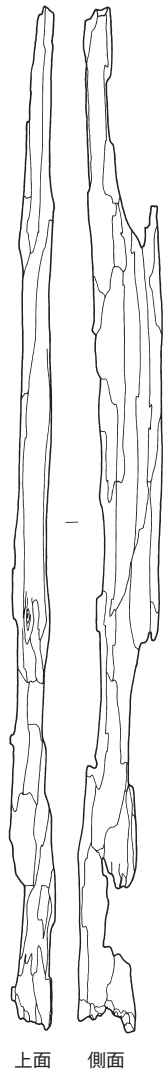
虹梁01



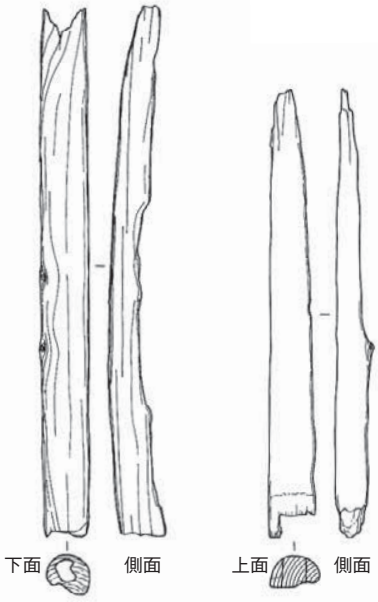
桁03

垂木03

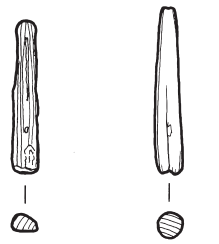
垂木41



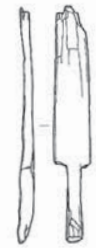
虹梁02



垂木38　垂木27

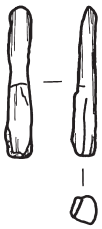


垂木栓01　垂木栓06



垂木37

垂木栓17



垂木栓23

垂木栓24

虹梁　1：30　　桁・垂木　1：20　　垂木栓　1：10

側面
虹梁02

東面
桁03

虹梁02（仕口・側面）

虹梁02（仕口・上面）

桁03（鎌継ぎ）

垂木41（野地板釘）

垂木03

下面　側面
垂木41

北面
虹梁01

上面　側面
垂木27

下面　側面
垂木38

側面　上面
垂木37

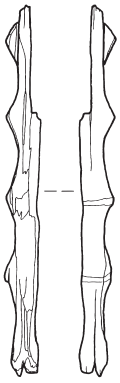
垂木栓01

垂木栓06

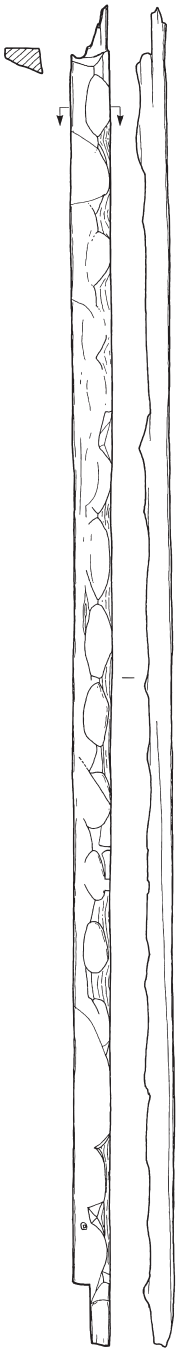
垂木栓17

垂木栓23

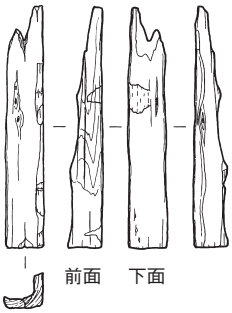
虹梁　1：30　　桁・垂木　1：20　　垂木栓　1：10（細部写真を除く）



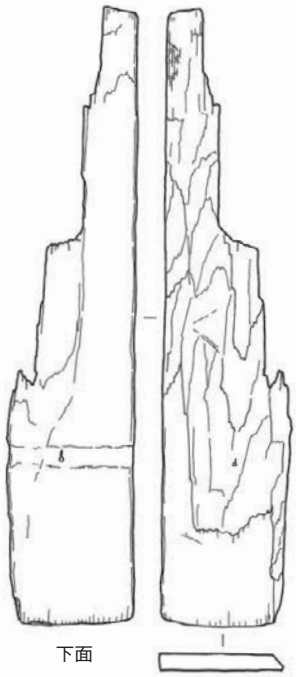
茅負01



茅負06



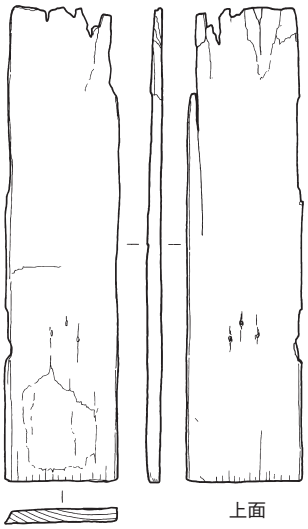
茅負04



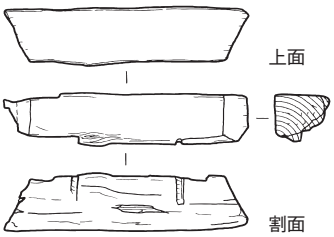
野地03

茅負03

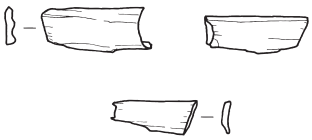
茅負14



野地05



藁座01



藁座02

野地11

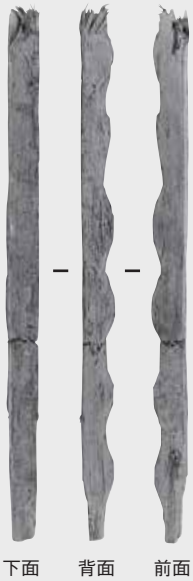
茅負　1：30　　野地・藁座　1：15

茅負 01

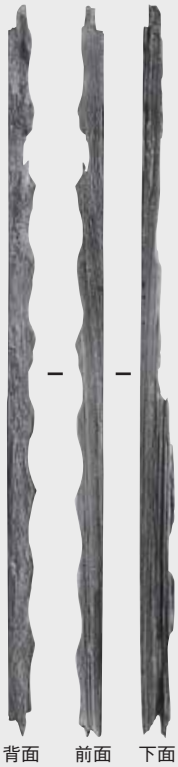
茅負 04

茅負 06

野地 05



茅負 14



茅負 03

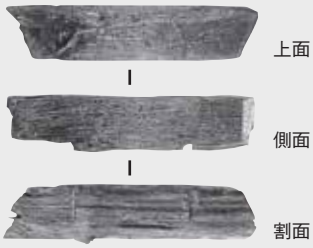
野地 03

野地 11

茅負 03（前面）

茅負 03（継手）

茅負 06（軒平瓦をのせる）



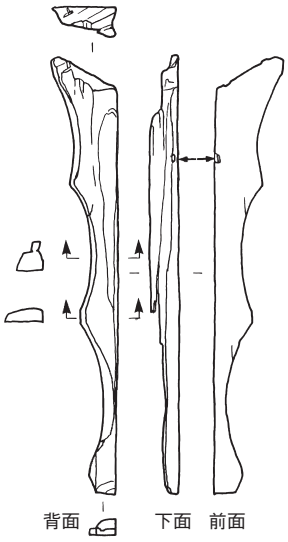
藁座 01

茅負 14（釘穴）

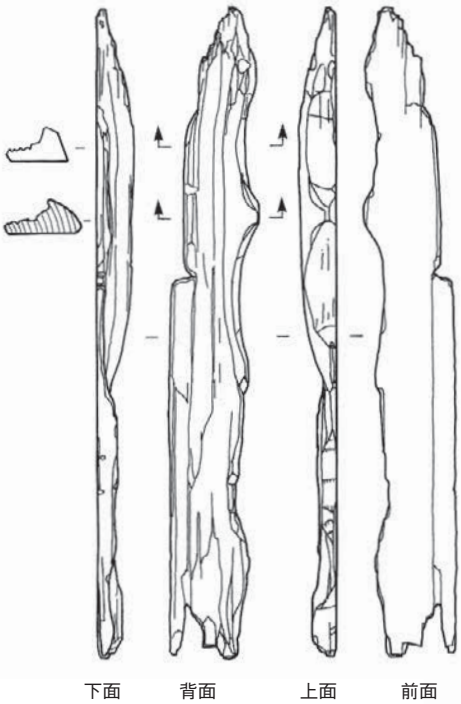
茅負 14（継手）

藁座 02

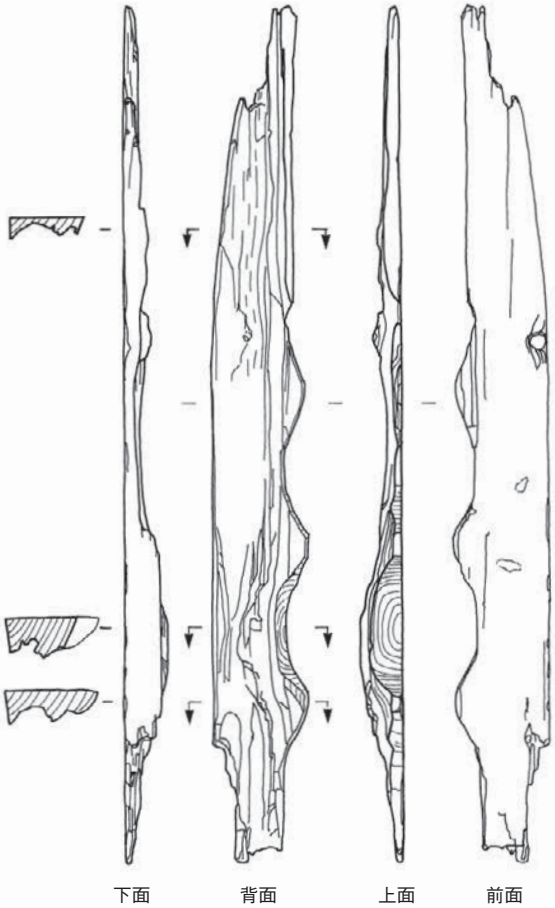
茅負　1：30　　野地・藁座　1：15（細部写真を除く）



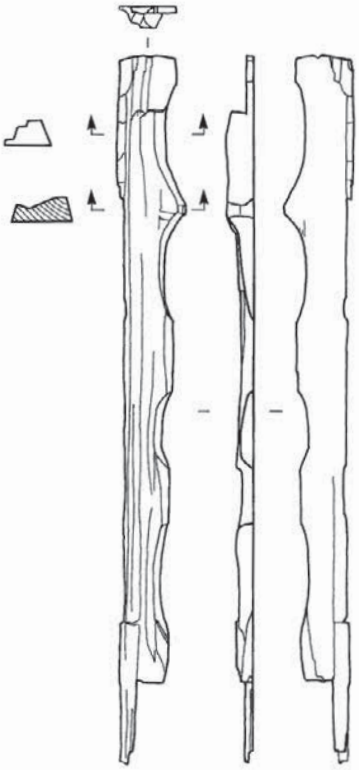
茅負07



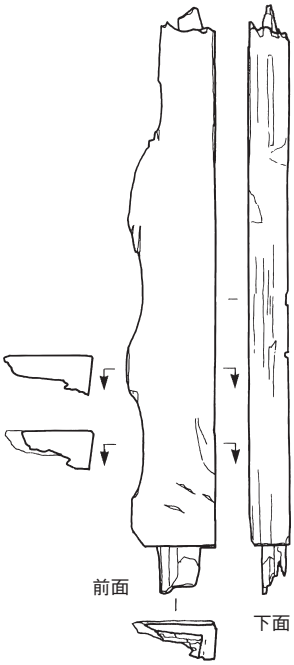
茅負10



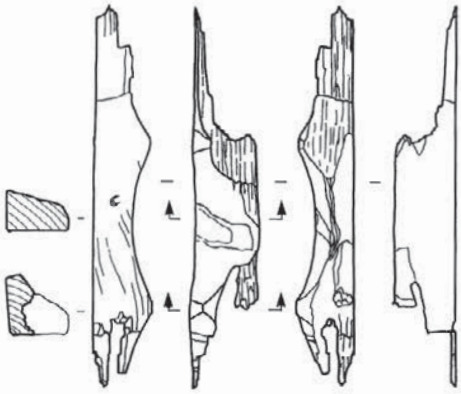
茅負08



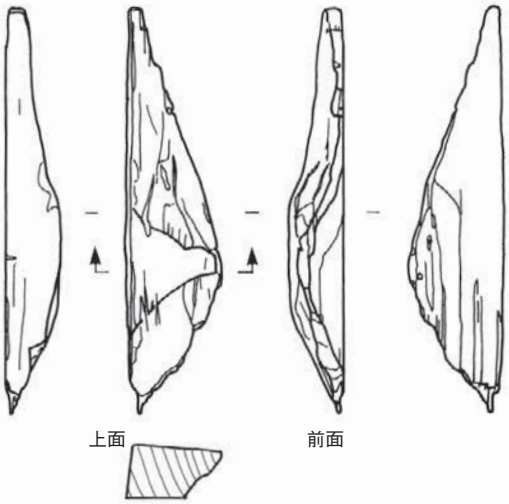
茅負12



茅負11



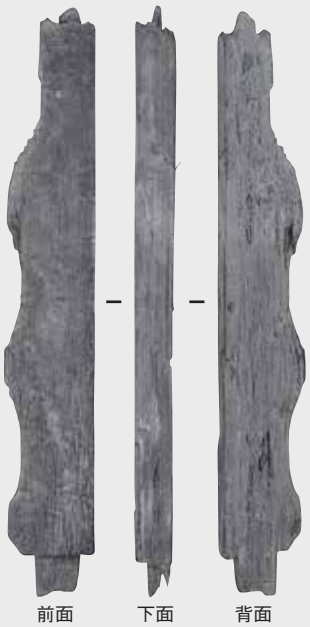
茅負13



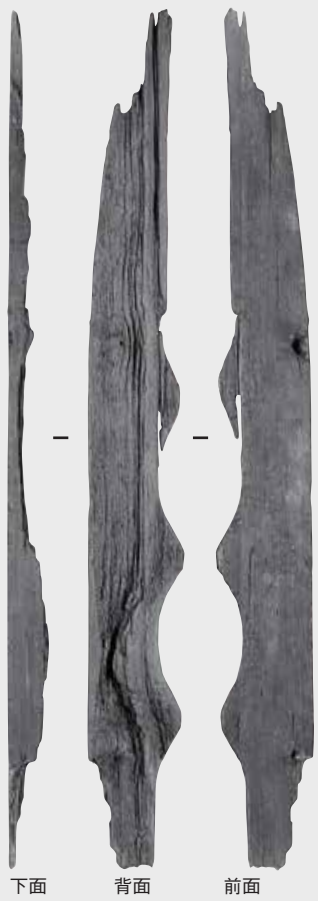
茅負09

1：15

茅負07



茅負11



茅負08

茅負12

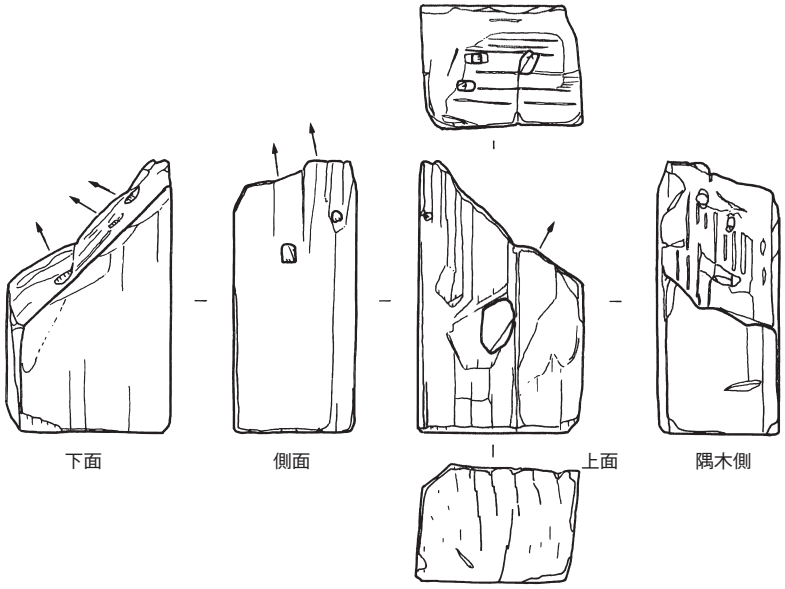
茅負10

茅負11（継手）

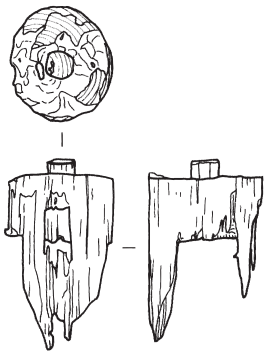
茅負07（隅留）

茅負12（継手）

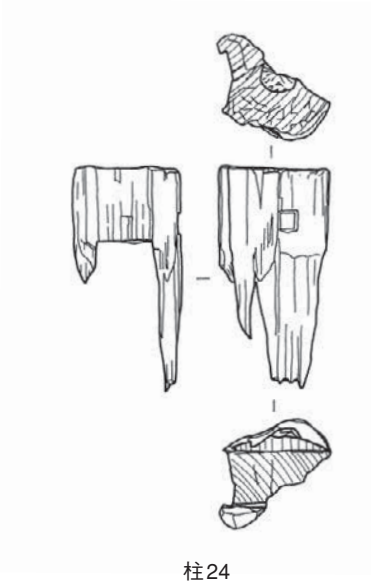
1：15（細部写真を除く）



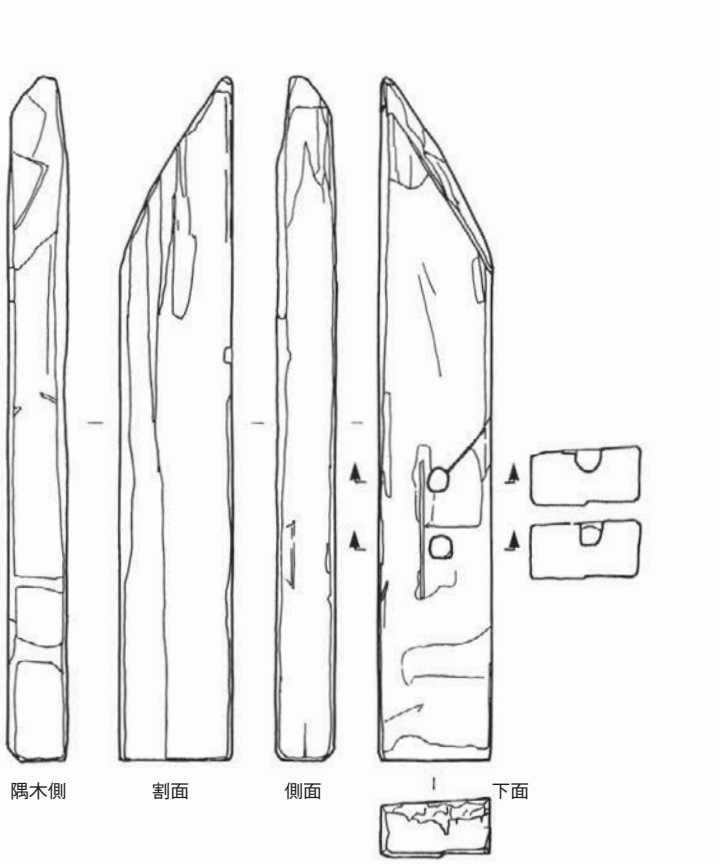
垂木39



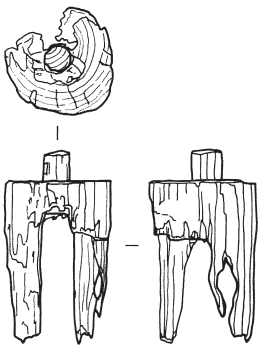
柱23



柱24



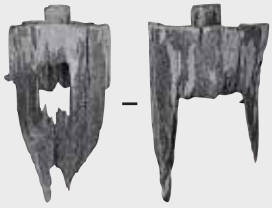
垂木40



柱25

垂木　1：5　　転用柱　1：15

垂木39


柱23

柱23（上面の枘）

柱24

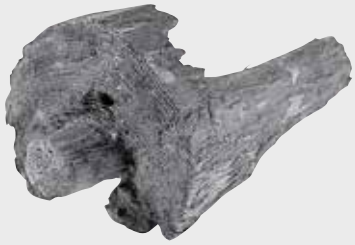
垂木39（釘穴）

垂木40（隅木側端部）

柱24（枘切断痕）

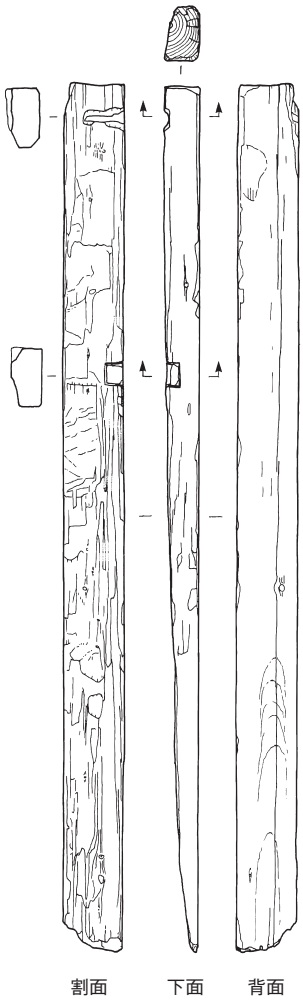
垂木40

柱25

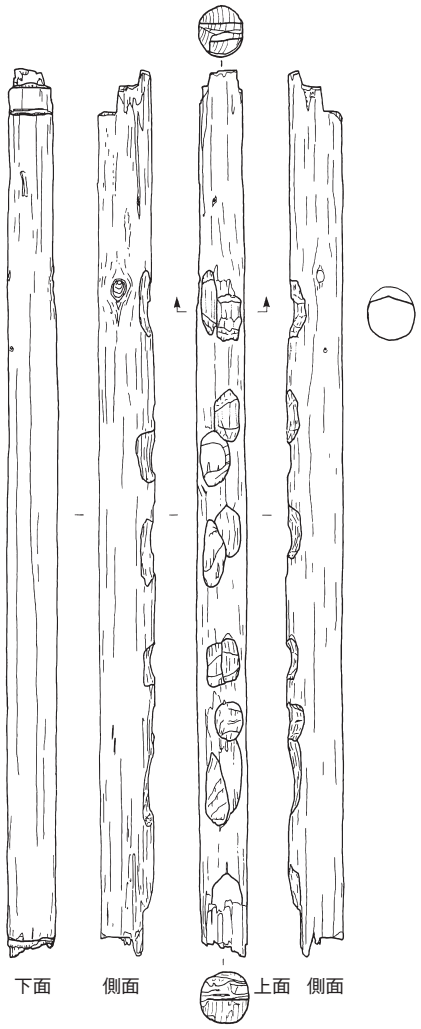

柱25（上面の枘）

垂木　1：5　　転用柱　1：15（細部写真を除く）

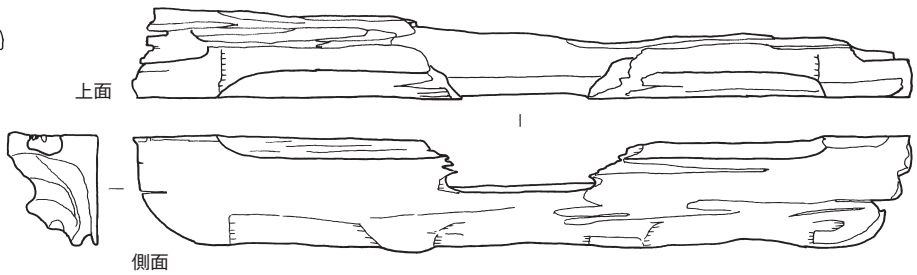
桁05



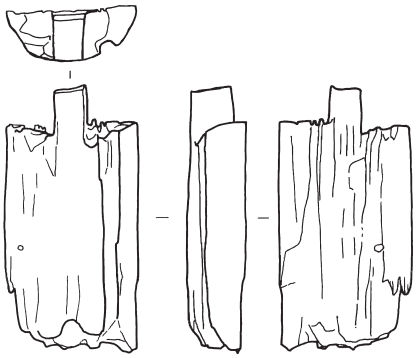
桁06



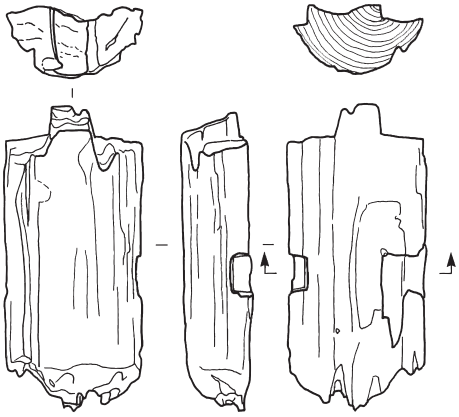
棟木01



肘木07



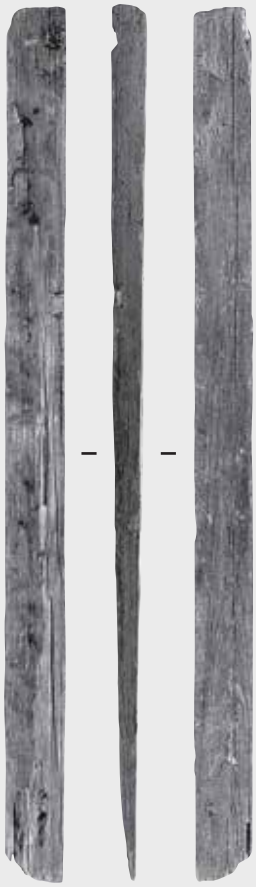
柱26



柱27

桁・棟木　1：20　　肘木・柱　1：15

桁05



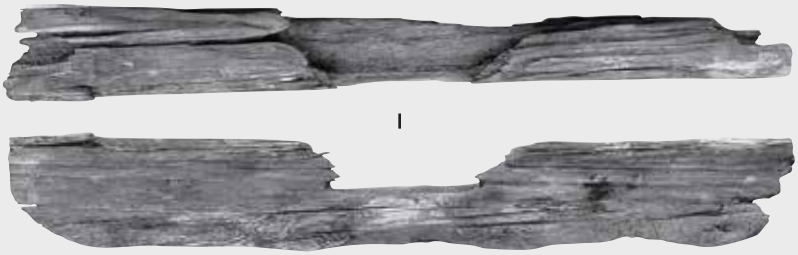
桁06

棟木01

桁05（割クサビ痕）

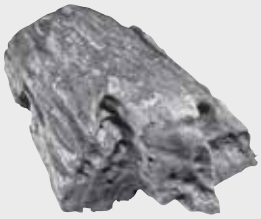
棟木01（継手）

肘木07（木口）



肘木07

柱26（平枘）


柱27（平枘）

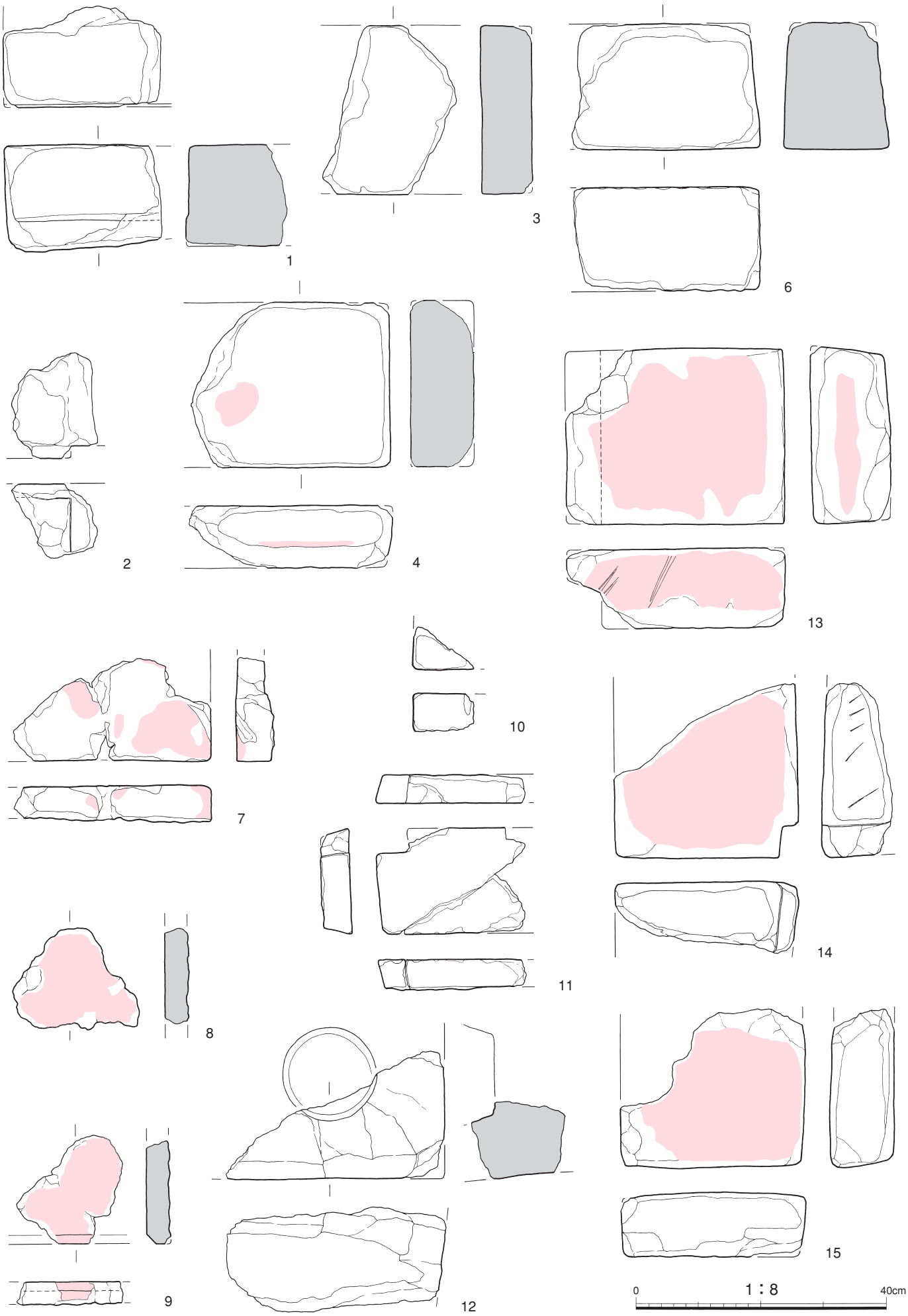
柱26と柱27（枘穴）

表面
柱26

柱27

柱26と柱27（平枘）

桁・棟木　1：20　　肘木・柱　1：15（細部写真を除く）



1・2　羽目石　　3～5　敷石　　6　階段踏石　　7～9　仏龕内壁材　　被熱赤変
10・11　仏龕敷石　　12　講堂地覆石　　13～15　金堂敷石

1

2

6

3

4

5

7

8

9

10

11

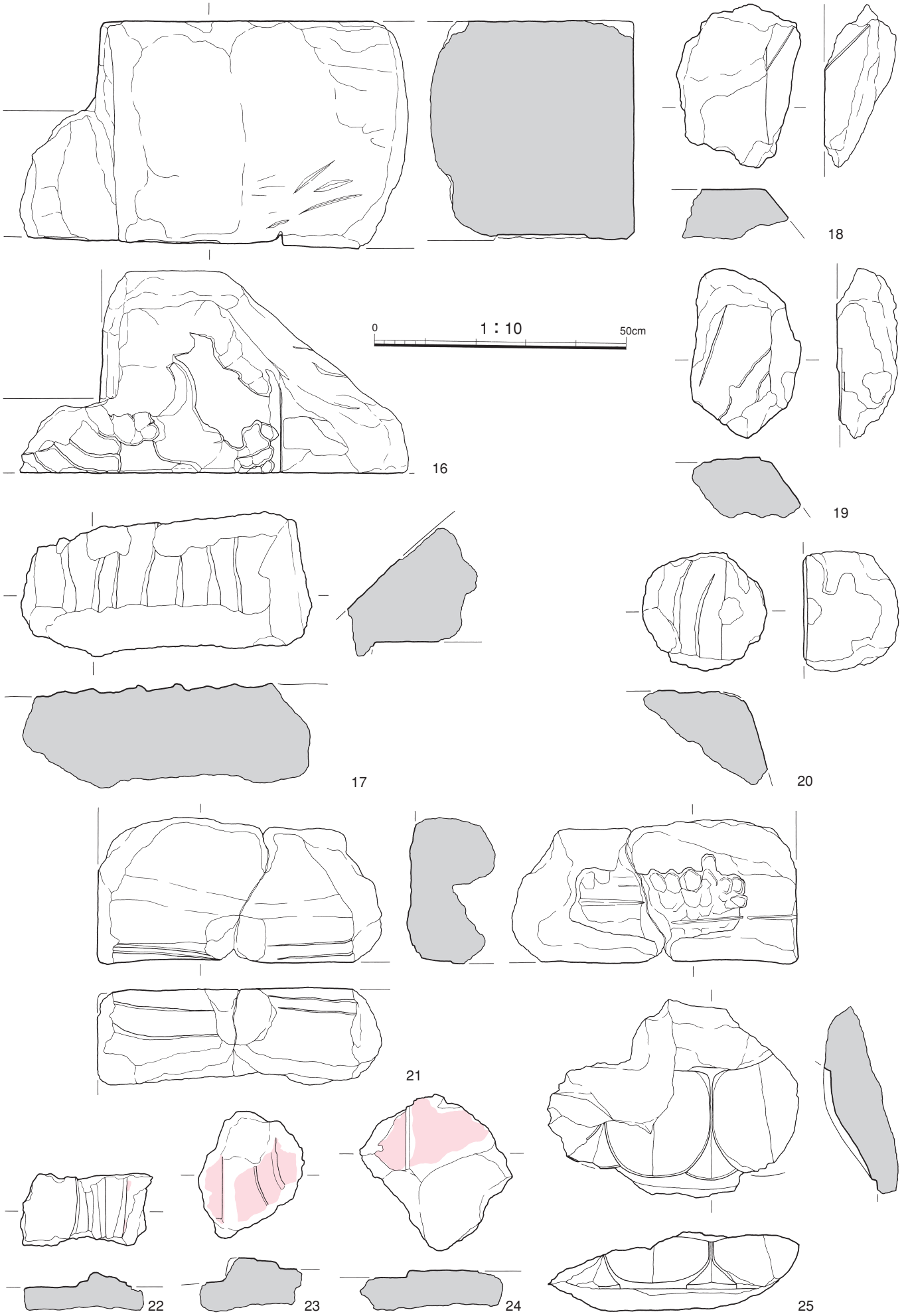
12

13（上面）

13（下面）

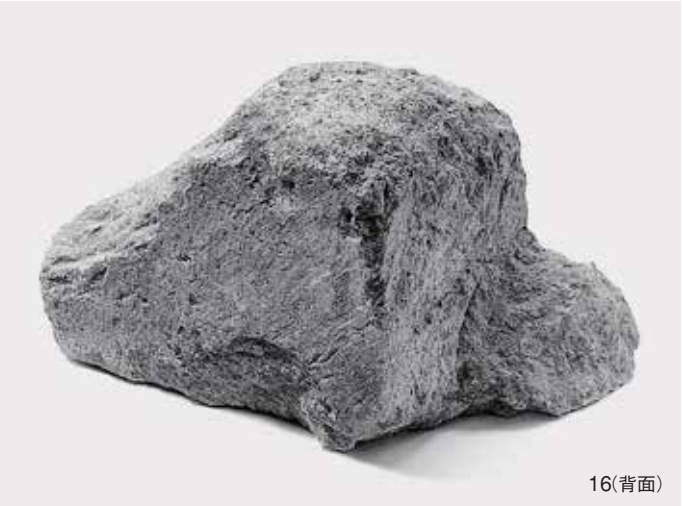
14

縮尺不同



16　金堂西面階段羽目石　　17～21　金堂階段耳石　　被熱赤変
22～24　浮彫りのある石材　　25　東面大垣出土石材
1：4（16のみ1：10）

16(正面)


16(背面)

17(浮彫り面)

17(仕口面)

18

19

20

21(浮彫り面)

21(仕口面)

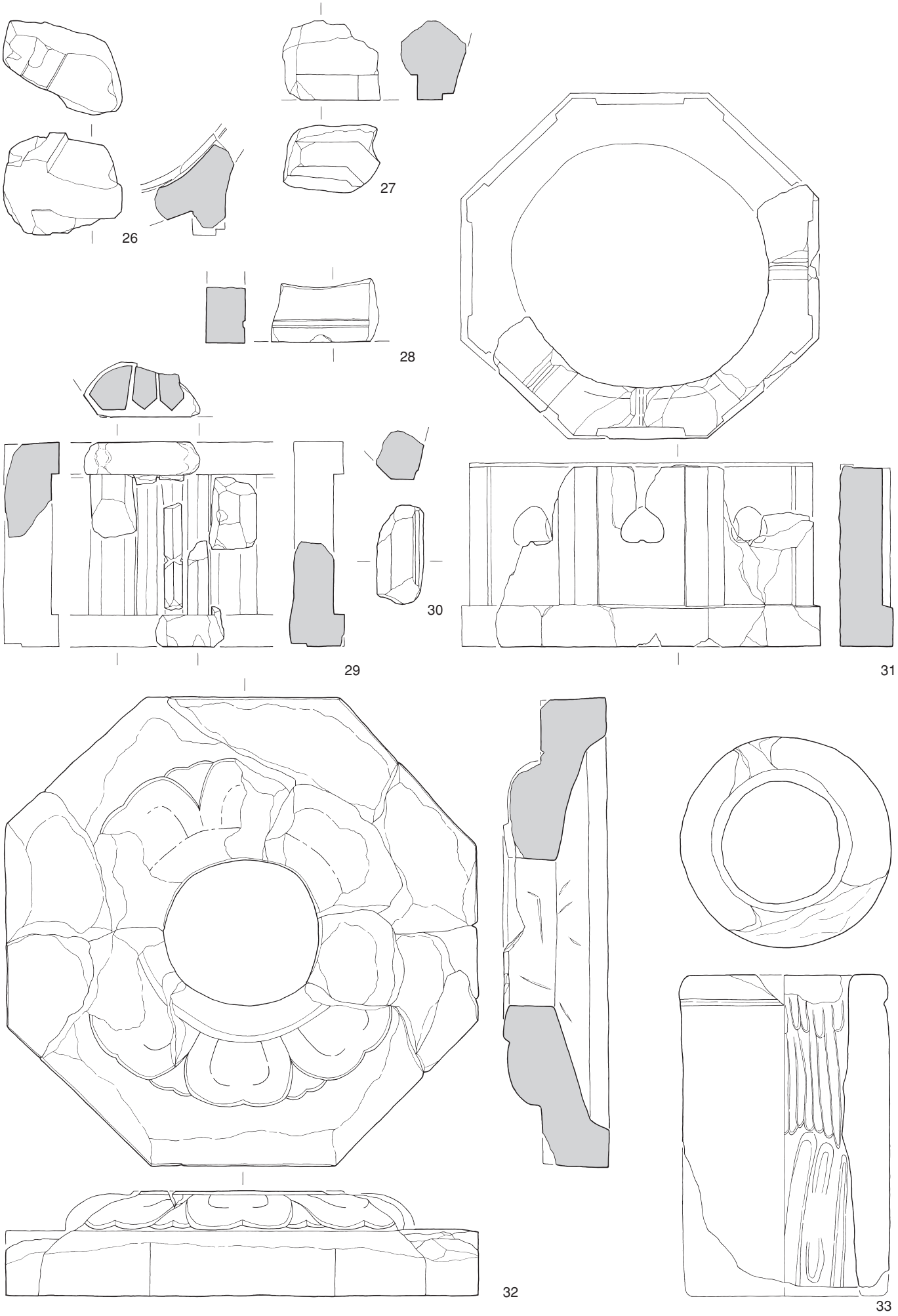
25

22

23

24

縮尺不同



26・27　笠　　28～31　火袋　　32　台座　　33　円筒形石材

26

27

30

28

29

29

31

32

33

32(細部)

33(細部)

縮尺不同

塼仏及び銅板仏関連参考作品

1　アジャンタ石窟第17窟中央入口上部仏坐像

3　宝慶寺石仏三尊仏龕

4　貞観元年銘転法輪印三尊塼仏

2　アジャンタ石窟第19窟壁画仏坐像の後屏

5　永隆三年銘銅板像

7　ナーランダ出土観音菩薩立像

6　「印度仏像」銘塼仏

8　長谷寺銅板法華説相図（部分）

9　白鶴美術館所蔵銅板像

縮尺不同

2002年３月10日　印刷

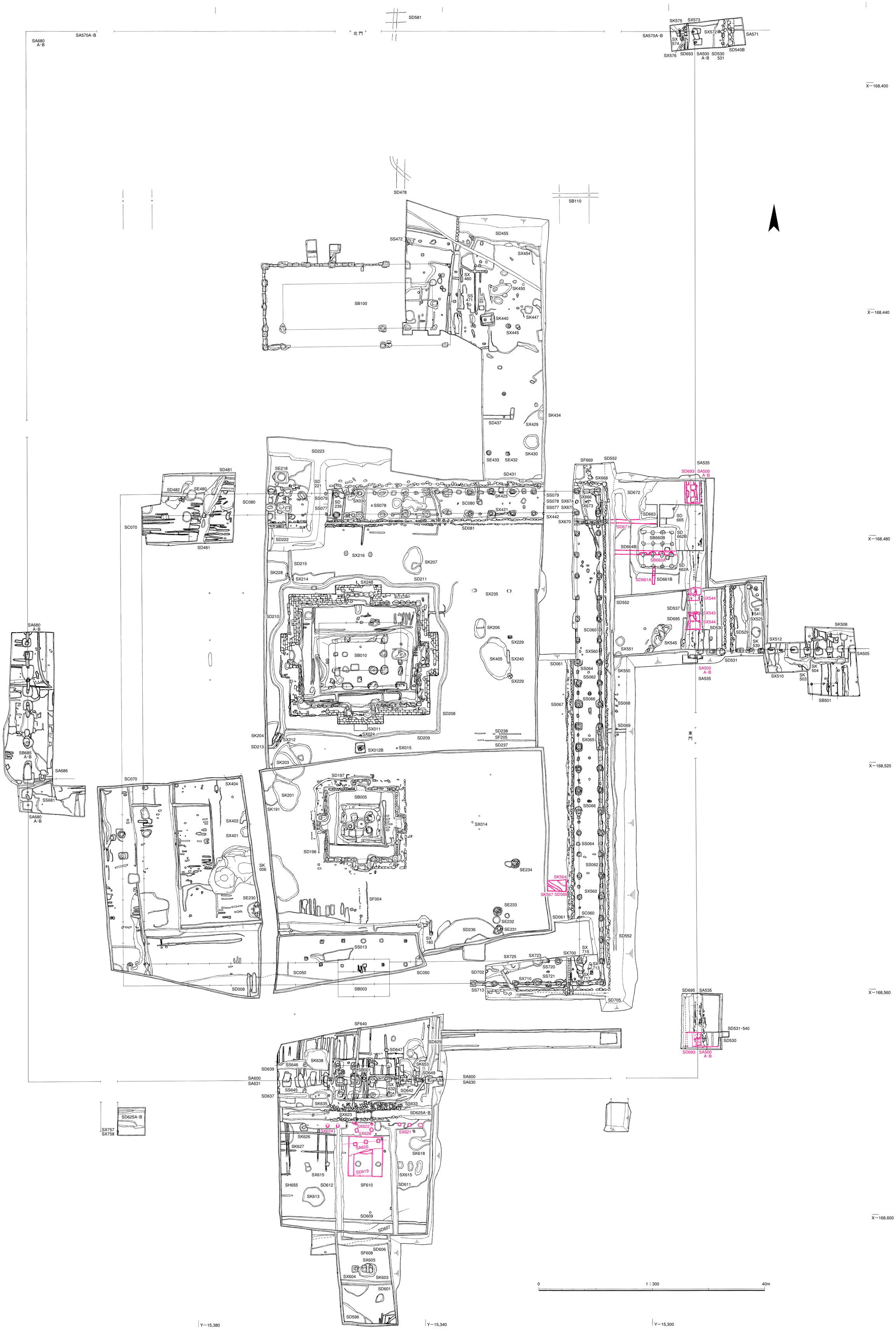
2002年３月25日　発行

山田寺発掘調査報告
創立50周年記念
奈良文化財研究所学報第63冊
図 版 編

著作権所有
発　行　者　奈良市二条町２丁目９番１号
独立行政法人 文化財研究所
奈良文化財研究所

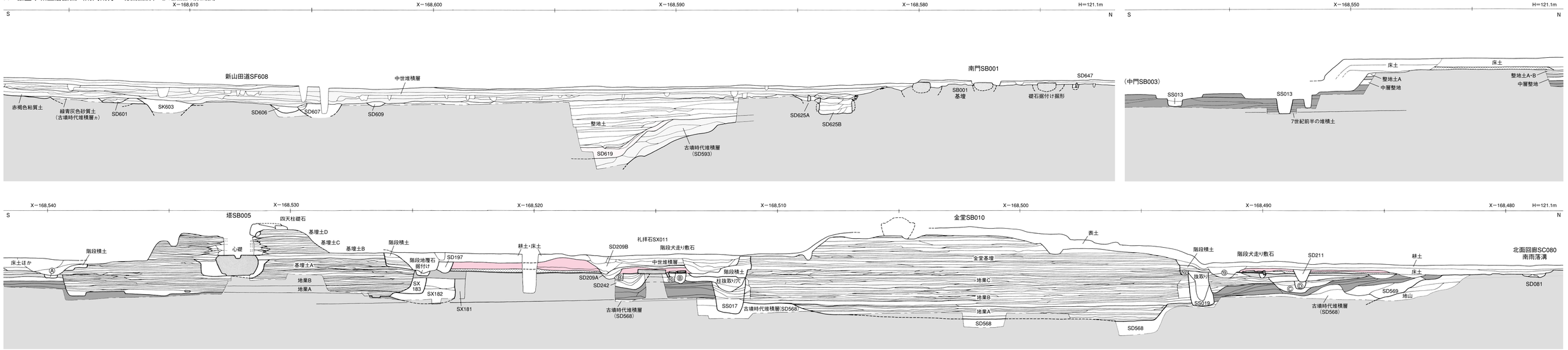
印　刷　者　奈良県高市郡高取町車木 215
岡村印刷工業株式会社

付図１　山田寺遺構全図

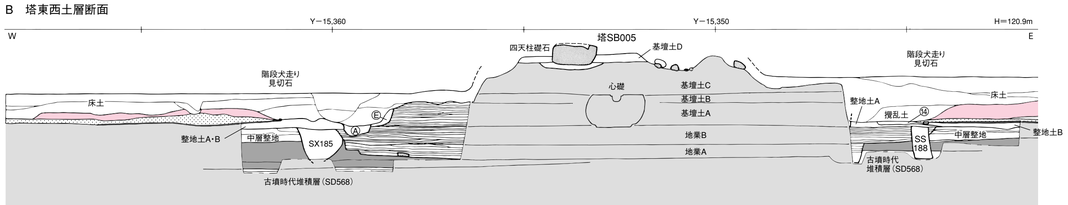

北門
東門
SD581
SA570A・B
SA680 A・B
SK575
SX573
SX572
SA571
SX574
SX576
SD693
SA500 A・B
SD530 531
SD540B
X−168,400
X−168,440
X−168,480
X−168,520
X−168,560
X−168,600
SD478
SB110
SD455
SS472
SX454
SX460
SK450
SS471
SB100
SK440
SK447
SX445
SK434
SD437
SX429
SE433
SE432
SK430
SD431
SD223
SE218
SD481
SD482
SE480
SC080
SC070
SD221
SS079
SS077
SD239
SX030
SS078
SK425
SX421
SS078 SX674
SS077 SX675
SX442
SX670
SD081
SD222
SX216
SK207
SD215
SK228
SX214
SD211
SX248
SX235
SD210
SB010
SK206
SX229
SK405
SX240
SD208
SX011
SX024
SD209
SK204
SX212
SD213
SX012B
SX015
SD238
SF205
SD237
SK203
SK201
SK191
SD197
SB005
SX014
SD196
SK006
SE234
SX404
SX402
SX401
SE230
SF004
SE233
SE232
SE231
SD236
SX180
SS013
SC050
SD008
SB003
SF669
SD552
SX668
SX666
SX673
SD672
SD663
SD665
SD671
SB660B
SD662B
SD664B
SB660A
SD662A
SD661A
SD661B
SX544
SX543
SD537
SD695
SD530
SD529
SK541
SX525
SK539
SK545
SX551
SX512
SK508
SA505
SK504
SK503
SB501
SX510
SD531
SC060
SX560
SD061
SS064
SS062
SS066
SS067
SS068
SD069
SX065
SK550
SK564
SK567 SD566
SX725
SX723
SX700
SX715
SS720
SX713
SS721
SX717
SX710
SD702
SS713
SD705
SF640
SD629
SD647
SK638
SS646
SB001
SK653
SD649
SD639
SA600
SA631
SA630
SS645
SX632
SD642
SD637
SK635
SS633
SX623
SD625A・B
SX757
SX758
SX627
SX628
SX624
SX621
SK626
SK627
SA620
SK618
SD619
SX615
SH655
SD612
SF610
SD611
SK613
SD609
SD607
SD606
SF608
SX605
SX604
SK603
SD601
SD596
SD531・540
SD530
SD693
SA500 A・B
0
1：300
40m
Y−15,380
Y−15,340
Y−15,300

別図2　山田寺主要土層断面図

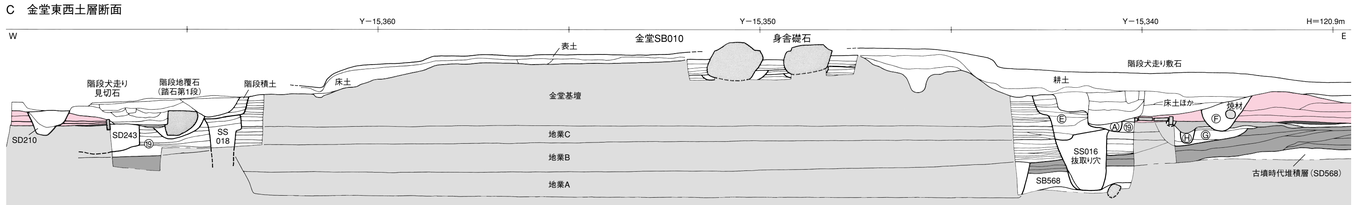
A　伽藍中軸土層断面（南門南方～北面回廊）塔の断面図は反転使用



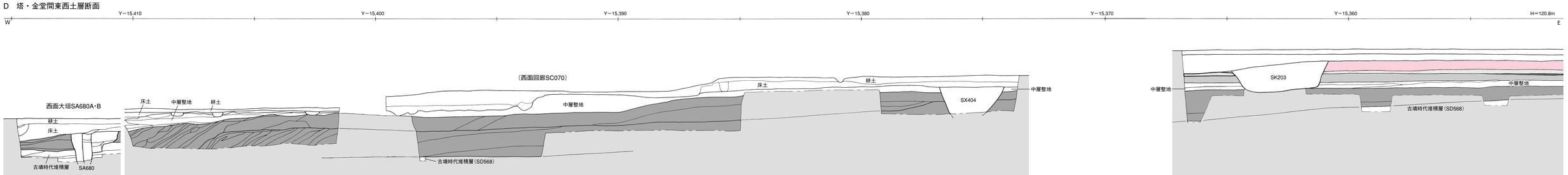
B　塔東西土層断面

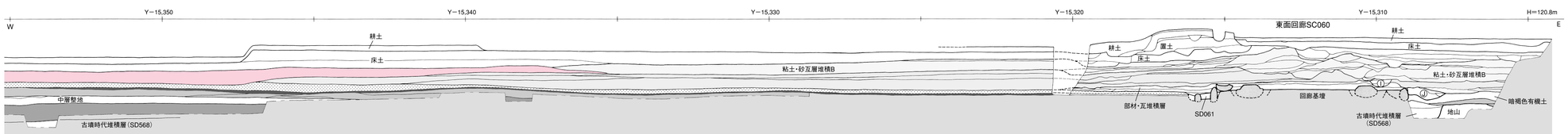


C　金堂東西土層断面

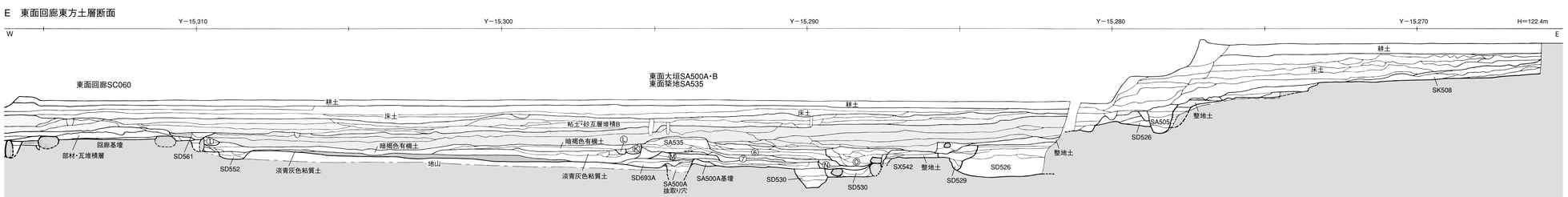


D　塔・金堂間東西土層断面

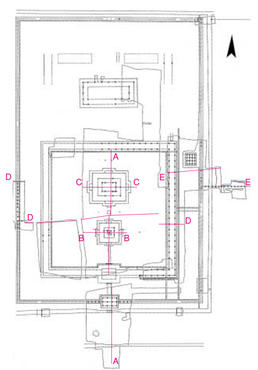




E　東面回廊東方土層断面



- 暗褐色土（焼土層）
- 粘土・砂互層堆積A
- バラス敷
- 瓦敷
- 上層整地
- 下層整地
- Ⓖ 淡青灰色砂土ほか
- Ⓘ 淡青灰色砂質土ほか
- Ⓜ 整地土B
- Ⓝ 中層整地
- Ⓐ 階段地覆石掘付け掘形
- Ⓑ SX024
- Ⓒ SD244A
- Ⓓ SD244B
- Ⓔ 階段積土
- Ⓕ SD208
- Ⓖ SD241A
- Ⓗ SD241B
- Ⓘ SD561
- Ⓙ SD565
- Ⓚ SD537A
- Ⓛ SD537B
- Ⓜ SA500B 基壇
- Ⓝ SD540A
- Ⓞ SD540B



土層断面位置図　1：2000

0　1:80　10m